

630.6  
815

國立中山大學農科學院刊行

廣東農業概況調查報告書續編 上卷



沈鵬飛



上海图书馆藏书



A541 212 0008 6765B





# 序

廣東農業之有調查，始自民國九年前農林試驗場場長鄧植儀先生建議于省署，在場內增設調查一科，從事蠶業糖業及農業概況之各種調查，以資研究農業者之參攷。供改良農業上之根據，其意至善也。惟中經政治之變遷，場務之停頓，調查事業，遂至中輟，除蠶業狀況，經調查完竣，曾由該試驗場刊行，及番禺、增城、東莞、中山四縣糖業報告，與惠陽、博羅、河源、紫金、潮安、澄海、揭陽、潮陽、南澳、豐順、普寧、饒平、梅縣、南雄、英德、佛岡、清遠、從化、花縣、羅定、新會、茂名、信宜、化縣、電白、吳川、廉江、海康、徐聞、遂溪、瓊崖、各縣之農業概況調查報告，續由前廣東大學繼續刊行外，計廣東其他各縣之農業概況，未經調查者，尚有五十一縣，使有志研究改良地方農業者，未窺全豹，難獲準繩，殊覺可惜！嗚呼！受命主理農科以來，即思有以繼續鄧前院長之志，而竟其未竟之功，俾廣東農業概況調查一書，得成完璧，俾供研究改良上之一助，計先後函請本校校長委任黃錫疇，陳幹濟，張勵輝，馮英材，卓正豐，何慶功，林純煦等調查員七人，分赴未經調查各縣調查。惟迭經清黨及共亂之變，地方治安及學校經費兩受影響，且調查各員亦復有中途離職者，遂致歷時二載餘，調查完竣者，僅得三十餘縣，誠爲憾

事！茲因所輯材料，卷帙已繁，而繼續調查，尙需時日，特先擇惠來、大埔、平遠、蕉嶺、五華、興寧、龍川、和平、南海、中山、順德、東莞、德慶、恩平、高明、鶴山、寶安、始興、曲江、樂昌、仁化、雲浮、鬱南、陽江、陽春等縣，付諸梓人，先供衆覽，名曰廣東農業概況調查報告書續編，體例一仍前者之舊，俾參攷者，搜集材料，得歸劃一，而不致涉紛歧也。至下篇之完成，則尙有待於繼續調查之結束焉，是爲序。

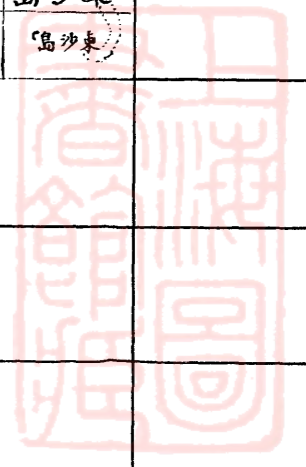
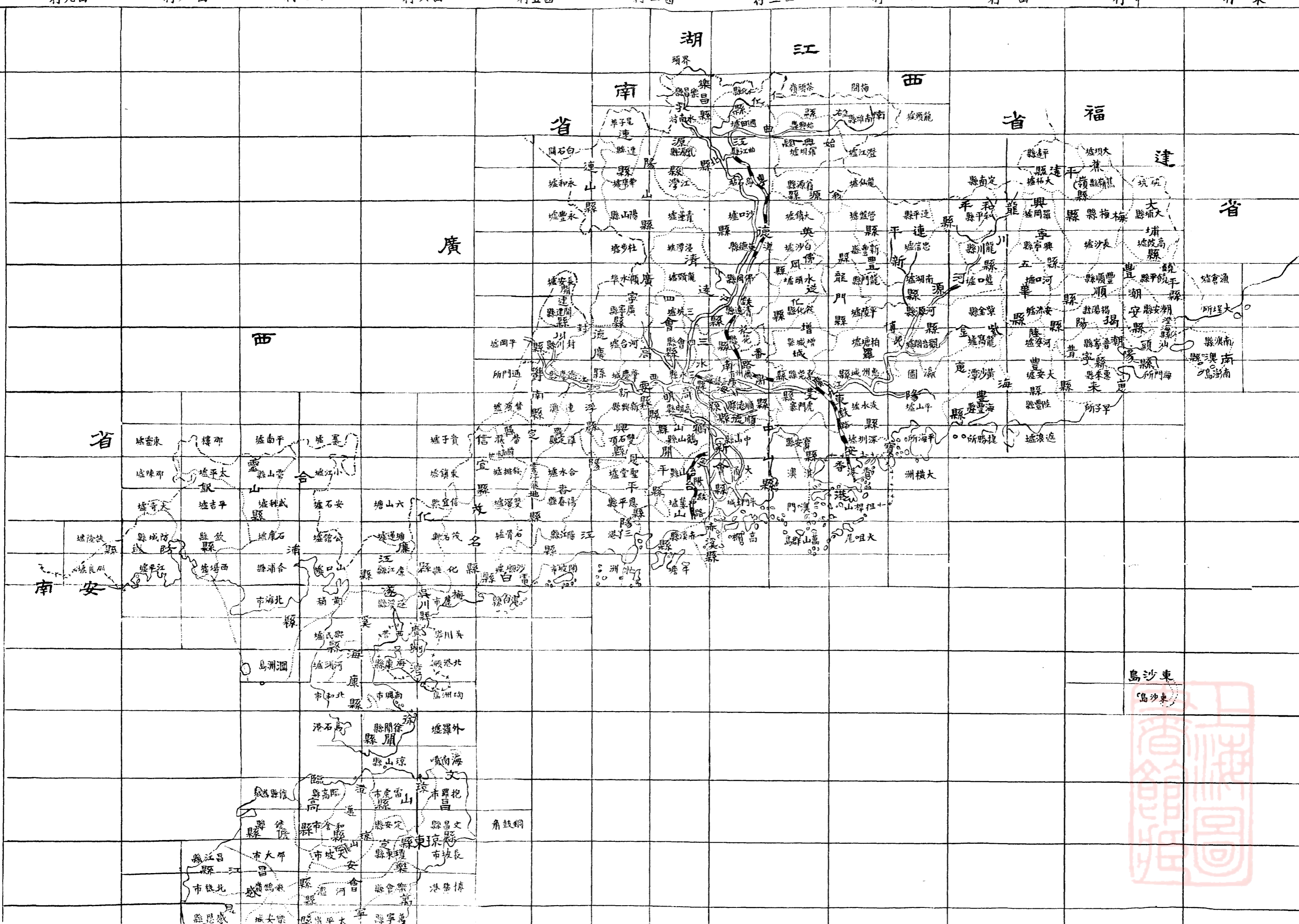
中華民國十八年八月十四日

番禺沈鵬飛識於國立中山大學農科學院

# 廣東省十萬分之一幅圖合表

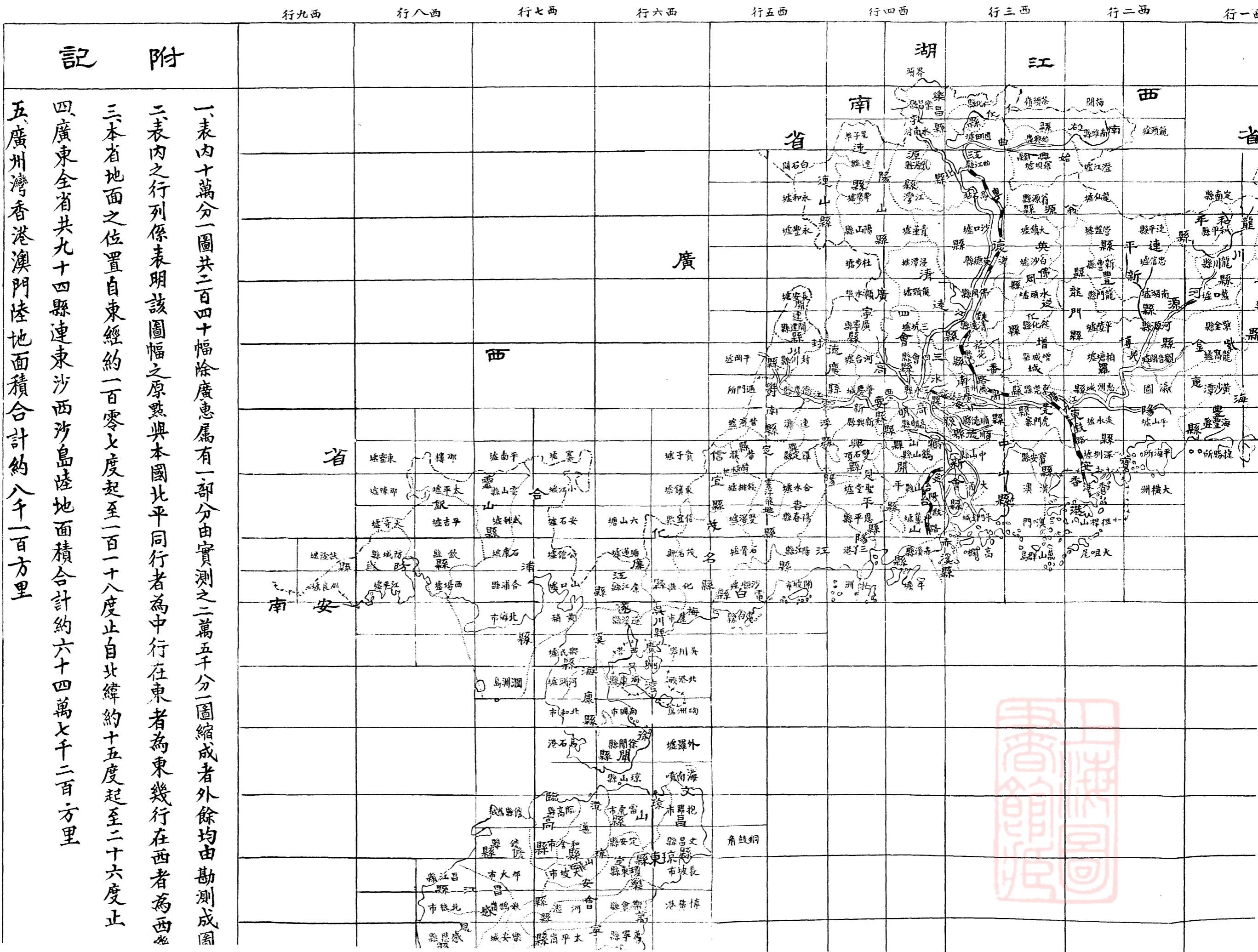
行九西 行八西 行七西 行六西 行五西 行四西 行三西 行二西 行一西 行中 行一東

26°00' 南二十八列  
25°50' 南二十九列  
25°40' 南三十列  
25°30' 南三十一列  
25°20' 南三十二列  
25°10' 南三十三列  
25°00' 南三十四列  
24°50' 南三十五列  
24°40' 南三十六列  
24°30' 南三十七列  
24°20' 南三十八列  
24°10' 南三十九列  
24°00' 南四十列  
19°30' 南四十一列  
19°00' 南四十二列



一表內十萬分一圖共二百四十幅除廣東屬有一部分由實測之二萬五千分一圖縮成者外餘均由勘測成圖

# 廣東省十萬分一幅圖合表



**附 記**

一、表內十萬分一圖共二百四十幅除廣惠屬有一部分由實測之二萬五千分一圖縮成者外餘均由勘測成圖

二、表內之行列係表明該圖幅之原點與本國北平同行者為中行在東者為東幾行在西者為西

三、本省地面之位置自東經約一百零七度起至一百一十八度止自北緯約十五度起至二十六度止

四、廣東全省共九十四縣連東沙西沙島陸地面積合計約六十四萬七千二百方里

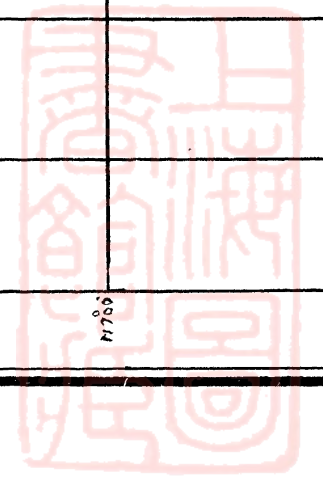
五、廣州灣香港澳門陸地面積合計約八千一百方里

分由實則之二萬五千分一圖縮成者外餘均由勘則成圖完成時期在民國十六年



五列  
南三十大列  
南三十七列  
南三十八列  
南三十九列  
南四十列  
南四十一列  
南四十二列  
南四十三列  
南四十四列  
南四十五列  
南四十六列  
南四十七列  
南四十八列  
南四十九列

1:3000000

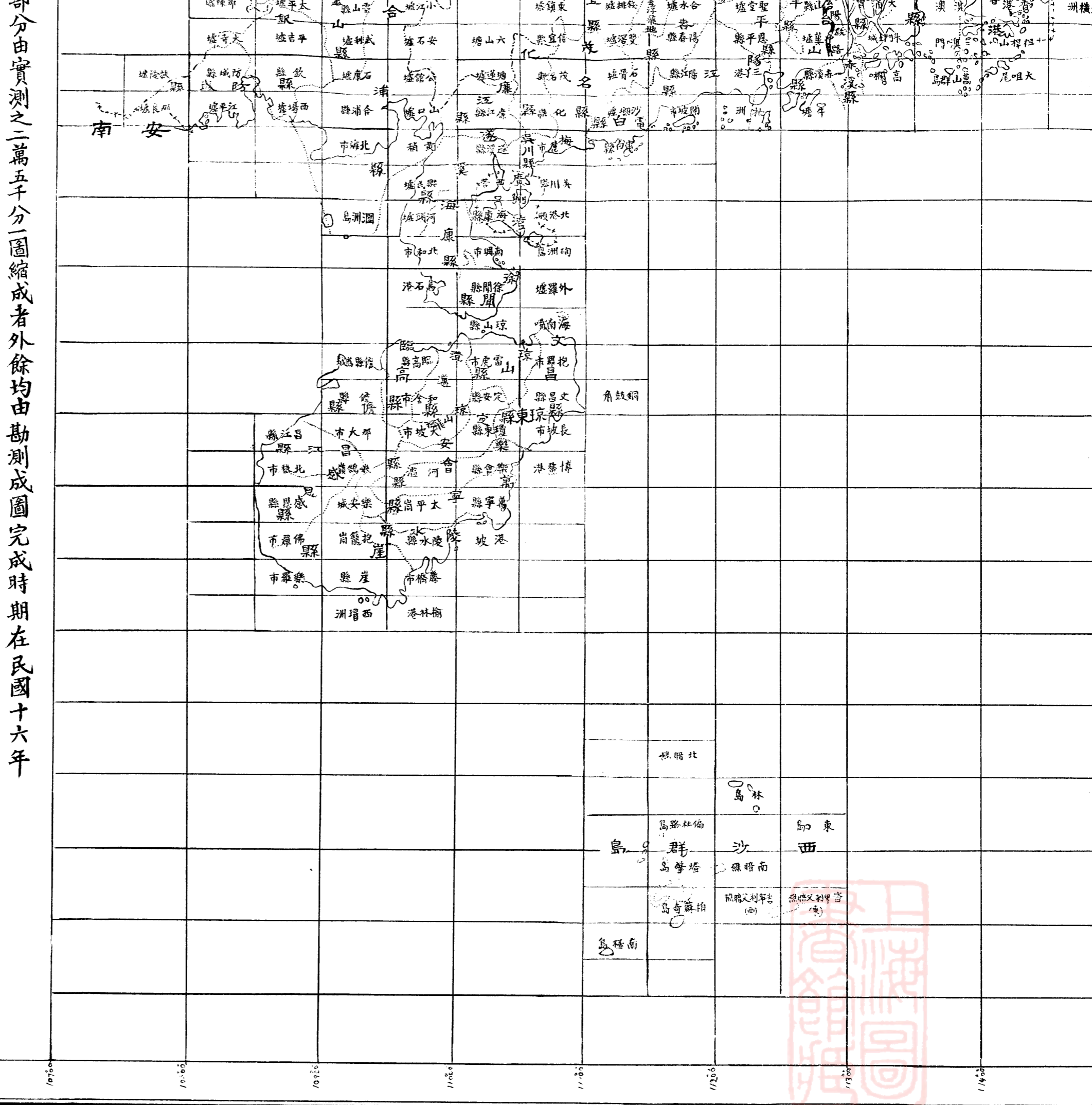


八千一百方里

地面積合計約六十四萬七千二百方里

北平同行者為中行在東者為東幾行在西者為西幾行在南者為南幾列

部分由實測之二萬五千分二圖縮成者外餘均由勘測成圖完成時期在民國十六年



1:3000000



# 廣東農業概況調查報告書續編上卷

## 總目

### 第一部 東江流域及潮梅各屬

惠來縣.....一——三三

(一)位置.....(二)地勢.....(三)氣候.....(四)農村教育

(五)農民經濟狀況.....(六)交通.....(七)水利.....(八)耕地狀況

(九)作物.....(十)蔬菜.....(十一)果樹.....(十二)畜牧

(十三)森林.....(十四)農產製造.....(十五)輸出品.....(十六)農林前途之觀察

大埔縣.....一四——二八

(一)位置.....(二)地勢.....(三)氣候.....(四)農村教育狀況

(五)農民經濟狀況.....(六)交通.....(七)水利.....(八)耕地狀況

(九)作物.....(十)蔬菜.....(十一)果樹.....(十二)畜牧

(十三)森林.....(十四)森林副產.....(十五)農林前途之觀察

平遠縣.....二九——四二

(一)位置.....(二)地勢.....(三)氣候.....(四)農村教育狀況



(五) 農民經濟狀況

(六) 交通

(七) 水利

(八) 耕地狀況

(九) 作物

(十) 蔬菜

(十一) 果樹

(十二) 畜牧

(十三) 森林

(十四) 農林前途之觀察

蕉嶺縣

(一) 位置

(二) 地勢

(三) 氣候

(四) 農村教育狀況

(五) 農民經濟狀況

(六) 交通

(七) 水利

(八) 耕地狀況

(九) 作物

(十) 蔬菜

(十一) 果樹

(十二) 畜牧

(十三) 森林

(十四) 農林前途之觀察

五華縣

(一) 位置

(二) 地勢

(三) 氣候

(四) 農村教育狀況

(五) 農民經濟狀況

(六) 交通

(七) 水利

(八) 耕地狀況

(九) 作物

(十) 蔬菜

(十一) 果樹

(十二) 畜牧

(十三) 森林

(十四) 農產製造

(十五) 農林前途之觀察

興寧縣

(一) 位置

(二) 地勢

(三) 氣候

(四) 農村教育狀況

(五) 農民經濟狀況

(六) 交通

(七) 水利

(八) 耕地狀況

(九) 作物

(十) 蔬菜

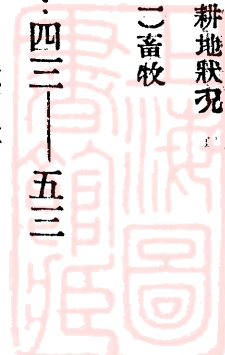
(十一) 果樹

(十二) 畜牧

六五——七六

五四——六四

四三——五三



(十三) 森林

(十四) 農林前途之觀察

龍川縣

七七——八八

(一) 位置

(二) 地勢

(三) 氣候

(四) 農村教育狀況

(五) 農民經濟狀況

(六) 交通

(七) 水利

(八) 耕地狀況

(九) 作物

(十) 蔬菜

(十一) 果樹

(十二) 畜牧

(十三) 森林

(十四) 農林前途之觀察

和平縣

八九——一〇四

(一) 位置

(二) 地勢

(三) 氣候

(四) 農村教育狀況

(五) 農民經濟狀況

(六) 交通

(七) 水利

(八) 耕地狀況

(九) 作物

(十) 蔬菜

(十一) 果樹

(十二) 蠶桑

(十三) 畜牧

(十四) 森林

(十五) 大宗產品

(十六) 農林前途之觀察

連平縣

一〇五——一一三

(一) 位置及區域

(二) 氣候

(三) 耕地狀況

(四) 荒山情形

(五) 運輸交通

(六) 耕作情形

(七) 農民經濟狀況

(八) 畜牧

(九) 作物

(十) 園藝

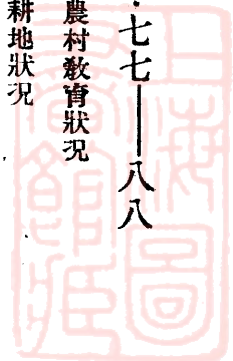
(十一) 森林

(十二) 農村教育狀況

(十三) 農林前途之觀察

新豐縣

一二四——一二三



- (一) 位置及區域
- (二) 氣候
- (三) 耕地狀況
- (四) 荒山情形
- (五) 運輸交通
- (六) 耕作情形
- (七) 農民經濟狀況
- (八) 畜牧
- (九) 作物
- (十) 特產
- (十一) 園藝
- (十二) 森林
- (十三) 農村教育狀況
- (十四) 農林前途之觀察

## 第二部 珠江及西北江流域各屬

### 南海縣.....一三三——一三二

- (一) 位置
- (二) 地勢
- (三) 氣候
- (四) 耕地狀況
- (五) 耕作情形
- (六) 農民經濟狀況
- (七) 農村教育狀況
- (八) 作物
- (九) 果樹
- (十) 畜牧
- (十一) 蠶桑
- (十二) 特產品
- (十三) 農林前途之觀察

### 順德縣.....一三三——一三九

- (一) 位置
- (二) 地勢
- (三) 氣候
- (四) 耕地狀況
- (五) 農民經濟狀況
- (六) 作物
- (七) 果樹
- (八) 蠶桑
- (九) 畜牧
- (十) 荒山
- (十一) 農村教育狀況
- (十二) 農林前途之觀察

### 中山縣.....一四〇——一四八

- (一) 位置
- (二) 地勢
- (三) 氣候
- (四) 耕地狀況



(五) 農民經濟狀況	(六) 作物	(七) 蠶桑	(八) 果樹
(九) 畜牧	(十) 森林	(十一) 特產品	(十二) 輸出品
(十三) 農村教育狀況	(十四) 農林前途之觀察		
東莞縣.....			
(一) 區域位置	(二) 地勢	(三) 氣候	(四) 水旱情形
(五) 交通	(六) 耕地狀況	(七) 耕作情形	(八) 農民經濟狀況
(九) 農村教育狀況	(十) 作物	(十一) 園藝	(十二) 畜牧
(十三) 蠶桑	(十四) 森林	(十五) 水產	(十六) 農產製造
(十七) 特產品及輸出品	(十八) 農林前途之觀察		
增城縣.....			
(一) 位置及區域	(二) 氣候	(三) 耕地狀況	(四) 荒山情形
(五) 運輸交通	(六) 耕作情形	(七) 農民經濟狀況	(八) 畜牧
(九) 作物	(十) 園藝	(十一) 蠶桑	(十二) 森林
(十三) 農村教育狀況	(十四) 農林前途之觀察		
龍縣門.....			
(一) 位置及區域	(二) 氣候	(三) 耕地狀況	(四) 荒山情形
(五) 運輸交通	(六) 耕作情形	(七) 農民經濟狀況	(八) 畜牧
(九) 作物	(十) 園藝	(十一) 蠶桑	(十二) 森林
(十三) 農村教育狀況	(十四) 農林前途之觀察		

.....	一六九——一六〇
.....	一四九——一六〇
.....	一六一——一七二
.....	一七三——一八三



(九)作物

(十)特產

(十一)園藝

(十二)森林

(十三)農村教育狀況

(十四)農林前途之觀察

寶安縣

(一)位置

(二)地勢

(三)氣候

(四)耕地狀況

(五)水旱情形

(六)交通

(七)耕作情形

(八)農民經濟狀況

(九)農村教育狀況

(十)作物

(十一)園藝

(十二)畜牧

(十三)蠶桑

(十四)森林

(十五)特產品及輸出品

(十六)農林前途之觀察

德慶縣

(一)位置

(二)地勢

(三)氣候

(四)耕地狀況

(五)農民經濟狀況

(六)作物

(七)果樹

(八)蠶桑

(九)畜牧

(十)輸出品

(十一)荒山

(十二)農林前途之觀察

恩平縣

(一)區域位置

(二)地勢

(三)氣候

(四)水旱情形

(五)交通

(六)耕地狀況

(七)耕作情形

(八)農民經濟狀況

(九)農村教育狀況

(十)作物

(十一)園藝

(十二)畜牧

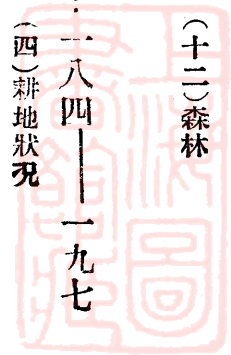
(十三)森林

(十四)輸出品

(十五)農林前途之觀察

高明縣

一一三——二一七



(一) 位置	(二) 地勢	(三) 氣候	(四) 耕地狀況
(五) 農民經濟狀況	(六) 作物	(七) 畜牧	(八) 輸出品
(九) 荒山	(十) 農林前途之觀察		
鶴山縣			
(一) 位置	(二) 地勢	(三) 氣候	(四) 耕地狀況
(五) 農民經濟狀況	(六) 作物	(七) 果樹	(八) 畜牧
(九) 特產品	(十) 農林前途之觀察		

雲浮縣			
(一) 位置	(二) 地勢	(三) 氣候	(四) 耕地狀況
(五) 農民經濟狀況	(六) 作物	(七) 果樹	(八) 畜牧
(九) 森林	(十) 特產	(十一) 農林前途之觀察	

鬱南縣			
(一) 位置	(二) 地勢	(三) 氣候	(四) 耕地狀況
(五) 農民經濟狀況	(六) 作物	(七) 果樹	(八) 蠶桑
(九) 森林	(十) 特產	(十一) 農林前途之觀察	

始興縣			
(一) 位置	(二) 地勢	(三) 氣候	(四) 農村教育狀況
(五) 農民經濟狀況	(六) 作物	(七) 果樹	
(九) 森林	(十) 畜牧	(十一) 輸出品	



(五) 農民經濟狀況

(六) 交通

(七) 水利

(八) 耕地狀況

(九) 作物

(十) 蔬菜

(十一) 果樹

(十二) 畜牧

(十三) 森林

(十四) 特產品

(十五) 農林前途之觀察

曲江縣

(一) 位置

(二) 地勢

(三) 氣候

(四) 農村教育狀況

(五) 農民經濟狀況

(六) 交通

(七) 水利

(八) 耕地狀況

(九) 作物

(十) 蔬菜

(十一) 果樹

(十二) 畜牧

(十三) 森林

(十四) 特產品

(十五) 農林前途之觀察

樂昌縣

(一) 位置

(二) 地勢

(三) 耕地狀況

(四) 荒山狀況

(五) 交通

(六) 耕作情形

(七) 農民經濟狀況

(八) 畜牧

(九) 作物

(十) 園藝

(十一) 森林

(十二) 農村教育狀況

(十三) 農林前途之觀察

仁化縣

(一) 位置

(二) 地勢

(三) 氣候

(四) 農村教育狀況

(五) 農民經濟狀況

(六) 交通

(七) 水利

(八) 耕地狀況

(九) 作物

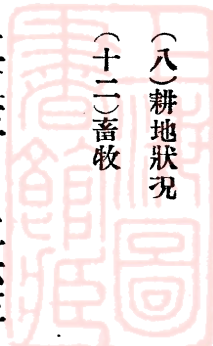
(十) 特產

(十一) 蔬菜

(十二) 果樹

二七八——二八九

二六四——二七七





(十三)畜牧  
(十四)森林  
(十五)輸出品  
(十六)農林前途之觀察

翁源縣.....二九〇——三〇〇

(一)位置及區域  
(二)氣候  
(三)耕地狀況  
(四)荒山情形

(五)運輸交通  
(六)耕作情形  
(七)農民經濟狀況  
(八)畜牧

(九)作物  
(十)特產  
(十一)園藝  
(十二)森林

(十三)農村教育狀況  
(十四)農林前途之觀察

乳源縣.....三〇一——三一四

(一)位置及區域  
(二)氣候  
(三)耕地狀況  
(四)荒山情形

(五)運輸交通  
(六)耕作情形  
(七)農民經濟狀況  
(八)畜牧

(九)作物  
(十)園藝  
(十一)森林  
(十二)農村教育狀況

(十三)農林前途之觀察  
(十四)附該縣獠民生活狀況

連山縣.....三二五——三三四

(一)位置及區域  
(二)氣候  
(三)耕地狀況  
(四)荒山情形

(五)運輸交通  
(六)耕作情形  
(七)農民經濟狀況  
(八)畜牧

(九)作物  
(十)園藝  
(十一)森林  
(十二)農村教育狀況

(十三)農林前途之觀察  
(十四)附連陽獠民生活狀況

陽山縣.....三三五——三三六

- (一) 位置區域及形勢
- (二) 氣候
- (三) 耕地狀況
- (四) 荒山形勢
- (五) 運輸交通
- (六) 耕作情形
- (七) 農民經濟狀況
- (八) 畜牧
- (九) 作物
- (十) 園藝
- (十一) 森林
- (十二) 農村教育狀況
- (十三) 農林前途之觀察

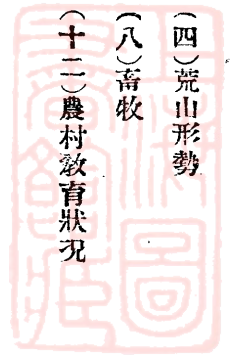
連縣.....三三七——三五〇

- (一) 位置區域及形勢
- (二) 氣候
- (三) 耕地狀況
- (四) 荒山形勢
- (五) 運輸交通
- (六) 耕作情形
- (七) 農民經濟狀況
- (八) 畜牧
- (九) 作物
- (十) 園藝
- (十一) 森林
- (十二) 農村教育狀況
- (十三) 農林前途之觀察

### 第三部 高雷各屬

陽江縣.....三五一——三七八

- (一) 區域位置
- (二) 地勢
- (三) 氣候
- (四) 水旱情形
- (五) 交通
- (六) 耕地狀況
- (七) 耕作情形
- (八) 農民經濟狀況
- (九) 農村教育狀況
- (十) 作物
- (十一) 園藝
- (十二) 畜牧
- (十三) 森林
- (十四) 農產製造
- (十五) 輸出品
- (十六) 特產品
- (十七) 農林前途之觀察



陽春縣

三七九——三八六

(一) 區域位置

(二) 地勢

(三) 氣候

(四) 水旱情形

(五) 交通

(六) 耕地狀況

(七) 耕作情形

(八) 農民經濟狀況

(九) 農村教育狀況

(十) 作物

(十一) 園藝

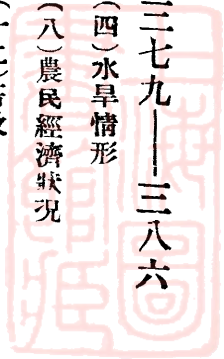
(十二) 畜牧

(十三) 森林

(十四) 特產品

(十五) 輸出品

(十六) 農林前途之觀察



廣東農業概況調查報告書續編上卷 目錄



# 廣東農業概況調查報告書續編上卷

## 第一部 東江流域及梅潮各屬

### 惠來縣農業調查報告民國十六年

#### (一)位置

惠來縣居潮州西南，位於北緯二十三度零三十三秒，經度距京師中線偏西十分。東南界南海，東北界潮陽，西界陸豐，北界普寧，分全縣為五個行政區域如下：

區分	所在地	位置
第一區(中區)	城內	附城
第二區(東區)	靖海	城東五十里
第三區(南區)	龍口	城南十五里
第四區(西區)	神泉	城西三十里
第五區(北區)	葵潭	城北八十里

#### (二)地勢

全邑地形東西延長，而東部較狹，西部較廣。地勢則西北山嶺重疊，東南以次傾斜，然亦岡陵起伏，稍稱平原者



，以中南兩區較多。統計全縣面積，約二百六十六萬八千八百九十二畝，山嶺約佔百分之三十，岡陵起伏地，約佔百分之十五，傾斜地約佔百分之十，平原約佔百分之四十五。以各區地勢言之，則約可概分如下：

區分	山嶺	岡陵起伏地	傾斜地	平原
北區	40%	20%	15%	25%
西區	35%	20%	15%	35%
南區	15%	5%	5%	75%
東區	28%	20%	8%	44%
中區	30%	15%	10%	45%

(二)氣候

惠來氣候，與潮陽揭陽普寧等縣，無大差異，年中氣溫最高時，在六七月間，約漲至華氏九十五六度，最低時在十二月正月間，約降至華氏四十度左右，然亦霜雪罕見，惟地瀕海洋，每年五六月時間，常有颶風為患，禾稼收成每至損失云。

(四)農村教育狀況

惠來教育甚不普及，即有少數學校亦多不健全。其全縣私塾，已佔學校之大半，而失學兒童，猶有百分之六十，教育之不振，概可想見矣。茲將調查所得表列如下：

區名	初中或高中		高級小學		國民小學		私塾		各級校數		平均失學兒童 佔百分比之幾
	校數	人數	校數	人數	校數	人數	間數	人數	校數	人數	
第一區	初 中	一 一 四 六	四	一 八 六	五	二 〇 五	一 六	四 九 三	二 六	一 〇 三	60%
第二區			二	五 七	四	一 八 九	二 三	四 九 八	二 九	七 四 四	60%
第三區			一	二 八	二	八 八	七	二 八 〇	一 〇	一 九 六	60%
第四區			一	四 〇	四	一 七 八	八	二 七 九	一 三	四 九 七	60%
第五區			五	一 二 六	四	一 九 四	二 二	三 九 〇	二 一	七 一 〇	60%

### (五)農民經濟狀況

(1)農戶 惠來人口，近無調查統計，惟自前清以來，號稱三十萬，數約五萬餘家，除少數經營小工商業，及海產漁鹽之利外，概為業農。老農家每戶平均之農業勞動者，(老幼不計)約有十之四五，每戶耕地面積以三四畝者為多，而佃耕農民約佔百份之八十，其田主多為家族祖管，私人田地乃十之一二而已。

(2)田地價 水田價格，每畝上等約百一十元，中等約七十元，下等約五十元；旱地價格，每畝上等十餘元，中等五六元，下等二三元。

(3)田地租 水田每畝年租上等七石，中等五石；下等四石，旱地每畝年租，上等納銀三元，中等二元，下等一元。

(4)工價 長工每年約三十餘元(供膳食)，係屬男工；短工忙時每日男工五毫，女工三毫，閒時每日男工三毫，少

用女工，所有短工，俱祇供午膳。

(5) 借貸情形 所有借貸，以錢款為多，當地農人常借貸者約十之六七。借貸原因，糧食不敷者，約佔百分之八十，為婚喪疾病者約百分之二十。借貸方法，非有不動產業之契約抵押者，則須有殷富或有信用之介紹及担保。其還債方法，多以農產品，先行定價，或到期抵償償還，至於利息，則每月二分至二分五厘之譜。

(6) 生活需要之普通物價

(a) 肥料 人糞尿，每担約值一毫，黃豆麵每百斤約值六元，花生麵每百斤約值八元。

(b) 農具 犁每張價約三元，耙每張價約十二元，鋤每把價約一元七毫，鏟每把價約一毫。

(c) 農產 家畜——水牛每頭大者約值百餘元，黃牛每頭約值七十元，肥肉豬每百斤約三十元，山羊每斤六毫。家禽——雞每斤五毫，鵝鴨每斤四毫。

魚類——生魚每斤約二毫，鹹魚每斤三四毫。

作物——甘藷每百斤約一元五毫，芋約四元五毫，花生約十元，穀五元，麥十元，油四十餘元，白蔗二元，黃竹蔗四元，白糖二十元，黃糖十餘元。

蔬菜——芥菜每斤二仙，芥藍四仙，白菜一仙，葱三仙，厚白菜四仙，青菜四仙，香菜二仙，韭菜三仙，蒜子八仙，白菜蕪一仙，菌蕪八仙，芹菜五仙。

菓類——荔枝每百斤八元，梨三元，柿五元，李三元，柑五元，梅四元，香蕉四元。

(六) 交通

因全縣地勢西北高，而東南低，故山澗小水，多向南流。城南有南溪會澗流而至河頭，水雖不大，而潮汐時通，能



利舟楫，直達南區神泉港口；至西北部之溪水，一發源於南陽，一發源於燕子峯，俱至河口合流，而為龍江，可容小艇，往來於蔡潭龍江等處，商旅賴之；至東區靖海雖境內河流淺窄，舟楫難行，而瀕海之處，潮汐可通，亦稍可利用焉。此外境內腹地，則全以陸道交通肩挑輪送矣。

### (七) 水利

境內澗溪小流頗多，源源不絕，少有乾涸，惟多不能直接灌溉，所有附近田地，多設自轉水車，或人力水車取水，以灌田疇。其較高亢之旱地，則多栽薯豆甘蔗之屬，以其需水不多，掘井汲水即可供灌溉，故雖遇旱魃，亦鮮成災。至水災亦不多見者，係因地勢南斜緩傾之故耳。

### (八) 耕地狀況

查全縣耕地，質多輕鬆，而性甚瘠瘦。以地勢言之：屬平原者約佔百分之六十二，多為砂壤，鮮有埴土，色以灰黑灰黃為多，表土深約尺許，大半為水田栽種稻作蔬菜之類；屬山谷者約佔百分之八；岡陵起伏地，約佔百分之十八；山嶺約佔百分之三；傾斜地約佔百分之九。此等地概屬砂質，土色以黃赤為多，灰黑次之，表土深約四五寸至尺許，視其墾殖年久之久暫而有不同。此等耕地，多種甘蔗甘薯菜菔豆類及果樹之屬。

### (九) 作物

(1) 水稻 惠來年產米量祇足供本縣三季之糧食。其品種屬早造者，粘米有饒平種，川赤種，花羅赤等；糯米有芒糯，紅脚糯，尖胆糯，送整糯，鎮合糯等；屬晚造者，粘米有夜公赤，深田赤，鳳尾赤，菊種，緩種，大白，烏壳粘等，糯米以烏糯為多。普通早造多白米，以饒平種為多，晚造多赤米，以夜公赤為多。就品質言之：早造之花羅赤，收量雖最多，然以饒平種之品質較為優良；晚造緩種之收量雖最多，而又以菊種之品質為優良。晚造之播種方法，

概用手撒播。播種時期，早造多於二月初，晚造多於五月初。分秧時期普通早造於三月下旬，晚造在七月中旬。早造收穫於六月間，晚造收穫於十月間。施肥數次，普通有資本者，施肥二次，一在分秧之前，一在分秧之後，一月左右；貧者祇於分秧前或分秧後施基肥，或補肥，一次而已。所用肥料以豆糞肥田粉，人糞尿，廐肥等為最普通。至其選種，整地，管理諸法，與各縣相同。每畝收量，年歲豐稔早稻約可六七石，晚造約可五六石云。

(2) 麥 全縣種麥甚少，惟中區之先覺公營地方，特多種之，因該地排水良好，土壤亦較肥適故也。播種在十一月間，以點播為多，每用廐肥草木灰等為基肥，施補肥者甚少，種後於翌年二月間收穫，約每畝可得二石左右，總收額不過六七百石耳。

(3) 甘藷 全縣栽種甘藷甚為普遍，尤於東區為最多。其品種有海山種，品極嫩爽甘甜，為東區特出，多作副糧食用；其餘有鐵線籐種，接芋種，前者皮畧紅，後者皮赤白，均富澱粉質，農家多用以製粉，統計全縣每年出口之諸粉，約二萬担以上，計值十餘萬元。其種藷方法，與普通無異。惟鐵線籐接芋兩種，多種於四五月間，而收於九月間，海山種，植於八九月間，而收於十二月或翌年之春，每畝收量，約可二十餘担。

(4) 花生 全縣各區皆種之，品種分大粒小粒兩種，大粒豆形如甘藷，小粒豆形為圓珠，除製花生糖，花生餅外，多為榨油之用。全縣所榨之油，年約萬餘担，除本縣用外，多銷售於油港。其種花生之地，多為高亢之砂土，栽培時先整土為平畦，每畦尺許，開一小穴，每穴播種三數粒，并施草灰少許，然後薄覆以土。播種多在二月間，播後中耕除草三四次，起早登市者，於五六月間收穫，遲則七八月間。每畝收量三百餘斤，每斤價值二毫。

(5) 甘蔗 該縣出產甘蔗，甚為大宗，其品種有白蔗竹蔗二種，竹蔗多為生食，白蔗用以製糖（查各縣多反是），每年總產額約三四百萬担，搾糖約三百萬斤左右，糖之品名統稱青糖。栽植甘蔗之地，多在高亢之砂土。栽法有新種及留

舊頭，前者取蔗稍青芽，於二月間斜插於經整之蔗地，種成條列，每株距離約尺許；後者則於收穫後所留之蔗根（即舊頭）再加肥料，（草木灰堆肥爲多）任其發芽生長。其管理方法極爲粗放，且因土質礮瘠，故蔗莖矮小，長約二尺至三尺，徑約四五分而已。以上所述之作物爲較大宗者，此外藍靛，樹薯豆苳等作物皆有栽培，惟非主要生產，且法屬普通，以故從畧。

### （十）蔬菜

（1）蒜 該縣種蒜極多，有軟葉硬葉之分，軟葉蒜以葉用，硬葉蒜以頭用。統計全縣年產蒜頭五六千担，多售於汕頭香港安南等地，用以醃食或和醬。其種法，於水田晚造收穫後，十月間即行播種，其種子以火煙薰過者爲佳，種時將蒜頭，逐粒剝開，乃於整妥之畦上，每距離寸許，播種子一粒，然後薄蓋稻草或廐肥堆肥之屬，固以爲基肥之用，復有保護表土之功。種後施人糞尿污水等補肥三四次，中耕除草二三次，迨十二月終或翌年正月，即可收穫。

（2）白菜菘 全縣各區皆有栽種，而以東區爲最多，普通於八九月間播種者，多種於旱地，十月十一月間播種者，多種於水田。其播種方法，多用直接撒播，先將土整成高約七八寸至尺許之平畦，畦間掘小溝爲貯水之用，（旱地無之）施草木灰或堆肥廐肥等爲基肥，俟發葉三數片，行間拔一次，隨即中耕除草，用人糞尿污水等爲補肥。灌溉多少，則視天氣晴雨土濕程度如何而定，十月間即有收穫者，旱地瘠土每畝收量約二十餘担，稻田肥地每畝收量約三四十担。多製菜脯之用，製法與普通同，每年出口約二百餘萬斤。

（3）芥藍 芥藍爲惠來最普通之蔬食，秋初即行播種，發葉三四片時移值，移植後約一月許遂可陸續摘收，每株收量約二三百斤。多於本縣各市場發賣，其經營管理與通常之種菜無異。

（4）油菜 種油菜者東區較多，晚稻收穫後，整鬆土地，將種子和以草木炭直接散播，多不中耕除草及施肥管理

，完全粗放。惟種時須聯絡農家在一處栽種，以便防禦放牧之害。種後至來年二三月間即可收穫，每畝收量約二三十斗，用以榨油為婦女擦髮用，其值較普通油為昂，故食者甚少。

以上所述之蔬菜類為出產較多者，此外尚有多種蔬菜，惟出產既少，種法亦甚為普通，故祇將其種名及栽種收穫時期列表如下：

種 類	播 種 時 期	收 穫 時 期
大 菜	九 月 間	十 二 月
白 芥 菜	五 月	十 月
莧 菜	二 月	三 四 月
芹 菜	十 月	十 二 月
葱	正 月	九 月
茄	正 月	四 月

(十一)果樹

(1)梅 梅為該縣北區土產，全區栽種甚多，尤以葵坑龍塘為最，每年產量約二十餘萬斤。果形如李，皮有短毛肉爽而味酸。栽植梅地以山麓傾斜地為多，間有植於荒地者，土皆乾旱瘠饒。其繁殖方法，以生長二年之實生苗木取為枯木之用，於春季接枝，一年後即可種植，每株距離約丈餘至二丈。植後每年中耕除草及澆灌一次，多於八九月間行之，并培以草土，絕不剪枝，四五月間見梅青熟時，即行收穫，用製梅脯梅餅之用。

(2) 柿 柿亦北區土產也，種植地勢與梅相同，播種亦用實生，約苗長二年，即行接木，越年便可移種。移植多在春季，接木則在冬季為多。管理方法與梅無異，惟間有寄生植物，須剪除之。收穫時期於八九月間每株可得三四担，每年總產額當在五十萬斤以上，除紅柿生食外，多製柿餅，大者售於安南，小者售於香港。北區產柿最多之地，為梅林葵坑高坡等處。

(3) 梨 梨亦產於北區為多，云落梅林出產尤富。梨之種類極夥，最普通者有大梨、凌霜、甜梨、軟梨、花梨。前三種果形較大，品質亦優，後二種果形較小，品質亦劣。植梨土地甚不選擇，雖在山嶺亦能種之，其種法以棠梨之實生苗為砧木，不拘大小，於冬季時施行接木，間有種植，亦多於冬季行之，每株距離以丈餘至二丈為適。管理粗放，非苗木時，多不灌溉，惟摘梨後，剷草培土一次。摘梨期間甚長，由六月起，以次採摘，至十二月間，全年總產額無統計，然每年運往汕頭南洋販賣者，為數不少云。

(4) 欖 欖於西北區皆產之，不過北區為多耳。欖有烏欖、黃欖之別，烏欖種類有大山車錐油種白露等種，黃欖則有紅心白心等種；烏欖多製欖角以為菜食，黃欖多製各種欖脯或生食之。植欖多在山地，種欖苗木，不須人工播種，多取天然野生，無論大小，於春季時移植於欖地，越年八月間即行接木，管理與梨柿相同。收穫時期，由九月起摘至十二月間，惟白露種，則限於白露時摘，蓋遲則有硬皮之弊。每年產量多少無統計，但查其銷售地方，烏欖多在汕頭，黃欖則多在南洋各地。

(5) 其他 荔枝龍眼菠蘿等果，各區皆種之，經營者每於山窩處栽植荔枝龍眼十餘株至三數十株，菠蘿則多植於岡邊境。栽植管理方法，與各處無異，產額多少不詳，本年七月間神泉市有振華罐頭公司一間，專收此種果類，據云一月間祇收買千餘元云。現該公司可以作業不精，故開辦一月，即已歇業矣。

## (十一) 畜牧

(1) 牛 全縣養牛以黃牛爲多，殆多用以耕田，專爲肉用者甚少。水牛每頭約值百一十元，黃牛約值七十元，水牛每日耕約四畝，黃牛每日耕地約三畝。普通飼料爲甘藷，諸苗，稻草，青草等，日開放牧於山荒草地，多由老人或小童司之，全縣耕牛約二萬頭左右。

(2) 豬 多爲肉豬，毛色以黑白花者爲多，純黑者甚少。每日飼養三次，普通飼料爲諸苗，諸渣（即諸粉渣），米穀糠，酒糟，豆壳菜葉等，多混和煮熟飼之，除日飼三次外，多不放牧。豬舍以木或磚造之，有用繩繫於安閒處者，每年產豬約三萬餘頭。

(3) 羊 該縣養羊以西北一帶爲多，概屬山羊種，最大群者約五六十頭。羊舍多用閑破之屋爲之，日開放牧於荒山草地，每年產羊總額約萬餘至二萬頭左右，概宰賣於本縣。

(4) 家禽 家禽以鷄鴨爲普通，而以鷄爲主要，鴨次之，鵝又次之。鷄鴨多以產蛋用爲主，最佳種全年每鷄至二百二十個，鴨約二百四五十個，間有三百餘個者，該處諺云「有食日日生，無食一日無」，鵝僅產三四十蛋。家禽每隻體量最重者，鷄約四斤至五斤，鴨約六斤，鵝約十一二斤。每日飼養三次，飼料鷄以米穀或糠爲多，鴨以粟及甘藷爲多，鵝以菜類甘藷及穀爲多。養鷄多在家屋附近放任行走，鴨鵝多驅於田湖草地及溪間就食，每年出產鷄鴨共約二千餘担至三千担左右，（兩籠爲一担）鵝則爲數極少，亦無統計。

## (十二) 森林

全縣山嶺雖甚多，而森林則極少見，惟北區一帶稍有蒼鬱之林。其主要林木以松樹雜樹爲多，杉木雖有而量極少

。天然林與人工林約畧參半，松木雜樹概作炭薪，杉木多作橋樑傢私用品。總之，該縣森林甚無足述，查其每年所產木炭，不過五六千担而已。

#### (十四) 農產製造

(1) 梅脯梅餅 每年製造梅脯梅餅約四萬餘斤，每百斤值約二十元，多運售於汕頭南洋各處。茲將其製法分述如下：

梅脯——摘採青熟之梅置入缸中，(每缸約四斗)和以食鹽兩大碗，將缸底側依壁間，以便轉動，然後一人坐於缸前，用兩腳攪擦之，至梅色呈黑青時撈起，連其原汁放入較大缸中，再加食鹽(視梅多少酌量加鹽)，侵之，如遇天雨則再多加食鹽，不可撈起；如天氣晴明，則浸約兩晝夜，即可撈起，舖於笪上晒乾之。晒時倘遇天雨，則須收入筐中，再加食鹽，以防其腐爛。總之，以達至晒乾為止，晒乾後用推欵其核，再晒乾之，即成普通梅脯，用筐裝置出售，每四担青梅約可製脯一担。

梅餅——即用製梅脯之法，至破核晒乾後，分別製為五味或八珍。前者味鹹，後者味甜。其製法如五味梅餅，則和以甘草五香粉等，煮後晒之；如製八珍梅餅，則用白糖煮之，至適度時，取起，置笪上晒之，至乾達七八成時，再撒白糖粘着其表面，即成梅餅，然其藥料之種類及分量之配合，業此者概秘而不宣。

(2) 五味薑 製造原料，究何種類，及其多少分量幾何，不能詳悉，因其秘而不傳，視為專利故也。該縣製五味薑者有三數家，而以方家意香齋之祖傳法製為最有名，據其所述，原料為梅脯生薑甘草五香粉四種，然他家仿製，則不如其味矣，可知其分量有適當之配合，而原料亦或不祇此也。其製造手續，將各種原料椿碎或磨碎為末，和勻搓擦成爲製麵之糕，用長約一寸五分，寬約一寸，高約二分之銅製方格爲模型，下置蕉葉，然後將和勻之糕，入於格內，

先用手撥平，再用一骨撥撥滑之，即去其格，留糕於蕉葉之上，以其葉滑易於取脫。旋晒乾之，然後每塊包白紙一層，復裹竹葉一層，再以紙包之，貼商標其上，每五包又包為一大包，即普通所賣每包一毫者是也。

(3) 柿餅 當柿未紅熟時，即行摘下，用銅或鐵製之劍，(形如蔗劍)劍去其皮，一一放於竹篩中，將篩置於木搭之棚上晒之，晚上亦任其披露，約二三日夜，每個用手壓之，俗名做柿，如是日乾日做，至乾約七八成時，則反置之，至晒乾後，則可收藏發賣；如遇天雨不能晒乾，則用所創得之柿皮和以硫磺少許烘之。其法於地下掘一穴，深約尺許，面積稍小於晒柿之篩，先置乾草少許於穴底，以為引火之用，草上撒硫磺少許，再置柿皮於其上，然後起火，將放於篩上之柿餅連篩置於穴上，用木蓋蓋之，使生蒸汽，至乾時取起，但此法所製之柿餅品質稍劣，因常帶硫磺之味，惟其外形色澤則較普通尤美云。

(十五) 輸品出

品名	額	數	備	致
青糖	約二百五六十萬斤		神泉關稅局調查	
菜脯	約二百餘萬斤		同	上
柿餅	約十餘萬斤		同	上
梅餅	約四萬斤		同	上
薯粉	約二萬斤		同	上



花生油	約五六千斤	神泉關稅局調查
木炭	約五六千担	神泉關稅局調查
鷄鴨	約二千餘三千担	地方稅調查
豬	約三萬頭	地方稅調查
魚蛋捐	年繳餉銀萬餘元	地方稅調查

### (十六) 農林前途之觀察

惠來年缺米食四分之一，實因水田不多，地方限制使然，無足怪者。惟其境內山嶺重疊，面積廣大，而柴薪極少，常人炊爨之需，多用乾草木炭，價極昂貴，每担乾草值銀六七毫，木炭則值四元左右，此種情形最爲農家經濟上之大困！而境內童山濯濯，舉目皆是，若謂土質不宜植樹，則野生松木之荒山，隨處可見；且北區之地，尙有蒼鬱之林，可知實非土質之不宜，亦非氣候之不適，乃不加經營之故耳。查該縣百瀨洋海、颶風時作，南部絕少林木，北部雖有多少，而種子傳播，無由得達，故欲天然成林，實不可能。爲今之計，非實行人工造林不可，但地屬官山爲多，而苗木又復缺乏，似宜先行設立縣苗圃以供給苗木，然後依照森林法，無價給與人民造林，方可補救也。

# 大埔縣農業調查報告 民國十六年

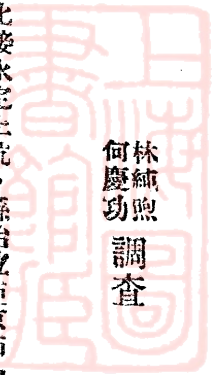
## (一) 位置

大埔在省之東北隅，介閩粵兩省之交，竄隣平和，西接蕉嶺，南與饒平錯壤，北接永定上杭，縣治位距京師中線偏東十二分，緯度在北緯二十四度三十四分三十六秒。分全縣為八個行政區域如下：

區分	位置	所在地	所轄地方
第一區	附城	在城北門外	長治甲長富甲大麻甲在城甲永興甲維新甲保安甲巖上甲
第二區	城西南	三河堤	三河甲
第三區	城南	高陵墟	源高甲古源甲
第四區	城西北	石上	石上甲青溪甲坪砂甲
第五區	城東南	同仁	同仁甲
第六區	城東南	白侯	白侯甲白寨甲大產甲
第七區	城西南	大麻	大麻甲
第八區	城東南	石雲	蘭砂甲

## (二) 地勢

大埔重岡複澗，交錯相望，全縣境內，迤邐崎嶇，約面積三百五十四萬二千六百九十四畝，境內山嶺約佔百分之



八十以上，平原極少。

(二)氣候

大埔氣候畧與梅縣相彷彿，夏秋之交，天氣常熱，其最高溫時約在華氏九十六七度；冬春之交，大氣常寒，其最低溫時約降至華氏三十五六度，然城鄉與山間之氣候，每生差異。大抵山居者寒久而熱暫也。每年必有霜期，早則十一月終，遲則十二月或正月，每次結霜約二三日而復收；又隆冬之時，水至冰結，亦埔邑所常見者也。

(四)農村教育狀況

埔邑教育之設施，雖未臻于完善，然亦尙可稱爲普及。查其全縣人口號稱十四萬左右，而小學人數約一萬七千餘人，(女生約百分之二三)中學人數約有五百餘人，而留學別縣者亦復不少。此外尙有私塾以補其不足，雖無極精密之統計，亦可見該縣教育普及之一班矣。茲將各學區之教育情形列表如下：

區別	初		中		高		國民		完全		失學兒童 佔%之幾
	校數	人數	校數	人數	校數	人數	校數	人數	校數	人數	
1	二	一八八	二	一一七	二二	七〇九	五	五八三			9
2			一	四三	一四	三七〇	三	二六七			13
3			一	八九	二一	六五四	二	二二五			15
4					九	二三〇	一	七五			11
5			一	六〇	一六	五三二	二	一八七			11
6			三	一〇八	二一	四八三					11



三五元而已，多不用担保之人物；此外尙有一種借貸之變象，名曰起會（即標會）。其起會原因，多因一人需要較大宗之款項，而又不願借貸，致負重債而難償，遂邀集隣里親朋之較有恒產者，組織一標會。其會金多少，隨會首（邀集起會者）訂定，當會友或曰會子別於會首也）邀定之後，會首定期設席之日，即會友繳款之時，是爲初會，其款概由會首領用。此後若干時日標會一次，或每次設席與否，則隨衆訂定，至第二次標會時，則以標最高利者得款，已得款者曰重子，未得款者曰輕子，輕子繳款須除去所標之利銀，如每人會金十元者，該次標利一元，則輕子祇繳銀九元，至於重子則須如數繳足額金，如是至各會友得滿後爲止，得末會者可得全會額金。

(4) 普通物價

(a) 肥料 人糞尿每担二毫半，豆麵每百斤約六元餘。

(b) 農具 犁每張約三元，耙每張約十元，鋤每張約八毫，鏟每張約三毫半。

(c) 農產 家畜——水牛每頭七八十元，黃牛每頭四五十元，肉豬每百斤約四十元，羊每斤八毫。

家禽——雞每斤約六毫半，鴨每斤約四毫，鵝每斤約五毫。

水魚——每斤約五毫。

作物——薯每百斤約二元，芋每百斤約四元，葛每斤約四毫，花生每斤約五毫，穀每石五元，豆每石二十元，麥每石約九元，油每斤約五毫，蔗每元約十六根。

蔬菜——葱每斤一毫零，蒜一毫，薤一毫，芹菜九仙，蕪半毫，芥菜三仙，茄半毫，萊菔三仙，菠菜一毫，白菜半毫，莧菜半毫，茼蒿一毫，芥藍半毫，蕪菜三仙，芫茜一毫半，豆角三仙，荷蘭豆一毫半，冬瓜四仙，苦瓜一毫，黃瓜三仙。

特產——黃麻每百斤十四五元，柴每担四毫半，草每担二毫半，黃竹每根約五毛，坭竹綠竹每根約七仙。

### (六)交通

全縣水道交通頗稱便利，有河流五道可通舟楫。一曰大河，發源於汀州，經上杭渡峯市而入埔境，再經石上青溪坪砂在城等甲，至城北門外流入永興甲而與清遠河及小河相會，是為三河而會入韓江，向大庾高陂而入豐順潮汕。是河自縣城北以上，祇通舟楫，以下可駛電輪，直達潮郡。二曰小河，此河其實不小，而小名者，別大河也。發源於龍川，南流會五華七都溪與興寧溪，經嘉應至蓬辣灘，入埔境三河埧，而共匯於韓江，亦能通電船，上達松口梅縣，下達豐順潮安。三日清遠河，其源一出南靖之象湖山，經平和而至赤石巖，始通舟入埔境；一出平和之長樂墟，經官宅至赤石巖下五里會焉。自此過大產，趨風朗，(蘭砂甲)北折白寨之南山，西北入同仁而匯注於三河，亦能通舟楫以達平和縣境。四曰銀溪，在三河下三十里，源出梅縣明山嶂聚埔之天門崑崙諸澗壑，至仙人坪始通小舟，流五十里而入韓江，(聞銀溪之魚無腥氣，其水滄衣不用漿粉云)。五日大靖溪，其源亦有二：一出平和界為漳溪，一出永定東洋為黃砂溪，合流為大靖溪，向西趨北繞縣治左，至天印山入神泉河，亦頗通舟楫，此外陸道交通，則多沿河關路。

### (七)水利

大埔水田概不能用各大河流灌溉，因田高於河床故也。其山畔梯田，賴山泉澗澗之流注；至於附村之平疇，則由溪澗作陂而灌溉，計全縣有陂約七十座，灌田約二萬餘畝。

### (八)耕地狀況

埔邑平原甚少，山谷迤邐傾斜，山畔有水之處，自麓而躋腰顛，皆陂級鱗次，作為梯田，沿河患水，叢植以竹，高亢旱地，雜栽副糧作物。附鄉田疇，有陂灌溉，則利植水稻。全縣土質，多屬輕鬆砂礫為多，砂壤次之。以地而言

，約畧平均原佔百分之三十三，山谷佔百分之十四，岡陵起伏地佔百分之七，山嶺佔百分之十，傾斜地佔百分之三十六。

### (九)作物

(1) 水稻 埔邑水田不多，統計全縣年產米額祇供三四個月之糧食，不足者多仰給於潮梅屬產米有餘之各縣。大埔水稻品種屬早造者，有粘有糯，糯有赤壳白壳二種；屬晚造者有潛粘番粘冬糯等，潛粘多赤壳，番粘多白壳。茲將其種植管理諸法述之如下：

播種移植時期 普通早造種於驚蟄前後播種，谷雨前後分秧，約四五苗為一叢，每叢距離約八寸至一尺，山田則每畝多十二三苗，因太陽照射時間稍短與水較冷，其分蘖力較弱故也。晚造種之潛粘於三月中旬播種，番粘於五月中旬播種，冬糯播種與潛粘同。至分秧時期，濕粘於四月尾五月初之間，早稻耘田之後，分插於早稻行間，番粘則於早稻收穫後約七月中旬至下旬時分秧，其法與早稻無異，惟插秧稍深耳。

管理及收穫 分秧後約半月即行耘田，早造多用中耕器，(有齒之小鐵耙)晚造多用腳耘，耘後施用補肥，有人工與資本者，常中耕三四次，施肥三四次。所用肥料，以堆肥廐肥作基肥，以人糞尿灰或肥田粉豆麵，和以草木灰，撒於禾根部為補肥，早造間施石灰一次。收穫時期，早造於六月中，晚造潛粘多在十月中旬，番粘十月下旬至十一月初，每畝收量早造約三石餘，晚造約二石餘至三石。

(2) 陸稻 陸稻亦曰畚禾，各區山居者間或種之，多於山之傾斜地或高亢地植之，四月間播種，用點播或條播，皆直播之，並不分秧移植。用廐肥或草木灰為一次基肥，種後中耕除草一二次，至九月間即可收穫，如生長期間雨水均勻，即可豐收，每畝約可二石。

(3) 麥 麥於各區之旱地皆有種之，而於三河之埧地種者較多，品種有大麥，(俗稱穀麥)小麥(俗稱米麥)。大麥多作家畜飼料，小麥磨粉爲人食用，或製糕餅。普通於十一月間播種，以點播及條播爲多，除播種時施用人糞尿灰爲基肥外，極少施用補肥，中耕除草不盡行之，收穫時期在翌年二月間。

(4) 粟 該縣各區皆有種植，粟有鴨掌粟(穗各鴨掌俗呼龍爪)，高粱粟，黃粟，多種於砂壩或高原旱地，與大小麥或甘諸輪栽，正二月間播種，三月中移植於畦地，多行列植。種時以草木灰爲基肥，及後施人糞尿污水等一二次補肥，中耕除草一二次，六月間即有收穫，磨爲粉作雜糧食用，或爲家禽飼料。

(5) 甘藷 該縣栽種甘藷甚爲普遍，幾至無家不有，概作副糧之食，殆無出賣。普通品種有赤白皮種紅皮白肉種黃皮赤肉種，多種於砂土旱地或沿河畔岸，正二月間下種，三四月間繁殖育苗，七月間移植於高畦，至十月十一月間，即可收穫，每畝收量約十餘担。其栽種手續管理方法，與各地相同。

(6) 蔗 埔縣所種皆爲腊蔗，大寧大靖松山北蒲合腊等處種之較多，品種均好，而以合腊產肥大多汁爲最佳。正二月間育苗，三月頃插植於高畦，植後中耕培土及施肥各約二三次，當莖長數節，見下部莖葉乾燥時，即行剝葉，如是陸續剝其乾葉，至九十月間，即有收穫，販於縣中各市，概作生食。

(7) 黃麻 縣屬第一區松山產黃麻特多，種於旱地。三月間播種，用條播法，直播於畦間。播後撒人糞尿灰爲基肥，然後用耙之，薄覆以土，俟苗發三四葉時，即行間拔，并施人糞尿污水或和以豆麵爲補肥，計二三次，中耕除草二三次，至七月中旬，即可收穫。

(8) 藍靛 藍靛惟同仁地方種之，多栽植於山麓旱地，四月間播種，十一月間收穫，其栽培管理各法，與各地同。



(9) 茶煙 縣屬食茶有大麻茶，陰那山茶，其品質以陰那山者為佳，然皆產量不多，絕無出口。煙則白候同仁附城等區種之，稍有出口。至茶煙之栽培管理及製造等法，一與普通各處相同，茲故從畧。

(十) 蔬菜

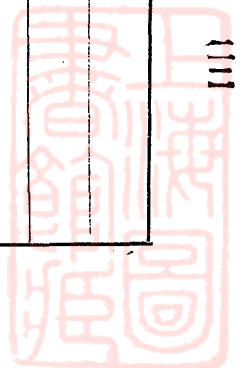
(1) 白菜蕺 該縣栽種菜蕺，以第一區之七倉垠汶水麻砂灣松山庵前等地為最多，其品種多出自潮州，大者重約三四斤，多製為菜絲，運售於潮梅各屬。其栽種方法，於寒露前後將種子用條播法直播於畦上，撒人糞尿灰於其面，生長後間拔一二次，中耕除草一二次，不用特別補肥，祇時淋水而已。至十一月中旬，即可收穫，計每畝收量約六七百斤，可晒菜絲兩担左右，每担值銀十一二元。

(2) 芥菜 芥菜之栽植，甚為普遍，六月間播種，發蘗二三葉後移植。其法先將菜地整為平畦，每距尺許掘一淺穴，苗即種於穴內，種後每隔三四日灌溉一次，并施以污水及稀薄之人糞尿肥，中耕除草一二次，至十月十一月間，即可收穫。除平時間有摘葉作青菜食用外，多於近根部用刀截取其全株，畧晒軟之，和鹽擦製，則成醃菜，每家貯二三甕，為家常便菜。

以上二種蔬菜為出產較大宗者，故特述之。此外尚有多種蔬菜，惟產額不多，而栽植方法又與普通相同，故祇將其品種及播種收穫時期臚列于下：

品種	播 植 時 期	收 獲 時 期
葱	六月間	八月間
蒜	六七月	九十月

荷蘭豆	七月	十一月終
狗爪豆	正月	七八月
豇角	正月	早三月遲八月
芫茜	七月	九十月
蕪菜	正二月	三四月
芥蘭	七八月間	十月十一月間
茼蒿	八月間	十一月間
莧菜	正二月	三四月
白菜	早四月遲六月	早六七月遲九十月
菠薐菜	八月間	十一月間
芋	正月	早六月遲至十一月
茄	二月間	四五月
薑	三月下旬	七月中旬
芹	八月間	十月終
蕪	五月初	九月



冬瓜	早正二月遲六月	早六月遲十二月
苦瓜	二月	四五月
南瓜	正月	六月
匏	正月	四五月

### (十一) 樹果

埔縣果樹栽植甚少，殆無足述，然雖鳳毛麟角而仍有果園一所，足為該縣果樹園藝之代表，茲特誌之如下：

園名 裕園永興公司，係私人企業，民國四年在農林部註冊立案。

地址 埔邑城西南五里許釣梨坪。

園主 張俊卿，埔邑人，民國元年以前，多經商南洋。

經營概況 民國元年時，租賃謝家山地兩面約三十餘畝，該地為赤色砂礫土，原生松蔴灌木蘆蕨之屬，雇工六七七十名，將之開墾，闢為果園。初時純植香蕉三千六百餘株，即於是年墾植完竣，以後年用長工十餘人管理園藝，不料所植之香蕉，三年之久，毫無收益，蓋因氣候不宜，冬季多霜故也。乃於民國四年，改植柑柚梨柿楊桃楓栗各種果樹，約共萬餘株，至民五年終，始改植完竣，但此已共報資二萬餘元矣。至民國七八年，遂漸有收穫，年約七八百元，及後以時局影響，兵燹迭遭，收成每至損失，因之私人資本，經已投盡，擬再集股維持，並事擴充，而又未果。卒於民十年復改作粗放經營，所有園藝之管理，概不雇用人工，至現在祇張君獨自看守而已。所有果樹大半凋殘，現在所存者，統計大小不過千餘株耳，每年尚能收穫二三百元，以柑柚梨栗楊桃橄欖為多，所有品種，皆出自廣州潮州，均已

接木之苗，運回移植，故詢其栽植手續，多不能詳也。

### (十二) 畜牧

(一) 牛 縣中養牛，以白荻同仁爲多，全縣之役用牛，肉用牛，多出自該兩處。普通每牛冬耕日可畝餘，春耕則日可二三畝。平時飼料以稈草爲多，役用時常以稀飯番薯等類，老牛間有飼以當歸酒者。價格每頭黃牛約值四五十元，水牛約值七八十元，年輕者曰活貨，年輕而牛相好者價昂，多養爲役用，年老者曰脆貨，年老或牛相不好者價廉，多爲肉用，至放牧管理諸法，與各地相同。

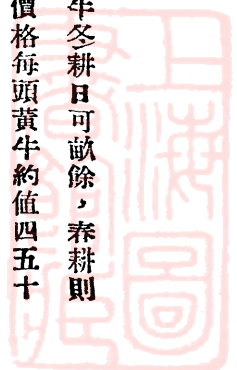
(2) 山羊 山羊亦於白荻同仁地方爲多，每群由十餘頭至四五十頭，母羊每年產子二次，間有一次雙胎者，除本縣宰賣外無出口，日間放牧於山野草地，由小童或老人司之。羊舍以空閒房屋爲多，宜乾燥，怕雨濕。

(3) 豬 該縣所養之豬，約有二種，一曰江西種，爲黑白花色，一曰本地種，爲純粹黑色，據土人云，本地種品質優良，肉味較美。全縣養豬約四五萬頭，多宰賣於本縣，餘則運售潮汕，普通飼料爲番薯籐米糠酒糟竹節草瓢杓菜及其他殘老蔬菜等，多混和煮熟飼之，日飼三次，小豬或四五次，多不放牧。豬舍多於屋內或房內用磚砌成，或用竹圍之，暑天豬舍不宜過於乾燥，及太陽照射，否則必至發病，寒天則宜多舖乾草，以免受凍。

(4) 家禽 口鷄鴨爲多，鵝則次之，就中以養鷄爲最普遍，每家必養鷄三數只至一二十只，鴨則常有專業經營，每群常至二三百只。鷄鴨之普通飼料爲米穀糠飯甘諸等，鵝在雛時飼以米漿及蔬菜嫩葉，長大時與鷄鴨同。雞多日飼三次，鴨鵝則飼二次，管理方法無特別處。

### (十三) 森林

大埔山嶺約佔全縣面積十分之八，而成林之山，又不過十之三四而已。其主要林木爲松杉竹類，然屬天然林多，



人工林少，惟杉竹林間或人造之耳。茲將其森林林木生植狀況畧述如次：

(1) 松 各區山嶺皆生松木，惟附近鄉村之地爲日常樵採之區，則多不成林，其離鄉村較遠或有人經營者，則稍有松林可觀。而成林之法，概屬天然林相，且以單純林爲多，間有楓杉竹木混生者，爲數甚少，正當砍伐年齡，須十五六年後，用途屬薪炭爲多。

(2) 杉 埔縣杉林，以第一區之漳溪，第七區之銀江一帶爲多，生於山谷之間。繁殖造林，多不用實生播種，普通以砍伐後所生之不定根芽留爲更新之用，其根芽常叢生數株，將弱者芟去，留一株至二株強旺之苗，此屬天然更新者也。間有人工繁殖更新者，則多先行育苗，其法將砍伐後所生之不定根芽，於附着母根之基部，用刀斫開，塗以粘濕之肥泥，使其生根後，使爲造林之苗木，亦有取杉木之枝條，或其不定根芽插於水泥中，使其發根後移植者。此法多於春分谷雨之間行之，種後每間一二年鏟草一次。砍伐年齡，至少須十五六年之後，始爲建築橋樑傢私之用，其大宗出售者，則絞成木排由水道駛往潮汕。

(3) 竹 埔縣產竹甚多，除各區與松杉混植於山嶺外，沿河患水之處植之尤多，高波之坭竹綠竹，石上洋揚等地之苗竹絲竹，均爲最著。茲將其栽植方法分述如次：

茅竹 擇竹枝較密之二三年生苗，於十月十一月間將根掘起，其與母竹相聯之母根，則截斷之，其他一條之子根（普通之竹有主根二條，一與母竹相聯，一則蔓延生筍者。）則須完全掘起，掘起後截去其梢，約留幹五六尺長，遂移植於種地，如天氣久晴，或土質乾燥，則須時灌以水，約植後二三年，可生新筍，普通砍伐年齡約在生長一年後。其用途多製篋簞竹器及絞爲竹排，由水道放至潮州出賣，又九十月間取冬筍發賣者亦夥。

坭竹綠竹 多植於沿河附近，其栽植方法甚爲普通，砍伐二三年生之竹苗，截去其梢，約留七八尺長，植於種地

，稍灌以水，即能生長，用途販賣與苗竹同。

(4) 桐 油桐樹，極少成林者，多散生於山脚溪澗坳地及家屋附近等地。其栽植法，將成熟之果摘下後，剝去外殼，即播於種地，先掘一穴，然後將種子播於其內，畧覆以土，生後不須移植，每年剝草一次或培以土，年三後有果結者為三年桐，七八年後結果者屬千年桐。其實為榨油之用，其麩及壳作為肥料。

(5) 油茶樹 各區畧有產之，為量均不甚多，概屬天然生長，鮮有人工栽種。其種植地勢多在山畔斜面，每年霜降前後收摘。摘後須剝草一次，不必特別管理，惟冬間須防止火燎，其茶子曬燥後，榨油為食用。

此外樹木種類有榕有樟有檫有漆有苦棟有烏臼等等，多混於松杉林中天然生長，人亦不注意其材，故無足述者。

#### (十四) 森林副產

松液楓液全縣出產年可數千元，茲將其取法分述如下：

松液 徑六七寸之松林，即可取液。其法於林身四五尺高處，將其周圍表皮剝去，以恰至組織層為度，初次所剝之面積，長約尺餘，剝後即有松液流出，至出完時，即剝取之；於是再將上部未剝之皮如法剝去，如法取液，至幹部剝盡為止。

楓液 長大之楓樹，其液必多，用一錐形之鐵鈎在楓樹之幹部周圍錐刺之，其液即可流出，於根部收集之。

#### (十五) 農林前途之觀察

大埔雖屬山邑，而水道交通，尙稱便利，欲求農林業之發展，似有可能之勢，然水田與旱地之面積有限，即以集

約的經營，其農作物之出產，亦不足以供給該縣之要需，故其最有發展之可能與必要者，厥爲林業與牧畜。緣該縣有水道交通之便利，則甚適於笨重木材之運輸，草生之山地面積廣大，則最合於山羊黃牛之放牧。今該縣之木材及牛羊雖有出產，而爲數不多，苟能加意經營，當不止十倍於現在也。查該縣森林不振之原因，殆因現在之生活程度異常高漲，普通農家，大都貧窘，圖近利而顧目前，尙恐不贖，生產過遲之森林，當然無力經營，兼之材木價格，已極昂貴，所有森林樹木，稍可成材，卽行砍伐出賣，砍伐後既不施行人工種植，復不嚴行禁止樵採，因之天然森林鮮能恢復，故現在埔邑之山嶺雖非完全禿濯，然亦大半祇有稀疏矮小之樹木而已。在此情況之下而謀補救之法，自當一面極力提倡勸導，并以實際利益補助農家，一面則強制限期造林，庶或有濟焉！

廣東農業概況報調查告書續編

大埔縣





# 平遠縣農業調查報告

民國十七年

林純熙  
何慶功 調查

## (一) 位置

平遠位居廣東之東北隅，北隣福建，西北界江西，東連蕉嶺，南界梅縣興寧。縣治位北緯二十四度四十五分，經度距京師中線偏西零度三十六分。全縣統屬十五鄉，即黃奮鄒坊豪居差干九鄉河頭東石埧頭大柘超竹石正大信長田小柘熱水是也。

## (二) 地勢

平遠山邑也，東西畧窄，南北稍長，東至蕉嶺界七十里，西至長寧界三十里，東北至武平界五十里，南至梅縣界一百里，西南至興寧界一百二十里，東南至梅縣界一百四十里，合計全縣面積，約共二百二十五萬七千九百六十五畝。境內山嶺重疊，已佔全縣面積百分之九十三四，平原土地，乃不過百分之五六而已。

## (三) 氣候

氣候與蕉嶺無大差異，年中氣溫以六七月間為最高，約漲至華氏表九十六度左右；十二月至正二月間氣溫最低後降至華氏三十四度左右，霜雪年常數見，其山間或地勢較高之處並時有結冰。據土人經驗，每寒至極時，必有結冰，冰散之後，必現晴暖云。

## (四) 農村教育狀況

該縣教育尙稱普及，惟經費支拙，設備未臻完善，計該縣現有高中一班，約三十人，初中四所，計學生六百餘人，

高級小學一十五所，學生約一千三百餘人；初級小學一百六十一所，學生約四千人，平均失學兒童約佔百分之五十。

### (五)農民經濟狀況

(1)農戶 農民中田主約佔百分之十，田主兼佃戶約佔百分之二十，佃戶約佔百分之七十，農家每戶平均農業勞動者約四五人，每農戶耕地面積約五六畝。

(2)田地價 水田每畝上等者約值一百八十元，中等者約值一百五十元，下等者約值一百二十元；旱地每畝上等者值約百元，中等者值約七十元，下等值約四十元。

(3)田地租 每畝水田每年納穀上等約三石五斗，中等約三石，下等約二石左右；每畝旱地年納租穀上等約一石五斗，中等約一石，下等約六七斗。

(4)人工價 長工每年工資約四十元，短工忙時每天男工三四角，女工二三角；閒時每天男工約二角，女工約角半，概供膳食三餐。

(5)肥料價 人糞尿每担約二角，石灰每元約百五十斤。

(6)農具價 犁每張約二元，耙每張約八九元，鋤每把約一元，鐮每張約四五角。

(7)農產價 水牛每頭約值五六十元，黃牛約值三十元，豬每百斤約三十四五元，羊每斤約五角，馬每匹約五十元，駝每匹約六七十元，騾每匹約百元至百二三元，雞每斤約五角，鴨每斤約二角半，鵝每斤約三角，魚類每斤約二角半至三角，花生每斤約二角半，穀每石約七元，豆每升約三角，麥每石約九元，油每斤約四角，蔗每根約一角。

蔬菜——芹菜每斤約六仙，蒜每斤約半角，葱每斤約八仙，芥菜每斤約二仙，蘿蔔每斤約三仙，芥藍菜每斤約三仙，(銀計)

果類——梨每角約斤半至二斤，柿每角約三斤，桃每角約二斤半，李每角約二斤。

特產——嫩茶葉每元約一斤，粗茶葉每元約二斤半，乾柴每担約三角，木炭每担約八九角，乾草每担約二角半，苗竹每條約三四角。

(8) 借貸情形 當地農民每年常借貸者約有百分之七十，其中借貸糧食者約佔十之六七，借貸錢款者約佔十之三四。普通借穀還穀，借錢還錢，通常利率月息二分五厘，高者至三四分，低者二分。借貸大宗錢款，多以不動產業作抵，有所謂檢穀錢檢油錢檢茶錢者，以農產品抵押者也。當農產收穫之後，即償以穀油茶葉，比通常市價須低廉頗多，一般借貸者多為農民，因衣食不足者約佔百分之六十，習染不良嗜好及為婚喪疾病而借貸者約百分之四十。借貸者最多時期為三四五月及年關，即農民經濟最困難之時。其還債時期不一，大抵於收穫後或年尾為多，前者為農民經濟富有時期，後者為一般產糶買賣結算時期也。該縣商務不發達，縣中亦無當舖，金融周轉，異常困難，惟東石鄉之鐵礦，石正鄉之煤炭，頗能補助農民之經濟。

### (六) 交通

平遠僻處山隅，舟車不通，行李往來，極感困難，由縣西至江西，北至福建，西南至興寧，東南至梅縣，雖有孔道可通，亦須循陸步行，肩挑輪運；惟東北至蕉嶺，由下垌墟民船可達，及東南至新舖，由垌頭可用舟楫往來耳。

### (七) 水利

平遠雖無巨津大湖，而各鄉多有幹流溪澗，可供灌溉。該縣十五鄉中，除東石大拓兩鄉之腹地面積較灑，溪澗不多，常有旱患外，餘均水利無大缺者。

## (八) 耕地狀況

該縣可耕田地約一十二萬餘畝，其地勢畧平，約平原佔百分之四十，山谷佔百分之十二，岡陵起伏地佔百分之八，山嶺佔百分之十三，傾斜地佔百分之二十七。其平原傾斜地及山谷多作水田，俱種水稻，岡陵起伏地則種以甘藷豆類粟麥等作物，山嶺則植油茶之類。以土質言之，北部西部如黃畚鄒坊豪居差干九鄉河頭大信等鄉，多屬粘壤，東南部及中部如東石埧頭大拓超竹石正長田小拓熱水等鄉多屬砂壤。因之冬耕方法，亦有不同，屬粘壤之部，以人力爲多，屬砂壤之部，以牛犁之爲多（統稱爲轉霜田），前者其水田晚稻多種以滑粘，後者多種以番粘，所有耕地多無旱患，惟東石大拓以鄉村腹地較廣，溪澗之流不多，每於雨量不多之年，常覺用水缺乏耳。

## (九) 作物

1 水稻 該縣栽植水稻面積約十萬零畝，豐稔之年，總產額數當在六十餘萬石，加以雜糧之補助，足供民食而有餘，計每年出口約數萬石，以銷售於蕉嶺之新舖墟爲多。茲將其水稻品種以及栽種方法分述如次：

早造種 粘類有烏尾早細穀早大穀早冷水白赤早穀蜜油雪等，糯類有早禾穀早糯穀等，就中以細穀早大穀早之栽種爲最普遍，冷水白赤穀早次之，烏尾早又次之，蜜油雪則限於長田小拓熱水等鄉爲多。赤穀早抵抗病虫害力較強，收量亦多，惟品質稍遜，蜜油雪則收量較少，而品質優良，因其甜香如蜜，滑潤如油，不經杵臼，色白如雪，故名之也；其餘品質收量均屬平常，不過收穫時期有遲早之別耳。其播種時期，早者在雨水節，以剷秧爲多，遲者在驚蟄節，以拔秧爲多。其播種秧田，普通於冬耕後（各鄉冬耕法參觀耕地概況）須行燒土一次。其法將土塊砌成窰形，中實以乾草或稻草，用火燒之，至翌年行將播種時，將窰拆散，并撒以廐肥，灌之以水，用牛耕爛其土，（早稻春耕大

概如是)再以牛曳木梯壓平其土，然後用樹枝或稻草爲界，分爲若干區域，卽行撒播種子。其種子多用水浸過，經已萌芽者，播後三數日，將水挑去，使露曝於日光，但以表土不致乾爲度，及後施人糞尿水二三次，於谷雨前後至立夏止，爲分秧時期。剷秧於谷雨前數日，用鐵剷將秧苗表土一同剷起，分植於稻田，早稻較晚稻插秧宜淺。農諺云：早仔插泥皮，番仔插泥骨，卽言其深淺也。早稻分秧後約二十日左右，用有齒之中耕器耘田一次，耘後間有再施廐肥者，再後約六七日又耘一次，則用足行之，耘後多施以石灰一次。其收穫時期，烏尾早及蜜油雪多在小暑前後，細穀早於大暑節前後，其餘則於大暑後約數日爲多。

晚造種 粘類行割頭禾潛粘穀番粘穀，糯類潛粘穀大冬禾穀大冬糯穀等。其割頭禾多限於表土深爛之水田種之，故不甚普遍，潛粘穀多種於土質粘韌不易秋耕之處，或恐水利有缺，不能秋耕。難種番粘者，爲西北部各鄉及山田概行種之。東南部各鄉則參半種之。其播種時期，除番粘穀於芒種時播外，其餘俱在清明節行之。分秧時期，其潛粘穀潛糯穀大冬禾糯穀等，俱於芒種前後插植於早稻行間，迨早稻收穫後，將早稻禾頭用脚踏入坭中，是爲踏禾頭。踏後撒以早稻稈(多已腐熟者)或廐肥後，再用脚耘田一二次，或施以石灰。在東石鄉由大河灌溉之田，則須於耘田二次後排去其水，晒至土成白色，然後灌之以水，其苗始易長大云。所有晚稻皆如是。至於番蕉穀則於早稻收穫後，將其禾頭用牛耙之，計橫直各一次後，再數日又耙一次，使其禾頭反起，然後用轆軸輾過，使禾頭盡沒於坭中，畧灌以水，任烈日薰蒸，禾頭自易腐爛，於是每隔數日，用轆軸輾過一次，並撒以廐糞或廐肥，至立秋前後三數日內，卽行插秧，約二十日後，用脚耘田一次，耘後多用人糞尿灰塞於禾之根部，以後每隔七八日耘田一次，計前後共耘三次。其割頭禾則於芒種時期將其秧苗拔起，移植於早稻田中(每叢數十苗)至早稻收穫後，又將移植之秧苗拔起，割去其根鬚，約留其根基部一二分爲度，並割去其葉，然後分插於稻田，每叢至多不過三苗。因其分蘗力異而強大故也，其施肥耘田與香粘穀

無異，惟分秧時期須早行半月左右。其收穫時期，潛粘糯等於霜降節爲多，香粘穀於立冬前後數日爲多，割頭禾則爲最遲，當在立冬後小雪前始行收穫。

八月粘 此種每年栽種祇有一造，限於山田種之。其栽培方法與蕉嶺相同，茲不再贅。

(2) 麥 該縣麥作極少，惟中南部數鄉間或種之。普通所種多屬小麥。其播種時期在十月十一月間，種於甘諸或晚造稻跡地爲多。其種法先將土地犁起耙鬆，整爲平畦，撒以廐肥或鷄糞肥爲基肥，用散播或條播，以後多不施用補肥，至翌年三月間可收穫。年來麥作極少豐收，因抽穗期間每受雨害云。

(3) 甘諸 該縣普通所種爲紅皮白肉種，黃皮白肉種及赤皮紅肉種。前二者收量稍多，西北各鄉純種此種；後一種品質優良。惟東南中部各鄉多種之。其下種育苗之時期與方法，與蕉嶺無異，至移植時期，則有遲有早，其早者於五月間，多利用晚造種潛粘糯之秧跡地種之；遲者於六七月間種於稻作豆作之跡地爲多。其收穫時期，早者七月，遲者十月，每畝收量約二十担左右，爲農家之主要別糧。每年七八月後，農家每日多食諸一餐，以代午飯，平均計算，每家之甘諸約可當一二個月之糧食。其栽培方法，與他處亦相同。

(4) 落花生 花生多與甘諸小麥輪栽，或與黃豆混植，該縣所種以大莢種爲多。普通種於砂質旱地，二月間穴播於平畦，每穴種籽四五粒，同時施以人糞灰或草木灰，然後薄覆以土，至清明後見萌芽不齊者，則行補植一次，及後中耕除草二次，至七八月間收穫。每畝收量約一石餘至二石，多製爲鹹乾或鹹酥食用。

(5) 棉 該縣所種之棉似以鷄腳種爲多，各鄉種者多植於田基之上，每與黃豆間植，至特別栽種種之者，惟長田鄉有之，其種於田基上者，其土每年冬耕時，更換一次，三月間播種，先將土整鬆，作成橫列小畦，高約四寸，濶約六七寸，畦上復鋤一淺溝，種籽即播於其間。其種籽於將播時，多用人糞灰擦過，種後有施以鷄糞肥者，有淋以人糞灰

污水水等肥者。中耕除草約二次，由七八月至九月，俱為收穫時期。

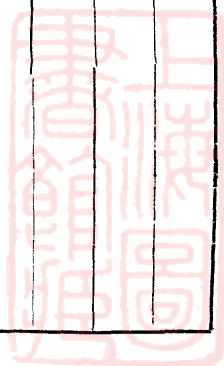
(6) 茶葉 該縣產茶每年總額約三四萬斤，以東石鄉為最多，年產萬餘至二萬斤；次為河頭鄉石正鄉，年產各約六七千斤；又次為小柘鄉，年產三四千斤，其餘各鄉尚有栽種之者，惟產額極少，大都為自己食用而已。其炒製方法，以石正之群益茶業公司為最精，裝置亦用罐頭。至食味甘香濃厚，則以東石鄉之錦合茶為著。年來該縣經營茶業，日有起色，如東石鄉原來限於山居者種之，今則附近鄉村之田亦極意經營矣。石正鄉私人栽種者日多，羣益茶業公司現已墾植面積約二十畝左右，年產茶葉二千餘斤。其預算經營面積約四百餘畝，苟能墾植完竣，則該公司之出產可達現在全縣之總量。查所有種茶地勢，以山畔山麓為多，其土質輕鬆肥度較良者，則新生嫩枝甚長，製出之茶，多附茶梗，品質較粗，如東石小柘之茶葉是也。茗土質堅韌又屬黃色土，則枝幹短小，葉極密生，摘製之茶，品質較嫩，如石正超竹之茶葉是也。各鄉之茶，除本縣食用外，多由蕉嶺梅縣與寧等縣之茶商來縣收買。至其栽培炒製等法，一如通常所見，不必贅述。

### (十) 菜蔬

該縣所種蔬菜無大宗可述，栽培諸法亦與通常者無異。茲僅將其品種、名稱、栽植、收穫、時期，舉列如次，以供參攷。

品種名稱	播植時期	收穫時期
芥菜	七八月	十一月
芥藍	六七月	八月至十一月
白菜	六七月	七月至九月
韭菜	隨時可種	隨時可收
芹菜	八月	十月至翌年正月

生 菜	七八月	十月至翌年正月
瓢杓菜	八月	十一月至翌年三月
通 菜	正月	三月
莧 菜	正月	三四月
茼蒿	九月	十二月
菠 菜	九月	十一月
椒	三月	五月
茄	正月	五月
火 葱	七月	十一月
四季葱	隨時可種	隨時可收
羅 蔔	八九月	十一月
絲 瓜	正月	五月至八九月
苦 瓜	正月	五月
冬 瓜	正月	八九月
黃 瓜	正月	五月





南瓜	正月	五六月
荷蘭豆	八月	十二月
麥豆	九十月	翌年二月
蠶豆	九十月	翌年二月
綠豆	三月五月	五月八月
白米豆	五月	八月
刀板荳	正月	七月
荔荳	正月	九月
四季荳	二月	四月
迎花荳	三月	九月
狗爪荳	三月	八月

(十一) 果樹

該縣果樹有桃李梨柿柑橘之屬，河頭鄉畧有桃李出產，為量已少，品質復劣。東石鄉之梅子畚一帶，近年稍有栽種柑橘梨柿者，每年出息不過二三百元而已。石正鄉之猪畚尾上下雙等處，產梨柿頗多，惟多屬隔年果樹，土稱為大年小年，即間年豐收之謂也。當豐收之年，梨之出產不下二萬餘元，柿之出產年不過萬千斤耳。茲將其梨柿品種栽植



方法畧述如次：

(1) 梨 石正鄉之種梨沿革，想甚久遠，現在每年必有駁植，而百數十年之老樹亦尚有留存。其品種大別有二：一曰香水梨，皮色稍青，質較甜嫩，果熟時期在五六月間；二曰青梨，皮色帶赤，質較粗硬而含澀味，惟至足熟時期，則頗具濃香，其成熟時期較前者常遲一二月。至栽植方法，則無異樣，概用接木繁殖，以野生棠梨為砧木，以二年生之梨枝為接穗，先取野生棠梨，於春季時移植於種地，移植後不必限年接木，砧木大小亦無甚關係，小者接穗一枝，大者接穗數枝。據土人云：接穗一年後，即可與原來砧木同高云。其接木時期，在冬末春初之間。

(2) 柿 該處所種有水柿合柿小柿三種，其苗木形狀無大差異，惟果形大小品質優劣，迥有不同。水柿為品種最優者，其果形碩大而核少，質味甘甜，製為柿餅，極為軟韌，而畧有透明。據土人云：將水柿餅浸以蜜糖，為治熱咳症之良劑云。故價格極昂貴，每塊約值半角。合柿果形大小，與水柿畧相彷彿，非熟練者，亦不易判別，惟品質稍遜并無藥用之功云。以上二種之柿，栽植不多，聞其駁植較難，而植有水柿者，亦視為奇貨，不肯任人駁植故也。至小柿即為普通之柿，果小而核多，當半黃熟之時摘下，除用鹽水或石灰水浸過作為生果之食外，餘多製為柿餅。

## 十二畜牧

(1) 牛 該縣之牛，全為役用，每農家養牛一頭者約佔百分之六七十。一般肉用之牛，多買自江西，近年發生牛瘟不絕，尤於十六年中為最甚，計全縣斃牛總在千頭左右。聞其染病之牛，即不食草，不反芻，鼻唇燥熱而無汗，眼精紅赤，并出眼屎，大便泄瀉，筋肉頻頻顫動，重者六七日而斃，輕者至半月而斃。農村中無獸醫專家，農民束手無策，間有飲以涼劑，亦無效驗。至其平日之飼養管理等法，則與各縣相同。

(2) 豬 該縣豬種多出自江西，大都爲黑白花色，每農家無不養之，人口少者飼養小豬一只，人口多者或米販家則飼養大豬一二只以至五六只，蓋因廚房遺棄米糠糟粕等有多少不同之故也。若釀酒之家或豆腐商，則養母猪或乳猪爲多，因其糟粕適於母猪之飼料，豈渣則適於乳猪之飼料故也。計全縣每年養豬不下二三萬頭，除本縣宰食外，多由蕉嶺之猪販商收買出口。其飼養管理方法與猪舍式樣，與各縣大抵相同。

(3) 馬類 該縣養駟騾馬類共約六七百匹，概爲負運鹽米之用，對於農業上雖無關係，而於農民經濟則頗有裨益。查其每匹駟騾馬平均每年負運鹽米可賺二百餘元，其價格每馬一匹約值五六十元，駟每匹約值七八十元，騾每匹約值百元至百餘元。平時放牧於草地，負運時須特別飼以米穀或青草，月中必須用藥材或老松皮糞尿擦其筋骨一二次。其馬舍與牛舍相同，俱以房屋爲之。

(4) 家禽 家禽以鷄鴨爲主要，養鵝者甚少，每家養鷄三數只以至數十只，大抵人口較多之家，或家屋附近多空餘草地者，養鷄常多。所養鷄鴨大都爲自己卵肉之用，故該縣鷄鴨鮮有出口，卽江西之鷄鴨商亦常販買雞鴨於該縣。至其飼養管理以及禽舍構造，俱與他處無異。

### (十三) 森林

該縣山嶺面積，約畧有七百萬畝，而現有森林之面積，約佔其三分之二，因沿鄉山嶺，必爲樵採之場，除少數家屋附近有區區之保安林外，均爲荒廢童山。此種荒山，多屬官有，惟以就近人民之樵採習慣上，則佔有其所有權矣。至於成林之山，大都爲私人所有，以松林爲最多，杉林及油茶林次之。其森林樹種卽以此三者爲其主要，其餘桐梓檫栲苦棟烏拍冬青楓樅枳椇等類，亦爲常見樹木，惟其數量不多，且多混生叢生，不能成林，故該縣之主要森林，卽松杉油

茶三種而已。其松林成因多屬天然構成，林相亦以單純爲多；杉木林則人工林與天然林約畧參半，其構成林相，亦以單純林爲多，但松杉混生者亦在所多見也。至於油茶則多屬天然生長，不過加人工管理，後始自然成林。總言之，該縣之森林樹木，由人工栽植者，惟杉與桐耳。茲將其栽植之法，畧述如次：

(1) 杉 據該縣工人云，欲伐杉木如在冬季行之，則其頭不能萌發新苗，故該縣杉木多在春季砍伐，其未砍伐之先，因材用關係，須行剝皮，但欲其萌發新苗者，則不可剝至過近根部。每年春分前後十日之內，爲繁殖杉木之適當時期。其法將杉木頭所發之新苗，除留一二株爲原處更新之用外，餘皆用刀砍脫，其砍脫之苗，放置一夜後，即可爲繁殖之用，惟其砍口須斜向一面，如其斜向在生長原地之陰處者，則移植於他處亦須斜向於陰處。其種法有用木尖鑿穴者，有用鋤掘穴者，其所用木尖形狀，須與杉苗之斜砍口相同，使苗與穴能成叠合之勢，其穴鑿好，即將杉苗插入，整實其土，即能生長；如用鋤掘穴者，則插入杉苗時，須將其砍口之斜面向於鋤跡之面，(大抵鋤跡在山之上面)然後整實其土，即可生長。

(2) 油桐樹 油桐樹植於山窩或溪邊爲多，其栽植方法，須先行播種育苗，於寒露時摘下桐實，使其外壳腐敗後，於十一月間播於圃地。其土質以輕鬆爲宜，播種不可過深，以表土能遮蓋桐實爲度。播後不施肥，不灌溉，至翌年五月間，始能萌芽，再一年後，於春季時即可移植三年桐，植後三年，可有結實，千年桐則在七年後始有結果云。

#### (十四) 農林前途之觀察

平遠農業，悉於單純稻作，年來迭遭虫害，收成日減，亦無法救治，長此以往，將益不振！然該縣糧食現仍足用有餘，且毗連閩贛產米之區，卽或有缺，亦無大患，而在此情形之下，其單純稻作之習慣，儘可改良，或與棉麻特作

輸載，或從事種桑養蠶，均無不可也。至於林業更有振興之必要，不過目下情形，尚有兩種困難，一則交通不便，一則樵採難禁也。蓋森林材木之運輸，端賴運費之低廉，必河流四通，出口方便，始有利可圖。今該縣各鄉雖有利用涸溪放木者，但水少而石多，須俟春水漲時，始得行之，且有須用人工運數十里而始達者，苟非亟行開闢公路，則困難不能免也。至於樵採問題，則目下尙形困難，因鄉村人口稠密，若禁止樵採，則炊薪將無所出，惟該縣石正鄉出產煤炭頗富，似宜收爲全縣公營，定以最廉之價格發售，以補柴薪之缺乏。然後由政府禁止砍伐森林，庶或有濟。現該縣由韓江治河處派員設立苗圃一所，其意亦欲振興森林，然對於交通及樵採兩問題，似不可不先行解決也。

廣東農業概況調查報告書續編

平遠縣



# 蕉嶺縣農業調查報告 民國十六年

林純熙  
何慶功  
調查

## (一) 位置

蕉嶺縣在省之東北隅，東界大埔，南界梅縣，西界平遠，北接福建上杭。縣治位北緯二十四度三十五分二十秒，經度距京師中線偏西零度二十分三十八秒。分全縣為三個行政區域，統屬一十三鄉，茲臚列如下：

區分	位置	所在地	所屬鄉名
第一區	縣之東北部	縣城內	興福，白馬，文福，廣福，高思，藍坊，南北石礫等鄉。
第二區	縣之中西部	三圳墟	拾福鄉，徐溪鄉。
第三區	縣之南部	新舖墟	金沙鄉，同福鄉，豐樂鄉。

## (二) 地勢

蕉嶺亦山邑也，東西畧窄，南北稍長，全縣面積一百七十六萬七千五百八十二畝。山嶺約佔百分之九五，嵩山峻嶺極多，平原甚少。

## (三) 氣候

蕉嶺氣候與梅縣大埔畧相彷彿，六七月間氣溫最高，約漲至華氏九十六七度，十二月正月氣溫最低約降至華氏三十四五度。冷熱時期各約三個月，但山居者冷常久而熱常暫，因有山林之調護故也。年中十二月正月常有霜霰，山水亦常冰結。

(四) 農村教育狀況

蕉嶺教育年來日有進步，茲將其各學區學校人數表列如下：

學區	初中或高中		高級小學		國民小學		完全小學		平民學校		失學兒童佔百分之幾%
	校數	人數	校數	人數	校數	人數	校數	人數	校數	人數	
第一區	兩級	四七三			一五	七八二	七	二七五	七	二八五	13%
第二區			一	二三六	七	五四九					15%
第三區				一一八五	一四	九一九	三	七六三			14%
第四區					四	一七三	三	四〇三			14%
第五區					五	二二六	二	二六五			14%
第六區					三	一三四	一	一〇〇			15%
第七區					四	一七二	一	七七			18%

(五) 農民經濟狀況

(1) 農戶 農民中田主約佔百分之十，田主兼佃戶約佔百分之四十，佃戶約佔百分之五十。農家每戶平均農業勞働者約五人，每農戶耕地面積約五六畝。

(2) 田地價 水田每畝上等者約值一百八十元至二百元，中等者約值一百五十元，下等者約值八十元；旱地每畝上



等者約值七十元，下等者約值三十元。

(3) 田地租 水田每畝每年納租穀上等約二石，中等約一石二斗，下等約七斗；旱地每畝上等約一石，中等約五斗，下等約三斗。

(4) 工價 長工每年工資約一百元，短工忙時每日男約三角，女約二角半；閒時每日男約二角，女約一角半，概供膳食三餐。

(5) 肥料價 石灰每元約一百二十斤，人糞尿每担約二角。

(6) 農具 犁每張約值二元，耙每張約值八元，鋤每把約值一元，鏟及中耕器每件約三四角。

(7) 農產價 耕牛每頭約五六十元至八九十元，豬每百斤四十元，雞每斤六角，鵝鴨每斤四角，魚類每斤三角，穀每石約七元，麥每石約七元，豆每石約十五元，食油每斤約三角五分，臘蔗每根約半毫。

蔬菜類——芥菜每斤二仙，芥藍芹菜茄荷蘭豆紅蘿蔔等每斤半毫，葱蒜黑豆等每斤一角，苦瓜每斤二角，白蘿蔔每角三斤。意豆赤米豆每升二角，白米豆綠豆與米價同。

果類——桃李每角二斤，柑桔每角一斤，香蕉每角四五條。

特產——黃坑茶葉每斤約二元，普通茶每斤約一元，棉每斤約八角，柴每元約三百斤，松炭每百斤約八九角，雜木精炭每百斤約一元四五角，草每百斤約二角半，苗竹每條約四五角，坭竹每元約十五條。

(8) 借貸情形 當地農民有百分之八十須借貸者，錢款約佔百分之八十，糧食約佔百分之二十。其借貸原因，多因糧食不足，故三四月間青黃不接之時，農民經濟最窘之際，借貸者即於此時為最多。通常利率月息二分，低者一分，高者至三分。借貸人多屬農民，債權人多屬田主商人，其借貸手續，除用不動產業或農產農具等抵押外，尚須親屬

在場見証立字簽押，或殷實商店代為担保。借款期多不一定，大抵大宗借款多於年終結算籌還，少數借款多於農作物收穫後償還。此外尚有起會之舉，或銀或穀，其組織法與大埔縣同。縣中有當舖二間，長年月息二分五厘，稍可濟農民之周轉。

### (六)交通

石窟溪為該縣之巨津，導源於武平，由平遠下填入縣境廣福鄉，經城南沿興福徐溪金沙同福等鄉東會於程鄉鑊子渡，可通民船，森林材木亦藉茲輸運，又徐溪導源平遠，自填頭經柚樹入縣境徐溪鄉，會于石窟溪，亦可通民船，平遠之鹽米運輸雜木出口，概利賴之。此外陸路交通有孔道三：一往福建，一往平遠江西，一往梅縣，所有肩担者，多循之。

### (七)水利

蕉嶺原田有九萬餘畝，但有陂灌溉及水利較便者不過四五萬畝而已，以故雨量不多之年，田多患旱，大抵該縣稻田早造無旱患者可佔十之八九，晚造無旱患者可佔十之四五。因大河之水，不易建陂，山澗溪流，不能周注故也。

### (八)耕地狀況

蕉嶺可耕地約十萬零畝，近山者地勢多傾斜，近鄉村及沿河者則平疇為多，有水利者栽種水稻，患旱者栽種雜糧或甘蔗。該縣土質多屬輕鬆，黃色砂土最多，灰色壤土次之。

### (九)作物

(1)水稻 該縣年產米額大都不足供全縣之糧食，但缺乏多少，實難統計。蓋閩南贛南平遠等地出口之米，多經

其地，該縣亦多米商或由外地販入，或由本縣販出，不一而定。至該縣小稻品種，大別之可分爲早造種晚造種與八月粘。茲將其栽種管理法分別述之如次：

**早造種** 有九黃禾大細穀山茶旱西洋粘短麻早花羅粘等。播種時期，早者在雨水節，普通多爲割秧，遲者在驚蟄節，以拔秧爲多，概用手撒播之。在育苗時期，須施人糞尿肥三四次，於谷雨節前後分秧，早造多不用基肥，耕田後始施各種糞灰於禾之根部，爲第一次肥，再半月後，施以石灰，爲第二次肥。在生長期間，耘田二三次，俱用有齒之中耕器行之，至大暑立秋間，即可收穫，每畝收量約可二石餘至三石，爲主要糧食之用。

**晚造種** 有潛粘遲潛粘及番粘（又名白穀子）。潛粘於清明節播種，番粘於芒種節播種，其法與早造同，惟育苗時期須注意挑水；潛粘於五月初分秧，潛粘於早稻禾行間植之；番粘則於立秋前後植於早造收穫後之跡地，其番粘在未分秧之前，須先施以基肥，以堆肥厩肥爲多，分秧後耘田二三次，多用腳踏之，耘後施人糞尿灰及石灰一次。早潛粘於立冬前數日收穫，遲潛粘及番粘於立冬節或後數日收穫，每畝收量約可二石許。

**八月粘** 每年祇種一造者，多植於山間之冷水田，於驚蟄節播種，其法與普通水稻無異，谷雨節後即行分秧，每叢苗數須較普通水稻爲多，因其分葉少也。分秧前施厩肥或堆肥一次，至分秧時，其每叢之根部須用牛骨灰蘸浸一次，然後插下，至半月後，復施石灰一次。耘田與早稻同，九月月間可收穫，每畝收量約三石左右。

**牛骨灰肥之製法** 向牛屠戶收買之牛骨，放入鍋中，其鍋底穿一小孔，下置一小瓦甕，其甕身須埋入土中，祇露出其口，其盛骨之鍋上，復蓋以一鍋，然後鍋之上下四周，滿鋪以穀壳燒之。其鍋中骨油從鍋底孔中流下瓦甕，至牛骨燒至酥脆時取出，用白粉碎之，復將其原油和入攪拌之即成。

(2) 小麥 該縣種麥極不普遍，惟附近城東山一帶多種之，與甘稻作輪栽。十月十一月間播種，多用條播或散

播，播種前已施堆肥厩肥等，則以後多不施補肥；如未施基肥者，則播種時施人糞尿灰一次，間有苗長五六寸時，淋以人糞尿水者。以後不再施肥，亦不中耕除草，至翌年二三月間，即可收穫，每畝收量約可石餘，聞近年收成日減云。

(3) 甘藷 該縣各鄉皆種甘藷，多與稻麥豆類等作輪栽，其普通之品種為紅皮白肉種及赤皮紅肉種。前者葉之缺刻較深，諸肉稍堅而味淡；後者之葉畧如三角，肉質鬆脆而味甜，高亢地水稻跡地俱可種之。播種時期，於正二月間選得大小適中而無病虫害者，埋於田基或園圃，俟其發芽生長，至三四月間，其苗長至丈許，遂刈取其苗，約每尺許，繁殖於育苗圃地，至六七月間，一如育苗繁殖時刈取其苗，移植於蒔畦。其整地方法，與各地相同，種時施基肥一次，以厩肥堆肥或草木灰為多，及後不施補肥，惟須中耕除草及捲苗二三次，遇雨量過少時，須灌溉一二次，至十月十一月間，即可收穫，每畝收量約可二十担左右，為農家之副糧食品。其食法有二：一蒸熟食，一將諸切碎曬乾，磨為粉，煮糕食之。

(4) 豆 該縣所種，以黃豆為多，黑豆次之，多種於砂質壤地及高亢旱地，正二月間播種，播於平畦，用行列點播法，施人糞尿灰為一次基肥，及中耕除草一二次，六七月間收穫，每畝收量約可石許。其黃豆多製豆腐用，黑豆多製豆豉用。

(5) 甘蔗 該縣附城各村種者多臘蔗，新舖一帶種者多竹蔗。臘蔗種於家屋附近圃地，竹蔗多種於砂質旱地。其種法有留頭，有新種，其新種者，於十一月間將蔗梢埋於陰濕之砂質土中，俟其萌芽，至翌年二三月間移植，斜插於高畦，每株距離二尺餘，多不施基肥，種後十日左右，始行施以人糞尿水或以豆麵花生麵等。其生長期間，須中耕除草及培土二三次。其臘蔗每間十日左右，剝葉一次，竹蔗則不剝葉。臘蔗於十月間可收穫，竹蔗則多於十一月間

收穫，至留頭者，可種至四五年，然後改種新種，於每年正二月間將蔗畦兩旁之土鋤開，培以新土及補施堆肥草木灰等，至新芽發齊後，如每叢之株數過多，則將其弱者除去，約每叢祇留十株左右為度。其餘管理收穫等法，一與普通法相同。其臘蔗為生食用，竹蔗為榨糖用。其榨糖法悉用舊式，係用兩個平石磨轉動者。其榨糖之廠，係由組合建設，當榨糖時，各農家先行商定榨糖日期，次計每磨廠須用大牛八頭，分為四班，日夜輪流搾汁，看鍋司火打襍各須二人，一人司夜，一人司日。計每日夜可搾汁十二缸，即可煮糖十二鍋，每鍋可得砂糖（俗稱圓糖，因做成圓團故也。）五十斤左右，每百斤糖約值十三四元。其牛租以搾汁多少計算，每一缸汁每牛抽糖半斤；人工價亦以煮糖多少計算，每一鍋糖每人給資半毫。

(6) 茶葉 該縣茶葉，惟徐溪鄉之黃坑村特產之。該村無家不種，但為量不多，計全村每年產額不過七八百斤。該處茶葉樹比普通短小，即五六年生之長成苗木，亦僅三尺餘高，多植於山麓山畔山窩，土質不甚輕鬆，以黃坭土為多。其栽植方法，於寒露時摘下其碩大茶實，穴播於種茶地，每穴約八九粒，距離約三四尺，翌年二三月間可萌芽，至生齊後，間拔去一二弱苗，種後三年即有收穫。每年摘茶五次至六七次，三月摘者曰頭春，四月摘者曰二春，五月摘者曰禾花，七月摘者曰秋子，八月摘者曰白露，十月摘者曰陽春，十一月摘者曰白雪子。其製法極為精細，將青茶摘下後，約每重四五斤為一次，放入鍋中炒之，是為倒青，（用柴火）至軟熟後取出，置竹箕中，用手擦之，至葉呈捲態，復放入鍋中，用慢火徐徐炒之，見有茶素粘着鍋上時，又將茶葉取出，洗淨其鍋，再行炒之，如是數次，炒至葉已乾燥而捲實時，遂取用竹篩篩去其碎末，（其所摘之青葉毫無嫩枝附着者）用火水瓶貯藏之，即可發買。每元約六七兩，計每人每日可摘青葉十餘斤，每斤可製乾茶四兩，每人每日可製乾茶三斤左右。

### (十) 蔬菜

(1) 蘿蔔 該縣所種有家園種油頭種紅皮種雪蘿蔔，其家園種即該地農家自己所留之種種者，其皮肉皆白，形如櫟核，較普通者稍小；油頭種為扁圓形，質極堅實；雪蘿蔔皮肉亦白，質亦脆嫩，俱為潮州種；紅皮種形如雪蘿蔔，惟皮色鮮紅，質較甘甜，為該縣神岡下之特產。據土人云，傳種於他地，則變色變質云。其用途，家園種油頭種多製乾食，雪蘿蔔多煮為菜食，紅皮種多用醋醬為生食。其栽培管理等法，與各地相同。

(2) 芥菜 芥菜每家種之，七八月間播種於苗場，至苗發三數葉時，移植於園圃，多用穴植，每株距離尺餘。種後中耕除草一二次，每間四五日淋水一次，并施以人糞尿污水等肥，有黃葉時，須除去之，由十月至十二月俱有收穫，先摘其下部之葉，至抽心時，將全株收取。其所摘下部之葉，多煮為菜食，其收取之全株，多用鹽擦為醃菜，以瓦甕貯藏之，為家常便菜。

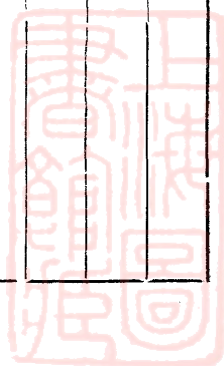
(3) 石蒜 石蒜為宿莖類多年生之植物，其葉頗似夜蘭，其莖根與葱相類。其種植多用留頭法，如新種者，則於二三月間挖取其頭，繁殖於圃地，年中四季，俱有收穫，其法與韭菜同，用蚌壳或鏟刀刈之，收穫後施以草木灰或淋以人糞尿污水等肥，食味與普通之蒜畧同，惟較軟嫩。

(4) 意豆 意豆於山居者多種之，其籐與狗爪豈相似，惟葉較大而有短毛，其莢大如母指，豆實畧帶紅色。二三月間，穴播於園圃之周圍，十月間即有收穫。取其仁以為菜食，質膠而味甚香，如不新種，翌年亦可繼續萌發新芽。

(5) 綠豆 綠豆多種於甘藷畦旁，為甘藷地之副剷物。其苗稍高於黃豆，葉亦較尖長，實形小而帶綠色。六七月間甘藷種後，即穴播於其畦旁，種時施以人糞尿灰，中耕除草，與甘藷同時行之，九十月間可有收穫。

此外蔬菜種類尙夥，惟其品種多屬普通，栽培管理諸法，亦無異處。茲僅將其品種，名稱，及播種，收穫時期表列如次：

品種名稱	播種時期	收穫時期
芥藍菜	八九月	十月十一月
芥菜	七八月	九月
荷蘭豆	八月	十一月
豆角	二三月	七八月
白菜	六七月	九月
苦瓜	二三月	五六月
冬瓜	二三月	五六月
南瓜	三四月	六七月
通菜	三四月	五六月
莧菜	二月	四月
葱	七月	九月
蒜	八月	十月十一月
茄	二三月	五六月



## (十一) 果樹

該縣果樹極少，惟白馬鄉之下黃及林前堪各有果園一所，在下黃者為平坦之旱地，其面積約六七畝；在林前堪者亦為平坦旱地，惟砂質較多，面積約五六畝，均經營三四年矣。果樹種類為柑桔梨柿龍眼荔枝等，近年稍有收益，但為量尚不甚多。其柑桔龍眼荔枝等品種多出自潮州，梨柿品種多由本地駁種者。其管理概屬粗放，但作家庭之副業而已。

## 十二 畜牧

(1) 牛 該縣養牛概作役用而兼肉用，以養牛為專業者殆無之。山地適養黃牛，鄉村平地適養水牛，每頭水牛值六七十元，黃牛值三四十元。平時日閒放牧於荒山草地，或牽牧於田野道上。多由老人或小童司之，晚間飼以稻草，役用時須特別飼以米粥甘藷青草等。

(2) 豬 該縣養豬有肉用者，有生殖用者（通稱豬蠃）；前者普通之農家養之，後者多於釀酒家豆腐商養之。肉用豬之飼料，以糠菜糟粕甘藷苗廚房遺棄等物為多，生殖用豬之飼料亦與肉用豬同，惟較粗糙，并有時飼以狗肉，其飼料概和混煮熟飼之。至乳豬則飼以粥約三個月後，始行分散發賣，母豬年產子二次，每次多不過十三四只。

(3) 家禽 以養雞為主要，每家飼養十數只為極普通，亦有母雞二三只者，為卵及孵仔用；留雄雞一只，為司辰及交尾用；餘屬閩鷄，以為肉用。鴨多卵用及肉用，孵仔用者極少。養鵝者亦少，其飼養管理與各地同。

## (十三) 森林

該縣森林樹種較常見者，有松杉桐樟油茶竹類，而以松木為最多，全縣山嶺莫不有之，約佔森林面積十之七八，



杉木次之。各鄉雖有與松林混生，然爲量甚少，石礫藍坊高思等處稍多杉林，然出產數量，聞亦不多。據土人云：近年來本縣需要，亦不能供給，其桐樟竹木，或襍生，或散生，多不成林，油茶樹於廣福文福徐溪拾福豐樂石礫高思等鄉，間有生產，而以西北部之鄉稍多，但每年產量，亦不能供就地之需云。

#### (十四) 農林前途之觀察

蕉嶺人口，據民三年之調查報告，爲八萬二千五百人，全縣面積，有四百三十二萬畝，可耕之地約有十萬零畝，（但水稻田僅佔五萬畝左右）依人口之數量平均之，每人可佔耕地一畝餘，尙能適應土宜而盡地力，則足供全邑人之食用而有餘，况復有數百萬畝之山嶺，適於林木之種植乎。查該縣每家男子必有一二出洋謀生者，所有農事，多由婦女粗放經營之，其減少生產量，實爲原因之一；此外田地多患水旱，早造水稻得有收穫者，約十之八九，晚造祇得十之四五，此單純稻作之弊，亟應改良兼種其他特種作物以爲補救者也。至森林方面，雖荒山甚少，但成林者亦不多，蓋悉任天然之生長，復隨人意而砍伐，此所以旱患叠呈也。

# 五華縣農業調查報告 民國十七年

林純煦  
何慶功 調查

## (一) 位置

五華縣在省之東北部，屬韓江之上游，東北界興寧，西北界龍川，東界豐順揭陽，西界河源紫金，南界海豐陸豐。縣治居北緯二十三度五十九分四十秒，經度距京師中線偏西五十五分十秒。分全縣為八個行政區，統屬二十八約，茲舉列如下：

第一區署，在縣城南門外，轄東樓，西樓，南樓，北樓，大水，五約。

第二區署，在岐嶺墟，轄北樓（即岐嶺）嵩頭二約。

第三區署，在潭下墟，轄潭白鄺，大田，長蒲三約。

第四區署，在水寨墟，轄水寨，油田，泉砂三約。

第五區署，在河口墟，轄大嶺，梓泉，七都，龍岡四約。

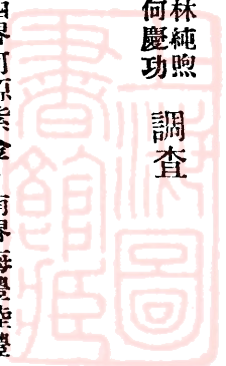
第六區署，在橫陵墟，轄橫陵一約。

第七區署，在安流墟，轄安流，周潭，洑溪，大都，棉洋，榴砂六約。

第八區署，在龍村墟，轄龍玉湖，梅林，陽坪，南洞四約。

## (二) 地勢

五華地勢西北及西南較高，東北及東中部較低。全縣面積，約合三百六十四萬零四百八十九畝，其中山嶺約佔全



面積百分之九十，河流平地約佔百分之十，而田畝又不過佔河流平地百分之二十而已。

### (二)氣候

五華氣候與興寧無大差異，其最高溫時，在六七月之間，約在華氏九十六七度；其最低溫時，以十二月正月為甚，約在華氏三十五度左右，年中結霜，以十二月為常，雨量以春夏之交為多，秋冬之季為少。

### (四)農村教育狀況

五華教育，近以地方多故，尙無確實統計。據當局報告，現全縣有初中四所，學生約六百餘人；高級小學二十八所，學生約二千餘人；初級小學四百餘所，學生約一萬二千餘人；平民義學九所，學生約六百餘人；私塾十餘所，學生約百數十人。以號稱三十萬人口中之學齡兒童推算，其失學兒童約佔百分之二十有五云。

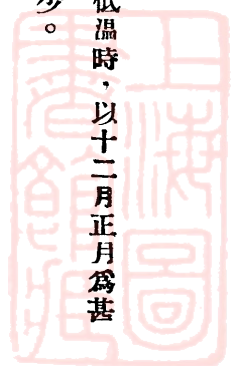
### (五)農民經濟狀況

(1)農戶 農民中田主約佔百分之二十，田主兼佃戶約佔百分之三十五，純佃戶約百分之四十五，每農戶平均農業勞働者約五六人，每農戶耕地面積約三畝左右。

(2)田地價 每畝水田上等者約值一百二十元，中等者約值九十元，下等者約值六十元；每畝旱地上等約值六十元，中等約值四十元，下等約值三十元。

(3)田地租 每畝水田年租上等約四石，中等約三石，下等約二石；每畝旱地年租上等約二石，中等約一石，下等約五斗。

(4)人工價 長工每年工資約六十元；短工忙時男工每日五毫，女工每日三毫，閒時男工每日四毫，女工每日二毫，除長工外，每日祇供午膳一餐。



(5) 肥料價 人糞每担四毫，人尿每担二毫，家畜糞每元約三百斤，石灰每元約一百二十斤，牛骨灰每元約十斤，豆麵每百斤約值六元。

(6) 農具價 犁每張約值二元五角，耙每張約值十二元，鋤每把約值八毫，草鏟每件約值四毫，禾鏟每張約值一毫，中耕器每件約值二毫。

(7) 農產價 水牛每頭約值八十元，黃牛每頭約值五十元，豬肉每斤四毫，活羊每斤約四毫，馬每匹約七八十元，雞每斤約五毫，鴨鵝魚類每斤約三毫，薯每元約一百斤，芋每元約六十斤，葛每元約二十斤，花生每元約八斤，穀每石約六七元，豆每百斤約二十元，大麥每石約三元五角，油每斤約三毫半，臘蔗每條約半毫，白糖每斤三毫，黃糖每斤二毫。

蔬菜類——(以每毫計)白菜約四斤，芥藍約三斤半，芥菜約六斤，蒜約五斤，生菜約三斤半，荷蘭豆約二斤半，蘿蔔約八斤。

果類——桃每毫約二斤，李每毫約三斤，荔枝每毫約十二兩，龍眼每毫約三斤，柚每只約一毫，橘每毫約半斤，楊桃每毫約二斤，梨每毫約一斤，黃皮果每毫約二斤，枇杷每毫約四斤。

特產——麻每百斤約十二元，茶每毫約一兩半，棉每元每一斤二兩，藍每担約十二元，柴每毫約十七斤，炭每毫約四斤，草每担約三毫，綠竹每根約一毫，麻竹每根約五毫，坭竹每毫約四根。

(8) 借貸情形 當地農民常借貸者，約有百分之六十，以錢款為多，糧食次之。通常利率月息二分，最低者一分五厘，最高者至五分。借貸者以農工為多，放債屬地主及商人。普通借債原因，多係衣食不繼，或因婚喪急需，但就中因衣食不繼而借貸者，常佔百分之八十，在一年中農民經濟最困難時期為四五月間，此時借貸必須高利，但高利貸中，正當農民，不過百分之二十左右，其餘多屬沾染不良嗜好而負債者。其借貸手續，如三數十元以上者，須請誠實之人

担保，或由親屬在場，以不動產業作押。借款時，多不需特別用費。惟給三數毫為介紹人茶資者，則間或有之。全縣有當舖十五間，俱係月息二分半，絕當以三年為期，所當物件以衣服首飾農具為多。

### (六) 交通

該縣有幹流二道：一為南部之琴江，源出紫金，向東北流，由第八區之龍玉湖約梅林約入第七區之安流約泮溪約，直上第六區橫陂，向東北入第四區之水寨，與潭江相會，東流入興寧水口，與興寧河相會，入梅縣匯注韓江；一為西北之岐嶺河，源出龍川，由岐嶺向東流，經第一區之西樓，至城南與潭下河相會為潭江，東南流經第一區東樓，入第五區之大嶺黃龍，折入七都，至河口墟，與琴江會合，縣內巨津。惟此二江可駛民船，所有貨物出入輸運，全利賴之。至於行客往來境內，每多循陸而行。即東北至興寧，西北至龍川，亦多捨舟登陸，因逆水行舟，實當遲緩，陸則循大道尤覺便利而速也。

### (七) 水利

縣內各區皆有河流及澗溪，足資田疇灌溉，且其河床大都高出田畝，設車設陂，俱甚易易，故旱旱患極少。惟春季雨多時，在東北中部一帶，因乏森林，常致山水傾瀉，河水汎溢，難免水患耳。

### (八) 耕地狀況

全縣可耕地約有二十餘萬畝，以地勢言之，約畧平均平原耕地約佔百分之六十八，山谷約佔百分之十二，岡陵起伏地約佔百分之四，山嶺亦約佔百分之四，傾斜地約佔百分之十二。其平原及山谷之梯田，以植水稻為多；岡陵起伏地及山嶺傾斜地，則多植雜糧或果樹之屬。以土質言之，其縣之東北部及中部，多為赤色砂坭或赤色粘壤，土質較

爲堅韌瘠瘦，多屬運積之土；在西部南部之土質則較輕鬆，多屬黃色或灰色之砂壤，係屬定積之土。所有農地，均鮮患旱，惟東北中部於春季時不免水患耳。

### (九)作物

(1)水稻 五華水稻產額年約百一二萬石，大約不足供全縣之糧食。至其品種名目及栽植方法，多與興寧無大差異，茲復紀述於次：

早造種 最普通者有百日早三百六赤米穀嘉慶早早糯赤穀等，全縣各區皆種之，多種於平坦水田或山谷間之梯田。土質粘壤砂壤俱有，大概西南部之稻田則砂壤爲多，常與豆麥晚稻輪栽。其播種時期，早者在雨水節，遲者則在驚蟄節，概須先行浸種，然後撒播於秧田，播後二三日，挑去其水，使暴露日光約二日，其秧芽則可轉青色，然後復灌以水，其水以能遮蓋表土爲度，至苗長寸許，卽施以人糞尿肥，在育苗期間，約施肥二三次，間施以人糞尿灰或豆麩，於谷雨前後分秧，分秧後十日，卽行耕耘一次，以後每隔十日至十餘日耕耘一次，約共三次，皆用有齒之中耕器行之。至於施肥，則在未分秧前，多施以厩肥爲基肥，其補肥則於耕耘後行之。普通用人糞尿石灰或厩肥，收穫時期常在大暑前後，每畝收量約四石餘。

晚造種 普通有烏毛粘白穀子大冬赤紅壳糯海禾香禾等，全縣各區皆種之，種於早稻跡田，於小滿節前後播種，通常不浸種，播以燦穀，其秧田多屬瘠瘠之半旱地。在育苗期間，通常亦不施肥，早者至大暑前後分秧，遲者在立秋前後分秧。在未分秧前之稻田，施以厩肥或早稻稈爲基肥，分秧時多用烟骨灰和秧同時插下。分秧後耕耘二三次，每耕耘後，施以人糞尿石灰或烟骨灰爲補肥，於立冬節前後收穫，每畝收量約可三石餘至四石。

糶穀 早晚造俱有種之，惟限種於常有水浸之田，(俗稱湖洋田)因此種糶穀，多爲製造約紅糶之用，如種於水缺之

田，或生長期間受過旱患，則不能製造紅粬矣。該縣第三區潭下一帶多種之，其收量較普通水稻常少一二成，但其價格每石必昂貴二三元。其品質極劣，甚少作糧食用，因價昂故也。至其播種收穫時期及栽培各法，與普通之早晚稻同，茲不備述。

(2) 甘蔗 該縣附城區沿河一帶，多種腊蔗，水寨橫陂等處多種竹蔗。品種均不甚佳，莖極矮小，種地多屬黃赤砂坭旱地。其臘蔗概售於本縣各市，作生食用；其竹蔗則用以製糖，年產額甚少，並不敷本縣應用，其栽培法，查與紫金縣同。

(3) 甘藷 全縣種藷極為普遍，多種於旱地或早稻跡田，為副糧食用。

(4) 大小麥 各區稍有種之，惟不普遍，故產額極少。

(5) 黃豆黑豆花生 各區皆種之，惟第四六區種之為多。其花生多為榨油用，年產約數千斤。黑豆多製為豆豉及豉油，年中出口頗多，銷售於潮梅各屬。

(6) 香菰 惟第三區之大田產之。年約百餘斤，多用樟木培植者。

(7) 土茯苓 係屬野生，第三區之潭下產之，年產約萬餘元云。

## (十) 蔬菜

查該縣所種蔬菜，與興寧同，其栽植時期與方法，亦無異處。至其價格之相差，則紀經濟欄中，茲可不備。

## (十一) 果樹

(1) 荔枝 該縣栽植荔枝，自縣城東門外始，但究種於何時，傳自何方，則土人亦不詳悉。現附城地方，計種有

三數十株，年來由該處駁植傳至岐嶺一帶者，約有百餘株，現尙少有收穫。其品種爲黑葉荔枝，肉厚而無核，品質甚佳。其繁殖法概用駁枝，於春分前後行之，駁後一月餘，即可截下其枝，植於缸中，是爲育苗，在育苗期間內，絕不能搖動其根，否則不活，并須隔日淋水一次，約三個月左右，可生鬚根甚多，其時已屆秋季，即可移植於果地。移植方法，將缸打破，連坭埋植土中，每株距離約二三丈，但該處多非闢有果園種植者，不過於屋隅菜圃塘邊等土質，稍濕之處植之。當其移植之初，淋水稍頻，及後每月約灌溉一二次，所施肥料以人糞尿爲多，係於摘果後及冬季施之，植後約三年可有結果。摘果時期在夏至後，每株收量約百斤至百餘斤，但屬隔年果樹，在豐年產量約數千斤，除本縣銷售外，多運至興寧梅縣發賣，每斤值約三毫左右。

(2) 李 李於第七八兩區種之，惟以安流一帶爲多，其栽培沿革不甚詳明，品種名桃駁李，係青皮紅肉，極爽甜，毫無酸澀之味。其繁殖方法，用桃之實生苗爲砧木，以二三年生之李枝接上，多於冬季行之，接後三四年結實。其管理極粗放，鮮有施肥，惟間有培以新土者。收穫時期在五月間，每株約可數十斤，年產總額約數萬担，多運至興寧梅縣出售。

(3) 梨 產於水寨橫陂等地，聞其品種原屬山東雪梨，後以環境影響，遂變其皮色爲黃梨青梨紅梨等，其食味仍極甜嫩，每年產總額約數百担云。

(4) 柿 惟第三區大田產之，多係造製柿餅，品質甚佳，與平遠不正產之水柿相彷彿。年產總額不多，即在本縣市場亦不易購買云。

(5) 楊桃 該縣城內種有數十株，惟東山門外一株最老且大，所佔面積約四五丈，且品質甚佳，食之甜嫩無渣，每年收摘三四次，祇此一株出息亦有百餘元至二百元之多，其餘大半係屬酸味楊桃，多用糖製爲楊桃蜜。其繁殖法概用



實生，并不變質云。年中產額，共約五六百元左右。

(6) 龍眼 附城及城內種有數十株，產量不多，且品質亦不甚佳。繁殖方法，全用實生，多於家屋附近散植數株而已，並非闢有果園也。

### (十一) 畜牧

(1) 家畜 該縣家畜牛豬爲多，羊馬則甚少見，其牛有黃牛水牛，概作耕田役用，惟老弱無用者則宰賣之，豬有純黑豬花白豬，俱爲肥肉之用，每農家飼養一二頭爲常；但人多之家，則多養大肉豬，而人少之家，則多養小肉豬，其小肉豬仍須轉賣於大家庭之人家養至肥滿，然後出售宰賣之。計全縣所養之豬，除本地宰賣外，輸由興寧者，年約數千頭云。至牛豬之飼養管理諸法，則與各縣無異。

(2) 家禽 家禽以鷄爲主要，鴨次之，鵝則甚少，計每家養鷄十數只以至二三十只者，極爲普遍，因每農家自己年節祭祀應用亦須七八只至十數只之多，而卵用及孵雛用之母鷄，每家亦必有二三只，此其養鷄之大概情形也。至於養鴨，則非家家養之，且所養之鴨不過養二三個月即行轉賣，每年養鴨較多之時期爲六七八九等月，過時則爲養老鴨，祇限於卵用母鴨爲多。其鷄鴨之飼養管理及禽舍等項，均與各地無殊，恕不備述。

### (十二) 森林

五華山嶺面積約有一千萬畝，而現有森林地約佔山嶺百分二十五六而已，即約佔面積二百五十餘萬畝也。就中以七八兩區之森林佔其大半，約與該區山嶺比例，可有百分之四五十；次爲第三區，森林地與該區山嶺比例，約可佔百分之二十左右，除第二四區約佔百分之十五；第五六區約佔百分之十二；第一區則約佔百分之八九而已，此爲五華縣森林分佈之大概情形。至其主要森林，以松爲多，杉木及雜木次之，係多屬天然林，至人工造林，多在家屋附近山

嶺半事栽植，加以人工保護而已，殆爲保安之林也。該縣出產柴炭，惟第七八兩區頗多，第三區亦有少數，皆輸出潮汕地方發售，年產額量多少，無精密統計，大畧數萬元左右耳。其次沿岐嶺河岸一帶栽植麻竹頗多，年中亦稍有出口云。

#### (十四) 農產製造

(1) 酒 素稱馳名之長樂燒酒，卽該縣產也。數十年前米價低廉時，釀酒家處處林立，年中出產極多，運至潮汕一帶，銷售甚廣；年來因米價高昂，釀酒家遂傷業殆半，或縮小經營，故現在少有大宗輸出矣。其釀造手續紀述於次：

釀燒酒之原料爲粘米及酒餅，其米無論早冬赤白粘米俱可，惟赤米價較低廉而質無差異，故人多用之。其酒餅多係自己用藥材配製，如何製法，則不能詳焉。其釀法先將糙米煮至半熟，再用木甑蒸至全熟，或直接将米用滾水煮熟，熟後，以清水淋冷之，傾入缸中，和以酒餅，計每斗米約用酒餅四兩至五兩，則視酒餅之強弱爲定，和勻後，將飯整實，并於中間撥成一井形之穴，約靜置一晝夜後，則全已發酵，遂裝入瓦甕中，計每甕裝五斤五合米爲度，熱天約一禮拜，冷天約半月至二十日卽可蒸酒。其蒸法以每兩甕(卽共一斗一升)米爲一鍋，傾入鍋後，注清水約一担，將其攪勻，然後鍋上置一蒸酒甑，其甑係以木製者，甑之中間配一蒸溜器，係用錫製者，蒸溜器之上面(卽上截木甑)，注以冷水，燒火蒸時，冷水稍熱，卽須更換。總之，使其水愈冷，則蒸溜愈易，計每鍋可蒸酒十一斤左右之濕花燒酒云。

(2) 豆豉及豉油 該縣水寨橫陵二處，多製豆豉及豉油，年中產額頗多，除本縣銷售外，尙運至潮梅各屬批發。茲將其製造手續紀之於次：

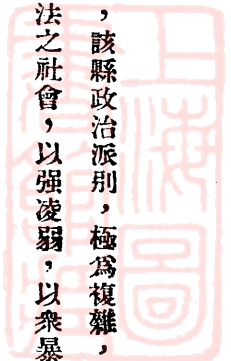
製造豆豉，概用黑豆，以每五斗爲一鍋，注水約三担，煮之至爛熟後，取出，濾去其水，舖於竹筒中，其窩一如

蠶箔，置於架上，其架亦如蠶架，熱天鋪豆宜稍薄，冷天可稍厚，任其發菌。其所發之菌絲多為黃色或灰白色，熱天四五日可成熟，冷天則須二十日左右，屆時每朝用手抓鬆，約連抓三朝，豆可乾鬆，然後盛入竹籬中，以清水洗去其菌絲，遂傾入木坊桶中。其木坊桶之設置，係將木坊桶放於一長木板上，其長木板可連放三四個木坊桶者，桶無底，係將長木板上鑿一圓周之溝，其圓周溝以內之突起板即為木坊桶之假底，每個木坊桶中盛豆一石，（即發菌後之豆）靜置一晝夜後，則發香氣，於是再淋以清水約二担至三担，其水流入長木板上之溝中，從溝口流出，以瓦盆盛之，留為熬煮豉油之用，至桶中豆豉經用清水淋後，遂和入食鹽約三十斤。其和鹽方法，須一層豆，一層鹽，即豆上加鹽，鹽上又加豆是也。如是二三日後，則豆盡入味矣。遂取出，畧晒乾其外部水分，即可發售於市，計每石黑豆可製豆豉二百斤左右，約值銀二十元。開製造豆豉，罕能賺錢，至佳亦與成本畧相抵耳。其賺錢之處，全在於豆豉油，至其豉油之熬煮方法，即將前述在木坊桶中淋豆流出之水及和鹽後流出者，再加食鹽數斤，用鍋熬煮之，至水分熬去約三分之二時，即成豉油。例如淋水得三百斤，則可煮得豉油百零斤，值銀十餘元。

(3) 紅糲 該縣所產之糲穀，即製造紅糲者也。紅糲之用途，係用以染各種食品飲料之顏色。其製法，先向各農家收買真正之糲穀，須未受旱患者始佳，每石糲穀比通常穀價昂貴二三元，收買糲穀後，糲為米，椿至極白，以水浸透，用木甑蒸熟之，熟後再用清水淋冷，滴乾其水，傾入木箱形之倉中，其倉安置於房中，層層疊疊，一連數倉，每倉約盛糲米飯四斗左右，和以糲種約二升許，（聞其糲種係買自福建之砂縣）及砒霜數兩，所以防其生虫也。和至極勻後，將倉封好，任其發酵，約經過半月左右，則粒粒成熟，遂取出晒乾之，即成紅糲，其品質佳者，色澤鮮紅，以手捻壓之，則易粉碎云。每石糲米可製紅糲約八斗餘至九斗，多銷售於潮梅各屬及南洋地方，每石紅糲約值十七八元。該製紅糲者，在第四五區東水一帶，十數年前製糲家有數百甑，年來因米價昂貴，製者日少，及今不過百數十家云。

(十五) 農林前途之觀察

五華農業尚能因地土之宜，栽培作物，卽一般農法，亦頗有合於學理者。惟近年來，該縣政治派別，極爲複雜，勾心鬥角，日事攻奪，致使社會不能安定，而局部之間，亦多本其封建之頭腦，沿襲宗法之社會，以強凌弱，以衆暴寡，比比皆然，其影響於農林業將來之改良進步者甚大也！



# 興寧縣農業調查報告

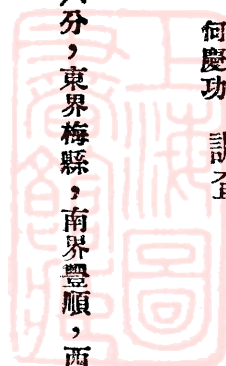
民國十七年

林純熙  
何慶功 調查

## (一) 位置

興寧縣在粵省之東北部，縣治位于北緯二十四度四分，經度距京師中線偏西四十六分，東界梅縣，南界豐順，西界五華，北界平遠。分全縣為十五個行政區域，統屬一百五十八堡，茲特臚列如次：

區分	位置	所在地	所屬堡名
第一區	附城	縣城內	三聖，朝天，葉亭，矮岡，石橋，義尚，高鋪，濠塘，銅鐘湖，窖溪湖，張陵瀝，洋矮嶺，佛子嶺，竹絲湖，黃嶺，社下，大礮，楓樹嶺，新陂，小洋，洋岡，黃陂，蔗塘，涼溪，龍溪，等共二十五堡。
第二區	東	永和墟	何公，石峯，黃岡，錦洞，等共四堡。
第三區	東	徑心墟	章峯，留田，寶塘，菜畚等共四堡。
第四區	東南	水口墟	水口上，水口中，水口下，彭洞，峭峯，水洋，洋凹，井墩等共八堡。
第五區	東南	新墟	石涯，藍塘，船籃，石公，添坑，雙頭，瑯琛等共七堡。
第六區	南	坭陂墟	坭陂，湖坊，黃坳，合湖，官陂，河塘，鄭岡，赤墩，篤陂，東隱，瀝陂，茅崗等共十二堡。



第七區	南	刁坊墟	刁坊，石坑，長埧，大橋，瑤岡等共五堡。
第八區	西	新陂墟	落仙，福慶上，福慶中，福慶下，峯山，下石馬，茅塘上，茅塘中，茅塘下等共九堡。
第九區	西	葉塘墟	葉塘，麻嶺下，岳橋，甘塘，洋陂，留橋，烏池下，烏池中，山凭，半坑，下洋，湯湖，麻嶺中，麻嶺上，富竹，西山，筠竹等共十七堡。
第十區	北	龍田墟	冷井，李田，烏池上，雙溪，曲塘，龍田，黃竹寨，洋子嶺，高陂，合水，下控，上官田，下官田，水羅塘，羅陂，等共十五堡。
第十一區	東北	石馬墟	土庄，小水，礮下，洋門，馬下，下庄，刁田，蕉坑，等共八堡。
第十二區	東北	黃陂墟	崗背，甘磚，湖田，天陽徑，陶古塘，黃陂，雙下，寶龍，雙頭，黃龍等共十堡。
第十三區	北	羅岡墟	潭坑上，潭坑下，金坑，下藍，甘竹，羅岡，聯陞，官庄，溪尾，洋塘等共十堡。
第十四區	西北	大坪墟	朱坑，洋田，河嶺，上大塘，下大塘，大坪，小坑，嶺背河，橫崗，咨洞，吳田，甘村等共十二堡。
第十五區	北	羅浮墟	和興，泰寧，等共二堡。

(一)地勢

興寧地勢為南北長形，北高而南低，故北部山勢高聳，中南之部，多崗陵起伏，至縣城附近，則頗有一望平原

之勢。計全縣面積約三百二十六萬零四百八十七畝，平均山嶺崗陵約佔百分之九十，而田地河澤不過百分之十耳。

### (二)氣候

興寧氣候以大暑前後爲最熱，其溫度高約在華氏九十六七度，於立春節前爲最冷，其溫度低約在華氏三十四五度。年中寒熱最甚時期，不過一月之久，結霜時期於十二月爲常。年中雨量以二月至六月間爲多，九月至十二月間爲少云。

### (四)農村教育狀況

興寧縣之教育尙稱普及，查全縣計有初中二間，共學生八百餘人；高級小學四十八所，共學生四千八百餘人；初級小學五百七十三所，共學童五萬一千五百七十餘人；平民義學十二所，計共六百餘人；平均全縣失學兒童約佔百分之十二左右。

### (五)農民經濟狀況

(1)農戶 農民中田主約佔百分之十，田主兼佃戶者約佔百分之三十，佃戶約佔百分之六十，每戶平均約有農業勞働者四人，耕地面積約有五六畝。

(2)田地 田地價格因地方人口多寡而有不同，如龍田，新陂，永和等區田價最高，每畝約值六百元左右。但以全縣言之，則其普通價格，如水田上等者每畝約值三百元，中等者約值二百元，下等者約值百五十元；旱地每畝上等約值二十元，中等約值十元，下等約值五元。

(3)田地租 水田每畝年納租穀上等約六石，中等約五石，下等約四石，至旱地則甚少納租，因地價極廉，且多

係私人墾植故也。

(4) 人工價 長工概用男子，每年資約四十元，忙時短工男子每天約二毫半，女子每天二毫，閒時短工則以女子為多，每天工銀一毫，惟概供膳食三餐。

(5) 肥料價 人糞尿每担二毫半至三毫，桐糞每元約四十斤，蠶糞每元約十五斤，豆糞每元約八斤，石灰每元約百三四十斤。

(6) 農具價 犁每張約三元，耙每張約七元，鋤每張約一元，草鐮每張約二毫，中耕器每件約一元左右。

(7) 農產價 水牛每頭約百元，黃牛每頭約六十元，豬每百斤約三十五元，鷄每斤約五毫，鴨每隻約七毫，魚類每斤約二毫半，花生每斤約二毫，穀每百斤約七元，小麥每石約十二元，大麥每石約五元，甘蔗每毫約八斤，芋每毫約三斤，油每斤約四毫，臘蔗每根約半毫。

蔬菜價 芥菜每毛六斤，芥藍三斤，白茶四斤，韭菜斤半，葱一斤，蒜五斤，白米豆五合，綠豆五合，黃豆五合，糊豆(蠶豆)三升，生菜三斤，茄四斤，莧菜二斤半，苦瓜半斤，冬瓜六斤，蘿蔔九斤，南瓜四斤，荷蘭豆二斤，狗爪豆四斤，薑四斤。

特產價 嫩茶每元半斤，粗茶每元一斤，柴每元七十斤，茅草每元一百三十斤，木炭每元約三四十斤，苗竹每條約四毛，坭竹每條約一毛。

(8) 借貸情形 該縣農民每年須借貸者，約有百分之四五十，普通利率月息二分五厘，高者三分，低者一分。其借貸手續，須介紹人與自己之不動產為抵押，并須親屬在場或商店担保，此乃大宗借款之辦法也；至十元以下之借貸，極屬少數，多向當店典質，以資周轉，因該縣當店開設甚為普遍，月息二分五厘，三年當絕，以故一般農民少數借



款，每以家物直接典當，所以省免借貸之煩也。此外尙有起會標會之舉，其組織方法，與大埔相同。

### (六)交通

該縣之通海河又名寧江，乃邑中之巨川也。可通民船，沿此河流域之地，如縣城，刁坊，坭陂，新墟，水口等處，均可賴水道交通。至此河之發源支流甚多，北部之黃陂河發源於像牛棟，羅崗河發源於龍母障，在合水保會流，至龍田與石馬溪相會而成通海河。又大坪區之大坪河吳田溪，葉塘區之洋步溪，城北之涼溪，城北之山水，新陂區之遠安溪，均匯歸于通海河，至水口與五華縣河會而入梅縣，此外則爲陸路交通，全賴肩挑輪運矣。

### (七)水利

該縣水利甚足，因潤溪河流廣布，且河床每較田疇爲高，引水灌溉，極爲便利；惟春季水多時，常汎濫於田疇，貽害農作，亦屬不少耳。

### (八)耕地狀況

興寧縣原有可耕地約二十五萬畝，平坦水田俱種以早晚水稻，傾斜高亢之地，多植甘藷豆類之屬，其土質赤色砂土爲最多，赤色粘土次之，灰色壤土又次之。

### (九)作物

(一)水稻 該縣人口稠密，據土著人士號稱約三十六萬左右，年產米額祇供八九個月之糧食，其不足者多仰給于江西之長寧縣及本省之龍川縣。該縣種植水稻，分早晚兩造，其品種屬早造者，有瘦田粘，細穀早，大穀早，禾早糯，秋秧早，龍牙早，百日早，三百六嘉應早等名稱；屬晚造者，有海禾（又名好命禾），大冬糯細糯，大冬白，大冬赤，水州

糯，紅糯，八月早，黃絲糯，烏壳粘，禾子米，貓牙粘，長身糯等名稱；又海禾有赤白之分，而以平疇陽光充足之地爲宜。茲將其種植管理等法分述於次：

早造種 普通於雨水節浸種，浸約七日，始撒播於秧田，在育苗時期，施人糞尿兩次，至谷雨節前後分秧。該縣之第一二六七八九等區於未分秧之稻田，先施以厩肥或人糞尿爲基肥，至分秧後約半月許，再施人糞尿一次，每畝所施肥料共二十担至四十担，但不耕耘；至其餘各區則不施基肥，惟生長期間須用有齒之中耕器耕耘二三次，并施以人糞尿草木灰厩肥或石灰等肥一二次，於大暑節之前後數日間可有收穫，每畝收量約四石至六石。

晚造種 多於四月間芒種節前播種，其苗塢多用瘦瘠旱田，且育苗時期不施肥料，至立秋前後分秧。當分秧時，將拔起之秧苗根部，用烟骨粉混和之人糞尿浸過後，始行分插於田。插後半月許，即行耘田，多用脚行之，普通二三次，并施人糞尿石灰厩肥等補肥一二次。其施肥期間，以白露節前爲度，過後則不宜施肥矣。至十月間即可收穫，每畝收量約三石至五石。

八月早 此種水稻即蕉嶺平遠之八月粘也。每年祇植一造，其播種分秧收穫時期以及施肥管理，亦與蕉嶺無異。

(2) 麥 大麥小麥皆有種之，播種時期俱在十月間，於晚稻跡田犁起耙鬆後，整爲三四尺濶之平畦，中鋤橫列淺溝，將麥種條播其中。播後撒以人糞尿灰，或鷄鴨糞等，再用肥薄覆以土，俟其發苗，至十月間，畧事除草一次，并淋以人糞尿水一次，三月間可有收穫。每畝收量大麥約三石，小麥約一石五斗。

(3) 蔗 該縣所種者俱爲臘蔗，各區雖皆種之，而以第一二八等區地方爲多。其育苗移植及整地管理，俱與各縣相同，惟所施肥料，以人尿花生麵豆麵肥田粉爲多，并常覓老年墻壁之坭以作培土之用，其功效比任何肥料爲佳云。至九十月間即可收穫，除本地銷售外，多運往梅縣發售，統計全縣產額價值不下萬餘元，每根約值半毫，概作生食之

用。

(4) 芋 該縣農家種芋極為普遍，以香芋種為多，栽種時期在二月間。其法將土整起條畦，高約尺餘，中鋤一溝，約三四寸深，撒以穀壳及鷄鴨糞為基肥，然後填回其土，將芋種穴植其中，每顆距離約尺許，至芋之芽苗出土後，畧事中耕除草一二次，并施以人糞尿水或覆廐肥草肥於畦上，以為補肥。至八月間可以收穫，每畝約可三十担至四十担左右，多作為副糧食品。

(5) 甘藷 該縣甘藷多黃皮白肉種，各區高原旱地莫不種之，而於縣之北部較多。其栽種時期及方法，概與梅屬各縣相同，可不贅述。每畝收量，約可二十餘担至三十担。

(6) 茶葉 龍田區之官田，水羅塘及葉塘區之朱子萊，東坑尾等處種茶頗多。其植茶之地，多在山畔及山麓，土質多係赤坭砂礫土。其種植形如梯級，而茶樹亦頗矮小，高不及三尺。其採摘管理炒製，大畧俱與他處相同。至其產量多少，則無統計。

(7) 藍 該縣祇草鞋崗一處地方間有種藍靛者，於三月間播種，十月間收穫。每年產製之靛不多，惟銷售於本縣，每担約值六元。其栽植製法與普通法無異，可不備述。

### (十) 蔬菜

(1) 香艾 香艾菜為該縣特產，惟附城地方種之，其菜形如鷄爪，葉背帶粉白色，畧似艾葉，其莖蔓延，十月間播種。播時先將圃地鋤至鬆碎，整為平畦，然後將種子散播其上，至發葉後，可施以稀薄之人糞尿水；如天氣晴時，則每隔一日之早晨或傍晚，須淋水一次，至十一月即可陸續採摘，其嫩葉販賣於市。每摘葉後，須施人糞尿或污水等補肥一次，至翌年正月，即開花結實。其實於二月間成熟，即收為種籽之用。此香艾之食法，多與豬肉共煮之，其味

甚佳，每斤價約二毫。

(2) 蠶豆 蠶豆俗名糊豆，該縣種植頗多，於晚稻跡田整為平畦，條播其上，施草木灰為基肥，生後淋以塘水污水等，不用特別補肥，至翌年二月間，可有收穫。每斤約值半毫，作菜食之用，其苗留於田，犁入土中，為良好之綠肥。

(3) 其他 該縣蔬菜除上述二種外，尚有多種，惟盡屬普通之品。栽培方法，亦無特別異樣，故免備述。僅將其品種名稱以及播植收穫時到舉列于次，藉資參攷：

品種名稱	播種時期	收穫時期
芥菜	六月	十一月
芥藍菜	九月	十二月
白菜	四月	六月
韭菜	隨時	隨時
蒜	八月	十一月
禾米 苦藤(生菜類)	八月	十一月
莧菜	正月	三月
茄	二月	五月
苦瓜	二月	五月

冬瓜	正月	六月
蘿蔔	七月	十一月
南瓜	正月	六月
荷蘭豆	十月	十二月
綠豆	二月	六月
白米		

(十一) 果樹

(1) 李 該縣龍田區之東鄉一帶，種李頗多，年產約二十餘萬斤，多銷售于梅縣松口五華等處。品種有紅李青李三月李三種，就中以青李為最佳，味極爽脆甘甜。種法概用實生桃苗為砧木，以二年生之李枝接之。其接木時期在十月間，接後一年，於春初移植，三年後即能結果。其李樹周圍種以豆類作物，藉以中耕除草施肥，其肥料多用牛豬糞尿水及污水，摘果期三月李在三月尾，紅李青李則在五月間，每株收量數十斤以至數百斤不等，每担價值約一元五角。

(2) 桃 該縣植桃亦以龍田區之東鄉為最多，其繁殖法概用實生苗，再行接木，接後約三年即能結果。桃樹周圍亦植以豆類作物，與李無異。摘果期在五月間，惟有大小年之分，如逢大年，每株可摘百數十斤者，小年則十數斤耳。

(3) 柿 黃陂區之黃坭坪上新墟一帶種之，年產額量未有統計。其栽植之地，多於家屋前後，或圍圍之旁，溪流之岸等處。其栽植管理方法，均與普通法同，可不備詳。

(十二) 畜牧

(1) 牛 該縣養牛有水牛黃牛二種，概作耕田役用，老弱或性情不好者，則宰爲肉用。其平時每日放牧二次，早飯後至午飯前，及午飯後至晚飯前爲放牧時間，如有荒山草地，則由小童或老人一人可以牧牛數頭，即數家之牛，可每日輪流一人看牧，如牧於田疇道畔，則非一人專司不可。至役用之時，則飼以廚房遺棄之湯汁酒糟諸籐生草等類，又冬日草枯時，每晚必飼以稻草一二束，以補放牧之不足。其牛舍多以閒屋爲之，或與豬同舍，水牛每頭約值百元，黃牛每頭約值五六十元。

(2) 豬 豬之飼養，無家不有。貧小之家，多養乳豬，因其資本小而飼料省也。至三數十斤時，賣之於市，是謂豬條。中富之家，則多買豬條畜爲大肉豬。小豬飼料須較幼細，大豬飼料則稍粗糙，每日均飼三次，其豬多宰賣於本縣，每百斤約值三十五元。

(3) 鴨 該縣養鴨有普通人家所養者，有專業經營者。前者每家約三數隻至十餘隻，爲卵食或肉食之用；後者每群約百數十隻，專爲卵用，賣於孵鴨商，孵化鴨仔。其飼料管理均與普通法同，無特別可述者。茲將其孵鴨方法紀述于次：

孵鴨商於每年終，先承繳專業養鴨家一二十元，爲孵鴨商資本足者，則承繳多家，蓋作定金，使翌年能多收鴨卵也。每年三月間開始孵卵，規定每五日收買鴨卵一次，即養鴨家限五日繳送鴨卵一次。其孵卵方法，用木製圓桶，高約三尺，濶約一尺五寸，其桶之設備多少，則視欲孵鴨數量多少爲定，其木桶內圍及底襯以乾燥稻草，其面備稻草編織之蓋二塊，一爲中心有孔者，一爲無孔者。孵卵時，每桶用炒熱之穀五升，置於桶底，其熱穀之下，須鋪布一層，以備收拾之用，後將鴨卵每五十枚盛於小繩網袋中，每桶約置卵五袋，各袋之卵放置桶中時，須用手整平，然後層疊其中，卵已放好，桶面覆一有孔草蓋上，再覆一無孔草蓋，至翌日即可檢卵。其無胚精之卵，則取出賣去之，但其

檢驗卵法，非精熟老練之手不能行之，亦非普通人所能知之。其初五日之內，每日須將桶底之穀炒過一次，各袋之卵，亦須攪勻一次，并顛倒其各袋層蓋之上下位置，此所以調節其溫度使之平均也。至其溫度之高低，未經測驗，無以表示，惟憑熟練者以手試之而已，每至夜間，須啓其桶，以手試其溫度，如溫度過高，則將上層無孔之草蓋除去，祇留有孔之草蓋蓋之，已孵至五日之後，則不用炒穀矣。因此時卵中胚子已大呈變化，本身熱度已足供其應用，此時之卵，且可分置於他桶，再加新卵二三袋，所謂以卵孵卵，不用炒穀，為最經濟之辦法。至二十天，即可出雛，但孵至十五六天時，須行取出放置於木床上。其床底舖以軟碎稻草，卵上覆以棉胎，每日須將卵攪勻一次，如溫度過高時，則將棉胎暫行除之，如是在此木床上任其出雛，一般販雛鳴者，常買其未至出雛期之卵（即已放置木床上時之卵）運至遠處出賣，因其便於輸運，且可省飼料也。

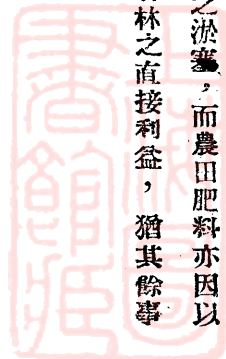
### （十三）森林

該縣實無森林之可言，查全縣森林所佔面積，不及山嶺百分之八九，以故童山濯濯，舉目皆是，即有稀疏之林，亦祇羅浮，黃陂，羅崗，葉塘，永和等處稍見之耳。中以松林為多，杉林次之。除永和稍有人工林外，餘概屬天然構成者。

### （十四）農林前途之觀察

興寧為人口稠密之縣，經營農業，自應集約，農田土質，理應膏腴，乃細考其耕地之土質，多屬赤砂坭及赤粘土，其非肥美可知。究其原因，殆由於人工之補肥，不及天然之消失也。蓋該縣山嶺殆皆荒廢，稍生苗木，輒被樵採，

山嶺無森林之庇護，自易崩毀，每當春雨淋漓之際，山嶺砂坭，遂傾瀉於田疇，河道固爲之淤塞，而農田肥料亦因以變劣。故欲振興興寧之農業，首宜設法防止土壤天然之破壞，其法非急行造林不可，至森林之直接利益，猶其餘事耳。





# 龍川縣農業調查報告

民國十七年

林純煦  
何慶功 調查

## (一) 位置

龍川縣居東江上游，東界興寧，西界和平，南界河源五華，北接江西尋鄔。縣治在北緯二十四度零三十秒，經度距京師中線偏西一度二十分。劃全縣爲十一個行政區，統屬五十二約堡，茲并舉列于次：

第一區署在縣公署內，統轄瑤溪堡，亭田堡，澗步堡，坪埔堡，下廓堡，坪田堡等。

第二區署在老隆市，統轄鳳頭堡，豐稔堡，羅洋堡，水口堡，黃嶺堡，四都堡，黎塘堡，老隘堡，官坑堡，黃坑堡等。

第三區署在鶴市，統轄雅寄約，金魚約，登雲約，十三戶，田心屯，黃廟屯，嶺西屯等。

第四區署在鐵場，分區在龍母，統轄鐵場約，張坊約，用洋約，田心約，橫坑約，白佛約，下塔約，羅口約，長東約，興隆屯等。

第五區署在赤岡墟，轄有石圳約，駱岐約，藍田約，新田約，五合約等。

第六區署在貝嶺，分區在上坪，統轄百齊約，龍地約，石下約，青龍約，興良約，山地約，平越約等。

第七區署在犁嘴墟，與八區共轄有車田約，上莖約。

第八區署在犁嘴墟，轄有黃石約，犁嘴約。

第九區署在老隆，附於二分區，轄蓮塘一約。

第十區署在犁嘴墟，與八區共轄義都一堡。

第十一區署在義都墟，轄湯湖一約。

### (一)地勢

龍川地勢北部稍高，南部畧低，其地形有如向西前步之水靴然。統計全縣面積約有三百六十一萬零一百八十六畝，境內山嶺綿亘，約佔全縣面積百分之八十七八，而平原土地，則不過百分之十二三耳。

### (二)氣候

龍川氣候，入冬至而潮冷，屆夏至而潮熱。年中冷熱時期，各約三個餘月，而最冷時期多在十二月正月間，其氣溫約降至華氏三十四五度；最熱時期多為六七月間，約漲至華氏九十五六度。其結霜時期，常由九十月間起，至正月間而始收。年中雨量，春夏之交為最多，秋末至冬末為最少云。

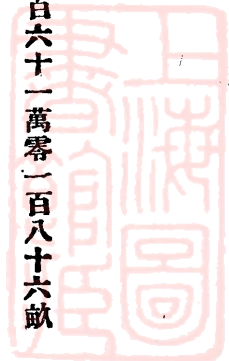
### (四)農村教育狀況

第一區有縣立中學一所，及附設女高小一所，計四百二十五人；高級小學二所，計五十五人；初級小學十五所，共六百人；平民義學一所，計三十人，平均該區失學兒童約有百分之二十一云。

第二區有高級小學三所，計九十五人；初級小學十所，計三百五十人；私塾二間，約四十人，平均該區失學兒童約有百分之二十四云。

第三區有初中一所，約八十人；高級小學十所，計五百五十人，初級小學九十所，約七千二百人；平民義學三所，約一百五十人，平均該區失學兒童約有百分之十四云。

第四區有高級小學四所，計二百二十人；初級小學十四所，計五百人，平均該區失學兒童約百分之二十二云。



第五區有高級小學一所，約五十人；初級小學八所，約三百五十人；私塾五間，約二百四十人，平均該區失學兒童約有百分之二十四云。

第六區有高級小學三所，約二百人；初級小學十所，約四百人；私塾九間，約三百人，平均該區失學兒童約百分之二十五云。

第七區有高級小學三所，約一百二十人；初級小學二十所，約七百人，平均該區失學兒童約百分之十七云。

第八區有高級小學二所，約一百三十人；初級小學十八所，約八百五十五人；私塾十一所，約四百人，平均該區失學兒童約百分之二十三云。

第九區有高級小學一所，計四十五人；初級小學五所，約三百三十五人；私塾二間，約六十人，平均該區失學兒童約百分之十八云。

第十區有高級小學一所，約三十人；初級小學二所，約八十人；私塾八間，約二百人，平均該區失學兒童約百分之二十七云。

第十一區有高級小學一所，計五十五人；初級小學七所，約二百五十人；私塾四間，計一百五十六人，平均該區失學兒童約有百分之二十四云。

### (五)農民經濟狀況

(1)農戶 農民中田主約佔百分之二十，田主兼佃戶約佔百分之三十，純佃戶約佔百分之五十。每農戶平均有農業勞動者約四五人，每農戶耕地面積約二畝半。

(2) 田地價 水田每畝上等者約值二百元，中等約值一百五十元，下等約值一百二十元；旱地每畝上等約值八十元，中等約值五十元，下等約值三十元；又近河低窪之田，約值三十元至五十元。

(3) 田地租 水田每畝年租上等者約四石至五石，中等者約三石至四石，下等者約二石；旱地每畝年租上等約一石餘至二石，中等約一石五斗，下等約六七斗至一石。

(4) 人工價 長工每年工資約三十元，短工忙時每日男工約三毫，女工約二毫；閒時每日男工約一毫半，女工約一毫，概供膳食三餐。

(5) 肥料價 人糞每百斤約八毫，家畜糞每百斤約六毫，石灰每百斤約五毫，豆餅每百斤約八元，油茶麵每百斤約八毫，烟骨每百斤約三元，牛骨每百斤約十元。

(6) 農具價 犁每張全副約三元，耙每張全副約十五元至十八元，鋤每把約一元二毫至一元五毫。

(7) 農產價 水牛每頭約六七十元，黃牛每頭約四五十元，豬每百斤約三十元，羊每頭約五六元，鷄每斤約四毫，鴨每斤約二毫半，鵝每斤約三毫，魚類每斤約二毫半，薯每百斤約一元五毫，芋每百斤約二元，葛每斤約半毫，花生每斤約三毫，穀每石約六七元，豆每石約十六七元，大麥每百斤約四元，小麥每百斤約六元，花生油每元約四斤，茶油每元約三斤餘，蔗每百斤約三元，白糖每百斤約二十餘元，黃糖每百斤約十二元。

蔬菜——芥菜每毫約五斤，芥藍菜每毫約三斤，白菜每毫約四斤，蘿蔔每毫約六斤，荷蘭豆每毫約二斤，蠶豆仁每毫約二斤，葱每毫約二斤，蒜每毫約三斤，生菜每毫約二斤，茄每毫約三斤，冬瓜每毫約七斤，苦瓜每毫約二斤，潮州芥菜每毫約三斤，潮州白菜每毫約四斤，通菜每毫約五斤，莧菜每毫約四斤，黃豆每升約一毫七，節瓜每毫約四斤，酒捏瓜每毫約三斤，綠豆每升約一毫，蒞菜每毫約四斤，絲瓜每毫約二斤。

果類——桃李柿黃皮等每斤各約三元，龍眼每斤約四十文，橘每斤約六十文，梨每斤約五十文，柚每只約一毫。特產——茶葉上等者每斤約一毫，中等者每斤約四毫，乾柴每百斤約四毫，炭每百斤約八毫，草每担約三十文，竹每百斤約四毫，大幅紙每百斤約五元，柿餅每百斤約十二元。

(8) 借貸情形 當地農村中常借錢款糧食者約有百分之六十，借貸人以佃農為最多，放債者多係田主及商人。普通借貸原因，多為糧食不足或婚喪事宜，染不良嗜好而借貸者，間亦有之；就中以糧食不足者約佔百分之六十，婚喪事及因不良嗜好者各約百分之二十。其通常利率為月息三分，低者二分，高者至六分。一年中農民經濟最困難之時期為四五月間，係在青黃不接之際，此時借貸常須許以高利，始能借得之。通常小農借款以二三十元為多。其還債日期則多不一定，還債之法，多係借錢還錢，借穀還穀，間亦有以產業抵還者。一般借貸手續，如自己無產業抵押，則須請公正士紳或殷戶商號為之担保，借貸通常不需費用，惟以產業作押或以產業抵還債款者，間有以百分之二三為酬謝中人之費，因其產業為有上手來歷不明，則中人須負其責也。又負債者如到期不能償還，則債主必追究担保之人，由担保人追問負債者。結果多典田賣業以償之，故該縣因欠款糾葛而致訴訟者，殊不多見。該地農村中頗多組織起會習慣，與各縣無異。該縣有當舖五間：曰合生，曰永成，曰仁和，曰同德，曰長發，其資本各約四五萬元，概定三年當絕，月息三分。所當之物，以首飾服物農具為多。

### (六) 交通

該縣為東江上游，往昔東江河道通時，由老隆可駛電船經城南而入河源，直達惠博，而至珠江上，則由民船可駛至和平之東水，再折入縣境第八區，經五六十區至和平之貝不。其由陸大道東門出，沿東江經老隆秦嶺關入岐嶺至五華；一由西門出，經新塔高地裏至河源柳城；一由東門出，沿東江經老隆市豐稔墟鐵場墟至興寧縣，一由東門出，

至渡船頭過梅村出石馬經藍口至河源；一由東門出，至老隆經四都墟入東水至和平縣；又由四都墟經黃石墟至楊梅洞，經新街官天嶺黃坭塘出和平境至江西省。

### (七) 水利

該縣一般農地多賴溪流山澗以資灌溉，因其大河江水，每以河床變遷，忽深忽淺，忽寬忽狹，不易築陂；且沿河農地多接近山嶺，地勢不甚遼濶，而溪澗之水，常有可資灌溉者。且查其山谷之田，每多經冬不涸，故無須特別灌溉，惟地較高原或居水尾者，於雨量少時，亦常呈旱患，但有此現象者，當不過百分之二十耳。

### (八) 耕地狀況

全縣可耕地約有二十七萬餘畝，其地勢土壤作物概況，約可分述於次：

第一區耕地平原約 $35\%$ ，山谷約 $15\%$ ，岡陵起伏地約 $10\%$ ，山嶺約 $5\%$ ，傾斜地約 $30\%$ 。土質屬半輕鬆者為多，其色多為黃灰，砂粒中等，壤土約 $30\%$ ，黏土約 $30\%$ ；其較平原廣大之處，多為定積之土，沿河及山麓多運積土及夾礫土。該區有東江之小支流五六條，可資灌溉。其作物除稻麥外，多產蔗糖，花生，蔬菜，黃皮，龍眼等。

第二區之耕地平原約 $35\%$ ，山谷約 $12\%$ ，岡陵起伏地約 $15\%$ ，山嶺約 $5\%$ ，斜傾地約 $33\%$ ，土質半輕鬆，以黃色土為多，灰白色者次之，砂性中等，壤土約 $30\%$ ，黏土約 $35\%$ ，除沿河稍有運積土外，餘多定積之土。區內有溪流三數條，作物除稻麥外，多產柿餅茶油楓栗等類。

第三區之耕地，平原約 $70\%$ ，山谷約 $5\%$ ，岡陵起伏地約 $4\%$ ，山嶺約 $5\%$ ，傾斜地約 $16\%$ ，土質甚輕鬆，土色以灰黑為多，砂性中等，壤土約 $30\%$ ，黏土約 $30\%$ ，概屬定積之土。境內有羅寄河及其支流八九條，水旱之患均少，產稻麥最多，為各區之冠。

第四區耕地平原約15%，山谷約10%，岡陵起伏地約8%，山嶺約5%，傾斜地約35%。土質屬半輕鬆，多黃灰色，砂性中等，壤土約65%，黏土約15%，皆屬定積土。境內有練溪及其支流五六條，除產稻麥外，出竹且頗多。

第五區耕地平原約15%，山谷約15%，岡陵起伏地約2%，山嶺約10%，傾斜地約32%。土質多半輕鬆，砂質中等，壤土約10%，黏土約10%，概屬定積土。境內有赤岡河及支流三數條，除產稻麥外，甚少其他產物。

第六區耕地平原約15%，山谷約15%，岡陵起伏地約10%，山嶺約8%，傾斜地約22%。土質半輕鬆，顏色為赤灰等，屬中性砂。壤土約15%，黏土約15%，皆屬定積土。境內有溪流八九條，分注於區東南之東河及區西南之東江，除產稻以外，以油茶柴炭竹紙為多。

第七區耕地平原約30%，山谷約10%，岡陵起伏地約10%，山嶺約15%，傾斜地約17%。土質屬輕鬆，以黃灰色為多，砂性中等，壤土約35%，黏土約15%，多定積之土。境內有車田河及其支流數條，該區除產稻麥外，甚少其他產物。

第八區耕地平原約35%，山谷約30%，岡陵起伏地約30%，山嶺約10%，傾斜地約27%。土質屬半輕鬆，以黃赤灰色為多，砂性中等，壤土約15%，黏土約15%，沿河地間有運積土及夾礫土，餘則多為定積之土，境內有東江縱貫其間，并有支流數條，該區除米穀外，以油茶柴炭為多。

第九區耕地平原約35%，山谷約10%，岡陵起伏地約6%，山嶺約5%，斜傾地約24%。土質亦屬半輕鬆，顏色以黃灰為多，砂性中等，壤土黏土各約參半，係屬定積之土，境內有東江及沿江東邊有澗溪小水數條。該區除產稻麥外，尚有少數蔗糖油茶出產。

第十區耕地平原約12%，山谷約10%，岡陵起伏地約12%，山嶺約5%，斜傾地約21%。土質屬半輕鬆，顏色多為黃灰等，砂性中等，壤土約64%，黏土約15%，皆屬定積之土。境內有龍溪一條，作物除稻麥外，尚有竹木器頗多。

第十一區耕地平原約30%，山谷約15%，岡陵起伏地約10%，山嶺約5%，傾斜地約30%，係屬半輕鬆土質，顏色為黃灰白等，砂性中幼，壤土約30%，黏土約50%。境內沿東江有溪流數條，除出產稻麥外，產楓栗陶器之類。

### (九)作物

(1) 水稻 龍川為產米之區，該縣人口號稱三十五萬，查其可耕田地約有二十七萬餘畝。當豐稔之年，產穀總額約可百七八萬石左右，除本縣糧食用外，每年出口當有數萬石以至十萬石之譜。茲將其水稻品種及耕作情形紀述于次：

早稻 各區普通所種品種有嘉慶早，長腰早，大肚早，椽樹早，早赤，早三粘，江西早，鐵梗粘，花羅粘，貓牙糯，紅梗糯等，俱於驚蟄節後播種。其法須將種子浸過，屯至發芽後，始撒播於秧田，其秧田多用花生麵為基肥。當種子播後二三日，須將水排去，使穀芽曝於日光，約二三日，則芽呈青色，復灌以水，再後十日左右，又須排水一次，并施以人糞尿肥，過二三日後，又灌之以水。至谷雨前後，遂可分秧，分秧後約十餘日，排去其水，行中耕一次，并施以草灰人糞尿等肥，再後二十日許，又耘田一次，此次施以廐肥石灰等。其耕耘皆用中耕器行之。至大暑節前後收穫，每畝收量約四石至五石。

晚稻 各區所種之普通品種有冬赤，絲苗，短苗，高苗青梗粘，矮苗青梗粘，金包銀，好命赤，海禾梗粘，大冬糯，黃糯，芙蓉糯，花糯，梗糯，籐繩糯等，多於小滿節前後播種。其種不用屯芽。於浸過後即撒播於秧田，播後二三日，即排去其水，以後則不復灌溉，亦不用基肥補肥，至大暑後立秋間分秧。分秧時其稻田多用花生麵草灰等為基肥，分秧後每隔十餘日耘田一次，約共二次至三次，每次耘後，施人糞或烟骨灰或廐肥或石灰。至立冬節收穫，每畝收量約三石餘至四石。

(2) 麥 該縣種麥除六八兩區較少外，其餘各區皆甚普遍，而以第三區為最，其品種以小麥為多，大麥不過十之一



二而已。其麥多種於晚稻跡田或旱地，與豆作甘藷等輪栽。其播種時期在立冬前後，普通多用條播，亦有少數行點播者，播種時多施以人糞尿灰或廐肥為基肥，以後則絕少管理施肥矣。至翌年清明前後可有收穫，每畝收量約七八斗至石餘，多用於製麵或糕用。

(3) 花生 花生各區皆有種之，惟第一區最多，屬大莢種，種於砂質旱地，與甘藷或豆麥等作輪栽。播種期普通在春分前後，概用穴播，播時用草灰或人畜糞灰等為基肥，播後二十餘日中耕除草一次，并施以石灰，如雨頻草多，則再除草一次。至七八月間，可有收穫，每畝收量四五石，除製鹹乾鹹酥食用外，多為榨油之用。

(4) 甘藷 該縣栽種甘藷，各區皆甚普遍，其品種有紅皮紅肉種有紅皮黃肉種及紅皮白肉種，多種於早稻跡田或砂質旱地，當稻作豆類輪栽，三月間下種育苗。在育苗時期，施用肥料多係人糞尿水污水等。其早種者在五月間移植，遲者七月間移植。其栽培各法，與他處無異，至九十月間收穫。

(5) 甘蔗 品種有白臘蔗、紫臘蔗及竹蔗前二種為生食用，種者不多。竹蔗則為榨糖用，年產約四萬餘元。於第一區種之最多，第九區亦有少數。其經營狀況，年來畧有遜色，聞因糖捐附加所致云。其種蔗地勢，多在沿河兩岸之砂土。其竹蔗多用留頭法，約至三年而後更新。其栽植方法，於十一二月間截取蔗稍，埋於土中，至翌年二月初取出，剝去其葉鞘，將蔗地整起高畦，畦之中間開一溝，將蔗梢斜插其中，每株距離約尺許，薄覆以土，至出苗後，再覆以土，并施人糞尿一次，至三月間，又施人糞尿或畜糞豆麵一次；至五月之頃，又再施石灰及麵類一次；同時培土，及兼行除草，以後則不復施肥矣。至十月十一月可有收穫。

### (十) 蔬菜

(1) 蘿蔔 該縣栽種蘿蔔，以附城一帶為最多，其品種有白皮紅皮二種，而以白皮為最多，其種籽多來自潮州。

播種期在八月，行撒播或條播於平畦，播時多用草灰為基肥，至苗發二三葉時，行間拔一次，不用移植，并施以家畜糞灰。在生長期開，如雨量不多，每隔一二日淋水一次，并間施以人糞尿水污水等為補肥。由十月至十一月正月俱有收穫，除煮為菜食外，則多切為薄片，鋪崗陵草地上，任其晒乾，是為蘿蔔櫛銷，售於河源惠州等地。

(2)潮州芥菜 該縣第一二區多種之，因其種出自潮州而名也。其葉較普通芥菜稍圓，葉梗較為扁大，七八月俱可播種，惟於七月播者為最適當時期。先播於圃地，至發有二三葉時，即行移植，概用穴植法，每株距離約尺許。在生長期間，除草一二次，每隔二三日淋水一次，并間施以人糞尿水污水等肥，至十一二月俱有收穫。當新出時，煮為青菜食用，至旺收時，則多醃為水鹹菜，該縣各市場均賣之。

(3)其他 上述二種蔬菜，因其種之較多，故特述之。其餘蔬菜品種尙夥，惟屬通常之品，產額亦較少，故不詳。茲僅將其品種名目栽植收穫時期舉列于次：

品種名目	播種時期	收穫時期
潮州白菜	七月	十月
芥藍菜	七月	十月
生菜(俗稱蔴)	七月	十月
白菜	八月	十一月
通菜	二月	四五月
莧菜	二月	四五月
荷蘭豆	九月	十一月

蠶豆(俗稱湖豆)

節瓜

苦瓜

冬瓜

葱

蒜

茄

十月

二月

二月

二月

二月

七月

二月

十二月正月

五月

五月

五月

四月

九月

五月

### (十一)果樹

(1)黃皮果 該縣城廂內外，植有千數百株，其種植地勢，多在家屋前後或荒廢房屋之跡地，每處植有十數株至數十株，每株距離多不過四五尺，極為密植。其繁殖方法，概用實生，於春季行之。育苗一二年後，至春季移植，約三四年可結果，自移植後，絕無管理。摘果時期在六月間，每株十數斤至數十斤不等，全年總產額約三數萬斤，多運至隆市發銷。

(2)龍眼 第一區城廂內外植者，多與黃皮果混植，第二九區種者，則植於家屋內外之荒地，但每處不過二三株，並未見有關園種植者。一般種法俱用實生而後移植，亦無特別管理，年產總額共約三數萬斤，多晒為龍眼肉乾，銷售於老隆市及興寧五華等地。

(3)柿 第二十兩區多種之，其植於家屋附近者，則多屬散生植，於山麓荒地者，則較有規則。其種法與普通法無異，每年所製柿餅約四五萬元云。



(4) 楓栗 第二十區多種之，其種植地勢，與柿相同，年產總額共約萬餘元云。

(5) 柚 民國幾年時有某縣長係廣西人，以該縣土宜適於沙田柚之種植，特由其家運來沙田柚苗約二三百株，分發鄉民種植。現已收穫多年，聞其品質未見變劣云，但年產額若干，則難統計。

### (十一) 畜牧

該縣家畜以豬牛爲主要，其牛有水牛黃牛二種，概作耕田役用，老弱或不良者，則多宰賣之。其豬均係黑白花色，尤以背黑肚白者鄉民多愛養之，然不過屬於外觀上之習慣，並非有所取義也。普通養者爲肉豬，除本縣銷用外，每年出口約二三千頭云。其家禽以鷄鴨爲主要，均屬卵肉之用，所有飼養管理，與各縣大畧相同。

### (十二) 森林

查龍川縣山嶺面積約有八百餘萬畝，而有林地面積則約六百萬畝左右，係多屬天然之林，稀疏凌蕩，極不規則，至人工造林，則不過十之二三而已。此種人工林半屬於山野間之油茶，半屬家屋附近之崗嶺，或沿河當衝，植可保安用之竹木是也。該縣木材柴炭之出產，以六八兩區爲多，每年出口約五六萬元云。次爲六十區之苗竹，年中紙造出產，亦不下十數萬元云。至其主要森林之樹種，以赤松爲最多，次爲油茶竹杉之屬，其餘檫樟楓楮油桐冬青苦棟烏臼等，雖有所見，然多混生或散生，不能以面積計也。

### (十四) 農林前途之觀察

龍川縣之農林業，年來無甚消長，惟聞蔗糖一項，似有日見遜色之勢，詢其主要原因，謂由於糖捐附加所致。然土法製造，不克與洋糖競爭，想亦不無關係也。至於林業林地雖多，而林產無幾，蓋職產大業之一助也。植所致。又該縣所有崗陵嶺畔，頗適於茶葉梨柿等之栽植，倘能提倡遍種之，亦農業上之一助也。



# 和平縣農業調查報告

民國十七年

林純熙調查  
何慶功調查

## (一) 位置

和平縣在東江上游，東鄰五華平遠，西界連平，南界龍川河源，北接江西定南，縣治位於北緯二十四度三十分二十秒，經度距京師中線偏西一度三十五分。分全縣爲五區，除第四區屬忠信大湖煙墩繡墩青州等地，及第五區屬段四九連山曲潭汗湖等地，尙未成立警區外，其餘第一二三區均已設有區署。茲將其所在地方，及統轄鄉名，舉列於下：

第一區署在縣城南門外，轄大利坵岑岡湯湖桃樹窖上下熱水均坑桃均池排永豐排水口排等鄉。

第二區署在城之東北下車壇，轄下車蜜石九盛田心河嶺石舍上排楊梅楓園木龍中吉嶺南竹仔樟坑西鄉長塘黃沙赤石羅塘維新秀河中村振興蔚起油竹坵陳戶黃戶曹戶宋戶潭邦東山龍頸水口下陵柯樹等鄉。

第三區署在城之東南東水街，轄東水彭寨林寨古寨貝墩烏坵坑桅杆凹禮士下水西公白神等鄉。

## (二) 地勢

和平地勢西北高，而東南低，全縣面積約三百零七萬九千三百五十八畝，境內山脈，盤旋交錯，總計山嶺面積約佔全縣百分之九十二三，而河流平地，不過百分之七八而已。

## (三) 氣候

和平氣候通常於十一月至正月之氣溫最低，極冷時約在華氏三十四度左右，六七月間之氣溫最高，極熱時約在華氏九十四度左右。年中冷天約四個月，熱天約三個月。下霜時期，常於九月間起至翌年正月止。年中雨量於春季夏季

爲多，秋深後至冬季最少。

#### (四)農村教育狀況

和平教育於民國八九年間，浙江分水何松坡署理該縣知事時，曾極力提倡，令將各地神社寺產，盡行撥出辦學，計全縣成立小學三百餘所，實爲最盛時期。及何松坡去後，一般鄉紳又將撥出之學款收回，於是學校停辦十之六七，至今教育經費，仍極短絀。茲將各區現有學校人數條列于次：

第一區有初中一所，計九十九人；高級小學四所，一百八十人；初級小學六十二所，計一千二百二十三人；平民義學五所，約一百八十人，平均該區失學兒童約佔百分之三十四云。

第二區有高級小學二所，計八十人；初級小學二十三所，計五百三十九人；平民義學三所，計一百二十四人，平均該區失學兒童約佔百分之三十五云。

第三區有高級小學四所，計一百六十九人；初級小學五十四所，計七百三十五人；平民義學五所，約二百人，平均該區失學兒童約佔百分之三十四云。

第四區有高級小學一所，計四十九人；初級小學五所，計一百一十二人，平均該區失學兒童約佔百分之四十四云。第五區有高級小學二所，計三十四人；初級小學四所，約一百人；平民義學二所，計七十四人，平均該區失學兒童約佔百分之四十云。

#### (五)農民經濟狀況

(1)農戶 農民中田主約佔百分之六，多係大地主，每年收租數千石者，田主兼佃戶約佔百分之三十，純佃戶約佔百分之六十四。

(2) 田地價 每畝水田上等約值一百二十元，中等約值八十元，下等約值六十元；每畝旱地上等約值二十元，中等約值十四元，下等約值十元。

(3) 田地租 水田每畝最上等者年租約六石，中等約四石，下等約三石；旱地每畝年租約四元，中等約三元，下等約二元。

(4) 人工價 長工每年約二十元，短工忙時男女工每天一角五分；閒時每天男女工一毫，均須供膳三餐。

(5) 肥料價 石灰每百斤約一元二毫，人糞每担約二毫，人尿每担一毫，花生麵每百斤約七元，煙菜麵每百斤約元至二元餘。

(6) 農具價 犁每張全副約四元，耙每張約八元，鋤每張約一元，鏟每張約三毫。

(7) 農產價 水牛每頭約五十元，黃牛每頭約四十元，豬每百斤約三十元，羊每斤三毫，馬每匹約四十餘元，鷄每斤約四毫，鴨鵝每斤約二毫，魚類每斤約一毫六分，甘薯乾每百斤約五六元，葛每百斤約二元，芋每百斤約二元，花生每斤約一毫半，穀每石(往年三數元)約八元，豆每石約十四元，麥每石約十元，油每斤約四毫，蔗每根約四分，白糖每斤約三毫餘，黃糖每斤約二毫半。

蔬菜類——蘿蔔每毫約十斤，蔥蒜每毫約三四斤，芥菜每毫約六七斤，荷蘭豆每毫約二斤餘，蕪菜每毫約三斤，金瓜每毫約三四斤。

果類——紅橘每斤約二毫，桃每斤約一毫，李每斤約六分。

特產——麻每斤約二毫，茶葉每斤約五毫，棉每斤約八毫，柴每百斤約二毫二分，草每百斤約一毫。

(8) 借貸情形 當地農民中常須借貸錢款及糧食者，約有百分之二十，普通利率月息三分，低者二分，高者至五

分。借貸者多屬農民及少數小商人，放債者則為富商地主。一般農民之借貸十之八九皆因糧食不敷，故每於三四五月間青黃不接之時，借貸者最多。凡借貸苟無不動產業抵押，則非以高利限期償還不可，但小農通常借款，每次不過一二十元，還債時期，大概以五六個月為常。借債時普通須需殷富担保，或有親屬在場作証，惟至期多能如數償還，少有欠款糾纏而涉訟者。該縣原有當舖頗多，俱係月息三分，三年當絕，各舖資本均約二三萬元，惟年來因時局影響多止行當云。

### (六)交通

和平境內，山嶺崎嶇，盤旋曲繞，行客往來，極感困難。茲將其水陸交通道路數列于下：

- (1) 自東門陸路經水車頭隴岑岡營三浙水抵江西龍南縣之揚波隘，離縣八十五里。
- (2) 自西北陸路經瀨頭至龍南縣之南埠界，離縣一百二十里。
- (3) 自東門陸路經陽坊挑樹窖平虎鎮抵江西定南縣界，離城一百二十里。
- (4) 自南門水路經合水渡隴林鎮東抵龍川縣界，離城一百三十里。
- (5) 自西北陸路經週田坑五花嶂跡瀨頭連平界石龍下船抵河源縣界，離城三百里。
- (6) 自東南陸路經鷹吊嶺隴彭鎮馬塘東水抵龍川縣界，離城一百二十里。
- (7) 自南門陸路經合水渡隴永豐驢子嶺抵連平之忠信司界，離城七十里。
- (8) 自南門陸路經合水渡隴驢子嶺大湖約歷河源至惠州四百二十里，自和平至廣州八百里。
- (9) 自南門水路至惠州八百里。
- (10) 自江西龍南縣水陸路經贛州至南京四千二百九十五里，至北平七千七百三十里。



## (七) 水利

該縣沿河附近之平坦農地，俱可築陂灌溉，山谷山麓之農地，則多利用山澗溪流之水，故該縣除高原地外，大都水利無缺。

## (八) 耕地狀況

該縣農地多屬傾斜，次為平原，又次為山谷，再次為岡陵起伏及山嶺。一般土色，多屬黃灰，其土質皆頗輕鬆，因該縣農地於冬耕之後，每畝必撒鋪青草數担，此其土質所以輕鬆也。土壤砂性中等，壤土最多，黏土較少，俱為定積之土。其平原及傾斜地山谷地多栽植水稻，餘則植雜糧蔬菜之屬。

## (九) 作物

(一) 水稻 該縣可耕地約可二十餘萬畝，但查其栽植水稻之田，則恐不及二十萬畝，故年產穀額，及甘諸粟菽等雜糧，以供該縣號稱二十三萬人口之糧食，實不敷二三個月之多大。茲將該縣水稻品種以及栽培情狀紀述于次：

早稻 品種有嘉慶早稷樹早赤早禾白紅梗早坭赤江西早播淮早粳穀早云糯紅梗糯等，各區皆種之，就中以嘉慶早赤早禾白為最普通。一般早稻多係直接點播於稻田，其法於清明前後將穀種浸於水，約三天取起，用竹籬襯以稻草屯之，朝夕淋水約二三天，可屯出穀芽，然後每斗穀種和草灰三糞糞攪拌勻後，即用一能轉動之木格，（其木格之作用所以均勻點播之距離也。）點播於稻田，其稻田每畝須先施廐肥三數担為基肥，迨種子點播後約七左右，將田水挑去，將生長齊全與不生長不齊全之穀秧互相移補，每畝并加培草皮灰一次，再約半月許，用小齒耙耕耘一次，又再五六日，排去其水，用脚耘田一次，并施以廐肥人糞桐糞等，再後二十日許，又行脚耘一次，同時除草拔稗，并施石灰或人糞灰肥一次，是為止肥。至大暑可熟，每畝收量約三石至四石。

晚稻 有潛種(即亞禾)番種之別，其潛種多植於瘠瘦之山田，普通於小滿節前後浸種約二日，即撒播於秧田，播後施草灰蓋之，以防鳥雀之害，播後十餘日即可割秧，分插於早稻禾行間，至早稻收穫後，將早稻禾頭鋤去，并不再事施肥中耕，至立冬節前數日，可有收穫，每畝收量約石零二石。至于番種，其品種有冬白冬赤大冬糯黃糯等，各區晚稻皆以此種為其主要。普通於芒種夏至之間浸種，畧浸至萌芽，即撒播於秧田，其秧田先施以廐肥桐糞或石灰等為基肥，播後一二日，排去其水，直至立秋前後拔秧時，始畧灌以水，拔秧後分植於稻田，其稻田亦須先施以廐肥人糞等為基肥，然後始行分秧，分秧後約十餘日排去田水，用脚耘田一次，并施人糞灰為補肥。至二三日後，始復灌以水，再至十餘日，又行排水，耘田一次。此時有資本者，再施以各種肥料，惟普通多不再施，耘後仍須灌水，至寒露霜降間，則排盡其水，直至收穫，不復灌水矣。普通收穫時期在立冬前後，每畝收量約可二石餘至三石許。

八月早 栽植此種者，每年只得一造，普通多種於山谷之田，於清明谷雨間浸種，并屯出其芽，後和以草灰，撒播於秧田。撒時先行排水而後播種，播種後絕不施肥灌溉；至二十日左右，即立夏前後，用秧割割脫，分植於稻田，其稻田亦先施廐肥為基肥，每畝約三數十担，分秧後則不再施補肥，至十日左右，則排水耘田一次，又隔十餘日，再耘一次，及行除草拔稗，至寒露霜降間收穫，每畝收量二石餘至三石。

(2) 陸稻 陸稻俗稱雷禾，種於山上或斜傾旱地，山居農民少植油茶竹木者，則有種之，并與甘藷輪栽。其種法普通於清明前後將地土鋤鬆，用直接點播法，每穴約播種十餘至二十粒，每穴距離尺許，播後每穴淋糞水少許，迨苗高一尺左右，則割草一次，割草後又淋以糞水，以後則不復管理施肥，至大暑前後，可有收穫。如生長期間雨量均勻，每畝收量可約石餘。其用途釀酒頗佳，糧食次之。

(3) 麥 該縣種麥除忠信一帶種之較多外，其餘各區往年種者甚少，惟自去年早稻被虫害，晚稻被風災，全年失

收後，各區農民乃稍多種之，以補糧食之缺。現該縣所種品種以小麥為多，大麥次之，俱種於甘薯或晚稻跡田及花生跡地，其小麥普通於霜降前即行播種，大麥於冬至時播種。其播法將種籽浸過一晝夜後，即點播於畦，每穴施人糞尿灰一撮，并覆之以土，以後則多不施肥管理矣。至翌年春分前後，可有收穫，每畝收量約可石許。

(4) 甘薯 該縣栽種甘薯 極為普通，為農家主要雜糧。其品種有紅皮白肉種番薯(白皮白肉)，長樂薯(紅皮白肉) 蓮薯，(紅皮白肉長如藕)等，多種於旱地或早稻跡田，常與稻麥豆類等作物輪栽。普通於清明前下種，至苗長二三尺，即可截取其苗，再移植於圃地，再事育苗，在育苗期間，所施肥料，以人糞尿污水為多，至立秋前遂刈取薯苗，移植於種地條畦之上。其法於畦上中間開一淺溝，將薯苗每截長約尺許，斜置溝中，每苗相距尺許，每苗并施廐肥一大撮，然後覆之以土，至有草生後，剷草一次，并行培土，以後捲苗數次，至立冬後可收穫，每畝可十餘担。收穫之後，即將諸洗淨，用刀切為薄片或碎角晒乾之。每餐和米參半，煮為薯飯以充饑。該縣各市場，每逢市日極多販賣薯角乾，每石較穀價常昂貴一元，其薯片乾每百斤約五六元云。

(5) 花生 該縣所種有大茨細茨兩種，各區旱地皆有種之，多與薯麥等作輪栽。普通於驚蟄春分間播種，其法先將種地整好畦，然後以次開為淺溝，每開一淺溝後，即點施人糞尿灰於溝中，每點距離約七八寸至尺許，其點灰之上，即播種籽二粒，如法播完一溝後，始行再開次條淺溝，其開溝之土，即覆於已播種之前溝，如是依法播完之，至有草生後，即須剷草。在生長期間，普通須剷草二次及拔草一次，其拔草時，并將其苗壓着於土，以使其落果，如天氣過旱，則須灌之以水。其大茨種於立秋時收穫，每畝約可七八石，細茨種則多在白露時收穫，每畝收量約五六石，多作榨油之用。

(6) 蓆草 蓆草惟第三區之林寨產之，其品種出自石龍，該地栽種已有數十年，至近七八年來，始極發達，因

七八年來，蓆草價漲，東江河道不通，石龍之草少故也。其栽種地勢皆屬沿河低窪之田，每年必有河水淹浸數次者，若栽種其他作物，俱無收穫，惟蓆草則不患此，且甚適宜，故入多種之。其種法，於八九月間刈收蓆草後，即行冬耕，冬耕時，收拾其草頭晒乾之，留爲種用，至翌年清明谷雨時，於早稻分秧前或分秧後，將種草之田，春耕整好，遂將草頭插植之，頭大者每枚爲一叢，小者二三枚爲一叢，每叢距離七八寸至尺許。當插植之先，其田施人糞或畜糞爲基肥，至苗長尺許，則排去田水，用脚耕耘一次，同時施糞肥一次，至五月間，又施糞肥及石灰，是爲止肥。普通八九月俱有收穫，因刈收蓆草，多不能一次行之，蓋刈收之草，需用極多人工處理故也。其草刈收後，須即行破分。其破分之法，用銅製或竹製之劍式小刀一把，以左手捺住蓆草之一端，右手執小刀於草之中心刺過，即向右端破之，然後轉手復向左端再破，則蓆草裂分爲二片矣，熟練者每次可破分五六至八九莖，約一日夜間可破分蓆草五六十斤云。至破分之後，即須鋪開地上，晒之一日，至晚又將草打脫其苗衣，束成小把，其束點約在尾部，當全苗長三分之一處，至翌日又將蓆草把之頭部撥開，立置地上晒之一日，則可乾燥，然後束成大捆，除少數自己織蓆用外，概售於林寨街之收草舖，轉運至老隆分銷，每百斤約值七八元至十元左右。每畝收量下等田約八九百斤，中等田約一千斤，上等田約千一二斤，年產總額約十餘萬斤云。

### (十) 蔬菜

該縣所種蔬菜，皆屬普通品種，除各地農家種爲自給者不計外，縣城之東西郊，頗多專自經營者，但其出產祇供城市之銷用，毫無出口，惟第三區之林寨，則出產各種蔬菜頗多，除販賣都鄉各市場外，尚有輸出老隆發售者，而以蘿蔔芋蒜等爲最大宗。又該縣屬之忠信，往年出產蒜頭頗稱大宗，近年因農民多種粟粟，因之種蒜者稍減，現每家種蒜一畝或數分地者尙多。其蒜收穫後，即販於連平之忠信街蒜頭舖，再行烘乾，特銷南洋一帶云。

## (十一) 果樹

該縣在民國以前，祇有少數散生之桃李柑橘柿栗等果，惟近十數年來，則多有闢地種植，或集資經營者。茲將調查所得各處果園，分紀如下：

(1) 第二區下車之楓園地方，有果園一所，名曰厚生植木社，係墾山谷旱田及斜傾地爲之，約有面積三數十畝。於民國四年間，開始經營，前後共集二百股，集資千元左右。現植楓栗約三數百株，沙梨約二百株，南華李白核桃柑橘等各約百數十株，石榴約三數十株，葡萄十餘株。其楓栗柑橘之品種，俱由本地採集，概用實生繁殖，其沙梨則購苗於河源，南華李則購苗於曲江南華，白核桃則購苗於廣州嶺南農大。該園祇僱長工一名，稍事管理，現在出產尙少，惟沙梨桃李石榴葡萄等畧有結果，年中出產，不過數十元云。

(2) 第二區長塘之赤石地方，有果園一所，股東三人，共集資本六百元，於民國十年開始墾植。其地勢爲山麓山畔及山谷斜傾之地，約共面積二十畝左右，計植油桐五六百株外，以楓栗爲最多，約植八百株左右，其次沙梨約百五十株，紅袍橘及李各約五十株，柑及桃各約三數十株，枇杷二十餘株，紅棗香椽柿等各約十餘株。該園僱用長工一名，幫工一名，現除桃李枇杷等年產約數十元外，餘皆尙未結果。

(3) 第二區長塘之小河藍家私人經營果園一處，現已投資約二百餘元，於民國十二年開始墾植，約共面積十畝左右，皆植於山坑旱地。計共植沙梨百餘株，李七八十株，桃四五十株，枇杷二十餘株，紅袍橘三十餘株。用有長工一名管理，現在惟桃李畧有結果，年產約三數十元云。

(4) 第三區之林寨陳襄廷私人種植楓栗三數百株，約共面積十餘畝，皆於民國九年間所植，至去年已有少數花果云。

(5) 第三區之林寨陳爛五陳式銘各植有柿山一處，各約面積三數十畝，俱在山窩山畔地植之。查陳爛五之柿山，於民國十二年開始墾植四五百株，現已接木者約百數十株，已有花果者約數十株云。至陳式銘之柿山，則於民國十六年始植砧木五六百株，現仍未接木云。又陳爛五君另有梨園一所，係與桑樹桃李混植，并間栽蔬菜之屬，約共面積八九畝，惟所植沙梨不過百一二十株，聞現已開花結果矣。

(6) 第一區之七窖絲茅凹地與大坪地方，及第三區之貝墩三坑地方，各有柑橘園一所，各植約百餘株，在絲茅凹者，已種植二十多年矣，現每年出產約百餘至二百元云。在大坪及三坑者，已種植七八年，每年出產約數十元至百餘元云。

### (十一) 蠶桑

該縣素無蠶桑，當清光緒十餘年間，有縣令鍾桐軒，雖提倡蠶桑一次，因農民未嘗習慣，成績不佳，遂致中止。迨民國七年，署理該縣知事何松坡係浙江分水人，見該縣氣候土質甚適於蠶桑，特由浙江購得桑苗分發各區栽植，復徵集各區熱心士女到城，實地講習浙江之栽桑育蠶諸法，所得繭絲甚佳，聞經前廣東農林試驗場證明成績優良，遠勝粵產。當時該縣各區皆有從事栽桑育蠶者，頗有萌芽初興之勢，及後以東江河道不通，繭絲之銷售不便，兼之作業或有未精，終未能推廣而普及之，因此遂多改種別物。現在惟第三區之林寨地方陳爛五君獨能堅毅維持，并加研究，該邑蠶桑之業遂得不絕如縷，倘將來能再事推廣發達，則陳君之力也。茲將其經營狀況誌述于次：

(一) 蠶種 一為浙江春種三眠蠶，於民國八年由該縣知事何松坡購自浙江，飼養成績甚佳，并不變種；一為廣東輪月種，於民國十五年購自河源，初年成績頗佳，傳至次年，則毫無成績，軟化病膿病蠶甚多，所結繭繭，異常小薄，不能繅絲，故今年已不留種飼養矣，聞欲再購冷藏種試養云。

(2) 留種及掃蟻 浙江春蠶每年祇養一造，用天然育法。其種用蠶紙大小，殊無規定，其蠶兒交尾產卵之時開手續，尙頗合於科學方法。至蠶兒產卵於紙後，施石灰粉少許於紙上，以爲殺菌吸濕，并用棉繩高掛於當風無潮濕無塵烟無日光照射涼爽之處，上罩以白紙，以避塵灰，至春分前後出蟻，見出有少數蟻時，即將種紙用乾淨白紙捲好，放入眠床被窩裏孵之，約三數日，可出蟻甚多，於早晨取出，至近午時收蟻，用嫩葉掃落，如未出盡則再孵之，如法收取，至極少數時，則棄之不用。

(3) 飼養 收蟻後即放於蠶窩中，其窩底鋪以潔淨炒熟冷卻後之穀壳約寸許，上加潔白淨紙一層，蠶兒即放於紙上飼養，每日給桑六七次至八九次，每二日至三日除沙一次，當視天氣寒暖乾濕而定之，給桑則由細而粗，由少而多，頗合學理。至三眠後，則不用紙張鋪墊於窩底，其穀壳則自始至終均須用之，惟三眠後之穀壳，可不用鍋炒，祇用強熱之日光晒過可矣。如天氣溫暖，則飼養二十七八日可成熟結繭，天氣寒冷，則須三十一二日始能成熟結繭，又當天氣極冷時，常畧用火盆加溫云。

(4) 上簇 蠶簇用稻草撕淨其苗衣，截去穗端，束成小把，撥開頭部，立置板上，放蠶結繭，又嘗仿製廣東竹造蠶箔，因花孔過小，不適於浙種春蠶之用，故仍廢置之。

(5) 蠶室 用林寮街市之閒舖爲之，街市人烟稠密，極不適宜，且其窗戶開設亦不甚合，而養蠶始終作業俱在一室行之，尤爲不良。

(6) 蠶具 蠶窩蠶架蠶箔及溫濕度表俱極精良，不似普通養蠶家之因陋就簡，有繅絲機二架，俱爲浙式，惟祇有繅釜一座，以婦女司之，并有焙繭灶一座。

(7) 經濟試驗 曾秤蟻量二兩七錢飼養結果，得上等生繭六十餘斤，同功繭下薄繭十餘斤，繅得生絲十一斤左右

，其絲質韌度頗佳，類節絕少，惟水色稍遜。查其原因，係於繅絲時換水不頻，及繭置於繅釜後，任其浸漂，不行撈起，或亦不無關係云。

(8)栽桑 其品種有魯桑荆桑二種，皆由浙江購來苗木及就本地覓取移植者，皆培植為樹桑。初時雖行剪枝，欲育成拳桑，及後見分枝甚多，覺其收量尤富，遂漸不剪枝矣。其桑地每年剷草二次，一在春季，一在秋冬之季，年中施肥二次，一在飼養春蠶摘葉後行之，一在秋冬落葉後行之，以畜糞或茶麩為多。計其栽桑面積約四五畝地，每年用桑尚不及三分之二云。

### (十三)畜牧

(1)家畜 該縣家畜以牛豬為多，牛有黃牛水牛，俱為耕田役用，老弱不良者，始作肉用。豬以花白色者為多，其豬牛之飼養管理，與各地差無差異。又該縣頗多飼養母猪者，其母猪於斷乳後之小豬，飼養四個月後，即可交尾受孕，受孕後四個月，可產豬仔，產後將其雄豬仔，用剃刀割去其睪丸，母猪則於斷乳後醃之，方可作飼養肉豬之用。其豬仔產後二十天始飼之以粥，計滿二個月後，遂可發賣，是謂散豬仔，豬仔散後，約七日，其母又可交尾成孕，每年可產二次云。

(2)家禽 家禽以養雞為最多，養鴨次之，其飼養各法與他處相同。該縣於前年(民國十六年)在大確坑地方有養雞公司一所，共股東十人，集資四百元，其禽舍係用住家間屋為之，另闢一牧雞場，闊約二畝，以竹籬圍之，中有涼亭一座，并開土窖數個，以為培養白蟻之用。其培養白蟻法，係用青濕之蒼箕草堆置土窖中，每朝淋以米漿飯湯之類，俟其發生白蟻後，驅雞就食，每日如是絕少飼以米穀蔬菜。故所養之雞，每多瀉白糞而死，遂致完全失敗，不及一年，即已歇業，每股祇分鷄三數只云。



#### (十四) 森林

該縣山嶺約可佔全縣面積百分之九十二三，而有林山嶺亦約佔百分之九十有奇，但其有林山嶺多非茂密，而以天然生之松杉林爲多，其次爲油茶林苗竹林，又次則爲茶葉油桐之類。除油茶林多就原有野生加以人工管理或稍事補植屬半人工林外，其餘苗竹葉茶油桐等，皆純用人工栽植。茲將其各種森林狀況分紀如下：

(1) 松杉 其天然生長者，約佔百分之九十有奇，人工栽植者，不過沿鄉附近稍有見之。其生產地點，各區皆有，惟西北部較多，每年木材柴炭出產約可十餘至二十萬元云。

(2) 茅竹 於第一二區爲最多，皆用人工栽植，於正二三月俱有種竹。其繁殖方法，挖取二三年生之竹，連頭并根（橫行之主根二條）掘起，截去幹部，約留丈許，即可種於竹山，惟種時須依其竹根原生位置而種之，如顛倒其上下左右之方向，則不能生筍繁殖云。初種時如雨量過少，則須灌之以水，至二三年後，始可繁殖新苗，其竹多爲製紙用。茲將其造紙土法畧紀於下：

製紙之竹，每於立夏小滿間當新筍已開枝，而未發葉時，即可砍伐，砍伐後剝去枝鞘，每約三尺至三尺二寸截爲段，并破分之，竹大者常八開十開，小者六開，開後削去其節，然後每三十餘斤束爲一把，遂置於浸竹窖中，其窖長約八九尺，濶約六七尺，高約三尺餘，每放竹把一層，須撒以石灰一層，計每百斤竹把約須石灰八斤至十斤。其竹把疊置好後，即灌水浸之，其水以能浸過其表面爲度，隨於浸窖之面，用稻草或杉木皮等覆之，絕對不可攪動，如經攪動則全窖之竹不能造紙云。約浸四十日許，則啓窖洗竹，以洗去石灰爲止，洗淨後，其浸窖之底，用竹木墊起，將洗淨之竹把，復疊置其上，灌水浸之，約一晝夜後，又換以清水，如是換水三次，則任水浸之，約十餘日，窖中之水，呈烏黑色時，又排去濁水，換入清水，換至水色不濁時，始排去其水，任其屯置，如此時竹把已腐爛，則取出竹把，剝去

竹皮、用臼椿爛，至其竹肉則用脚擦爛，乃將已爛之竹皮竹肉共置入紙槽中攪勻之，沖以膠水，即用紙簾篩水成紙。每紙一張，約篩水二次或三次，篩後覆置於板上，以後所篩之紙，繼續重疊，至千餘張時，庄去其水分，即行焙乾，計每四百斤竹把可造紙一担。查該縣所出紙類，有尖皮紙，每担約八十四斤值約四兩八錢；有花尖紙，每担約一百零四斤，約值六兩四錢；有龍牙紙，每刀四十張，每二十二刀半為一折，每折約值三毫半，若以担計，每担四十斤，約值銀四元；有大簾紙，每折三斤餘，約值四毫半，中簾每刀十張，每二十五刀為一折，每折約值一毫八分，年產總額約在三十萬元左右。

### 附焙紙灶及膠水

(1) 焙紙灶 多設於房之中間，用坭磚砌成，長約丈餘，高約六七尺，基濶約二尺五寸，頂濶約一尺五寸，灶之一端，開門以便進火，他端開一小孔，以備出烟，灶內開一溝，深約六七寸，以置柴火，灶之外面兩壁，用石灰及紙根灰塗至光滑。焙紙時，先將灶內之柴燃燒，至極熱時，封閉灶門，即行焙紙。其焙紙每由兒童司之，用一松毛刷將紙刷粘於灶之兩壁焙之，焙乾後，依其紙類，疊若干張為一刀。

(2) 紙膠 由造紙家自己製造，普通七八月間所取者，以赤桔樹葉製之。將該樹葉切碎，用木甑蒸熟，置入瓦甕中，以清水浸之，約一日後，即可生膠應用。至冬季時，赤桔樹多已落葉，則採毛提樹葉，依前法蒸熟後，用臼椿碎，製成團餅，放入缸中，以清水浸之，一日後，亦可生膠應用。

(3) 油茶 各區皆產之，而以第二區之下車長塘一帶及第三區之東水一帶為最多，所有油茶樹多屬天然野生，不過加以人工管理，將其混生之草木剷去，如有蔬植之處，則覓他處之苗補植之，三數年間，即可繁生茂盛。每年於寒露霜降之間收摘，收摘後剷草一次，計該縣有榨油坊約四百座之多，年產油量約百餘萬斤，出口者亦不下十萬斤左右。

云。

(4) 油桐 該縣原產油桐，以第二區爲多，近數年來，各區踴躍種植，故油桐一業，頗有新興之勢，現全縣產額約可二三萬元云。

(5) 茶葉 該縣茶葉於四十年前，極爲發達，每年產量達三四十萬元之多，銷於廣州安南等地，後因土人充賣假茶，被外人抵制，遂失去其銷路。因之種者日少，兼之該縣往年產茶最多，而質最佳者爲第五區之九連山一帶，年來因土匪猖獗，人民多數移居，所有種茶地方，完全荒廢，故該縣茶葉，一落千丈。查現在年中出產，不過一二萬元左右，實不及從前百分之十云。

### (十五) 大宗產品

- (1) 竹造紙類年產約三十萬元左右。
- (2) 木材柴炭年產約十餘二十萬元。
- (3) 油茶年產約十萬元左右。
- (4) 桐油年產約二三萬元。
- (5) 茶葉年產約萬餘元。
- (6) 蘆草年產約萬餘元。

### (十六) 農林之前途觀察

和平純粹之農業地也，而地廣山多，故當以山林產品爲其主要之生產，如紙也，炭也，茶葉，茶油，桐油也，皆國際貿易之大宗者也。似應厚集資本，作大規模之經營，苟能改良而擴充之，不特可以裕民，並足以救國，願有振興

廣東農業概況調查報告書續編

和平縣

實業之責者，尙其注意及之可也！

一〇四



# 連平縣農業概況報告書

何慶功調查

## (一) 位置及區域

連平縣，位於東江上游，居省之西北隅，東界和平，龍川，東南界河源，西南界新豐，西北界翁源，北界江西省之龍南定南虔南三縣，縣治在北緯二十四度二十分，經度距京師中線偏西二度十二分。全縣面積約四百四十二萬八千六百六十八畝，人口約十八九萬。境內多山，其山脈之綿延，由北而南，全縣劃分為五區，每區設有警察區署，辦理地方事宜。查第一區警察署，設在縣城之南樓。所轄鄉村有黃叟洞，矮子山，麻陂，石階頭，河背，蚊湖，田心，石龍，茶山，大埠，丁留洞，鶴湖，密溪，峻岐山共十四鄉。第二區警察署，設在上坪墟。所轄鄉村有中村，九連，上坪，內莞，藍洲，下坪，大坪，覬村，上留洞，後山鍋洞，共十鄉。第三區警察署，設在隆興墟。所轄鄉村，有豐盤，軟坑，溪東，馬洞，獅洞，河頭，船洞，大田，田源，沐河，岑岩，確坎石，水西，小蓆，增填，河填，長沙，崧嶺，沙心，共十九鄉。第四區警察署，設在忠信墟。所轄鄉村，有野鴨潭，窄頭填，漆木坳，中莞，大塘鎮，柚溪，下莞，寨新，合水，司前，水滸，高陂，太平圍，柘陂，三角，太湖寨，大湖填，樟溪，橫經閣，鑿頭，共二十鄉。第五區警察署，設在陂頭墟。所轄鄉村，有貴東，大華，蒲田，塘三，貴塘，花山，資溪，瑞進洞，腊溪，牛嶺水，三坑，爐山下，黃茅寮，粗石坑，巖頭埕蓮塘，塘亨，厦田，金湯閣，分水坳共二十鄉。

## (二) 氣候

該縣氣溫，於夏至節後至處暑節為最高，冬至節後至翌年雨水節為最低，其冷熱時期，年中各約四個月左右。降霜之時，在寒露節後，收霜時期，在翌年谷雨節前。年中雨量最多在二三四月，最少在八月至十二月云。

### (三) 耕地狀況

(1) 地勢 全縣農地面積約有十三萬畝，其各區地勢平均平原約佔百分之五十，山谷約佔百分之十六，岡陵起伏地約佔百分之十一，山嶺約佔百分之五，傾斜地約佔百分之十八。其中水田能植早稻者佔有十分之九，就中兼能植晚稻者，約有十之七八，其高原旱地不能植稻作者，則種花生甘藷早芋及其他雜糧，其冬耕所栽植于農地者，第一二五區種大麥小麥及油菜為多，第四區雖有種大小麥油菜，而以栽植蒜頭為大宗，第三區對於冬耕，則多不注意也。

(2) 土壤 該縣農地土質以黏土為多，壤土次之，而砂土又次之。其色以淡灰者為多，概屬定積土。

(3) 水利 該縣農作物之水利，皆有小溪或河流，均能於上游築陂貯水灌溉，惟第三區，間有用高車取水灌溉，其餘高原之旱地，則賴天然雨水云。

### (四) 荒山情形

該縣山嶺面積，約有八百八十四萬五千二百畝，就中荒山實佔百分之六十。其荒廢之原因，皆由於人民祇顧目前小利，雖有天然生長之林木，冬天放火焚燒淨盡，或由樵採者祇知砍伐便利，將幼木砍去，以為燃燒之用，此種情形，全縣皆是。其荒廢年齡，殆難稽考矣。

### (五) 運輸交通

該縣交通，水道由縣城可由小帆船經第三區之隆興墟，直達河源縣，會入東江。近年來因賊風猖獗，阻塞河道，行李往來，多循陸道，則由第四區之忠信或第三區之隆興墟，肩挑至縣城，轉運於第五區之陂頭，直達翁源之南舖，此陸路之交通，為東北江貨物來往之孔道也。

### (六) 耕作情形

(1) 冬耕 該縣冬耕，於晚稻收穫後，在小雪前後，將稻田耙鬆，播大小麥油菜及種蒜頭等作物。其中栽植大小麥及油菜，第一二五區為多，第四區雖有種大小麥油菜，而種蒜頭者尤多，而第三區對於冬耕作物，則甚少栽植也。

(2) 春耕 於收穫大小麥及油菜之後，及有未冬耕之水田，在清明節前後，犁耙一次，待分秧之前一二日，再行犁耙一次，以蒔插早稻，如不植稻作之田，於清明節前後犁鬆田土，種花生芋等作物。

(3) 秋耕 於早稻收穫後，在大暑節前後，將田耙爛栽種晚稻，如畏旱之田，則犁鬆田土，起地為畦，種植甘藷等作物。

### (七) 農民經濟狀況

(1) 農戶 農民中田主約佔百分之十，半佃農約佔百分之三十，佃農約佔百分之六十，每農家所耕之田塲面積，平均田主約五畝以上，十畝以下，半佃農約十畝左右；佃農十畝以上，二十畝以內，為通常云。

(2) 田地價 該縣上等水田約百元，中等水田約四十元，下等水田約十五元；上等旱地約十五元，中等旱地約十元，下等旱地約三元。

(3) 肥料價 花生麵每百斤約六元，餘菜油麵每百斤約四元，石灰每元約百斤，家畜水糞每担約一毫。

(4) 農具價 犁約一元，耙約八九元，鋤約一元，中耕小耙約三四毫，鐵扎約一元，草鐮約三四毫，小鐮約一毫。

(5) 農產價 水牛每頭六十元至百元，黃牛每頭二十元至四十元，豬肉每百斤三十元，羊每百斤約二十元，雞每斤三毫半，鴨每斤約二毫半，鵝與鴨同價，魚類每斤約二毫，薯每百斤約二元半，芋每百斤約一元半，乾花生每斤約一毫二，穀每百斤約三元至四元，豆每百斤約十二元，小麥每百斤約三元餘，生油每百斤約三十元，甘蔗每毫約三條，

各種蔬菜，每毫約七八斤，柿餅每百斤約十一元，楓栗每斤約一毫半，挑李每斤約半毫，黃蘇每百斤約九元，烟草每斤約二毫半，茶葉上等者每斤七毫，中等者每斤約五毫，下等者每斤約三毫，乾柴每百斤約五毫，木炭每百斤約一元二毫，草每百斤約二毫半，苗竹每百斤約六毫，蒜頭每百斤約三元餘至四五元，草菇每斤約一元四五毫。

(6) 人工價 長工年約二十四元，短工閒時男工每天二毫，女工每天一毫，忙時男工每天三毫，女工每天二毫，每日工作約十小時左右。其長工年中供給草鞋雨笠及剃頭吸黃烟等費約五元，其短工日供膳三餐，須費約毫半至二毫。該縣農工雖農忙時，亦不須僱用外縣人云。

(7) 田地租 該縣納租制度，水田納租穀，旱地納租金。其上等水田每畝納租穀三石，中等水田每畝納租穀二石，下等水田每畝納租穀一石；上等旱地每畝納租金六元，中等旱地每畝納租金三元，下等旱地每畝納租金一元。

(8) 租田制 該縣租田制度，多由於主佃面議為憑，不稍用批約，倘遇歉年則主佃均分。通常每年租穀清楚，則可永遠耕種云。

(9) 農產貿易 農民之出售農產品，均在於農村附近各墟場，由小商人轉運於商業較盛之處所販賣，如第三區之忠信墟，或隣縣之翁源南舖，及河源縣，再由商賈收買，運於廣州，及南洋等處。茲將大宗農產種類，及其出口數量，列舉于次：

種類	出口數量	價目
米	約百五十萬斤	約六十萬元
草菇	約五萬斤	約六萬元
柿餅	約五萬斤	約六萬元



杉木

約十餘萬株

約十萬元

蒜頭

約二百萬斤

約十餘萬元

豬

約萬頭

約十餘萬元

牛

約三四千頭

約十萬元

花生麵

約二三萬斤

約萬餘元

菜油麵

約萬斤

約四五千元

花生油

約三數百担

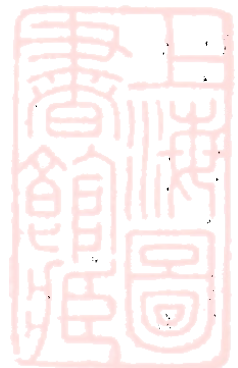
約萬餘元

(10) 借貸情形 該縣農民中不敷糧食而借貸者，約有百分之八十五，其利率最高者，每元每月五分，最低者二分，通常者為三分，放債者為田主及殷富。農民經濟困難之時，能按普通利率借得款項者，祇限於十數元，或數担穀耳。此種借貸，係對人信用不用抵押品，至借大宗款項者，除須不動產抵押外，并需殷實擔保人。又有標會之舉，係約集附近居民組織之，年中開標會兩次或三四次不等，其標會手續，以出息多者標得，每年多於稻早晚造收成時行之也。

### (八) 畜牧

家畜以養豬為多，農家每戶養有一二頭以為副業。計其產額除本縣年中宰殺之外，出口有三四千頭。農家養牛者有十之八九，以黃牛為多，其中多以為役用者，肉用者多係老廢之牛，而宰殺之販賣於本縣各墟場。至於飼養及管理各法，與各縣無大差異。

家禽以養雞為多，縣中居民每家均飼有十數隻，以為不時之需，或販賣於附近墟場。養鴨者亦與養雞不相上下，而作為專事營業者，則極少也。



### (九)作物

(1)水稻 早稻有矮脚粘，高脚粘，金包銀，鷓鴣黃，細川禾，大川禾，嘉慶早，兩造禾，撐子禾，白壳瓜仁，赤壳瓜仁，狗蠅糯，龍門糯，深水糯，火烧糯，香粳等。其種植方法，於四五區畧有差異。查第五區之種法，於春分前後播矮脚粘高脚粘兩種，其餘各種則在清明節前後播之，先浸種三天，屯芽二天，播於秧田。先施石灰為基肥，播種後約十日開始淋人糞尿水肥，每日或隔日淋一次，如是者五六日，則割秧分植於稻田，如肥料多者，先施廐肥或人糞尿等肥料為基肥，至分秧後二十日許，施石灰一次，即用脚耕耘之，如田土不鬆者，須用有齒中耕小耙鬆，再以脚耘之，如肥料充足者，再過十日左右施肥，及用脚耕耘一次，并拔除稗草，矮脚粘之收穫，在夏至後，農民以收此種禾之跡田，即行犁耙，以播晚稻穀種。其餘之禾，在大暑前後收穫，每畝約收二白餘斤至四白餘斤。第四區早稻種於清明節前後，浸種三天，屯芽二天，將穀種和幼砂及草灰直接點播於稻田，先施廐肥為基肥，播種約十天左右，淋以糞水，(名淋穀芽)再十餘日，用有齒中耕器耕一次，再過七八日，施糞水一次，每畝約施十三担，并施石灰少許，乃用脚耕耘之，嗣後約半月許，再耕耘一次，并施糞水，或石灰肥料。其百日早一種在小暑時可以收穫，其餘之禾，須大暑節前後，方可收穫，每畝收量約五石云。

晚稻有樟州粘，絲苗，香糯，白冬赤，各細糯，其種植方法，第四五區，亦有不同，查第四區於夏至前後播種，其種籽須浸至爆芽為度，遂撤播秧田，苗長約寸餘許，即淋糞水一次，嗣後約十天左右，再淋糞水一次，至立秋前後分秧。其稻田係早稻之跡田，先耙鬆，并施廐肥為基肥，每畝約三數担，分秧後約十餘日，先施以人糞石灰，同時用脚耘之，越十餘天，耕耘一次，後施以花生麵和草灰，至立冬前後收穫，每畝收量三石至四石。第五區普通於夏至後收穫矮脚粘之跡田，犁鬆耙平之後，將晚造之穀種，浸至爆芽，撒播於田，育秧苗之時，不施肥料，至大暑節立秋節

之間，拔秧分植於田，植後半月許，施以石灰，并用脚耕耘，如有肥料者，再一星期許，耕耘一次，并施以廐肥，至立冬前後，可以收穫，每畝收量約三百斤左右。

(2) 麥 麥有大麥小麥，通常小麥種於花生之跡土，於霜降後指播種，大麥多種於晚稻及甘薯之跡地，於立冬小雪之間播種。其栽植法，先將麥種籽用水浸一夜，點播於田中。其種地有先行用牛犁耨者，有用人力鋤耨者。播種之時，有先施以人糞尿草木灰肥者，有播種之後乃施以人糞尿灰肥者，播後蓋以薄土，不行管理，至翌年春分節後收穫，每畝收量約百斤左右。

(3) 油菜 油菜於立冬後，將收晚稻之跡田，犁耙鬆土，或不用犁過，祇將禾頭用鋤剷去，直行耙鬆，然後起畦作淺溝。其播種法，每油菜種籽一杯，約和尿灰兩糞箕，點播於淺溝中，播完後覆以薄土，至發葉後，間有淋糞一次。普通多不用管理，至翌年清明節前後收穫，每畝收量約六七十斤云。

(4) 甘薯 該縣甘薯以紅皮白肉者為多，普通於立春後植種育苗，種於旱地，在小暑節之時拔苗，移植種於早稻之跡田者，在大暑立秋之間植之。其栽植方法，先將田土起畦植於畦土之面，用灰糞或廐肥為基肥，種後或覆以稻草，至苗長尺餘許，捲苗除草，中耕一次，嗣後苗稍長時，再行捲苗除草一次，至立冬後收穫，每畝收量約十餘担。

(5) 芋 芋有旱芋遲芋之分，旱芋種於旱地，於立春後種之，種時施以廐肥或糞尿灰作基肥，嗣後剷草一次，并淋糞水一次，至夏至後可收。遲芋於春分節時種植，種於良好之稻田，種法與旱芋相似，惟剷草二次，并須陪土，淋糞水二次，其第三次培土時，施以廐肥，如遇天旱，則須灌水，至八九月收穫，每畝收量約十餘担至二十担云。

(6) 大薯 有紅薯白薯之分，植於芋田之間，其種植收穫兩時期及方法，與芋相同，每株收量收約三四斤至七八斤云。

### (十) 園藝

(1) 果樹 該縣果樹有桃李柑柚枇杷黃皮等，但非專業經營，出產甚少，惟柿樹在第四區之樟溪鄉栽種頗多，年中出產柿餅約有五萬斤，銷售於廣州等處。

(2) 蔬菜 該縣蔬菜，通常所種者，為芥菜白菜蘿蔔茄瓜等，所栽者多為農家自己之需用，而專種以販賣者，祇大蒜一種，在第四區之忠信鄉，年中出口有二百萬斤，運於南洋等處發售。其種法，於霜降前後整地為畦，距五六寸許，開一小淺溝，溝中先淋以糞水，每距三寸許補蒜子一粒，蓋以廐肥，其上面鋪以箕草一薄層，遂灌水蔭之，至出苗後，約二寸許，淋以糞水，再十餘日淋糞水一次，嗣後不再施肥，如無雨水時，每月灌水一二次，至翌年清明節前後收穫，每畝收量約八九担，生蒜每担價值約二元餘。其烘蒜頭之法，係於房中搭一竹棚，其棚有篷，將蒜置於棚上，在房中地面上燒穀壳，使其烟及熱氣，慢慢烘乾蒜頭，烘乾後，運出南洋等處云。

### (十一) 森林

該縣山嶺約有一萬六千三百八十方里，就中有森林者約有百分之四十，以用人工造林者，佔有十分之二。所植以杉樹松樹為多，苗竹次之，其天然生長者，亦有松樹，餘則雜木而已。杉樹第四區為多，年中有十餘萬株發賣，運出石龍等處，苗竹取筍製紙，松樹雜木，樵採為柴炭之用。

### (十二) 農村教育狀況

(1) 校數 該縣中學，祇初級中學一間，設在縣城內。高級小學則第一區縣立一間，第三區一間，第四區二間，第五區一間。初級小學則第一區四間，第三區九間，第四區七間，第五區一間。平民義學則第一區一間，夜學附設縣高立級小校內。

(2) 學生及失學兒童 中學——縣立初級中學九十人。高級小學——第一區九十餘人，第三區六十四人，第四區百五十人，第五區五十人。初級小學——第一區二百三十一人，第三區三百八十餘人，第四區三百五十人，第五區七十餘人。平民義學——在縣城內四十餘人。失學兒童——第一區佔有百分之七十，第三區佔有百分之六十，第四區佔有百分之六十，第五區佔有百分之八十。

(3) 經費 第一區縣立初級中學，及高初級小學，共約五千元。第三區高初級小學，共約二千五百元。第四區高初級小學，共約二千元。第五區高初級小學，共約六百元。

### (十三) 農林前途之觀察

連平自民國以來，盜賊蜂起，稍近山之居民，畏匪遷徙，所有山嶺田地，皆歸荒廢，以鄙見觀察非先肅清盜賊，農林事業，實無整理之可言也。

# 新豐縣農業概況調查報告

林純煦調查

## (一) 位置及區域

新豐縣在東江上游，爲惠州所屬，東界河源，東北界連平，南界龍門從化，西界佛岡英德，北界翁源，縣治在北緯廿四度六分，經度距京師中線偏西二度三十六分。地形一如人之腳腿伸出於東部，全縣面積三百七十二萬零一百六二畝左右，人口號稱十五六萬云。境內山脉盤旋，除中部及邊陲較爲平坦外，地勢悉屬高峻，全縣劃東西南北中五個行政區域，以中區爲第一區，東門約，南門約，西門約，黃陂約，塘肚圍角陂約，橫坑約，雙長約，諸家鎮梅坑約，秀長江，秀長坪，魯古等十三鄉屬之，以東區爲第二區，巖層大蓆黃京牙等三鄉屬之，以西區爲第三區，沙田約遙田約新南約腊溪約炸坪約等五鄉屬之，以南區爲第四區，樺林約立溪約錫場約藍溪約等四鄉屬之，以北區爲第五區，秀溪約磗頭約黃茶埔等三鄉屬之。

## (二) 氣候

該縣氣溫以小暑處暑間爲最高，大雪後至翌年雨水間爲最低，年中冷熱時期各約三個餘月，至雨量通常於谷雨至大暑間爲最多，秋分後至冬至間爲最少。下霜時期多在十月起至翌年二月間止，雪則較霜遲一月降，而早一月止云。

## (三) 耕地狀況

(1) 地勢 查全縣農地約有二十萬畝左右，其地勢平均大概平原約佔百分之五十，山谷約佔百分之十三，岡陵起伏地約佔百分之六，山嶺約佔百分之五，傾斜田地約佔百分之二十六，就中水田約有十三萬畝，凡平原山谷及傾斜之農地大部分屬之。除山谷水田年中種植水稻一造外，餘皆種早晚水稻二造，至於旱地則多在岡陵起伏及山嶺傾斜等地，大

都栽種花生甘薯黃豆及其他雜糧等類作物。

(2) 土壤 一般平原或稍傾斜處之水田，多爲砂壤土質，較輕鬆，顏色多屬灰黑，肥度亦較好；其在山谷間之水田，則多屬粘壤，土質較堅韌，肥度中等，色多黃灰；至於一般高坑地，乃屬於砂質乾土，雖輕鬆而性瘠瘦，顏色多爲黃赤。

(3) 水利情形 灌溉田地用陵水及水車者約佔百分之六十，用山溪小水流注者約可百分之三十，用山塘湖池者約可佔百分之十。就中中區沿西北一帶地方用水車灌溉者較多，餘則不外陵水山溪水山塘水而已。

#### (四) 荒山情形

全縣山嶺面積，約有八百餘萬畝，而荒廢山嶺，殆佔半數有奇，此等荒山土質均不甚劣，其交通亦非盡不便，實有造林之價值與可能。其荒廢之原因，大都因無人保護，每年冬季任令野火焚燒所致，其所以致此之原因，係由地方治安不良，無人從事經營故也。

#### (五) 運輸交通

該縣在民十以前，所有出入貨物之輸運，多從水道，與帆船自城南直達河源而通省城，嗣以境內土匪猖獗，河道梗塞不通，故至今出入口貨物之輸運，悉用肩挑。查第一區屬貨物多運銷于龍門，第二五兩區貨物多運銷於河源，第三區屬貨物多運銷於英德，第四區屬貨物多運銷於翁源，其交通往來，概循陸路道途頗崎嶇也。

#### (六) 耕作情形

一般耕作情形，均與翁源連平等縣相若，惟冬間栽種作物甚少，各區雖有少數種麥，但亦不過佔農地百分之一二而已，茲不備紀。

### (七)農民經濟狀況

(1) 農戶 農民中田主約佔百分之五，半佃農約佔百分之三十，純佃農約佔百分之六十五。其每戶所耕田畝，田主多在六七畝之間，半佃農在十畝左右，佃農亦以三四畝至六七畝為通常(俱指水田而言，未計旱地)，平均每戶之耕地面積，約可五畝左右。

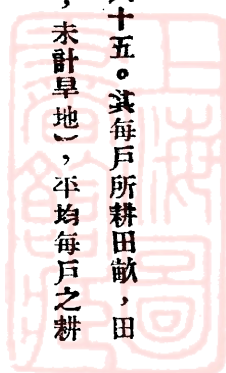
(2) 田地價 上等水田每畝值百餘至二百元，中等者約值一百元，下等者約值五十元；至旱地每畝上等約值三十元，中等約值二十元，下等約值十元云。

(3) 肥料農具價 石灰每元約二百斤，花生麵每百斤約六元餘，牛骨每百斤約五六毫，人糞水每担約六十文，犁一張約元半，耙每張約五六元，鋤鏟甲鐵札每張各一元，草鑿每張三四毫，禾鏟每張約一毫。

(4) 農產價 可供役用之水牛，每頭約五十元，黃牛約二十餘元，豬肉每百斤約四十元，鷄每斤四毫，鴨鵝每斤三毫，魚類每斤約二毫半，甘薯每百斤約二元半，芋頭每臺二斤半，葛每臺二斤，花生(濕秤)每百斤約四元，白穀每百斤約四元八毫，黃豆每石(百五十斤許)約十五元，大麥每石二元餘，生油每百斤四十元左右，甘蔗每毫約三根，蔬菜類每毫二斤至四斤，沙梨每斤約一毫，桃每毫約二斤，李每毫斤半，桔每斤毫半，苧麻每斤九毫，黃麻每斤三毫，烟草每斤約二毫半，上等茶葉每斤四毫，中等三毫，下等二毫餘，棉花每斤九毫，藍每百斤約五元，乾柴每百斤四毫，木炭每百斤六毫至七毫，草每担二毫，苗竹每根約二毫，草菇每百斤約一百五十元。

(5) 人工價 長工每年四十餘元，散工平時每天男女各一毫，忙時每天男約二毫半，女一毫半，每日供膳三餐，需費約一毫半。每天工作約十小時。該縣農工過多，常受僱於境外云。

(9) 田地租 該縣田租，概納租穀，通常上等水田每畝年租穀約四石，中等三石，下等二石二斗；旱地則多納黃





豆，上等旱地每畝年納豆六升，中等四升。下等二升，旱地租多一次納清，水田租則分上下兩季，但下季如不豐收，常有減租之事。倘遇荒歉，則主佃折半平分。其收租方法，在良舒之田，或道途不遠者，多由佃戶送到；反是則須田主到收云。

(7) 租田制 佃戶承耕田地，多與田主直接商洽，不用介紹手續，亦不寫租約，祇以口說為憑。通常每畝水田，於承佃之始，須繳押租銀十元。其租田年限，普通以十年為期，如有少欠租穀，則不在此限。

(8) 農產貿易 農民出售農產，多係自己挑赴鄰近市場出賣，其大宗者，另有商人收買，如草菇之類是也。其與外地貿易之市場，在第一區則為龍門，第二四兩區則在河源，第三區在英德，第四區在翁源。當民十以前大宗農品輸出，多用船運，後因土匪猖獗，河道不通，遂用肩挑，今年冬，大舉清鄉，匪氛漸息，想不久可以恢復水道交通矣。查該縣出口大宗之農產，有如下列：

種類	每年出口約數	出產地
杉木	三十萬元	一四兩區最多
草菇	十餘萬元	各區皆有惟一區最多
生牛	一千頭左右	各區
雞	三數千元	各區
鵝	五六千只	第一區
穀	五六千石	第三四區

(9) 借貸情形 普通農民借貸，皆以糧食為多，計當地農民，中常借貸糧食者，約佔百分之七十，但放債者

地主殷富——多借與錢款，至新穀登場時，再行折伸穀數，然後每石加息五斗，其所以如此者，因農民借款時，多在青黃不接之荒月，係穀價昂貴之時候，迨新穀登場時，穀價低廉，若直接借與穀數（雖直接借穀亦須伸算銀款），則放債者無利可圖矣。故一轉移間，農民之損失甚大，因借錢糴貴米，還債糴平穀也。一般借債期大都在一年期內，早季還本，冬季還利，乃其定例也。縣中金融周轉機關，惟第三區有富店一間，及鄉村間有穀會之組織而已。

### （八）畜牧

（一）家畜 家畜以牛豬爲主要，田主及半佃農，每家養牛可一頭以至三數頭，至佃農養牛者，不過百分之六十而已。至於養豬情形，亦大畧與養牛相同。其豬概爲本地肉用，極少出口，其牛除供耕田役用及少數肉用外，年中尙有千百頭出口云。

（二）家禽 以養鷄爲主要，鴨次之，鵝又次之，就普通之農家，莫不養鷄數翼，養鴨則不能普遍，但有作半專業之經營者。至於養鵝，惟城區有專業經營之鵝廠二家，皆以孵雛爲利，每家所養母鵝約二百餘只，專僱童工，放牧於水草之地，特別給與之飼料甚少，年中孵鵝三次，悉用母鵝或母鷄伏孵，第一次在五月名頭造，第二次在七月名二造，第三次在九月名雪造，每次伏孵須三十日方能出雛。聞頭二兩造之鵝容易飼養，尤於頭造爲有價，因能飼養屯肥，趕供過年之需用故也。其雪造則飼養較難，而且無價云。查其所養之鵝，除供本地銷用外，年中尙有五六千只出口云。

### （九）作物

（一）水稻 查該縣水田，共約十三萬畝左右，除山谷之處，年中栽種一造外，餘皆可種早晚水稻二造。年來因土匪猖獗，山田荒廢頗多，查其每年所產之穀，實際祇堪供給本縣之食，但一般貧農每多食甘薯芋頭雜糧數月，因之該

縣米穀亦可畧有出口。現查該縣西南兩區因出口較便之關係，年中輸出穀類約有五六千石左右。茲將該縣栽種水稻情形，紀其一般於下：

早稻 普通有花羅粘，兩季早，早赤，八十日早，及瘦田糯等品種。其栽種方法，通常於春分清明間浸種三日，屯芽二日，然後用手撒播於秧田。其秧田多係先施以人糞水為基肥，至播後十日許始施以補肥，約淋人糞水二三次，計播種後有十七八日可剷苗分秧，在未剷苗之前，有施以草灰石灰等者，又其育苗三十日而後分秧者，則行拔苗分秧，一般稻田多用廐肥為基肥，至分秧後半月許，用脚耘一次，以後亦不再施肥，迨小暑後及大暑時收穫，每畝收量約四石餘至五石。

晚稻及中稻 晚稻有油粘冬白冬赤花糯及清水糯等品種，中稻有大禾冬白大禾冬赤大糯等品種。晚稻皆種於旱稻跡田，中稻多種於山谷間水田，年植祇一造，通常皆於立夏節後浸種二三日，至稍萌芽時，播於秧田，其秧田亦用人糞為基肥，播後半月許淋以人糞尿水，或施以草灰等肥一次。其中稻於夏至後拔苗分秧，晚稻於立秋前後拔苗分秧，皆於分秧後半月許，用脚耘一次，間有山田施以牛骨灰或石灰等者。其中稻於寒露霜降間收穫，每畝收量約三石餘至四石，晚稻則於立冬前後收穫，每畝收量約二石餘至三石。

(2) 花生 各區旱地皆有栽種，皆為榨油用。年中所榨油額畧敷本地需用，出口則無云。

(3) 甘薯 各區皆種之，為農家之重要雜糧。一般貧農年中藉此為糧食者至三數個月，皆於收穫後切片，晒乾儲藏，以備食用。

(4) 黃豆 各地亦有栽種，供本地製豆腐用，無出口。

(5) 蕎麥 多種於各處之山麓旱地，但產額不多。

(6)大麥 各區畧有栽種，統計該項作物面積，約佔農地百分之五左右，為糧食及飼猪用。

### (十)特產

草茹 各區皆有栽培，惟於第一區為最多，計全縣年產總額，可值十餘萬元云。

茶葉 於第一區之古魯地方，及第五區一帶畧有出產，多供本地銷用，少有出口。

藍靛 第五區畧有出產，尚不足供本地染料之用。

棉麻 各區皆畧有栽種，為農家自己家織之用。

竹紙 在第一區板嶺及何木山等處，畧有製造，惟其竹紙原料，係用小桿竹，大不盈寸者製，出紙品質極粗黑，祇供本地奉神之用。

### (十一)園藝

該縣無園藝經營，對於蔬菜方面除農家自種為佐餐用外，稍有供給市場需用而已，四時菜蔬各種皆有，惟屬通常，而無佳產。至於果樹，則完全為零星散植者，如桃李柑桔梨柿枇杷楊桃等類，各農村中皆有少數散植於家屋前後，但可作庭園樹，觀耳。所產之果各市場均有零賣，并無出口，或大宗之批發云。

### (十二)森林

該縣森林面積，約可佔山嶺百分之四十有奇，大半係屬人工林。一般言之，則以松林為多，殆佔森林中百分之六七十，其杉木林於第一四兩區屬地較多，其他各區亦不少，惟因水道交通不便，價值不高，故未能見其發達耳。現在全縣之杉木及少數之松柴出口者，每年約三十萬元左右，皆由水道經河源出口。聞近年因土匪猖獗，水道多梗，對於杉木出口，遜色頗多，在民十年前或更溯至清末，杉木出口較之今日，實不啻倍蓰云。



### (十三) 農村教育狀況

新豐縣實無教育之可言，查全縣祇有國民小學三數間，城區高小一間，學生約一百人，第二區有高小一間，學生約三數十人，第四區有高小一間，學生十餘人。今年秋季創辦縣立初中一校，招生一班約六十餘人，所有教育經費，皆無常年的款，多係臨時籌撥挪挪及捐抽附加等法維持之。教育當局，亦虛有其名，從未負提倡督促指導之責，致令教育之落後，一致於此。但推厥原因，第一爲土匪猖獗，社會紛亂；第二爲帥資人才缺乏，無以着手提倡；第三則經費困難不能開辦學校。而概括言之，則民智錮塞，社會腐敗有以致之也。

### (十四) 農林前途之觀察

新豐縣山嶺多而田地少，人民職業除耕種之外，又無工商業可圖，實一純粹之農業邑也。而該縣水田面積，統有十三萬畝左右，依現在號稱十五六萬人口，平均每人可得水田面積八分之譜，兼之旱地雜糧，可供數月之食，故全縣糧食，可不虞有缺。矧查該縣農工，常有出雇外境，則對於農業經營，尙有施行集約之可能，倘今後治安能臻於良好，其農業進步，亦尙有望。惟其一龐大面積之山嶺，大半仍屬荒廢，此等山嶺，皆未升科抽稅，其爲政府公有自無疑義，則於振興該縣林業，自不能用普通方法，任令人民自己經營。據管見所及，宜採公營之制，其公營性質，不必屬諸全縣所有，當劃分於各區，凡屬某區地界者，則歸某區人民公共經營，其將來利益亦還諸區民公享。至其經營進行，則應由縣政府，負其全責擬定辦法，分期着手造林，如某區統有荒山面積若干，查其居民共有多少，然後劃分爲若干時期（以每年爲一期，限三年完竣。）造成全林。其造林人工之支配，至好責令區民（除五十歲以上，十六歲以下之老少。）無論男女每人每期須植樹若干株，并定於植樹節前後三日內，爲植樹造林期，到期須將某戶植樹地點劃定，及將植樹方法，預爲宣傳，於植樹期後由縣政府派出視察員，巡查各區各戶所植之樹，有無足額，如不足額者，

每少一株罰款若干，如植而不活者應於下期補植，如是三年之間，全縣森林自有蔚然可觀之象矣。又按此種辦法，實不祇限於新豐爲適，卽其他有官荒山嶺之縣，亦可仿照施行而有利，願地方官民起而圖之。



## 第二部 珠江及西北江流域各屬

### 南海縣農業調查報告 民國十六年

卓正豐調查

#### (一) 位置

南海縣居省會首區，位於北緯二十三度零七分一十三秒，經度距京師中線偏西三度一十二分二十四秒，縱一百五十餘里，橫一百一十餘里。東界番禺，南界順德新會，西南界鶴山高明，西北界三水，北界花縣。全縣分爲七司十區，區之下又分爲六十四堡，分述如下：

九江司在省城西南一百零一里，分爲四堡：曰大同堡，曰沙頭堡，曰河清堡，曰鎮涌堡，此第一區地也。

金利司在省城西北二十八里，分爲八堡：曰恩州堡，曰草場堡，曰黃岡堡，曰豐岡堡，曰麻奢堡，曰上白石堡，曰下白石堡，曰桃子堡，此第二區地也。

三江司在省城西南六十五里，分爲五堡：曰大欖堡，曰金紫堡，曰駱村堡，曰山南堡，曰沙完堡，此第三區地也。

五斗司在省城西南四十里，分爲十堡：曰平洲堡，曰深村堡，曰佛山堡，曰疊溜堡，曰夏教堡，曰林岳堡，曰季華堡，曰蟠岡堡，曰容洲堡，曰魁岡堡，此第四區地也。

黃鼎司在省城之西六十五里，分爲十五堡：曰豐寧堡，曰興賢堡，曰西隆堡，曰沙堤堡，曰上豐華堡，曰下豐華堡，曰大圃堡，曰登俊堡，曰上圍堡，此第五區地也；曰綠潭堡，曰大富堡，曰大江堡，曰張槎堡，曰土爐堡，此第六區地也。

江浦司在省城西南一百里，分爲十四堡：曰登雲堡，曰簡村堡，曰伏隆堡，曰丹桂堡，曰礮溪堡，曰百濶堡，曰上金歐堡，曰雲津堡，此第七區地也；曰先登堡，曰海舟堡，曰下金歐堡，曰吉利堡，曰龍頭堡，曰龍津堡，此第八區地也。

神安司在省城西南二十五里，分爲八堡：曰泌冲堡，曰梯雲堡，曰扶南堡，曰鹽步堡，曰大歷堡，曰平地堡，曰黃竹岐堡，曰大通堡，此第九區地也，第十區則省城西關一帶屬之。

### (二)地勢

全邑爲南北長形，北高而南低，北部多山，南部平原。以全縣面積平均計之，山嶺約佔十份之二，如第二區之南部，第五區之北部，山嶺相連，蔓延數里，餘則第八區之西樵山，第二區之老虎山象山，第九區之展旗山，其著名者，此外並有少數無名小山。

### (三)氣候

南海居省會首區，氣候畧同廣州市。春夏間多南風，秋冬間多北風，最低溫在大寒後立春前，約華氏卅六至三十八度，最高溫度在立秋處暑間，約在華氏九十七八度。

### (四)耕地狀況

土質 大概分爲二種：廣三鐵路以南之地多冲積土，土色灰褐，概屬砂壤，表土畧深，含肥較多；廣三鐵路以北多冲積土，土色淺黃，似屬粘壤，表土僅四五寸，含肥亦少。

水利交通 水利亦以廣三鐵路以南爲便，以北較艱。查西北江自三水縣以入南海地者，分而爲二：一向南流，經



第七八區中部而入順德縣；一經五區中部入第六區，又分爲之二（一）向四區與八區之間而入順德；（二）向六區入佛山而出白鵝潭，此皆可通大輪之水也。其餘可通小輪之水，縱橫交錯，不勝枚舉，交通之便可謂極矣。至於旱災，數十年來，未曾一見，洪水之患，亦甚稀少，間有西水高漲，淹浸農田，但不甚急激，屋宇不致崩頽，且近年土人高築基圍更不致有大害也。若鐵路以北則否，其地爲高曠而水源少，下復堵塞而宣洩難，是以多雨之時，則成澤國，少雨又患旱災，其可行駛大輪之水，獨來自三水上江，沿其邊界，經花縣番禺而入白鵝潭之一道，其交通固不若南部，而水利尤爲遜色也。

### （五）耕作情形

南邑自廣三鐵路以南，除第四區地多種水稻瓜菜外，餘一七八區盡是桑田，卽五六區之南部，亦多種桑；鐵路以北第九區，則以種水稻瓜菜芋者爲多，至第五六區以北及第二三區除山崗，多種薯芋花生等物外，其餘亦均屬水田也。

### （六）農民經濟狀況

南海農民經濟頗爲充裕，其第一八區除種桑養蠶繅絲織綢而外，九江多養魚苗，每年收入在二百萬元以上；第七區婦人女子多織帽及竹器等物，每年收入，亦在二十萬元以上；第二三五六等區除耕種外雖少工作，而冬耕之芋豆蔗糖等收入，亦可以小補；至如第四區之佛山，平洲，石灣，瀾石等處，除種水稻外，多種瓜菜等物，順德一縣，多賴其供給，每年收入亦在數十萬元之譜；且石灣多缸瓦窯，三尺小童，亦能各執一業；第九區之鹽步，大瀝橫江等處，種禾稻瓜菜者固多，而婦孺又多以炮竹爲業，是以南海農民，幾無游閒者。經濟充裕，可想而知。或以全縣按押有一百二十餘間，料其農民經濟，或且困難，不知按押是金融轉換機關，又可爲農民貯蓄之所，不能以按押之多而定其農

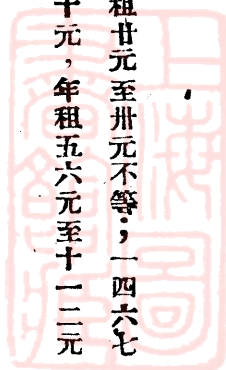
民經濟之不裕也。

田地租價 南邑地價，以第八區桑田價為最高，肥沃者每畝值二百元至三百元，年租廿元至卅元不等；一四六七九等區，上等田值百元至二百元，年租十元至廿元；二三五等區上等田至多不過百五六十元，年租五六元至十一二元，而山崗粗砂之旱地，每畝僅十數元而已，租則數角至一元左右也。

長短工價 南海農民少有僱長工者，短工忙時八角至一元三四毫不等，平常亦須五六角，女工忙時五角至八角，平常亦須四五角。膳食僱客自理，該地男女工皆不易僱，普通所僱者，多數是外方之人。

大宗產品價如下表

品名	產地	量產	價值(担計)
蔗糖	第三區 華平 第五區 隔涌	五百担 八百担	十五元
西瓜	第五區 畔坑 第九區 石碣	于餘担 五百担	五元
荳	第二區 第四區 第五區 第六區 第九區	約五六千担	時價
芋	同上	約六七千担	時價
葛	同上	三千餘担	時價
番薯	第二區 第三區 第五區	四五千担	時價



花生豆	同上	千餘担	無定
香瓜	第九區石碣	百餘担	二元
牛腿瓜	同上	五百担	三元
仁面子	第八區吉利	七百担	六元
芒菓	第五區心頭壟	樹百餘株	無定
竹器	第七區黃鼎		共約廿萬元

### (七) 農村教育狀況

南邑農村教育，甚為幼稚。農民學校，有前第九區農會所設之農民學校三四間，自清黨以後，已無形消滅。現在祇有工讀學校一間，校名曰杏農，係南洋烟公司簡照南之妻所設者，學生約二百人。至縣立私立學校，中學祇一間，約二百人；師範一間，一百六十餘人；高小四間，國民學校二十二間，共約二千六百人；私塾六百餘間，每塾平均以二十人計算，共約一萬二千人，合公私學校計之，學生約一萬五千人。以全邑一百五十餘萬人計算，兒童約佔二成，則學童應有卅餘萬人，除萬五千人外，則失學兒童亦在卅萬以上。現第一區九江市由各埠華僑捐得學款十餘萬元，將其利息新設學校二十間，但學生亦寥寥無幾，以南海素稱富庶之區，失學兒童竟至如是之衆，實出人意料之外也。

### (八) 作物

(一) 水稻 南海水田約佔耕地十份之五，全年產額，約可供四五個月糧食，餘則仰給洋米。耕作分爲早晚二造，其品種屬於早造者，有黃殼白粘小糯花壳等，屬於晚造者，有白壳白粘大糯黃粘等。



選種種移播植時期 選種早晚造同，先用風選，次用水選。水選之法，用竹籬載穀，浸於水中，以手攪之，去其輕浮者，留其重而沉者為種。浸一二日後，起置家中一夜，攪鬆，再浸一日，視根已出，即撒播於秧田，俟其生長約一尺高，即行移植。若是西水常浸之田，則點穀種於旱田中，每科距離一寸，至秧苗高及一尺以上，乃拔插於西水常浸之田，早造清明前後播種，晚造立秋前後浸種。

管理及收穫 插秧後約二十日，秧苗漸次生長，於是先排水施肥，（若用化學肥，每畝約十斤至廿斤，和水撒於田中，若用石灰為肥，即撒灰粉約三十斤。）然後耘耨，田堅硬者，用似耙形之小鐵器以除草。田鬆軟者，用小竹扶手，以足攪土，一二日後，方再灌水，早造小暑前後收穫，晚造立冬後收穫，每畝收量上等田五担左右，中等田三担左右，但晚造比早造必多獲担餘云。

(2) 蔗糖 獨三區五區少有種植，三區多竹蔗，五區多腊蔗，其種法亦與普通法同。將上年所刈之蔗尾，在立春前後，去其一二節之蔗壳，以數十條札成一束，浸於池或坑水中，一二日後，即斜插於地（斜約十二三度角）。當未插之前，先犁耙其地，起濶約尺餘，高四五寸之畦，乃插於畦中。竹蔗則畦矮而狹，間種豆類或瓜菜等植物，瓜菜收穫後，即行施肥培土，若腊蔗則常貯水於溝中，而竹蔗則否也。

(3) 薑 雨水節前後種於闊約二尺高一尺之畦中，每株距離約二尺，間種節瓜苦瓜豆角等植物於畦邊，並種芋，每株距離二尺，在夏至以前，每月概施肥一二次，普通以人糞尿豬屎浸至醱酵施之。惟第九區橫江地方所種之薑，則在立春前後，另施以角水三十斤，角水即牛角所浸之水每担約須銀十元云。其薑之纖維必少，故橫江老薑出市，每担價值比之別處必高一元以上，惟該地所產無多，每年僅數百担耳。薑忌連栽，必隔三年以上，始可復種云。

(4) 冬瓜節瓜苦瓜 冬瓜分為早晚二造，自立春至夏至所種者，瓜早造，夏至以後所種者，瓜晚造，種法先養成

高約二三寸之瓜秧而後移植。或直點播於薑芋畦之間，每穴落瓜仁二三粒。嗣其生長高至二三寸，即拔其衰弱而留其茁壯者一條爲種，後插細竹於旁，名曰引，其上札以疏竹，名之曰棚，其瓜苗生長，必從引而上於竹棚之上，若欲瓜大至數十斤，則剪去瓜苗之枝幹，留其正幹，則瓜獨一個必易長大，否則瓜雖多但僅數斤云。

肥料 則以豬糞爲多，間亦有用花生麩或化學肥和水施之者，每株瓜苗約用肥料銀一角左右，若不種冬瓜而種節瓜苦瓜，則種於薑畦之兩旁，亦插竹爲引，成人字形，肥料與冬瓜同。冬瓜之最佳者，以第九區橫江地所出者爲最有名，因該處冬瓜堅實而空心少，且瓜仁亦少。然同是瓜地，同是瓜種，而其中別有瓜仁堅實，可充下造種用者，惟其識別方法，則土人秘而不傳云。

(5) 西瓜 分爲青皮白皮二種；白皮者瓜身畧長，青皮者瓜形畧短，宜種於砂質土。其栽種法係於春分前後點播於二三寸高之畦中，每穴用瓜仁二三粒，穴間距離約三尺，行間距五尺，至生長二三寸，則擇留壯健者一株，每月施淡肥一二次，大暑前後收穫，上等收成每畝可得十餘担云。

(6) 牛腿瓜 因其形似牛腿故名，瓜皮青色，瓜肉則有青白二種，其味則一也。其種法時期與西瓜同，惟收量則畧遜於西瓜。

(7) 香瓜 有白皮，有青皮，並有黃皮種，亦有青白相間者，瓜形畧圓，每個重約二三兩，不甚可口，祇可供解渴而已。種法與西瓜同，或種於薑芋畦間，距離縱橫約一尺左右。收穫期在夏至前後，每畝收量多則四五担，少則二三担云。

### (九) 菓樹

南海菓樹甚稀，荔枝龍眼，各區僅有少數，均栽於屋旁，或坑圳間，其種植有規則者，則未曾見，大約全縣有千

株左右云。

第七區有芒果樹百餘株，亦不整理，惟第八區吉利村旁屋坑圳等處，種有銀蓮百餘株，每年收入五六千元，其生長亦任其自然，是爲南海之特產。其種法將實生苗（名瓜漏核，）高至一二尺時，移植於基圳上，護以竹木，防風吹倒，初則間淋以水，至生新根發新蕊後，卽不復管理矣。自種植至結果收穫，約須十年，大概立夏前後開花，冬至前後收穫。

### （十）畜牧

（1）牛 南邑之分爲二種：（一）役用，（二）乳用，而乳用者獨第四區三山地養有二百餘頭，每牛每日飼費約一毫五仙，多乳者每頭每日可擠乳十二斤，少者四五斤。銷路以廣州市爲多，每斤價銀約二毛左右。飼料夏天則以草爲多，冬月則兼用米糠，畜舍則以竹木搭成房子。役用牛舍與乳用同，亦有用屋內房或廳充之者，飼料則專用草。全縣水牛約五千頭左右，黃牛約三四百頭耳。

（2）豬 南邑農民少有養豬者，惟釀酒及米店，則屢有養一二百頭者，普通飼料，則用米糠野草水浮萍之類，每豬每日飼費約一毫左右。豬舍則以竹木爲之，每舍豬十頭，名曰一份，豬仔則二三十頭不等，全縣豬大約達三萬頭以上，銷路則以廣州市爲多。

（3）鴨 分爲稚鴨老鴨二種；稚鴨卽本年春月所生之鴨仔，養至冬月售賣者；稚鴨最大群之數約千餘，普通管理以竹籬圍於水陸各半，而兼有樹陰之地，任其上陸下水自如，早晚飼以水草（俗名鴨菜）和硬米飯，至其大已及斤，則飼以米糠和粥，並間飼以穀，若水稻收穫已竣，則用長竹杆驅至已經收穫之田，任其自由取食。老鴨管理飼料悉全稚鴨，惟必另有禽舍在于屋內，卽以間房或廳爲之。最優之種，每年產蛋二百餘個。最大群者，多則百餘個，少則數十

個。

(4) 鵝 最大群者六七十個，飼料爲米糠菜葉等，至大及三斤左右，則用竹杆驅至草地，任其自由採食，早晚仍飼以穀糠等。鵝舍則以房間爲之，最良之種，每鵝年產蛋可四五十枚。

### (十一) 蠶桑

(1) 蠶種與蠶造 蠶分爲大造輪月二種，大造年養一造或二造，輪月種年養四造或五造，普通共養六造，若養至第七造者，則名曰寒造。

(2) 桑 南海桑地約佔全縣耕地三份之一，縱橫面積約十五里有奇，魚塘屋宇道路約佔五成，桑基約達四千頃以上。按民國十一年農林試驗場蠶業調查報告，南海桑地共二千九百餘頃，似不甚相符，惟十一年至今相距六年，種植不無改變。而該報告書又謂石灣瀾石平洲農家，專以養蠶爲企業之經營，而現在石灣瀾石養蠶者雖多，而種瓜菜者亦不少。至平洲一處業蠶者，則幾等於零，該報告書謂平洲蘭市三間，現祇得一間，其改變耕作情形可知矣。

(3) 桑苗栽成法 欲栽桑苗，必先栽桑樁。法將舊桑不刈枝至三年之久，必有桑樁，在立春前後，摘樁之黃黑者，以竹籬載之，數日之後，樁肉必腐爛，以足踏之，使樁肉與仁分離，用水洗去其肉而取其仁，以草木灰攪勻，使其吸去仁外之水，則可撒播於地，上蓋以粉碎之土，並敷草於上，以防鳥類啄食。至芽苗高已二三寸，則施以淡肥，約一年之久，苗高可達尺許，則可移植矣。桑苗每株距離六七寸，行間約一尺，每年施肥料二三次至五六次不等，肥料充足者每年每畝可摘桑二十至卅担左右。

(4) 蠶絲產額 絲之產額雖無確實數目，但按第一區絲廠十所，第八區絲廠十三所推之，平均每所四百人，合共在廠繅絲者，九千六百人，每六百人每日可出絲一担，每年二百七日計算，則每年可出洋裝絲四千三百二十担，其餘

專用人力纜絲者，亦約數百担云。

(5) 蠶病 蠶在第三造以前，以軟化病水皇病爲多，三造以後以蠅病爲最；(甲)軟化病在四眠後不復食葉，死於窩底，蠶身軟化，無防除法。(乙)水皇病因雨水過多所致，亦不食葉，河水而死，預防法不給濕葉，用乾燥之蠶室，則可減少其害。(丙)蠅病在三造以後，因青色之蠅，放種於蠶身，則蠶身必成黑點，不久即死，預防法以網蓋蠶窩，免致蠅近蠶身，則可免其害云。

(6) 桑葉害虫 分爲二種：(一)毛虫，(二)青虫，又名探枝虫。毛虫週身生毛，分爲紅毛黃毛白毛三種，不食桑葉，惟摘桑者觸之，則手必腫痛，反之，青虫則專食桑葉，而夏至以後爲最多。防除法，則驅鴨入桑地，用竹杆攪桑樹，使虫落地，而鴨食之，此獨一無二之便法云。

### (十一) 特產品

南海大宗特產品，除蠶絲外，以魚苗爲大宗，九江魚苗每年收入在二百萬元以上。茲述其撈魚選魚之法，魚苗種產於西江，取之者上自封州水口，下至羅旁水口，凡八十里，其水微暖，爲魚種所聚，凡取魚苗者，知某方有雨，某江之水長，則某種魚至。查南寧爲左江，其水多土鯰，柳州爲右江，其水多鱖，北爲桂江，其水多鮠魚，此四種爲正家魚，養於池塘容易生長，故務取之，盛以白磁盆，魚大如針，即能辨其爲某魚。蓋其浮而在盤上者鱖也，在中者鮠也，在下者鮠也，最下者鮠也，分養池中，水淺而向陽者，則易生長云。

### (十二) 農林前途之觀察

南海地多平原，已無曠土，惟山嶺尙多荒廢，如第二三區之山，雖間有松樹，而不毛者尙居一半有奇。其山土雖瘠瘦，但種松無不宜，以近來柴價之高昂，農民應急起種植之，以圖小補也。



# 順德縣農業調查報告

民國十六年

卓正豐調查

## (一) 位置

順德縣位於省會西南百餘里，徑度在京師中線，偏西三度三十一分五十三秒，緯度北二十二度四十三分二十三秒。東北界番禺，東南界中山，西界新會，北界南海，東西廣七十餘里，南北長八十里。全縣分爲十區四十堡，分述如下：(里數舉每區之最近縣城者而言。)

第一區即附城，分爲三堡：曰大良，曰古樓，曰小灣。

第二區在縣北二十里，分爲三堡：曰黎村，曰倫教，曰羊額。

第三區在城北三十八里，分爲四堡：曰桂林，曰龍津，曰龍頭，曰都粘。

第四區在城北六十四里，分爲三堡：曰甘溪，曰石碓，曰登洲。

第五區在城西三十四里，分爲五堡：曰新良，曰鷺洲，曰平步，曰葛岸，曰水藤。

第六區在城西二十四里，分爲五堡：曰石涌，曰黃連，曰勸流，曰江村，曰冲鶴。

第七區在城西六十七里，分爲三堡：曰甘竹，曰龍江，曰龍山。

第八區在城西南四十里，分爲七堡：曰馬齊，曰北水，曰逢簡，曰古粉，曰龍渚，曰昌教，曰馬寧。

第九區在城西南四十六里，分爲五堡：曰江尾，曰白藤，曰福岸，曰雲步，曰鼎新。

第十區在城南三十二里，分爲二堡：曰容奇，曰桂洲。

## (二) 地勢

縣屬平坦，江河滿佈，耕地約佔十分之九，山嶺僅居其一耳。傾斜之地獨第九區有數方里，然傾斜度亦在三十度以下，其餘第一三七區亦間有山嶺，但少有相連數里者，其高低角度約在四十五度左右。

### (三) 氣候

氣候和煦間有颶風，雨水以夏月爲多，霜則大寒前後，間或有之，雪則未見。平常溫度與省城無異，立夏與立秋之間，溫度最高，過此則又溫和矣。

### (四) 耕地狀況

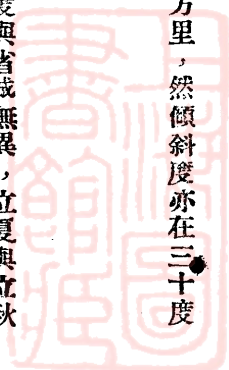
(1) 土質 縣屬土質均屬沖積土，低下之田，常種水稻，第三九十區約有數百頃，其餘各區概植桑樹。土色灰黑，表土深厚，含肥分極富。

(2) 水利 農民專以種桑養蠶爲業，桑田之中，均有魚塘（水佔四成桑佔六成），水旱之災，數十年未曾一見，西潦之患，間年或有之。江河之兩岸，土人皆築基圍，雖間有西潦，亦無大患。倘非水勢急激，基圍屋宇不致傾頹也。

(3) 交通 順屬皆平原之地，江河棋佈，貨物往來，皆用輪船，由東之西，由南之北，約數點鐘可至，且爲恩開新中山等縣輪船往省必經之路。一日往返，必有數起，交通之便，別邑無有過之者。

### (五) 農民經濟狀況

(1) 田地租價 全屬水田約佔耕地百分之三四，餘是桑地。上等田價每畝百元至二百元，年租約廿元；中等田價每畝五十元至百五十元，年租約十元；下等田價每畝十數元至數十元，年租一元至數元。上等桑地每畝百五十元至三百餘元，年租十五元至三十元不等；中等桑地五十元至百餘元，年租數元至十餘元；下等桑地每畝數元至數十元，年



租數角至數元。

(2) 長短工價 順德農民少有僱用長工者，間有酒米家僱用，年金百元以上，一切食用皆僱主供給。短工忙時男工一元四五毫，女工一元左右；閒時男工五六角，女工三四角，一切食用，皆僱客自理。

(3) 物品價格 農民日用食品，除魚肉而外，皆仰給外來，全邑產米不足半月之用，故米價比較省城每担必高一元至二元之間。柴價亦高一二角，其餘瓜菜薯芋油鹽等物價，比較省城，亦必高十份之一以上，惟塘魚一項，則價畧低於省城，因塘魚是順德出產之大宗品也。

(4) 大小農及經濟情形 全邑人民約七十餘萬，除第三九十區有少數耕田者外，其餘盡是耕桑，最多者耕四十餘畝，少則十數畝。而種桑者未必養蠶，養蠶者亦未必種桑，二者兼而行之，此亦所在多有。至經濟情形，各區大畧相同，惟近二三年來，蠶桑衰落，絲價低跌，比較三年前稍覺為困乏。查縣中出外經商者數萬人，每年進款數百萬，在家十六歲以上四十歲以下之婦女，出繅絲廠工作者，約四萬人，一人工作所得之資，可供三人之用而有餘。勤兼精者，每日可得工資一元以上，惰而愚者亦五六角；其餘十六以下四十以上之婦女，用手工繅絲，所得亦可以自給。是以順德農民經濟，比較別縣農民格外充裕也。

### (六) 作物

(1) 水稻 分為早晚二造，早造雨水前後浸種，晚造小暑至大暑之間浸種，至秧苗長約一尺，始行移植。惟早造不得過夏至，晚造不得過立秋，過此則收成大減云。亦有西水常浸之低田，獨種一造，在夏至前後插秧者，早造穀種有龍芽粘，新興白，黃穀，鷄母磨等，晚造則有絲苗，銀粘，白壳等。

(2) 瓜菜薯芋 第三十區雖有種植，亦不足本區之用，惟八九區所種則可以自給，無須外求也。

(3) 笋竹 第十區桂洲沿海一帶栽種竹笋約有數十畝，每年產笋數百担，每担十二三元，笋味清甜，不用漂水，其味亦不澀云。其種法，在春季雨水最多之時，擇其有笋芽之竹，連根鋤起一二條，切去竹尾，即種於沙質鬆軟之地，每年春分前後施淡肥一次，繼續培土，一年以後，則有笋收穫云。

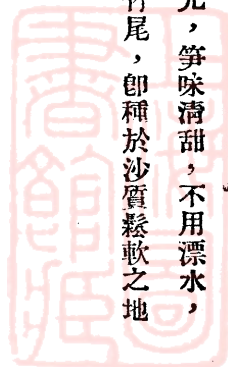
### (七) 菓樹

(1) 荔枝 龍眼 順德菓樹寥寥無幾，第六區黃荊涌有黑葉荔枝約二百餘株，龍眼數十株，皆三十年前之老樹，種於屋邊基墾之間，不施肥，不除草，聽其自然生長結實，每年出菓約四五十担，每担約值二十四五元，龍眼二十餘担，每担約十元。第十區容奇有老黑葉槐枝六七十株，生長亦聽天然，年出產亦數十担，黑葉價同前，槐枝每担約價十一二元。

(2) 桔橙 第三區弼教地方有桔橙六七百株，每株距離約七尺，每年施淡肥四五次：一在摘果後施之，一在成果後施之，一在果大如鷄卵時施之，隔一月再施一二次，然後摘果，每株年約施豆麸四斤左右。繁殖法，在摘果後擇其較近樹腳之低枝，以刀削去樹皮約寸許，後十餘日，用無砂之坭土和草桿細於削皮之處，若數日不雨，則淋以水約三十日左右必出根，至七八十日則可剪下假植於地，及冬月或春月則可移植矣。

### (八) 蠶桑

(1) 桑地面積及生絲之產量與價值之數量 順屬桑地雖難確實調查，按前廣東農林試驗調查蠶業報告，謂順德桑地約四千三百六十頃，每頃平均年收桑二千五百担，每桑五十担可養蠶出乾繭一担，每繭一担可賣銀二百元，合計全邑每年可賣得繭銀三千零五十餘萬元云，但余以全邑繅絲廠九十六間推算，平均每間三百位，每四百位每日可出絲一



担，則全邑每日可出絲七十二担，一年以三百日工作計算，則全年可出絲二萬一千六百担，以近一二年價每担值銀一千四百元，則全年可得絲銀三千零二十四萬元，兩相比較，其數相差無幾。桑地四千三百餘頃，似無疑義，但繅絲廠之絲均是洋庄絲，用人力及小工廠所繅專供土織之用者，亦約一千數百萬元，似順德蠶絲產量當在四千萬元以上。

(2) 桑仁 順德桑樹均屬荆桑，欲留桑仁，則將所植之桑，三年不刈其枝，必開花結實。在清明前後，桑果已現紅黑色，則摘回家中，貯藏約一禮拜之久，果肉已腐，則以足反覆踏爛其肉而取其仁，再以草木灰吸去仁外之水，即可撒播於鬆幼之土地，再以草敷於上，以妨雨水之沖流，及鳥獸之啄食，及其生長一二寸，則施以稀薄之淡肥，至一年之久，高約一尺，則可移植。

(3) 種桑採桑及施肥管理法 將地犁耙鬆碎，即鋤坎種桑，或用鑿鑿一孔（將桑苗畧剪短其頂端及正根），落桑苗二條，每坎距離七八寸，行間十二三寸。摘桑在一二三造時，則每株留葉四五片，至四造後，則尾葉連枝概摘，獨留孤枝一條。每摘桑一次，則施淡肥一次，或隔月施一次，若桑田肥沃，全年不施肥者亦有之，及至末造大小寒之前斬桑枝後，必以塘泥敷蓋桑頭，或以薄土遮蓋，以妨日光蒸發及霜雪冷死根株云。

(4) 製種 經營製種者，以第六七區為多，最有名而字號最老出種最多者，首推六區勸流之耀記，每造多至七八千紙，至少亦二千紙以上，每紙一張，即蠶蛾八兩所生之卵。該號常僱製種師四人（名曰師傅），每人月金皆在三十元以上，一切食用仍出自僱主。當蠶大眠起後，該師傅則落鄉巡視各養蠶家，見其蠶強壯無病者，即議定價錢，至蠶熟結繭，則担至該店交銀，及出蛾生卵，則翌早三點至八點鐘前，即為浴水期，水之冷熱，皆師傅以手試之，不用寒暑表等物，至浴水之後，則有販買家到買，或設支店於各墟市發售。若蠶旺之時，每紙可賣銀五六元，蠶衰則一元數角，或送與人，亦無領之者云。

(5) 養蠶 蠶分爲大造輪月二種，一二造多養大造，餘則養輪月。專以養蠶爲業者，建茅屋一座於屋外或桑田之間（亦有以屋兼養者）。蠶室之廣狹，視工人之多少爲斷，養至多者，每造可二紙，普通以半紙或一紙爲多（一紙名爲八兩蛾之卵實則六兩蛾卵而已。）一兩紙所出之蠶仔，「俗名蟻蠶重約一兩五錢每錢約一萬蠶。」自出卵至初眠止，約須桑葉八斤，二眠加倍「即十六斤」，三眠三倍「即四十八斤」，四眠四倍「即一百九十二斤」，四眠起後至成熟，約須三眠起後所食之桑十倍「即一千九百二斤」，若上等收成，至蠶熟之早一日，可得蠶四十箔，每箔分爲二箔，每箔約千五六繭，每繭一千以本年二三造市價，約值銀七角，八十箔計算約十二萬繭，共值銀八十餘元。本年桑價每担約銀二元「共食桑二十二担即四十四元」，除去桑本，約賺銀一半左右。

(6) 蠶病 (一) 白瘡病蠶身變白，不食桑而死。(二) 瀉水病，因雨水過多，無乾桑可食，以致腫漲或瀉水而死。(三) 蠅病，因蒼蠅產卵，蠶身成黑點而死。(四) 粉病，因眠起之蠶，間有北風吹之，至成熟則有粉無絲，或有絲而不結繭二三日死。

### (九) 畜牧

(1) 牛 第六區之甘竹，三區之陳村，各有役用牛二十餘頭；一區之大良，七區之龍江，各有乳用牛二十餘頭。飼養管理如常法茲不紀述。

(2) 猪 各墟市酒米家均有畜養，最多者二十餘份，每份十頭；住戶亦間有養一二頭者，飼料以酒糟米糖爲主。殘渣水草等物副之，每日飼養二次，若猪仔則三四次不等，全縣猪約在二萬頭以上。

(3) 家禽 以鷄爲最多，其良種年產卵百餘個，飼料以米糠爲主，或以廢棄之蠶糞飼之。十室之中，間有三二家飼養數隻，亦屢有數百家之鄉，無一人飼養者。鴨則以第三區之陳村，十區之桂洲爲多，有年養一二千隻者，飼養管

理與南海無異，故不贅述。

### (十) 荒山

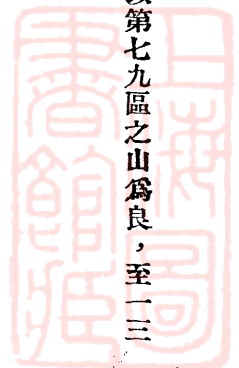
縣屬山嶺，以九區爲多，七區次之，一三區又次之。其中巖石少而可以種松茶者，以第七九區之山爲良，至一三區之山，水成巖者，約佔六成，種植似不易也。

### (十一) 農村教育狀況

農民學校，獨七區龍江有不完不備之農民學校二間，肄業者有八十餘人；縣立中學一間，學生約一百七十人；師範一間，學生八十人；女子師範一間，學生七十人；公立私立高小三十三間，學生共約二千人；私塾一百一十二間，學生共約八百三十人，統共在學者約三千三十人。至失學兒童之多少，雖無確實數目，而以全縣七十餘萬人民計之，兒童約佔二成，則失學兒童當在十萬以上。

### (十二) 農林前途之觀察

順屬地沃人稠，交通便利，平坦之地，已無廢土，農業發達，已臻極盛。獨惜製蠶種家無專門人才，缺乏科學智識，因循古法，蠶種則以肉眼定其優劣，浴水則用手皮以作標準。須知蠶病至微，氣候萬變，豈肉眼手皮可以測定者，稍有差移，則遺害養蠶之家不少，似宜取締製種家，不得以手術肉眼爲標準，教以簡單檢查浴水之法，庶幾蠶業可期進步。至於林業雖山嶺無多，而可以種植者尙不少，苟能遍植松樹，亦可以小補薪炭之缺乏也。



# 中山縣農業調查報告 民國十六年

卓正豐調查

## (一) 位置

中山縣位居省城西南二百二十里，經度距京師中線偏西三度零四分，緯度北二十二度三十一分三十秒，東南瀕臨珠海，西北界新會順德，東北界番禺，東西廣一百零三里，南北長一百二十四里。全縣分爲九區：一區卽附城，二區在城西二十里沙溪墟，三區在城西北三十五里小欖墟，四區在城東南四十四里西樞鄉，五區在城南五十二里平步市，六區在城東南六十里下柵墟，七區在城南八十五里前山城，八區在城西南一百里斗門城，九區在城北五十里大黃圃墟。

## (二) 地勢

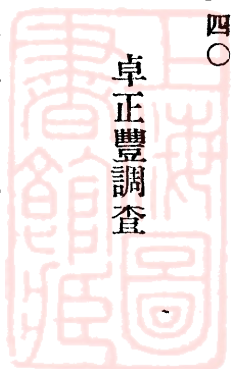
縣境南北長，東西狹，縣城畧偏北部，城之東北與西北多平原，其餘則多山嶺，山嶺約佔全縣面積十分之四，平原約居其六。縣中河流可行駛數十噸之船者，北出順德，南通澳門，其餘亦有小水，但不能行輪船耳。

## (三) 氣候

東南近海一帶，氣候溫和，西北較溫，春夏雨水較多，秋冬畧少。大小暑氣候至熱，大小寒至冷，霜雪甚少，颶風間有，亦以近海者爲烈。

## (四) 耕地狀況

(一) 土質 大概分爲三種：第九區之西部，第三區全部，第二區之北部，概屬夾雜土，表土五六寸，含肥質較多；第九區之東南部，及沿江海之地，均屬沖積土，砂質畧多，表土尺餘，含肥質亦富；第二區之南，及四五六七八區





之內部，皆屬砂質壤土，表土四五寸，含肥質亦不少。

(2) 水利 縣屬低窪之地居多，不患旱災，祇妨有西潦之害，而第九區之西，三區之中，二區之北各地雖畧高亢，而有溝渠池塘之水以資灌溉，亦不妨有乾涸之患也。

(3) 交通 第一三七八九區近海者，貨物往來，均用輪船，而離海稍遠者仍須肩挑，二四五六七區雖各有闊五六尺之陸路，而禁止牛車及單輪貨車之往來。是以貨物出入，亦須肩挑。惟旅客商賈路經一二四五六七區地面者，則可乘人力之東洋車及腳踏車。故縣屬交通，祇可謂便於人，未能謂便於貨。現由縣城至四區有汽車開行，行人運貨均便，但路線僅三十餘里耳。

### (五) 農民經濟狀況

(1) 田地租價 田地價格與租金，因地位肥瘠之不同而有差異，普通水田及桑田上等者值三百元至五百元，租則在二十元左右，而桑田租有至三十元以上者；中等價二百元至四百元，年租十元至二十五元；下等價值十數元至數十元，租則數角或數元。至第九區東一望無際之砂田(約六七千頃)，含肥質豐富，永不落肥，而收穫又豐，可稱上等者，每畝僅值數元至十數元而已。查其原因，皆因土匪叢聚，苟非有兵輪保護，則無人敢到故也。

(2) 長短工價 長工年價五十元至百元之間，短工忙時男八角至一元二角，女工五角至八角；閒時男工七八角，女工四五角，每日供午膳一餐。耕耘收穫之時，亦有雇用月工者，若以穀代金，則三担至五担，銀則二十至三十元之譜，長工與月工膳食，皆僱主供給。

### (3) 大宗產品價如下

品名	產地	數量	價格	總價
----	----	----	----	----

穀	除第三區外餘各區均有出產	無定	每担約六元左右	未詳
烏欖	以二四區為多	年約千担以上	三元至五元	萬餘元
大蕉	以一二八九區為多	年約千萬担以上	二三元	數萬元
荔枝龍眼桔橙梅李仁面子等	各區均有出產橙桔則第二區始有	數千担	十元至四十元	五六萬元
荷蘭薯	一二區為多	約數百担	每担約七元	二三千元
椰菜	各區均有種植	數千担	三四元至十元	數千元
甘蔗	一二四九區為多	數十萬担	約三元左右	五六萬元
蠔及蠔油	以六區為多七八區亦有少數	無定	每斤約八角油約一元二角	無定
鹹魚蟹	四六七八九區	千担以上	每斤約二三角	數萬元
蠶繭	三九區	二萬担以上	百五六元	三百萬以上



(4)大小農及經濟情形 縣屬農民耕三十頃以上者，約十數家，耕五頃至十頃者約數十家，耕一頃或數十畝者，約居農民之半數。至經濟則以充裕者為多，查縣中人民，往美國境香山等營業工作者，約數萬人，其餘往南洋群島謀

生者，亦以萬計，每年進款，皆在千萬以上。而在家男婦又勤於耕種，如第四區婦女不論貧富，皆自食其力。全縣人雖有九十餘萬，而所產穀米，足食有餘，聞順德一縣糧食，多由其供給云。

## (六) 作物

(1) 水稻 中山為產米之地，計每年輸出者四百萬元，大概有五六成收穫則可足本地之食。其品種早造則有龍芽粘，新興白，紅腳(米紅)，馬尾齊，掛犁望，小糯等；晚造有蔴包，袷粘，銀粘，粉粘，絲苗，大黃糯，水湖連(此種宜於深水田)，較剪，長蟻(此種宜鹹水)等

種法 選種與普通無異，惟育苗法則畧有不同。法將穀種浸於缸內，或以竹籬載種浸於坑池水中二三日後，乃離水，置於家中，以草蓆或爛布袋蔴包等密蓋其上，隔日以水洒之，使其常濕，約四五日，觀其已發根，則可撒播於秧田矣。至其生長高約寸許，則施以花生麵，或人糞尿之淡肥少許，及其長約一尺左右，即拔供種植。其種植有特別而為各縣所少見者，茲詳述之，以供農家之研究。比如春分插早造，每行距離尺二三，清明前後，又插晚造於其行間，或同時插或遲一二月始插均可，至早造收割後，則以足踏沈早造之禾頭，以為晚造之肥。若覺晚造秧苗過高，則剪去其尾，將禾尾踏沉於土中為綠肥之用。此種種法以第九區之大農，及各區之深水田，及鹹水田為多，比較分造插秧，收穫雖少二三成，而可以省晚造犁耙之工，所差亦無幾云，故用此法種植者，約居全縣水稻之半有奇。又有海水常到之田，早造不種禾，專為養魚蝦蟹之用，晚造始種禾者，此等以近海者始有之。

(2) 甘蔗種法 在春分前後將昨年所留之蔗種，以水浸三四日，乃切去其尾，至見蔗肉為止，並將頭部切斬一新口，而剝去一邊之壳。當未種之前，先將地犁耙至于細碎，每距離約三尺開一小坑，深約一寸左右，落以草木灰或豬糞等物，並淋以水，用手攪成糊狀，即將蔗種平置於坑內，無壳之邊向下，接續連貫，亦有每株距離三四寸者，畧以

手按實，至蔗芽長約尺許，則施以稀薄之淡肥，及至三四尺高時，則剝去蔗頭之壳，及莖長約四五寸，即施以花生糞豬糞草木灰等各一二担，乃將行間之土培於蔗頭上，至有壳之部爲止。每畝約用蔗種二千條，年施肥三四次，每次約用花生糞豬糞各一担左右云。中山之蔗以二區之四輪，九區之潭洲及小黃圃爲至多，前十數年有搾糖者，現則專供生食云。

(3) 蕉 蕉分爲大蕉香蕉二種，產地以九區之潭洲及小黃埔，八區之竹排沙，一區之港口爲最多，其餘各基墾及海邊等處均有種植。其繁殖之法，係將舊蕉樹所出之芽高約三尺左右者，在立秋前後鋤去植之，香蕉每株距離六七尺，若非留種，見蕉頭有芽，務須鋤去，以免其分薄母蕉之肥。大蕉則任其生長，並不施肥，香蕉則年施三四次，每畝可種九十株左右，年約用肥料銀十元左右云。

(4) 荷蘭薯 分爲白皮黃皮二種，在霜降前後，先將地犁耙鬆碎，起闊約四尺高約數寸之畦，鋤以小坎，每坎距離一尺左右，乃看薯種之芽數，切爲幾塊，種於坎內，每坎一塊或二塊皆可，上蓋以草木灰并淋以水，至其生長高一尺左右，繼施以淡肥二三次，至春分前後，則可收穫矣。每畝多者可穫四五担，少者二三担云。

(5) 椰菜 分爲椰菜椰菜花二種，在秋分前後播種，霜降前後移植於高尺餘濶三尺之畦上，每株距離一尺六七寸，至生菜十餘片後，務要隔日施肥，早晚淋水，其結穗始實云。椰菜花亦然，若肥料不足，則生長不多，尤易老硬云。

(6) 薯芋葛瓜蔬菜等各區均有出產，除第三區不足用外，餘各區皆可自給。至其種植法及時期，與廣州無甚異，故不贅述。

### (七) 蠶桑

桑地在三區之大小攬古鎮曹步，九區之大小黃圃潭洲等處，桑地面積雖無從知其確數，大約亦在千頃以上，出繭多少，亦無可查，大約在二萬担以上。照近年市價每担乾繭約值百五十元左右，合計全縣繭值約可三百餘萬元，至種桑養蠶之手續，與順德同，故不再述。

### (八) 果樹

(1) 荔枝 荔枝分爲黑葉桂味糯米糍槐枝三月紅等數種，果園面積最大而種植至多者，首推第四區橫路地之植益公司，該公司有各種荔枝三千餘株，行間種菠蘿三萬餘株；次之爲第六區之唐家灣共樂園，有各種荔枝白欖柑桔等種種果樹一千二百餘株；其餘各區一二百株荔枝園者亦二十餘所。其繁殖法，係在摘果後，將其一二年生之嫩枝之縛直者，剝去周圍長寸餘之皮，至一二星期後，始可將軟草和無砂之濕泥裹之。若天久不雨，必須淋水，約八十餘日，見其根已透出表面，即剪下種植。

(2) 柑橙桔 產地以二區之古鎮曹步地方爲多，約在五十畝以上，其種法係每株距離約七尺，年施淡肥三四次，於摘果後一次，結實時一次，至果已變黃色時二次，每株每年約用花生麵四斤。繁殖法與荔枝同，惟柳橙則用嫁接法，將檸檬樹，先行駁枝，種於瓦盤，或竹笠內，乃擇柳橙之枝，與檸檬之枝同大者，由其中部，以利刀削去皮肉半邊，將二樹削皮之部接近，使兩者之皮密切，用紗紙或棉布包裹之，復用蔴繩或竹篾等纏實，約五十日左右，二者之皮已生固，乃可由橙樹接口之下部剪斷，並剪去檸檬樹之尾端，而移植之。

(3) 菠蘿 以四區之橫路地方植益公司爲最多，約有三萬餘株，次之爲岸口福興果園贊園各有萬餘株，其餘各果園亦有少數，而基圍蕉間亦均有種植。其繁殖法係爲分根法，及果尾之芽均可種植，惟果尾芽他日所結之果，不如分根者爲佳云。

(4) 烏欖 以二區爲至多，八區次之，九區又次之，皆種於山邊地角等處，少有成爲果園者。其繁殖法，係用樹根所生之芽及實生之秧，近已少人種植，現所有者，皆數十年之老樹，不施肥，不除草，聽其自然生長而已。

### (九) 畜牧

(1) 牛 該縣除三九區少有養牛者外，其餘各區各家畜養者約居六成，全縣統計大約在二萬頭以上，成爲畜牧公司者獨第八區之北山，(又名賊仔林)，同興公司有水黃牛三百餘頭，羊百餘頭，雞千餘只。查該公司係由現務正業之卓金權出資所成。畜牧地縱橫三四里，周圍種以極密之松樹，以爲牆籬，並釘以鐵線籬，獨留門戶一，出門卽海，外人少有到其地者。牛之治療法，若牛不食草，則用酸楊桃三四斤搗水，和黃糖半斤治之卽愈，此最善之法，百無失一云云。羊之治療法，若羊不食草，非風則寒，用乾恙防風荊芥香附等煎水治之則愈。據稱羊病與人頗同，故醫人之藥，卽可以醫羊云。

(2) 豬 畜養之家，約在六成以上，普通以養一二頭者爲多，酒米家則有養一二百頭者，飼養法與各縣相同，故畧之。

(3) 家禽 以鴿爲重，雞次之，鵝次之，鴨又次之，鷄之最佳者重三四斤，年產蛋百餘隻，鴨最重者二斤餘，年產蛋二百至三百隻不等。養鵝者極少，雞則家家均有三五隻或數十隻，鴨則有養至千隻以上者，飼養法與各地相同，無詳述之必要，故不贅述。

### (十) 森林

縣屬山嶺大小不一，約佔全面積十分之四，荒廢面積又佔十分之七八，無所謂官荒民荒，凡近某村者，卽某村所

佔有，惟林木極少，第五六八區雖有少數人工松林，但亦寥寥可數。查縣中農民，專圖近利，而不知十年樹木之益，故荒廢如是之多也。

### (十一) 特產品

(1) 蠔豉 產於第六區之唐家灣地方，產地約三十餘里。其養蠔之法，係將巖石琢為縱橫數寸，在立春前後，拋落海邊，約三年之久，則可取蠔矣(在二三年內亦可以取但蠔細小云)。亦有三年無蠔者，因海水鹹淡之不同故也。蠔多之時，每石一個可取蠔十數斤。查蠔之生長，初則如虱形，生於石之周圍，日久生壳而漸大，蠔之外又生蠔，是以一石可取十數斤云。取蠔之法，係每年約取十里之地，三年取完，循環不已。惟已生蠔之石即不再生，既取之後，必拋以新石，不論多少，石多則蠔多，故堆積數十層，亦無不可云。製蠔油法，係將蠔取起，用刀琢開，取得蠔肉，以水煎熟，將蠔晒半日，其蠔即可出市，其煮蠔之水，煎濃即蠔油也，亦有不煮而晒乾者，名曰生蠔。

(2) 蝦醬 蝦仔一担鹽十斤，同置於缸瓦盤內晒之，每日常僱女工以竹木器攪之，約一月之久，用石磨磨幼，用密布袋隔去其粗壳，再晒再攪，四五日後，即可出市。查其所以要常攪之原因，蓋使其不變色，並去其腥氣，否則味不佳，其色亦不雅云。

### (十二) 輸出品

作物之輸出品，以穀米為大宗，蠶繭次之，生果又次之。海產以魚蝦為最多，蠔豉次之，蝦醬又次之。蔬菜則荷蘭薯為多，椰菜間有少數，家禽六畜，則以鴨為多，餘則有出亦有入，不能作為有餘輸出之數也。

### (十三) 農村教育狀況

中山縣素稱繁富之區，而對於農民教育，似屬缺憾。殊出人意料之外。據該縣教育局中人言，縣屬祇得中學二間，師範一間，女子職業一間，高小國民學校七十二間，共約學生五千人，私塾多少，雖未知其詳，大約在九百間左右，學生約萬五千人。以全縣九十餘萬人計，兒童佔二成，除入學者四萬人左右外，失學者均在十五萬以上。

#### (十四) 農林前途之觀察

中山地廣人稠，民智而勤，已無荒廢之地，故對於農業似無可議之弱點，惟山嶺則荒廢尙多，觀其土質，雖屬粗砂土，而巖石絕少，且其傾斜角度，除五桂大山外，皆約在三四十度以下，凡茶樹菠蘿藍靛等植物，皆可種植，猶以松樹雜樹爲最宜。查屬內物產豐富，各種日用品，多能自給，但一三九區之柴炭多仰給於外，是以柴價常較他處稍貴，若能遍植松樹，則庶可以補救。至於道路已有規模，稍爲擴張，則可以行駛汽車，交通便利矣。



# 東莞縣農業調查報告

十六年五月

陳幹濟  
黃錫疇 調查

## (一) 區域位置

東莞居廣州東南，東西距一百零六里，南北距七十五里，全縣面積約九千二百六十六方里，東接惠陽，東南界寶安，東北界博羅，西達中山，西北界番禺，北通增城。縣治位北緯二十三度二分四十秒，偏廣州中線東二十七分五十秒。現分十一區如左：

區名	區署所在地	位置
第一區	城內萬壽里	城內
第二區	城西阮涌	附城
第三區	石龍 <small>本年春劃歸市政籌備處</small>	城東北二十餘里
第四區	塘頭廈	城東南百里
第五區	常平	城東南五六十里
第六區	茶山	城東二十餘里
第七區	寮步	城南三十餘里
第八區	厚街	城西南三十餘里
第九區	到滘	城西二十餘里
第十區	中堂	城東五十餘里

第十一區

太平

城西南六十餘里

(一)地勢

全縣地勢，東南高而西北低，東南有銀屏嶺，牛尾嶂，寶山，大屏嶂，蓮花山，大嶺山，水簾山，黃旗山，深溪山等之山脉，蔓延四七八等區，西北有東江獅子洋之環流，港灌紛歧，故二二九等區，地勢皆一望平原也。

(二)氣候

夏季氣候炎熱，常在華氏表九十度以上，因瀕近海岸，常得海風調濟，故不甚酷熱，冬令和暖，霜雪甚少，春夏之交，雨量最多，秋冬則少，在夏季間，常有颶風，為害頗大。

(四)水旱情形

五區橫瀝常平，六區茶山橫岡，三區石龍附近，春夏之交，東江水漲，田園多被淹沒，早造往往失收，二九十區，四面環水，河流交錯，其餘各區，亦多利用坑水，灌溉可稱便利無憂旱害。就全邑言之，患水甚於患旱，必須潄治東江下流，則水患可免也。

(五)交通

第二三九十一等區，有東江獅子洋經過，可行舟楫，其餘四五六區，則有廣九鐵路經石龍，西湖，南社，茶山，橫瀝，常平，土塘，樟木頭，塘頭，厦天，堂圍等站，以達九龍，水陸交通，均極利便。

(六)耕地狀況

第三區為沖積壤土，二八九十區為沖積粘土，深厚肥沃，其餘多數為紅赤色或灰赤色之定積沙質壤土，表土不深



，且較瘦瘠也。

### (七) 耕作情形

第八區之厚街雙岡金州等，地濱獅子洋，多圍田，居民多種鹹草爲業，二、三、九區，除水田種水稻外，較旱之田，則種麻蔗薑等作物，飼養鷄鴨亦多。蠶桑三五區始有飼養。果木五六七區，多栽種之，菸草則四區之清溪，七區之簪花嶺，八區之百花洞畧有種植，但不甚發達。

### (八) 農民經濟狀況

田地價及租價 田地之價，因地方經濟情形而有高下，最高爲天堂圍虎門寨，每畝價有高至三四百元者，但全縣普通價格，上等水田每畝百五十元，中等水田每畝百元，下等水田每畝五十元；至旱地每畝二三十元，或五六十元不等，所有田地租有收租穀者，有用銀者，上等水田每畝租穀三石，中等水田二石，下等水田一石，租銀上等水田每畝二十元，中等六元，下等二元，旱地則二三元至六七元。

工價 工價視工作勤惰而異，上等長工有一年百元者，有七八十元者，短工忙時男工日值七毫至一元，女工三四毫，閒時男工日值三四毫，女工二毫，概須供膳。

大宗產品價格列表如下：

品名	價格(中等價)
穀	百斤五六元
黃麻	百斤十二元
花生	百斤四元半

鹹草	百斤四元
豆	每石一十二元
薑	百斤五元
甘藷	百斤三元
菸	百斤三十元
荔枝	百斤六——十二元
白欖	百斤三四元
烏欖	百斤六七元
酸洋桃	百斤二元
桑	百斤一元二
蠶繭	百斤一百四十元
耕牛	一頭百元
豬	百斤四十元
雞	一斤七八毫
鵝	一斤四五毫
鴨	一斤四五毫
魚類	百斤二十元



白糖

百斤十五元

片糖

百斤十二元半

沙糖

百斤十一元

草蓆

價格不等

大小農及經濟情形 居民多業農，而以小農為多，大約一戶耕十餘畝者，居十之六，耕二十畝以上與不及十畝者占十之二 至經濟方面，如八區厚街一帶，得鹹草之利，最為富庶，四區之天堂圍一帶，多往南洋謀生，其間得志獲厚利者不少，餘多非充裕也。

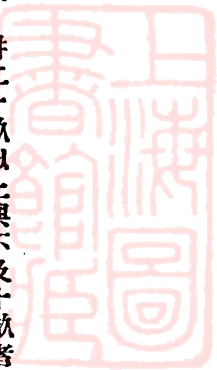
### (九)農村教育狀況

莞縣教育，中學有一所，學生百五十人，高級小學三十三間，學生一千三百九十四人；國民小學一百一十九間，學生六千二百五十七人；私塾四百二十九間，學生七千五百一十五人。中學校設在城內，小學多設於人烟繁盛之地，以第八區為多，而鄉村間則因經濟問題，多設立私塾。

### (十)作物

(1)水稻 該縣水田，占耕地十之六七，但春夏之交，三五區低下之水田，多被水浸，早造失時，全年產額不足供全縣人民之糧食，須靠外來接濟。耕作分早晚二造，其品種屬於早造者，為花羅粘赤穀百日早夏至白等種 屬於晚造者，為油粘白梗黑糯等種。其種法與廣州各屬大致相同，無須贅述。肥料早造用蠔灰、糞尿、豬糞等 晚造不施蠔灰，每畝收穫量，上等五六百斤，中等二三百斤，下等約百斤。

(2)蔗 以二五七十區為多，所種品種多竹蔗，聞有木蔗白蔗二種，用以搾糖，為莞縣大宗出產，至其種植情形



，已詳於東莞糖業調查報告書，茲不述。

(3) 黃麻 麻爲九十區大宗產品，多種於旱地。栽培法係用條播，先起三四尺闊畦，每距五六寸起一條淺溝，溝內施人糞尿，(草灰與人糞尿)即播種於溝內，覆土。播期在春分前後數日，一星期後發芽，一月後除草培土，并施水肥一次，再二十餘日，復行除草施肥培土一次，至夏至見梢端尺餘之葉已變色，即行收割，剝去其皮，晒乾後即可出售，每畝收麻皮約百斤左右。

(4) 薑 分大肉薑竹薑二種，以大肉薑爲多，濕潤地乾旱地皆適栽種，濕潤地收量較乾旱地多，但易腐爛。清明前後下種，立秋萌芽，霜降收穫。種後兩個月，壅土除草，及施糞水一次，以後兩個月，又壅土除草施肥一次。薑爲菜食品，亦可入藥，能散寒驅風，又以糖蜜漬之，名曰糖薑，爲該縣出口貨之，一年銷售幾十萬元，每畝約收二三十担。

(5) 豆 種於旱地，有黃白黑色，因其色澤分爲黃豆白豆黑豆，就中以白豆爲多，各區皆有種植，但多爲副業。種法於夏至節作闊大之畦，約直七寸，橫四寸作穴，每穴下五六粒，覆以乾厩糞，隨以薄土蓋之，一月後除草培土一次，經七八十日，莢黃則收穫，每畝收豆實一石左右。

(6) 甘藷 俗名蕃藷，養分豐富，可爲食料，種者頗多，其品種以等茶來四季仔爲最佳。種期在秋間剪諸藤長約尺許，橫置於二尺餘濶之高畦，施下乾厩糞並壅以土，月間除草整蔓一次，因蔓伏地，隨處生根，牽起其蔓於畦上，令其根生長一處，則養分不耗，而薯身大，收穫期約在種後三個餘月，每畝可收一二千斤。

(7) 花生 爲砂質旱地作物，多與蔗甘薯輪栽，各區皆有種植，俗呼爲地豆。清明前後下種，用點播法，每距六七寸開一穴，下種子二三粒，以乾厩糞壅之，並覆以土。管理簡單，發芽後除草一次，早種一百日可以收穫，晚種百

三四十日，每畝收量約五六百斤。其實用以榨油，其氣清香，其渣可以肥田，利用甚薄。

(8) 鹹草 沿海低窪之地，潮水淹沒，不能時水稻之園田多植之，厚街雙岡全州出產最多。種法用分根法，與種水稻無異，五六條爲一畝。割草後留根土中，根部發芽，又可收穫，約十年左右。若種後生力衰弱，則再行移種，施肥在四五至八月潮水低落時，施豆麵一次，或二次，每畝約一二百斤。收穫土質肥沃者，年可收割二次，初次在大暑前後，二次在霜降前，每畝每次約四五百斤至千斤，如土質瘦者，僅一次，收割後晒乾剖開爲二，束成大束，運往香港南洋一帶銷售云。

(9) 菸草 多植於四區之清溪，七區之簪花嶺，八區之百花洞。經營者爲客籍人。栽培法，於十月播種，播種前浸水二三日，十一月至正月移植，先起高一尺闊一尺五寸之畦，畦底闊四尺，品字形植兩行，距約尺餘，每畝施豆麵草灰三四担，每日淋水，植後月餘，即行培土施糞尿。迨將放花蕾，摘心摘芽，四月邊葉變黃，即爲成熟，由下而上，隨熟隨摘，約摘四次，五月可完。採後分腳葉中葉頂葉三種，發酵乾燥，分類束成一束，發賣各處，每畝約得乾葉二三百斤。

## (十一) 園藝

### (1) 蔬菜

蔬菜有芥菜白菜茄苳葱蒜蘿蔔枸杞絲瓜苦瓜冬瓜西瓜黃瓜等種，其中芥菜以茶山所產爲最有名，枸杞以黃家山產者爲良，皮可入藥品，蘿蔔東坑產者爲良。苦瓜四時皆有，五月尤多，上述出產不多，不外縣城石龍大平附近鄉村，有經營出賣者，其種法與廣州相同。

### (2) 果樹

(A)荔枝 荔枝以五區之大朗坑尾，六區之橫岡西湖京山，七區之橫坑峽內，九區之石碣，為其出產地，品種有黑葉懷枝香荔山枝三月紅糯米糍桂味等種。就中以黑葉懷枝為多，而品種則糯米糍，桂味，三月紅。駁接法，將母株強壯者，削去外皮，長約三寸，一二日後，以泥和稻稿纏繞之，時淋以水，免防乾燥。一月以後，被削之周圍生長幼根，再經三四月，截斷之，可以移植。該縣所種苗木，多買自增城，少有自行駁枝者。植後八九年即結果。管理每年七八月間，除草中耕一次，并同時於樹根下，掘穴施人糞尿或畜糞。收穫在四五月間，每株約二十至五十斤，但一株中非年年有收穫者，有今年多明年少之弊。

(B)欖 散見於四五六七區之山麓，尤以六區之茶山為最多，土人因此常呼為欖山，有烏白二種，烏欖取其肉搥碎乾放，有霜如白鹽，謂之欖醬。將醃為類，名曰欖豉，色如玫瑰，其皮色鮮紅如茜，可以染物；白欖以鹽醃之，呼為鹹欖，味頗適口。繁殖法，將種子播之地中，及生長高可五六尺，方行接木法，接時須擇雄木為砧木，雌木為接穗，三年後結實，第十年左右結實最盛，每年中耕施肥一次，夏至前收穫，每株約三四百斤。

蕉 多種於水鄉，尤以槎滘左右諸鄉為盛，品種有芭蕉香芽蕉，芭蕉幹高葉闊，果形肥大，香芽蕉較矮小，果形長瘦，但食味比芭蕉優良，故價亦較高。繁殖法即以母幹旁所生之新芽，高約一二尺許，連根掘起，在清明節移植，先掘尺許深之穴，施堆肥為基肥，每穴植一枝，距約一丈，一年後能開花結實，約三個月可收穫。管理每年中耕二次，施肥即於中耕時行之，施人糞尿或畜糞，此外如根旁多生新芽，若不移植，則將弱者除去，僅留二三株而已。

(D)酸洋桃 俗名酸三稔，肉粗味酸，於春季播種，五六年後即結實。年結實二次，六七月收一次，十二月收一次，每株約可收二十餘斤，多用糖或鹽醃，作為糖果蔬食用。

## (十一)畜牧



畜牧爲農家副業，無家無之，分牛猪鷄鴨鵝，就中以鵝鴨爲最大群，有至千餘羽者。茲分述如左：

(1) 牛 多飼爲役用，分水牛黃牛，各區多飼水牛，因水牛不畏水，力又大。管理飼牛一頭，令一人牧之，每日放牧一次或二次，放牧歸後，牽往水塘飲水，並行沐浴，而黃牛則無須沐浴也。

(2) 猪 爲日常肉食品，銷途甚大，農家多飼養之。普通約分肉用與種用二種，肉用種爲多，色黑白，飼養法與各處同。

(3) 鷄 每家必飼養三四羽，無專業經營者，多放於屋內外，設木罈或竹籠以爲晚間棲宿，飼料殘飯米糠。

(4) 鴨 鴨之飼養，九十區爲多，有專業營利者 分鴨母鴨仔。鴨母爲生卵用，年產卵百五十枚，鴨仔由小鴨養六十日即長大，大後可供肉用，重一二斤。日間放於收穫後之稻田或涌中，自行覓食。

(5) 鵝 農民多飼養之，有專養生卵，以卵孵鵝仔者有專育肥而出售者。產卵之鵝，年分四次，每次七八枚，飼料鵝仔飼米碎菜葉，長大時以穀類菜葉飼之，每隻重約七八斤。

### (十二) 蠶桑

(1) 蠶 養蠶乃二十年來之新起事業，該邑農民視順德人養蠶獲利之厚，乃起而爲之，集中於石龍附近之峽尾大朗一帶。種桑養蠶各法皆倣順德，蠶種分大造輪月二種，每年共養七造。春天三月起，養至九月止。蠶病有軟化黃殭紅殭白殭。以殭病爲多，各造中以二三造爲多。防除法，蠶發病後，蠶具用石灰水洗滌，蠶室用火薰之，頗收效驗，每年產額約繭二三千担。

石龍無繅絲廠，僅有收繭店，其秤繭用司碼秤，須九三折，而每兩銀又須九出扣。近年繭價既較低，又被奸商折扣，故此業亦進步而退步多也。

(2) 桑 爲荆桑一種，統計各區栽桑面積約五六千畝。栽培法係用分根法，春季或秋季行之，株間距離約五寸，行間尺許，每年冬舉行刈莖中耕。又五月八月中耕除草施肥二次，所施肥料人糞尿或肥田料。採桑在三五八九十各月行之，每次每畝約四五百斤。虫害有黃毛虫，在夜間食葉。病害則以白黴病爲多，防除法，虫害則撒蠟灰，病害則尙無法也。

#### (十四) 森林

該縣三九十區，地勢平坦，無森林之可言，四七八等區，雖峯巒層疊，大可經營，惟盜賊橫行，政府未易保護，常受濫伐，以致濯濯，間有赤松散生而已。近來大嶺已開辦林業振興公司，該公司分植赤松果樹茶樹等，並兼畜牧，將來如能獲利，定多從風而起者也。

#### (十五) 水產

莞縣濱臨江海，水產頗富，約述如下：

(1) 鯉 有海鯉河鯉二種，河鯉出東江，以蘆村三極海爲佳，海鯉生虎門外鹹水中，其味不及淡水產。

(2) 鱸魚 有黃花白花二種，以夏時爲美，產虎門太平東江處，一年約大二斤，最大者約二十餘斤，淡水產者味清，鹹水產者味濁。

(3) 棗子頭 虎門出產頗多，取鹽醃之，銷售中外各埠。

#### (十六) 農產製造

(1) 製糖 製糖方法，糖業調查報告書，已詳細記述。茲約畧分述如左：

搾蔗 用舊式石磨，半二頭或三頭牽之，蔗液在石溝流出，以桶盛之，普通每小時搾出蔗液三百至三百六十斤，

其每百斤蔗搾出之液量爲五十八至六十一斤。

煮糖 分漏糖(白糖)片糖，缸糖(砂糖)，粉糖四種。

漏糖 一灶設三鑊，一水鑊，二二鑊，三熟鑊，蔗液先在水鑊煮沸，用有孔銅壳拂取污物，隨投以蠔灰，約無腥味爲止，加灰後用布濾過。其液分注二鑊煮之，二鑊水分將無，移於熟鑊共煮，而二鑊則再注以已濾之液，熟鑊糖液已濃，乃滴少許花生油，頻攪拌之，此時乃挑出少許糖液於冷水中，如不散開，則取出傾於圓錐形瓦器中，用鐵鏟攪之，如有黃泡浮出，即取去之，如是再攪，約經十分鐘攪一次，約五六次，見無黃泡浮出即止，而液將結晶矣。計每鑊二百斤，糖液可製出漏糖五十餘斤云。

片糖 與煮漏糖相同，不過不用布濾糖液，煮熟時放瓦盆中，頻頻攪拌，迨見有將結晶之勢，則傾於鋪有草蓆之木架，以木耙蕩平，迨其冷至適度，置長木於架上，用錐於木邊劃之，即成片糖。

缸糖 煮法尤易，熟後畧攪拌，傾於缸中即成。

粉糖 糖熟後任其結晶，放冷擊碎而已。

(?)草蓆 用鹹草爲原料，以小麻繩爲經，編成橫行蓆，或染作五色，織爲種種花紋，用爲鋪牀墊地，長闊不等。年輸出香港南洋一帶，約二三十萬餘張。

### 附林產製造

竹蓆 竹蓆多產自寮步，近莞城亦有製造。其法用黃竹刮去皮節，破開爲細條，中貫數行小繩，邊緣以藤結之，則潔滑平均，無纖毫隙罅，現又改爲光邊，尤爲精緻，價格每張一元至四元。

### (十七)特產品及輸出品

(1) 特產品

(A) 女兒香 產於金桔嶺牛眠石鷄翅嶺等處，昔時須貢之朝廷，視爲珍品。其氣香而清，能除穢疫，上等一斤值七八元，下等約一二元。採取法，先斫樹頭之一邊，係在東面 次年又取樹之一邊，則往西面，三年則取南面，四年則取北面，周以復始，而樹無傷。

(R) 青麻 俗稱火麻仔，產於五七區，屬草本植物，土人常和糖以作茶飲，能清大腸。其製法，將麻仁用水蒸之，然後傾入砂盆搗爛，用布袋濾過，取其水和以糖，即可供飲料，麻仁每升二毫。

(C) 棗紅糯 產於三區水南，九區石碣一帶，用爲治腹洩病及健脾，但收量比尋常水稻少，故土人少少種之，以供藥用。種法，雨水後播種，谷雨插秧，大暑收割，管理施肥與水稻同，每畝收量約二担。

(2) 輸出品

輸出之農產品，向無統計，據土人云，鹹草黃麻糖草蓆鵝鴨爲大宗，魚類花生黃豆荔枝薑蠶繭蕉亦不少，大都運往香港廣州南洋一帶。

(十八) 農林前途之觀察

莞縣地位優異，出產豐富，水陸交通，極稱便利，惟農民智識固陋，墨守舊法，不知改良，遇有病虫害，束手無策，應將前設之縣立農事試驗場恢復，將各種耕作之新法 及病虫害之防除，試驗推廣，俾得有所取法 東西各區，時有水患，田園冲壞，應行濬治河流并修堤防。至林業則由政府獎勵種植，訂章保護，倘能如是，則莞縣農林前途，庶有發達之希望也！

# 增城縣農業調查報告

十八年

林純煦  
何慶功  
調查

## (一) 位置及區域

增城縣舊屬廣州府治，東界惠博，西界花縣，南界東莞，東北界龍門，西北界從化，縣治在北緯二十三度二十分，經度距京師中線偏西二度五十分。境內北部多山，南部則較平坦，其地勢亦北高而南低。全縣面積，合計約三百零九萬零四百二十九畝，居民約三十萬左右，分全縣為十二區，但已設立警區者，則惟附城，新塘，派潭，正果四區而已。茲將該縣各區地名及所屬村數紀列于次：

- 第一區為坊都，在附城統屬一十六約。
- 第二區為梅都，在派潭統屬一百二十四村。
- 第三區為牛都，在正果統屬一百六十五村。
- 第四區為賢都，在小樓統屬一百一十五村。
- 第五區為慶都，在坑口統屬六十四村。
- 第六區為雲都，在神崗統屬五十九村。
- 第七區為福都，在福和統屬一百七十六村。
- 第八區為上都，在麻車統屬九十五村。
- 第九區為下都，在石灘統屬三十四村。
- 第十區為寧都，在仙村統屬八十八村。

第十一區爲湖都，在唐美統屬一百二十二村。

第十二區爲甘都，在新塘統屬一十六村。

### (一)氣候

該縣氣候，其氣溫於小暑後至處暑間爲最高，而於冬至後至翌年雨水間爲最低。年中冷熱時期各約二個多月。至其雨量則於芒種大暑間爲最多，秋分後至冬間爲最少，結霜亦殊不多見云。

### (二)耕地狀況

(1)地勢 查該縣耕地面積共約七十餘萬畝，就中水田約有五十萬畝左右，皆栽種早晚水稻二造，其餘高亢旱地及填地，則栽種雜糧花生黃麻糖蔗烏欖荔枝及柑桔等果類。至其地勢平均，大概平原約佔百分之五十五，山谷約佔百分之八，崗陵起伏地約佔百分之七，山嶺約佔百分之四，傾斜約佔百分之二十六。

(2)土壤 一般農地皆係實積土，質半輕鬆，顏色以黃灰及黃白爲多，砂多屬中幼，大概壤土可佔百分之七八十，粘土可佔百分之二三十。其土地肥度，於甘湖寧等都爲稍高，餘則不甚肥沃。

(3)水利情形 該縣水利不甚良好，在增江下游兩岸之農地，每於夏秋水漲時，因石灘處之河口狹窄，消流困難致河水泛溢成災，所旱經過時期不久，每次約三數日而已，亦非年年爲患也。在秋冬之季，則一般比較高亢田地，不能利用河坡水灌溉者，間有旱患。查此種有旱患之農地，皆係賴天然雨水或山溪小水以爲灌溉者，其面積約可佔農地百分之四十二云。

### (四)荒山情形



全縣山嶺約佔該縣面積百分之六十五左右，即約有一萬二千四百餘方里，而荒山面積又殆佔山嶺百分之四十五左右，所有荒山皆因無人種植及被火燒燬而致。其荒山土壤則多屬黃赤，并極乾旱瘠瘦，對於有用木材之生長，恐亦不甚良好也。

### (五) 運輸交通

查陸路交通運輸有已成廣九鐵路，起自廣州之大砂頭而東至沙村站，計一十九英里入增城線，經新塘(甘都)，唐美白石(湖都)，雅瑤仙村(寧都)，石夏，石灘，石瀝溜(下都增城線以此站止)各站，接入東莞線，以通九龍。至水路之交通運輸，則有增江可行舟楫，上通龍門，下至石灘，入會東江，惟增江之上游河狹水淺，祇通篷船，載重不過二三萬斤。若夏秋水漲，間可通行淺水汽船，至其下游已會合東江，河面既闊，積水亦深，其舟楫之利便，實可與對岸東莞各處相等量齊觀。仙村一隅，上匯綏福水，下連十字濠亦然。洎乎新塘以下，則汪洋巨浸，帆檣雲集，雖海船巨艦，亦不時來往，其貨物輸運，可直通廣州香港以及其他之海岸。故廣州東路市場，新塘一鎮，實不亞於東莞之石龍，蓋石龍以陸運勝，此則以水運勝也。

### (六) 耕作情形

(1) 冬耕 於晚稻收穫後，大部分將其跡田犁轉，間或種以小麥，在牛都地方，則頗多栽種醃菜者，梅都牛都亦間或栽種菸草。

(2) 春耕 於清明前後將所有農地行春耕一次，其旱地則栽種花生黃麻等作，在賢都梅都牛都等處，則間或栽種涼粉草；其水田至谷雨前後，則須復行一次春耕，然後插植水稻。

(3) 秋耕 其水田於早稻收穫後行秋耕，栽種晚稻或甘薯，其旱地則視前作物之收穫期遲早如何，如早者亦復栽

種甘薯之類。

### (七)農民經濟狀況

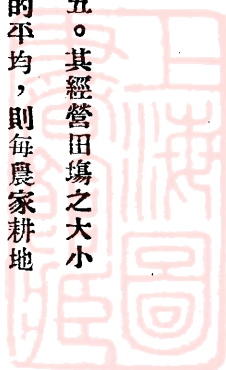
(1)農戶 農民中田主約佔百分之十，半佃農約佔百分之四十五，純佃農約佔百分之三十五。其經營田塲之大小，通常在田主約有二十餘畝，半佃農約二十畝左右，純佃農則多不過十畝內外云。若計其混合的平均，則每農家耕地之面積在十畝以下者，約可佔百分之四十；在十畝至二十畝者，約可佔百分之四十五；在二十畝至三十畝者，約可佔百分之十，在三十畝以上者，約可佔百分之五云。

(2)田地價 水田每畝上等約值百元至二百元，中等約六十元，下等約二十餘元，至三十元；旱地每畝上等約三十元，中等約十元，下等約數元。

(3)肥料價 通常所施用而有買賣者，畜糞灰每百斤約五六毫，人糞灰每百斤約八毫，人尿每担約四毫，花生駕每百斤約十元，石灰每百斤約一元三毫。

(4)農產價 能供役用之水牛每頭平均約八十元，黃牛約四十元，豬肉每百斤約四十元，鷄每斤約六毫，鴨每斤約四毛，魚及類鵝每斤約二毫半，甘薯每百斤約一元五毫，薯芋每百斤各約五元，濕花生每百斤約六元，小麥每百斤約五元餘，生油每百斤約四十元，甘蔗每毫約二根，黃糖每百斤約十三元，蔬菜類每毫約三四斤，柑每斤約一毫，年桔每斤約半毛，柳梨每斤約二毫，沙田柚每個二毫，菠蘿每個約半毛，荔枝每百斤平均價約十元，熱欖每百斤約三元餘，蠶蛆每百斤約一百三十元，黃麻每百斤約十元，烟草每百斤約三十一二元，茶葉每斤約二毫，棉花每斤一元，乾柴每百斤約八毫，木炭每百斤約二元，草每担約三毫，竹類每百斤約八毛云。

(5)人工價 長年農工頭手約六十元，二手約三十元，三手約十五元；短工忙時男工每天約一元，尋常時每日約





三毫，女工則極少僱用，所有農工每日皆供膳三餐，計需費約一毫半至二毫，其長工年中須供給草鞋雨帽蓑衣手巾剃頭等費約四五元，每日工作時間約八小時以上。該縣農工供給，忙時不足應用，多由龍門河源惠博等處僱請云。

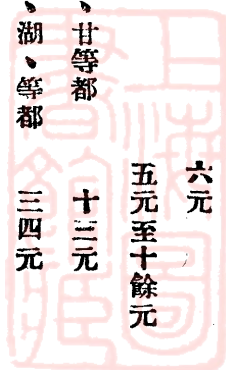
(6) 租田制 佃農承種田地，悉與田主直接商恰定後由佃戶送田鴨若干，或折合銀若干(數毫)與田主為定禮，并以口說為憑，不用租約，亦無預租押租等情。租田年限亦少規定，倘能年年清租，而又無特別情形，當能永久耕種云。

(7) 田地租 田地租以納租穀者為多，間有旱地則或納租金，其每畝水田年納租穀上等約二百五十斤，中等約二百斤，下等約百零斤，每畝旱地年納租金上等約五六元，中等約三元，下等約數毫至一元。其收租方法，有由田主往收者，有由佃戶送到者，但由佃戶送到，則每担穀每十里路遠須給担力銀一毫半左右。其租穀年分二季量納，一在六七月間，一在十月間，若遇荒歉之年，則由佃戶酌量減納，以兩不相虧為是云。

(8) 農產貿易及其大宗出口 農民出售農產品，多係農民自己担赴市場，如在水運方便之處，則多搭付渡船，運至城市出賣。其境內貿易之中心為縣城，其與外境貿易之大市場則為石龍廣州。查該縣年中輸出大宗農產之種類及其數量，約如下列：

種類	出口約數	出產地	每担價
穀米	八百萬斤至一千萬斤	各都	六元五
小麥	三十萬斤	各都	五元五
黃麻	五十萬斤	慶都為多	十元
煙草	四十萬斤	牛都梅都	二十八元

酥膠菜	五十萬斤	牛都	六元
涼粉草	五十萬斤	牛都賢都梅都	五元至十餘元
荔枝	三百萬斤至四百萬斤	牛、慶、坊、上、下、湖、寧、甘等都	十三元
烏欖	四百萬斤至五百萬斤	賢、梅、牛、慶、上、雲、福、湖、等都	三四元
欖核	一百四十萬斤	全上	六元五
白欖	十萬斤	甘、湖、寧、福等都	八元至十元
香蕉	十萬斤	甘、湖、寧、福、牛都	二元餘
菠蘿	二萬斤	牛都	四元
龍眼	五十萬斤	甘、湖、寧等都	八元
石榴	十五萬斤	全上	五元至十餘元
黃皮	三萬斤	全上	
柑桔類	十萬斤	牛、坊、甘、湖、寧等都	十五元
柴	四百餘萬斤	上增城各都	八毫
炭	一百餘萬斤	全上	二元
豬	八千頭	各都	
牛	四千頭	各都	
鷄鴨鵝	三十餘萬斤	各都	



香粉

十餘萬斤

梅都

節瓜

數萬斤

甘都

(9) 借貸情形 當地農民中常須借貸錢款或糧食者，不過佔百分之二十左右，因多數貧農，雖衣食不足，但能作苦力，以維持其生活。就借債之農民，通常所借之數，為錢款則在十元內外，糧食則二三担而已。此等少數借貸，通常不用抵押，如大宗者，則須自己之不動產業或果樹等。其借期常不一定，利率亦多不等，最低者月息分半，高者三分，通常則為二分。境內有當店十間，農村中有標會組織，為農民藉事儲蓄與周轉之機關。

### (八) 牧畜

(1) 家畜 以養豬為普遍，殆為農家必有之副業，計全縣所養之豬，除供境內宰食之外，年中出口約有八千頭左右。至於養牛，其目的多為耕田役用，但有場地與人工者，亦較多養以為取利。查該縣年中牛之出口，亦約有四千頭云。

(2) 家禽 就中以養鷄為多，次為養鴨，又次為養鵝。查其飼養情形，與他處無異，全縣年中鷄鴨鵝之出口，約有三十萬斤左右云。

### (九) 作物

(1) 水稻 查該縣共有水田面積約五十萬畝左右，年中皆可栽種早晚水稻二造，惟晚稻一造，每有旱患，故間有改種甘薯者。該縣所產穀米，足供民食而有餘，計年中出口總額約八百萬斤至一千萬斤左右。又查該縣小稻收量多不甚豐稔，此則與土壤品種人事等有關者也。茲將其水稻栽種情形畧紀于次：

(1) 早稻 其普通所種之品種，有棟赤，早赤，大赤，金包銀白穀仔，新粘，秋香，六十日，及糯等，其播種時

期，通常於清明前後浸種，二日夜後，起水屯芽約二日，遂撒播於秧田，其秧田於整地時施人糞尿為基肥，至播後十餘日，復施人糞尿為補肥，計播種育苗有二十日許，可剷苗分秧。當剷苗時，先撒施以糞灰或生麵粉，然後剷苗分秧。迨分秧後一月許，用小齒耙中耕一次，間有於中耕前後施以糞灰一次者，但通常則多不施肥。其早稻除六十日早於分秧後兩月許有收穫外，餘皆於大暑前後收，每畝收量約二百餘斤至三百斤左右云。

(2) 晚稻 普通所種品種有白絲苗，赤絲苗，牙粘，油粘，黃粘，露赤，白壳粘，及糯等，通常於夏至前後浸種約二日，起水屯芽約一日，遂播於秧田。其秧田亦於整地時施一次畜糞為基肥，及至立秋前後拔苗分秧時，再施以糞灰或生麵粉一次，至分秧後一月許，施以人畜糞灰，同時用小齒耙中耕一次，通常早者為黃粘在霜降後收，餘則立冬前後收，計每畝平均收量約二百斤左右。

(3) 小麥 該縣麥作不甚普遍，較之數十年前亦有日就衰頹之象，其栽種情形，無異他處。其麥多不作糧食用，悉以販賣出口，查年中約有三十萬斤許云。

(4) 花生 該縣各都地方皆有栽種，悉用為榨油，惟產量不足供就地之用，年中須由廣州輸入不少云。

(5) 糖蔗 該縣糖蔗除甘，寧，湖三都無栽種及下都甚小外，其餘各都地方莫不種之，多種於沿河埧地及高亢之旱地。其糖蔗於二十餘年亦為最盛，年來則日就衰微，故近年蔗糖之出口為數甚少云。

(5) 黃蔴 各都地方皆有栽種，而以慶都屬地為最多，通常為絞繩之用。查全縣黃蔴出口。年五十萬斤云。

(9) 甘薯 各都莫不種之，其種地多屬旱地，或患旱之早稻跡田，所有甘薯，悉作雜糧食用，或為家畜飼料。

(7) 涼粉草 於梅賢牛三都地方多栽種之，年產總額約五十萬斤，多運銷於外洋云。

(8) 菸草 松牛梅二都多種之，通常於冬至前後種於晚稻跡田，至翌年二三月間收，年產出口數約四十萬斤

云。

## (十)園藝

(1)蔬菜 蔬菜品種通常者皆有種之，除農家栽種爲自己佐餐之用外，在各都市場附近，畧有少數專業經營者，但其產量不多，祇供市場之需要而已。查惟甘都新塘一帶每年可有節瓜出口，約數萬斤，及牛都地方有酥膠菜乾出口，約五十萬斤云。

## (二)果樹

烏欖 查其種植歷史，約有百數十年，其產地：於梅，賢，牛，慶，上，雲，福，湖等郡，皆有種植，而以牛，慶，上，雲，福等都爲最多。其種植方法，通常先行播種育苗，其播種時期，可不拘定，其實播之苗，有移植者，亦有不移植者，其品種如未經接木之實生苗，則有捲頭，金中，黃葉，菁蓮等分，就中以黃葉及金中爲佳，如已行接木者，則統稱之曰左尾。其已接木與未接木之欖核極易分辨，未接者核祇一仁，已接者(左尾)核有二仁云。通常植欖在實生苗七八年後，於春季二三月間用左尾接過。其法於實生苗之二尺餘高處截去，依法接以左尾二三年生枝一條以至三數條，視其樹勢情形而定，接後四年，可畧有果結。其開花時期在四月間，果熟時期在九十月間，通常收果法，悉用竹桿擊落。種後管理年中施肥一次，於二月間爲多，所用肥料，普通爲人畜糞尿或生糞水等，若有寄生枝，須時行除去，除此之外，無甚管理。又欖樹如遇大霜後，則多枯死云。查該縣烏欖年產總額，約有四百萬斤至五百萬斤。

荔枝 品種有掛綠，桂味，糯米糍，西角子，懷枝，三月紅，大棗，甜欖，狀元紅，貯麻子，進奉，黑葉等，其品質最佳者，爲掛綠，桂味，糯米糍，西角子，甜欖，狀元紅，貯麻子等，就中尤於縣城西門外西園所植之二株掛綠爲最有名，攷其樹勢果形，與普通種不易分別，惟果肉特別乾爽與香甜云。其產量甚少，且常隔一二年結果，惟其價值殊昂，殆無一

定標準，因其著有聞名，普通人不易購得，祇供各處要人富商之特派專員到買而已，故每斤掛綠荔枝，常值三數十元而不一，查其栽培方法，亦無異樣。此外品質稍次者為黑葉，進奉，再次為三月紅懷枝。其種植最普遍而收量最多者，則首為懷枝，次為黑葉，此二種荔枝，殆佔產額中之八九。其樹勢以懷枝及西角子為高大，其果核屬細小者為桂味，糯米糍西角子等，屬大核者為掛綠，黑葉等，其大小核兼而有之者，則惟懷枝，一般荔枝之繁殖法，用駁枝為多，其管理施肥，則與烏欖畧同。查全縣出產荔枝，其品質佳者，祇在本縣銷售，其出口者惟懷枝及少數之黑葉耳，并多乾製發賣，計年產總額約三百萬斤至四百萬斤云。

白欖 品種有山頭，三方，黃欖，水欖等，就中以山頭為最佳，次為三方，又次為黃欖，再次則為水，通常三年生之實生苗移植後，再三年可行接木，接後三年，可有果結云。其產地多在甘，寧，湖等郡，年產額約十萬斤。

菠蘿 於牛都地方多種之，其種地多在斜傾之山麓，通用梢心或分蘖苗繁殖，其植期在二三月間，約種後三年，可有果收，現查全縣年產額約二萬斤許。

香蕉 於甘，寧，湖，福，牛都等地方栽種之者，年產總額約十萬斤許。

柑桔 此等果類於牛，坊，甘，湖，寧等郡多有種者，此種果作，為入民國以來始栽培之，但聞近年以來，虫害劇烈，無法防除，復呈衰落趨勢，近年產額年約十萬斤許云。

龍眼石榴黃皮 於甘，寧，湖等郡有種之者，計年中龍眼出產約五十萬斤左右，石榴約十五萬斤左右，黃皮約，三萬斤許，皆運銷于廣州香港為多云。

### (十一) 蠶桑

增城蠶桑惟下都屬石灘，元洲一帶，稍有經營之者，聞在四五十年前，該處養蠶者有五十家，及至近年，因繭

價日低，養蠶者遂日減少。查現在祇存十家左右，每家平均每造養蠶種約十二兩許，每兩種約可得乾繭四十餘斤至五十斤，年養六七造，所出之繭，悉運往石龍發賣云。

### (十一) 森林

查增城全縣現有森林面積約可佔山嶺百分之五十五，殆有六千八百餘方里之多，其森林主要樹種，松木佔其十之七八，成林之象，以純林為多，其餘雜木杉木竹類等統居其十之二三而已。在鄉村附近者，多屬人工林，遠僻者悉為天然林，其森林所在地，於梅，牛，賢福等都為多，年中木材出產甚少，即松蕈柴炭亦統計不過四五百萬斤云。

### (十二) 農村教育狀況

(一) 學校數 初中，有縣立初中一所設在縣城，於民十七年秋創辦者。高小查第一，二，九，十一，十二，等區各有一間，第三區有二間，統計全縣共有高級小學七間。初小查第一區有十五間，第二區有四間，第三區有六間，第四區有四間，第五有四間，第六區三間，第七區八間。

第區八六間，第九區四間，第十區六間，第十一區七間，第十二區十二間，統計全縣共有初級小學七十七間。

私塾 統計全縣共有私塾七十八間。

平民義學 統計全縣共有平民義學二十五間。

(二) 學生數 初級中學生一班，計六十五人；高級小學生，全縣共四百五十八人；初級小學生，全縣四百五十八人；私塾學童，二千九百一十七人；平校學生，全縣二千三百七十九人。

(三) 教職員數 初中現有教職員十二人，高小現有教職員三十九人，初小現有教職員二百九十二人，私塾現有塾師九十四人，平校現全縣共有教職員六十八人。

#### (十四) 農林前途之觀察

增城農業在農作方面，佔最大之面積者，厥惟水稻，而水稻之生產，較諸數十年前，收量日形減少，查其原因，乃由土地肥力不能維持，及水稻品種劣變，與農工缺少，人事粗放之所致也。其次蔗糖業及蠶絲業較之十數年前，亦衰落甚，此蓋作業不精，受國際貿易之影響所至。若夫果樹經營，烏欖荔枝，是其大宗，但年來亦無甚增進，其餘菠蘿香蕉桔柑類，雖為最近新興之果業，但晚近數年經營此業者，亦覺殊多困難，今後亦有日就衰微之懼。至於森林方面，年來國家多故，匪患頻仍，民生凋敝，對於獲利期遠之森林，亦無暇經營。查該縣現在木材之需用，全賴他處之輸入，即柴炭之出口，亦為數無幾。總上情形觀之，則該縣農林前途之希望，惟有視此後政府方面之維護地方，及研究試驗機關之設立，以改良倡導之耳。



# 龍門縣農業調查報告

十八年

林純興調查  
何慶功

## (一) 位置及區域

龍門縣舊屬廣州府治，東界河源，西界從化，東南界惠博，西南界增城，北界新豐，縣治在北緯二十三度四十五分，經度距離京師中線偏西二度三十分。全縣地勢西北高而東南低，地形畧成橢圓，全縣面積約三百一十萬零五千四百四十五畝五分，居民號稱十八萬，分縣行政為十二區，如下所列：

- 第一區為附城，在縣之中部。
- 第二區為左潭，在縣西。
- 第三區為鐵岡，在縣西。
- 第四區為高明，在縣之西北。
- 第五區為上建，在縣之北。
- 第六區為茅岡，在縣之東。
- 第七區為路溪，在縣之東南。
- 第八區為龍華，在縣之東南。
- 第九區為沙逕，在縣之東南。
- 第十區為麻榨，在縣之東南。
- 第十一區為永漢，在縣之南。

第十二區爲南崑，在縣之西南。

### (一) 氣候

該縣氣溫和，於夏至立秋間爲最高，而於冬至後至翌年春分間爲最低，計年中冷熱時期，各約三個月左右。其雨量於芒種夏至間爲最多，秋分後至冬末爲最少。年中下霜通常在十月間起至翌年三月間收，至於下雪，則非常年有也。

### (二) 耕地狀況

(一) 地勢 查該縣農地面積約共二十六萬畝左右，就中水田可佔二十二萬畝許，殆皆栽種早晚水稻二造，其餘旱地則栽種甘薯花生爲多，在第九區沙逕之武功鄉及麻榨，永漢等處，則有一部分栽種糖蔗者。至其地勢平均大概屬平原者，約佔百分之五十七，山谷約佔百分之十二，岡陵起伏約佔百分之五，山嶺約佔百分之三，傾斜田地約佔百分之二十三云。

(二) 土壤 農地土壤以在村心中平原地勢者較爲良好，係屬壤土爲多，除上建茅岡及龍華之一部分地方，常用石灰之田地，其土質多堅實淺薄外，餘屬半輕鬆。土顏色以灰黃及灰白爲多，肥度亦屬中等。至於旱地乃多係黃色之沙，土質雖輕鬆惟不肥沃。

(三) 水利情形 就一般而論年中早造時期，雨量稍多，殆無旱患；晚造時期，雨量較少；在地勢高亢或僅賴山澗小水，及山塘水灌溉者，則每有旱患。查此種情形之農地，約佔有十分之四左右，其餘應用河流陵水車水，或源流長遠之山溪水灌溉者，則水利無缺。

### (四) 荒山情形

全縣山嶺面積有八百餘萬畝之譜，而荒山之數，則約佔其百分之四十左右。查其山嶺荒廢之原因，不一而足，蓋連年治安不好，民生困難，對於收穫年齡長久之森林事業，多捨而不圖，亦為增加荒山原因之一；其次因森林事業少人經營，而野火焚林遂多不注意防範矣。故該縣之荒山非位置與土質之不宜，實因人事之玩忽所致也。

### (五) 運輸交通

境內交通多賴陸路。而陸道運輸則用肩挑，其大宗出入口貨物之運輸，則有通帆船之河流二條：一由縣城經龍華入沙，逕出增城之正果，流入增城河，與東江會合；一由永漢至增城之正果亦與縣河會合，此二河流共有三數百號，帆船運輸出入口之大宗貨物，當春夏水漲之時，船行便利惟秋冬之時，水淺灘多行極感困難，且年來沿河土匪，抽收行水多次，商船營業亦感困異常云。

### (六) 農作情形

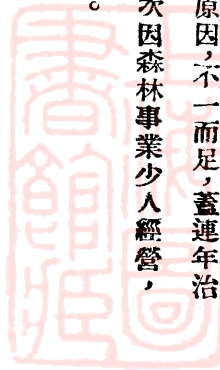
(1) 冬耕 冬間栽種大小麥者，惟永漢及附城為多，其次沙逕高明麻榨南崑等地，亦畧有之。至行冬耕犁田（又名轉稻田）者，則惟高明永漢南崑等處客籍人之農地，多有行之。

(2) 春耕 多於清明前後行之旱地，用乾耕栽種花生為多，稻田用水耕栽種早稻。所用之農具，悉以犁耙為主，其稻田於春耕整地時，有練用石灰為基肥者，有用人畜糞灰或廐肥為基肥者。

(3) 秋耕 即為二造之耕作，其作物以晚稻及甘薯為主要，耕作方法，與各處大都相同。

### (七) 農民經濟狀況

(1) 農戶 農民中田主約佔百分之十五，半佃農約佔百分之四十，純佃戶約佔百分之四十五。其田塲之大小，在田主所耕者多為四五畝，半佃農多在十畝內外以至十餘畝，純佃農則由五畝至十畝為多。若以平均計之，每農家之耕地



面積，在十畝以下者，可佔百分之五十，在十畝以上者，可佔百分之四十，在二十畝以上者，佔百分之十一云。

(2) 田地價 水田每畝上等者通常值五十元，中等約三十元，下等約十餘元。旱地每畝上等約值二十元，中等約十元，下等約數元。

(3) 肥料價及農具價 石灰每百斤約七毫，花生麵每百斤約六元，人畜糞灰每百斤約七毫，犁每張約二元半，耙每張約六元，鋤每柄約一元二毫，幫鋤約一元，草鏟約三毫，禾鏟約值一毫。

(4) 農產價 能供役用之牛，每頭水牛約值六十元，黃牛約值三十元，豬肉每百斤四十元，雞每斤約五毫，鴨每斤三毫半，鵝每斤三毫，魚類每斤約三毫，菜薯芋頭每毫三斤，甘薯每百斤約一元左右，乾花生每百斤約九元，穀及小麥每百斤約五元，花生油每百斤約三十元，甘蔗每毫約五根，黃糖每百斤十一二元，通常蔬菜每毫三四斤，黃麻每斤約一毫半，棉花每斤約一元三四毫，乾柴每百斤約五毫，木炭每百斤一元，茅草每百斤三毫，黃竹每百斤約三毫半，草蓆每百斤約一百四五十元。

(5) 人工價 長工每年工資約三十六元；短工尋常時每工男二毫半，女一毫半；農忙時男工五毫，女工三毫，通常每日供膳三餐，計長工之全年食費約需四十元左右，短工每日約需一毫半。每日工作時間，約十小時該縣農工皆就地供給。

(6) 田地租 承種田地，以納租穀法為多，間有少數旱地則納租金者。查水田每畝年納租穀上等田約二百斤，中等田百五十斤，下等田約七八十斤，旱地每畝年納租金上等者約二元，中等約一元半，下等約一元。其收租方法，均由田主往收租金，多限一次完納；租穀則分早晚二造均納，為遇荒歉之年，則酌量減收若干云。

(7) 租田制 佃農承種田地，須寫立租約與田主，其租約程式與各地相同。至承種田地之方法，多由佃戶與田主

直接商洽，不須介紹手續，亦少有押租預租之例。租田年限殆無定期，除有少欠田租，或田主欲收回自耕，則可永遠耕種云。

(8) 農產貿易及大宗出產 農民出售農產，多在各區市場，如屬大宗農產，則有商人收買，再由水道轉運出口。茲查得該縣大宗出口之農產品類及數量，紀之於次：

種類	每年出口數	出產地
穀	約四百萬至八百萬斤(每百斤五元)	各區
麥	約三四十萬斤(每百斤五元)	附城及永漢爲多
草蓀	約十餘萬至二十萬元	上龍門屬各區
苗竹	約四十萬根值約八萬元	南崑
丹竹	約值二萬元	沙逕
杉木	約值二十餘萬元	高明爲多
木炭	約值十餘萬元	一八九十一等區爲多
竹紙	約值二十萬元	南崑
生豬	約六七萬元	各區
鷄鴨鵝	約萬餘元	各區

(9) 借貸情形 農民中常借錢欸及糧食者，十居八九，其借貸原因，多係糧食不繼，故於三四五月間，青黃不接時，及十二月間需欸過年時，農民借貸者最多，其十二月借者，多屬糧食或錢欸，於三四五月借者，則以錢欸



爲多。普通農民借貸爲數不多，故少用抵押品物，通常錢款利率以月息三分爲多，糧食則每百斤加息五十斤，旱季還本，冬季還利。一般放債者，係屬田主、殷富，或商人。此外全縣有當店三間，鄉村亦有標會組織，可爲農民周轉之機關。

### (八) 畜牧

(1) 家畜 以養豬爲最普遍，除極貧小之佃農外，莫不養之，所養之豬供就地屠宰外，年中約有三數千頭出口。其次養牛，則多供耕田役用，大概田主養牛爲最多，每家可數頭以至數十頭，或自己飼養，或租給佃農飼養，年納牛租穀一百五十斤至一百八十斤云。至於牛之出口，則屬甚少云。

(2) 家禽 以養鷄爲最多，次爲養鴨，又次爲養鵝，皆屬農家副業，故飼養情形，與各地毫無二致，計年中鷄鴨之出口，值約萬餘元云。查該縣附城有專業經營之鵝廠二間，其經營飼養，稍有足述之處。茲特將調查所得畧紀如下：

(1) 鵝廠之位置 在縣城南門外河邊，一爲南向，一爲北向，卽河之兩對岸也。

(2) 鵝母之數量 兩廠共養母鵝約一千只，每十只須配以雄鷄一只。

(3) 鵝廠之設備 計有工人室，儲藏室，孵卵室，及鵝舍各一間，其工人室在正門之左側，共住工人三名，由正門而入，卽爲鵝舍。舍中無特別建設，惟中置竹欄二張，殆爲自由伸縮，鵝之大小或隔離有卵鵝與無卵鵝之用者，在鵝舍之左邊隅墻挖砌一小門，高約二尺，闊約一尺，由小門而入有一地窖，鋪以稻草，爲鵝之產卵處。其產卵時，不須人工管理，雌鵝自曉入內產卵云。其儲藏室係由正門而入之鵝舍右邊，開門內進一小室內，置飼料(穀)及雜用器具等，再由儲藏室開門進內，卽爲孵卵室，室中列置竹簾，襯以稻草，爲鵝之孵卵處，每簾置十卵用一雌鵝伏孵，出雛

時期須三十日。又其室中異常黑暗，絕不透光，室中雖有一窗，但僅備檢查時之啓用。平時則緊閉不開，詢其所以，則謂室暗鵝方靜伏云。

(4) 飼養及管理 普通鵝或產卵期間之鵝每日早晨即放牧於河中，并早晚給飼乾穀二次，共約半斤許，至傍晚時候，始驅歸鵝舍，其產卵之鵝皆自曉歸舍產卵，不用人工管理。在伏雛期間之鵝，則於早晨給飼料一次，或稍放牧片刻，又驅歸伏雛，但須節減食量，以祇供其營養，而不至危害其軀體爲度。蓋其所以然者，因多給與飼料，則恐營養過足，軀體肥壯，短少其伏雛性期，但究竟每日應給與飼料之標準量幾何。該廠主不肯詳言，祇謂師傳方知。至伏雛後之鵝軀體多瘦，每日給與飼料，比普通鵝須多一二兩，使其早日復元，而促其產卵云。

(5) 鵝之生產及利益 每鵝每年可產卵三次，每次卵量八個至十二個，但平均每鵝年中可產卵三十個。通常產卵時期於五七月爲多，但亦不能概論。其卵悉爲孵雛用，每足十孵爲一數，其出雛之數，大概平均可得九成，每只初出之幼鵝可值四毫半至五毫，以此計算，則每只雌鵝，每年出息可十二元零至十三元零。又每日平均飼以乾穀半斤計（值約一分八釐），則全年飼料需九元左右，兩相抵時，每年每鵝本身所得利益，約可三元左右。

### (九) 作物

(1) 水稻 該縣水田面積約可二十二萬畝許，皆能栽種早晚水稻二造，惟查一般稻田均不甚肥沃，耕作方法亦屬粗放，故每畝全年收量平均不過四百餘斤至五百斤許。計全縣年中產穀總額約可一萬萬斤左右，除釀酒製粉等銷用外，年中出口穀數可四百萬斤至八百萬斤云。前將該縣水稻栽種情形畧紀于下：

早稻 其普通所種之品種，有油赤，晚慶早，烏尾粘，白米粘等，通常早稻皆於清明前後浸種三日後，起水屯芽約三日，然後撒播於秧田，其秧田於整地時，每施以石灰爲基肥，至播種後十日許，施人糞尿水或人糞尿灰一次，間

有再施生麩一次者，至行雨前後鋤苗分秧。至其稻田亦有於整地時施以石灰者，亦有施以厩肥者，迨分秧後有於半月後用脚耘一次者，亦有絕不耕耘者，但通常概不再施補肥。至大暑時節收穫，每畝收量二百餘斤至三百餘斤，殊不一律。

**晚稻** 普通所種品種有白壳絲苗，黃壳絲苗，及江頭粘等，皆於夏至前後浸種二三日，種籽稍萌芽時，即行播下。其秧田多用火土灰草皮灰等爲基肥，至播後半月許施人畜糞及生麩肥各一次，至立秋前後遂鋤苗分秧，分秧半月後，用脚耘一次，亦有於未耘之先，施以石灰者。收穫時期在立冬前後，每畝收量約二百斤許。

(2) **小麥** 於永漢及附城地方種麥最多，其次麻榨，沙逕，高明，南崑等處，亦畧有種之。聞清末時期各地種麥頗爲普遍，後因地方秩序日劣，關於保護農作之禁規日弛，因之種麥者遂日益減少云。其種時期多在立冬後條播於晚稻跡田，播種時通常施人畜糞灰基肥一次，至翌年清明前後收穫，每畝收量可六十斤產，現在年中出口之麥，約有三四十萬斤云。

(3) **甘薯** 各區皆甚多栽種，實爲農民主要之雜糧，多種於旱地或早稻跡田，其所收穫之甘薯，爲作本年食用者，則堆置於房中，如留爲翌年食用者，則收薯洗淨切爲薯片，煮熟晒乾，藏起至翌年食用時，再行煮過，或蒸過，以爲食用，每百斤生薯值約一元左右。聞一般貧農每收自己所產之穀糶去，換買甘薯，以作糧食云。

(4) **花生** 各區地方皆有栽種，其花生大都用於榨油，全縣年產油額，尙不足供就地之用云。

(5) **葛薯** 在永漢地方多栽種之，其薯大者可斤許，品質亦佳。年中出產，約數百担，除就地銷用外，畧有少數出口云。

## (十) 特產



草蓆 於一三五六等區所謂上龍門地方者，多栽培之。年中出產約值十餘萬至二十萬元，皆運銷於廣州。

竹紙 惟南崑地方出產之，聞往昔清末時期，該處有造紙廠不下百十間之多，年產紙額可值百萬元，迨至民國以來，交通多梗，沿途土匪抽收行水，益以洋紙充斥，影響所及遂日形減少。查近年來祇存造紙廠二十餘家，年產紙額值不過二十萬元左右，其紙品爲普通草紙，卽包物用者，每百斤值約八九元云。

蔗糖 於第九區沙遙爲最多，年產額可四五十萬斤，第十區麻榨十一區永漢，均稍有出產，此二區年產糖額共約三十萬斤左右，統共所產之糖尙不足供全縣之用，故無出口。

茶葉 惟南崑地方畧有出產，而產額甚少，殆祇能供給該區之用。

笋乾 第九區西溪地方產之，係用甜竹笋製者，品質極佳，無論如何烹調，均極爽脆云。惟產額無亦多，祇供就地人士購爲送禮之用耳。

棉花 於上建龍華永漢等地，有種之者，其品種聞係前廣東地方農林試驗場所寄送，當時分發各地栽種，成績極佳，後因地方治安不良，種者多無心整頓，遂於無形中日就式微。現在上建之棉花，在該縣頗有聞名，惟產額甚少，而價極昂，卽就地買用，每斤亦需一元三四毫云。

### (十一) 園藝

(1) 蔬菜 除各地農家栽種少數爲自己食用外，於各區市場附近地方較多種之，尤於附城及永漢爲多，但亦祇供市場需要而已，並無出口。至其所種蔬菜，四時品種皆有之，就可稱爲地道者，惟芥蘭菜及永漢產之紅皮蘿蔔。聞紅皮蘿蔔之種籽，須由廣州花地採買云。

(2) 果樹 各地均畧有散植之，龍眼黃皮柑柚桃李枇杷等果，但品種無特佳，產額亦甚少，不過畧供就地零星販

賣而已。至果園之經營，惟附區之潭田，約有果園一座，面積約五六畝許，所種以柑桔類香蕉為多，荔枝龍眼等亦有多少，聞現在年中出產約值八九百元云。其次永漢地方於近年來，亦漸有着手經營者，但現在尙無成績，惟可希望於將來耳。

### (十一) 森林

查該縣現有森林面積，約可五百萬畝左右，但多非稠密叢茂之森林，其中亦以松林為最多，次為雜木林，再次為杉木林及竹林。其松木林各區皆有，大概屬人工種植者，不及百分之四十，雜木林除各鄉村之每個家屋之後，必有雜木林一二畝，至三四畝係屬人工林外，其餘悉屬天然之林。其天然之雜木林，於附城區及龍華沙巡麻榨永漢寧區屬為最多，杉木林則於高明區為最多，該區出產之杉木可估其至縣十之八九，皆屬人工之林。至於竹林，則於南崑為多，其次鐵岡沙巡亦畧有之，亦皆人工林也。查該縣近年關於森林之出產，出口數，計杉木年約二十餘萬元，木炭年約十餘萬元，竹紙約二十萬元左右，苗竹約八萬元，丹竹約二萬元左右。

### (十二) 農村教育狀況

龍門教育甚為落後，查全該縣有縣立高小學校二間，民立高小一間，其縣立者，一在縣城，一在沙巡，其民立者設在永漢，為該區客籍人所公辦，統共全縣高小學生不及二百人。此外初級小學計附城區有二十九間，高明區有七間，沙巡區有三間，麻榨區有二間，永漢區有二間及平校一間，其餘左譚，鐵岡，茅岡龍華，南崑等區，各有一間，統共全縣有初小學生約二千四百人左右。其所有學校多不健全，非師資不合，則經營缺乏，至其失學兒童當不下百分之七十云。

### (十四) 農林前途之觀察

該縣地廣人稀，對於農林事業，原有振興之可能，但細察其情形，不第地未盡其利，卽人亦未盡其力，是固由於地方治安不良之影響，而地方上缺乏有機肥料，農民向來濫用石灰，以致土質變劣，亦實爲該縣農林事業不振之重要原因。故今後農民方面似宜注重畜牧，以增加有機肥料，并須減施石灰，以恢復地力。政府方面，尤宜速行設立農業教育學校，及試驗機關，以研究改良而推廣之，庶乎有濟也！

# 寶安縣農業調查報告 十六年五月

黃錫疇  
陳幹濟  
調查

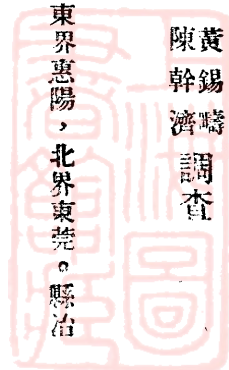
## (一) 位置

寶安在珠江入海之東岸，西隔珠江，與中山相望，南瀕洋海，與英借九龍租界相連，東界惠陽，北界東莞。縣治分七區如下：

區別	區署所在地	位置
第一區	城內	附城
第二區	西鄉(城西十里)	中部
第三區	深圳(城東四十里)	東部
第四區	雲霖(城北五十五里)	西部
第五區	黃岡(城北七十五里)	西北部
第六區	烏石巖(城北三十五里)	北部
第七區	大鵬(城東一百四十里)	東部

## (二) 地勢

縣地山嶺多，而平原少，大約山地佔全面積十之六，而平原僅得其四耳。而全縣之中，尤以東北部為最多，如六區之陽台山、鷄公頭，三區之梧桐山、筆架山，七區之七娘山，重巒屏障山勢峻峭，惟西南瀕海，地勢較為低窪，雖間有岡陵起伏，然多屬可耕之地也。



### (三)氣候

本縣地瀕洋海，氣候溫和，寒熱之差，不甚懸絕，炎熱之時，雖六七月，其最高氣溫，亦僅在華氏表九十度左右。其他氣候多與廣州相似，惟其氣溫低降之期，常在十二月正月間，因有海風調劑，氣候不甚寒冷，結霜甚少，和暖過於廣州。全年雨量最多季節，則在三四五月間，但六七月間，亦常有颶風為災。

### (四)耕地狀況

全縣耕地可分三種：

(一)水田 西南與西北近洋海之區，平原低窪之地，多闢為水田，廣栽水稻，而以西北部之四五區為多。土質為黏性壤土，色黑而富於有機質，表土深厚。次為中部之一二三區，土質乃沙質壤土，色黑而有機質亦富，除植水稻外，亦有栽植蔬菜者，以上皆屬沖積土。此外六七區，亦有水田，然土質不若上述各區之肥沃，且多是定積土。

(二)墾地 土質屬砂質壤土，或黏性壤土，此等地因灌溉不便，水量缺乏祇可供栽植陸稻甘蔗花生等，於三六區為多。

(三)傾斜地 卽嶺邊之地開闢成階級狀者，屬砂質土而色赤，乏有機質，散佈於岡陵起伏之區，除四五區外，各區皆有之，土人常利用以栽植花生，甘薯，沙梨，桃，梅，李及菠蘿等作物。

### (五)水旱情形

縣屬雖多低窪之地，然以瀕近洋海，排水佳良，故一二三四等區，水田絕不受水災之害，兼之四五等區，河流交錯，排水灌溉益稱利便。就縣全境論，除間有旱災外，鮮有氾濫之害。

### (六)交通

東部雖山嶺重疊，綿亘不絕，然海灣紆曲，毗連香港虎門，加之廣九鐵路橫貫東部，水陸交通，堪稱便利。就水道言之，一區之南頭，有小輪船數艘，直抵香港，需時僅二二三小時，一二區農產品多由此輸出香港，二區之固戍，有小輪船往來於莞之太平，一二四五等區物產，多藉此而轉運於各處。此外七區之沙魚涌亦有小輪船一艘，直達英租界之大埔，而駁接廣九路。非獨七區之貨物，由此運輸，即隣近寶安之惠陽縣各地之農產品，亦皆由此轉運也。他若大小帆船為數尤多，港灣之處，舟楫密佈，此往彼來，絡繹不絕，故三六區之果品，一二區之蔬菜，七區之柴炭，專銷售於香港，實因海洋交通便利，有以致之。陸路除東部七區山路傾斜，運輸較難外，其餘多屬康莊大道，加之廣九路橫貫三六區，沿路貨物，由此運往省港，復有粉嶺支路，由沙頭角直抵粉嶺，接駁廣九路，惜此路是英人所築，主權非我有耳。

### (七)耕作情形

西路四五區水田甚多，廣栽水稻，園田則間有植鹹草者，然產量不多，遠不如東莞之厚，一二區水田，除種水稻外，常有上造種蔬菜及芋，迨收穫後，下造改種水稻，每年祇就一區地方計，蔬菜一項，輸出香港者，為數約有十萬元云。旱田多栽旱稻花生甘薯芋等，常互相輪栽，山嶺地如三六七區等處，多產松木，每年輸出香港，為數亦頗巨，全縣水田除七區於下造收穫後，畧有冬耕種麥外，其餘各區，罕有冬耕，有此大好之土地，氣候水利，而不知利用，誠為可惜也！

### (八)農民經濟狀況

田地租價 上等水田每畝值銀二百元至二百五十元，每年租穀三百斤，上等旱田每畝價值七十五元，每年租穀一百五十斤；中等水田每畝值銀一百五十元，每年租穀一百斤；中等旱田每畝值銀五十元，每年租穀一百斤；下等水田每畝值銀八十元，每年租穀一百斤；下等旱田，每畝值銀三十元，租銀二元。然因各區情形之不同，及各地土質之肥瘠，而地價常不一致，上列上中下田價，乃就普通而言之耳。

長短工價 該邑接近香港，海洋交通便利，人民僑居異域，為數頗多，農人生活，畧受影響，故工價頗昂，長工每年工銀九十元，短工忙時男工每日工銀六毫至八毫，女工每日值銀四毫，須另供膳。

大宗產品列下：

品名	數量	價格
穀	每百斤	六元
豆	每石	一十二元
生油	每百斤	三十元
片糖	每百斤	九元
花生	每石	三元
芋	每百斤	三元
甘藷	每百斤	二元五毫
松柴	每百斤	一元八毫
炭	每百斤	三元五毫

沙梨	每百斤	八元
李	每百斤	八元
蠔	每百斤	百二十元
蠔油	每百斤	百六十元
蝦	每百斤	六十元

大小農及經濟情形 統計全邑以佃農為多，每戶耕田在二十畝者，約佔十之七八，餘則十餘畝或數畝不等，若在四十畝以上者，則不多見。農民子弟，多出外洋工作，每年匯回金錢，以調劑金融，農家頗資臂助，兼之海產豐富，尤為該邑之唯一富源，故人民經濟，頗覺充裕。

### (九) 農村教育狀況

全縣教育，甚不發達，究其原因，非因地方財力困難，未能負擔教育經費，實因土人之具有資財及智識者，多僑居香港，就近令子弟學習英文，以為謀生捷徑，不暇為桑梓提倡教育事業也。全縣學校設備完備者，不可多見，雖有初中一校，乃今年始由縣立第一高小改組而成，設備尚欠完備，學生僅數十人；其他小學有案可稽者，僅十餘校，亦祇維持現狀，難期發展；他若私塾，更不完備。實無成績可紀，失學兒童，有增無己。夫以比較開通而兼富之地，而任令教育之落後如此，良可慨矣！

### (十) 作物

(1) 水稻 本邑水田，以四五區為多，該處水稻，產額除供本邑糧食外，皆運往莞莞之虎門銷售，其餘各區常不敷用，每年多由香港運入洋米接濟。其所植水稻之品種不一，大抵早造為珍珠早，花羅粘，烏壳仔，麻包錦等，晚造





爲絲苗粘，白谷，油粘，八月白，馬尾粘，落湖粘等，此外四區平坦潮濕之田，則盛栽赤谷，此項赤穀，每年出產約萬餘担，分銷本縣及東莞，爲製酒之原料。

**栽培法** 普通早造，於春分清明之際，先將穀種浸濕，迨至萌芽，卽於是時播之苗田，育苗約經一月，苗高數寸，旋以充分人糞尿豆麩廐肥，一二日後，便移植於本田。晚造則於夏至播種，立秋移植，每造於插秧十餘日，減少田中水量，舉行耘耨，以手扶小竹杖，用足腳踏其雜草，並培土於株根，耘後，復施以蠔灰一次，以作補助肥料。

**收穫期及銷場** 早造於大暑前後收穫，晚造於立冬前後收穫，銷售本縣，及東莞之虎門。

(2) 蔗 甘蔗栽植以三區六區爲多，二區亦稍有栽培，其餘各區則罕有之。甘蔗栽植，多在旱地，與花生陸稻互相輪栽，其餘各栽法，與各縣相似，惟栽培面積不廣，故出產無多，其銷路多由廣九路輸出香港。

(3) 花生 花生各區皆有，於三區六區爲多，各區栽之者，與甘蔗陸稻互相輪栽，多植於土質黏性之壤土及砂質壤土。近年以來，於四五月間，常發生一種莖葉乾枯病，具有傳染性，各區常有之，據老農云：倘該地常植花生者，則此病發生益劇，若經長期未栽花生之地，以之植花生，則此病常不發生，縱有之，亦不及連栽之劇烈云云，此蓋吾人之所謂彌地病者也。

(4) 甘薯 甘薯俗稱蕃薯，全縣皆有，而於三六七等區產之爲多，性粗生，養分豐富，土人常取之，以作糧食及供牲畜飼料，因其有白肉紅皮，及紅肉黃皮等之分，故名亦有西南薯，秤錘薯等之別。種植期，分春季與秋冬兩期，春季栽植者，則莖苗繁盛，主根不發達，利用以取薯苗，爲供飼猪之原料，及秋季留種之用，秋冬種植，則利用晚稻收穫之後，繼續栽植甘薯。其時根部發達，收量增多，既可得多量之產品，又可利用休閒之土地，故土人樂於秋季植之。栽培法，當栽植之期，剪苗長約七八寸，斜插畦上，畦高約五寸，每株距離七八寸，施用堆肥與草灰，種後月餘

，苗長二三尺，以竹竿挑起其莖蔓，使勿生根，再以牛犁畦之兩旁，隨施以肥，復以犁土，再覆畦旁，此蓋施肥而兼中耕培土也。自插苗後三四月便可收穫，每畝產量約二千斤至三千五百斤，每百斤約值銀二元至四元不等。

(5) 芋 芋之栽植，各區皆有，而以一區為重大輸出品，每年芋之一項，輸出香港，約萬餘担，值銀六萬餘元。品種分早芋檳榔芋等，而以檳榔芋為佳。當大寒之後，將前造選擇端正肥壯之子芋，用點播法栽植於已經起畦田中，每穴種芋一個，覆以泥土，每星期由畦下撥水一次，除草則每造僅一二次，每畝用豆麩約數十斤，人糞尿約二三担。至大暑前後，則以芋耙（形如鋤重約斤餘），向橫掘取之，刈去其葉，葉之柄以水浸漬之，可供蔬菜之用，每畝芋之產量，約三十担。

(6) 薑 十年前薑之產額，為數甚少，多靠外處供給，後邑人張君聲勢，提倡種薑甚力，影響所及，故三六區近來產額突增，加之價值昂貴，每百斤約值銀十元，栽薑者，莫不大獲厚利，因而產量倍增。至去年供過於求，價值低跌，每担僅值一二元，業薑者，又大遭損失云。

薑屬陰性植物，忌強烈日光，宜栽於高山之麓，品種分竹薑大薑二種，在夏歷正二月，將地整成一尺濶之畦，將前造所選擇強壯而無虫害者。用點播法，插入畦中以土覆之，種後二個月，壟土除草施糞尿一次，以後又再壟土除草一次，施肥約二次，便可收穫。收穫期分二種，在七八月收穫者，曰子薑，質脆而辛味少，在十一月收穫者為老薑，纖維質多而辛味濃厚。薑之產額每年約四萬担，多由廣九路運往香港銷售。

## (十一) 園藝

### (A) 果樹

(1) 荔枝 荔枝出產之地，一二三六區皆有，而尤以一區為多，往昔產額豐收，土人皆喜栽培之。近來連年失收

，產品銳減，業此者，諸多損失，有斫之以供器具之原料者。

品種分淮枝黑葉，桂味，糯米糍等，其中尤以後二者為佳。樹苗由增城購入，於立春季節種植之，每株約距離二丈許，初植時一月之內，每星期淋水二次，自後每年於七八月間，中耕除草一次，除草後即於此時施豬糞一次，每隔二三年則剪枝一次。初植之始，荔枝未臻繁盛，土人常利用以栽培陸稻花生甘薯等，至相當繁茂時，則停止栽植他項作物，計自移植之日起，經八九年便可結果，然因種類之別，而收穫期亦因之有異。三月紅收穫期約在四月，餘則在五六月間，每年由二十斤至百餘斤，收穫豐歉無常，該邑所產者，多銷售於香港，病虫害則以椿象為害最烈云。

(2) 柿 柿之出產，以三區六區為多，品種分合羅柿，紅團柿，長柿，水柿等，其中以水柿為最優，生長於砂質壤土，在立春時，將野柿行接木法而繁殖。自接木後，每年於九月中耕除草各一次，中耕時，開小溝，施以塘泥攪撞等，每樹約三十斤，植後六年，便能結實。收穫量由數十斤至百餘斤，所收之量，每年無大異，非如荔枝之無一定數量。在七月至九月間，便可收穫，就六區一隅，此類物產，達萬餘担，每担值銀三元，多運售於香港。

(3) 沙梨 梨之產地，多在三六區之崗陵起伏地，質脆而味甜，足與淡水沙梨相比美。品種有紅梨，香水梨，青梨數種。在大小寒時，植棠梨為砧木，植後三年，於立春前後，行接木法，每株距離約二丈，種後苗木細小，未臻繁茂，土人利用多餘之空地，種植他種作物，與經營荔枝相似，植後六年，便能結果，由數十斤至百數十斤。自接木後，每年九月中耕除草一次，結果後，每年於三月間，在株旁掘穴施豬糞約六十餘斤，收穫期，在六月至八月間。近年以來，梨樹突遭劇烈虫害，產量銳減，該虫長約寸許，散佈極廣，凡發生此虫害者，則全株梨樹之葉，皆為所食，無結實，業此者，無不大遭損失。該邑有張君聲勢，具農學智識，曾購噴霧器，注射殺虫藥液，頗著成效，但土人亦不肯倣效，任其損失，此農學之所以不可不講也。

(4) 菠蘿 菠蘿亦以三六區爲多，而適宜於瘦瘠砂性土，其性粗生，二三月或七八月間，整成四尺之畦，將母株分植新株，移植於畦上，每株約距離一尺五寸。每年八月中耕除草培土，移植後，二年便可收穫，初二年收穫僅三成，三年則可八成，若培土適宜，可生長至二十年，產品多輸出香港澳門。

(5) 檸檬 檸檬出產於三六區爲多，性粗生，分白花紅花二種。時屆立春，將種子播之育苗場，淋水三次，中耕施肥一次，二三年後，即可移植，每年於八月中，除草中耕施肥各一次，五年以後，每株收穫量約二十餘斤，此後逐年累增。就六區之地，每年產出額數，約四百担，運往香港銷售。近年以來，香港銷流日廣，每担值銀八元，土人以厚利可圖，多樂於栽植。將來此類果樹，必日益發達，佔果樹輸出品之大宗，可無疑也。

(6) 其他果樹 除上述各果樹外，當推桃梅李，此等果樹，亦以三六區爲最多，土質適於砂質壤土，桃之品種，分毛桃鷹桃粉桃，其中以鷹桃爲佳，李分竹李紅心李南華李水李，而以南華李爲最佳，梅有青梅黃梅之分。夏歷十月間，將桃梅之核播之育苗場，二年後，移於本田，李則在大小寒前後，將二年後之桃秧爲砧木，用接木法繁殖之，每株距離約七尺，三年以後，便能結實，收穫期在四五月中，收穫後，即可中耕除草施肥（豬糞或塘泥）各一次。此三者其經營管理法大畧相同，計三區六區每年出產總額，桃則有三千担，每担值銀四元，李則有八千担，每担值銀八元，梅則有五千担，每担值銀六元。此類果品，皆銷售於香港澳門。

以上果樹除荔枝，於一二區爲多外，餘皆產於三六區，而尤以六區爲最，二年前，曾有人承辦一種果類捐，凡輸之果品，應納捐稅而果類輸出品，遂大受影響，以土人羣起力爭，卒獲取消。按寶安果品出產既多，而水陸交通又復便利，果能提倡盡量推廣，則利源甚大也。

(B) 蔬菜

(1) 茄 產茄之處，全縣皆有，然爲輸出品大宗者，當首推一區，茄之品種，分火茄(黑茄)荷包茄(紅茄)，火茄色黑而帶紅，荷包茄則色紅而尾端略呈白色，品質較火茄爲良。重陽後，可舉行播種，大小寒後便可移植。火茄則全年皆可種之，而於立秋播種者爲多。此二者移植後中耕除草約四次，隔二日淋水一次，施肥以化學肥(每五日一次，每次約六斤，和尿些少，混水使稀之)爲多。尿次之，種後百日，便可收穫，每隔二日，可採一次，火茄每畝收穫量六十担，荷包茄則四十担，除供本邑蔬菜用外，多運至香港銷售。

(2) 冬瓜 冬瓜出產之地，於一區爲多，清明前後，將地整平起畦掘穴，每穴播種子二三粒，數日萌芽成幼苗，拔去弱小而留強壯者一株，中耕除草一二次。除兩天外，每隔一二月淋水一次，苗長至一尺許，便可施肥，以化學肥融解於水並和人尿淋之，每畝每次用化學肥約五斤，每四日一次。百日後，則可收穫，每株約二三個，每個重約五斤，每畝收穫量五十餘担，屆收穫之期，一次收採，不似其他瓜類，次第收穫焉。

(3) 絲瓜 絲瓜產地於一區爲多，驚蟄時將種子放於笠內牛糞(牛糞曾經水浸淡者)中，每笠一百株，約一星期後，便可將地整平起畦，移之畦上，每株約距離尺餘，苗長二尺，以竹豎籬成交叉形，高四五尺，瓜苗蔓延而上，除草三次，每日淋水一次，施肥與冬瓜畧同。六十日便可收穫，每日採瓜一次，每畝收穫四十担，每担值銀六元，銷售以香港爲多。

(4) 苦瓜毛瓜 苦瓜毛瓜亦於一區爲最多，宜種於砂質壤土。種法在立冬前，將種子下於笠內牛糞中，與絲冬瓜相似，一星期後便可移植於地中，施肥與管理概與絲瓜相似。一百日後，每隔四日，可採一次，每畝每次約二担，苦瓜每畝良者，總收穫量三十担，次者二十担，毛瓜每畝則四十担。就一區計之，苦瓜產額約五千担，值銀四萬元，毛瓜產額約四千担，值銀三萬餘元，多銷售於香港。

(5) 芥菜 芥菜品種有高脚芥菜，矮脚芥菜二種，該邑各區遍栽之，視為最普通蔬菜，適宜於砂質壤土，高脚芥菜，則於白露種植，矮脚芥菜，則於秋分種植。植後除草三次，隔日淋水一次，施肥為化學肥與水混和，前者四五次，後者五六次。前者十月之時，則可收穫，刈去其根，畧晒於日光，然後供浸漬鹹菜之原料；後者十一月亦刈去其根，以水洗之，盛於筲內，運於香港銷售。

(6) 蘿蔔 蘿蔔出產於一二三六等區，而以一區為多，品種分耙齒蘿蔔，白英，冬瓜白，龍船，大頭菜五種，而耙齒蘿蔔及白英二種，為一區特產。茲分別述之如下：

(A) 耙齒蘿蔔 形狀細小如手指，由各家自行選種。當清明時，將地整平起畦，畦濶約三尺高四寸，用點播法，每穴約三粒種子，經過六日，拔去弱小者，除草約二次，每二日淋水一次，施用化學肥及尿，六日施一次，每次約值銀元餘，全造肥料約費銀十元。收穫時，將根莖葉拔取，以水洗之，運銷香港，為暑天泡製蘿蔔水之用。每担價值十元，惟產量不多，每畝僅收穫三担云。

(B) 白英 形大約三倍於耙齒蘿蔔，亦由各家自行留種，在立夏播種。栽培法與耙齒蘿蔔相似，惟產量較多，每畝收穫量約十餘担，但價格較低。收穫時，連根葉拔起，刈去其葉，銷售於本邑及香港。

(C) 龍船蘿蔔 在芒種時播種，長約尺餘，重約如白英之三倍。產量較多，每畝約三十担，惟價值較低，不及白英等之價格。

(D) 冬瓜白 在白露播種，栽培法與前者相似，惟施肥僅二次。每畝肥料價格約需元餘，產量約四十担，價值亦低，不及龍船價格之半云。

(E) 大頭菜蘿蔔 霜降播種，體量重大，長約一尺，重約二斤，管理施肥與冬瓜白相似。每畝產量約六十担，每

担僅值銀一元云。

(7) 其他蔬菜：除上列蔬菜之外，當推蒜葱，此類蔬菜，各區皆有，而於一區為多。當寒露時，將地整成畦，畦闊約四尺，以蒜種植之畦上，每株約距離二寸，每日淋水一次，每星期施肥一次，每畝價值約十二元，由十月至來年二月，依種植之先後，次第收穫。收穫時，則連根拔取，以水洗之，為供蔬菜之用，或去其根葉及其莖上部，僅留莖下部，長二三寸，以供浸漬之用；或乾燥之，運銷於南洋一帶。葱則立秋栽植，栽培管理與蒜相似，惟葱長年皆有，植後五十日，可將每株拔去其一部，拔時依其方向次第拔取之。每畝約三十担，於一區計之，約產三萬担，值銀十萬元，銷售於香港酒館茶樓為多。

### (十二) 畜牧

(1) 牛 全縣皆有，分水牛黃牛二種，因其習性不同，各區飼養因而差異。四五區為平原，而多水田，故多飼水牛，七區山嶺重疊，故多飼黃牛，其餘各區水牛黃牛皆有，而水牛較多，水牛熱天時，常須浴於河塘中，除午間停止放牧，餘則牧之郊野，夜則繫於牛房。黃牛與水牛管理頗似相，但黃牛能耐炎熱，適於山嶺生活，非如水牛之常須浴水也。

(2) 豬 豬為日常肉食之品，各區多飼之，通常以糟水薯苗為飼料。其管理之法，與各縣同，除本地分銷外，多至香港銷售。

(3) 雞 雞為通常貴重食品，無家不飼之，多肉用或卵肉兼用，每年產卵為一百二十至一百四十只，其管理多不注意清潔，常有雞瘟之病發生。全邑無以飼雞為專業者，其銷售除本地外，多輸出香港。

(4) 鴨 本縣飼鴨之業不甚發達，就中於三五七區較多而以三區為最，飼之者，皆利用海濱溪澗之小動物為日中

放牧飼料。然產額不多，除供本邑用外，亦運往香港銷售。

(五) 鵝 飼鵝之業，本縣甚少，除農家間有飼食以供自己食用外，罕有輸往外地。

### (十二) 蠶桑

邑境蠶業除四區畧有飼育外，其餘各區，無有經營斯業者。近年來因絲價低跌，業此者，多遭損失。飼法與東莞等縣相似，病害亦以殭病為最烈。

### (十四) 森林

該縣西部多平原，東部多山嶺，故森林區域，多在東部，如舊台山，鷄公頭，七娘山，多栽松木，惜土人濫伐無度，不能造成偉大森林區域。惟每年材木輸出香港貿易額數，亦達數十萬担，為該邑輸出品之大宗。

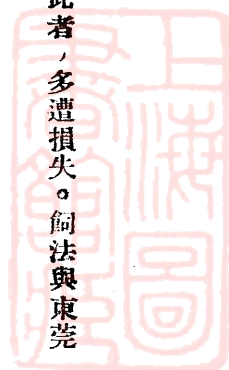
### (十五) 特產品及輸出品

該縣物產豐富，輸出品頗多，其中尤以蔬菜果品水產木炭為著，如一區之蔬菜類，每年輸出品在百萬元以上，三六區之果實，輸出品值銀在百萬元左右。松木之輸出品，亦值銀八九十萬元，蠔之輸出品，約值銀一百五十萬元。其他魚蝦之屬，輸出數量，雖無確實統計，然亦在一百四十萬元以上焉。

特產除上列產品外，當推水產，水產尤以蠔為最，蠔之出產，於一區之陳屋，向南，大涌，灣下，吳屋，白石洲，后海，二區之固戍，三區之沙頭，赤尾，沙尾，四區之沙井，福永，盛產之，而尤以四區之沙井為最多。茲將各區出產價值分列如下：

第一區 二十萬元

第二區 二萬元





第三區 十五萬元

第四區 百萬元

蠔分瓦蠔石蠔二種，瓦蠔以瓦插入海中，於三月五月有鹹淡水時，舉行之，插瓦後，約二三月間，取起而視其有無生蠶（俗稱砌毒），如有，則移之別處，再插入海中，插後，每年拔起二三次，以防泥土埋沒，經三年後，蠔則長大，而可收取矣。每一萬瓦可得七八萬斤，採期分冬前冬後兩種，冬前貨，色紅多生晒，乾則運售於香港，價值昂貴；冬後貨色紅而肥，多為製蠔油之原料，取油後多銷售於廣州。蠔油就一區而論，每年不下六萬元，而以陳屋蠔油為最佳，每百斤值銀一百六十元。

其他水產

該縣水產，除蠔為大宗產品外，則推魚蝦，魚則有曹白魚鯉魚凹魚石斑魚，而以曹白魚為最佳，乾製之，而銷售於省港，一二三七區皆富產之。全縣魚蝦總產額，約在一百五十萬元以上，誠寶安縣之一大財源也。

（十六）農林前途之觀察

縣屬山嶺土質疏鬆，而表土深厚，最宜造林，但土人多未曉利用山地，廣栽林木，致令童山濯濯，舉目皆是。夫以地瀕洋海，毗連香港，交通既便，運輸非難，果能提倡造林，則數十年之後，全縣林產，當必百十倍於今日。至於舉行冬耕，改良果樹管理方法，實施病蟲之預防等，皆寶邑所宜切實提倡者也。

# 德慶縣農業調查報告

民國十六年

卓正豐調查

## (一) 位置

德慶在省城之西四百餘里，東界高要，東南界雲浮，西南濱西江，與鬱南爲界，西北界封川，東北界廣寧，東西廣一百三十里，南北長八十里，位居北緯二十三度一十四分四十秒，經線距北京偏西四度五十四分。全縣分爲八區，縣城在縣之南部，一區屬焉；二區在城北三十里，馬墟官墟屬焉；三區在城東北五十里，官墟新市屬焉；四區在城西二十里，廻龍墟屬焉；五區在城東北六十里，鳳村墟播植墟屬焉；六區在城東北八十里，金郡墟莫村墟屬焉；七區在城東五十里，悅城墟屬焉；八區在城東三十里，盤谷墟舊墟九官墟屬焉。

## (二) 地勢

縣屬北高南低，山嶺約占全面積十分之七八，平原約居十之二三，可耕之田地殊形不足，故農民耕山耕田，各居一半也。

## (三) 氣候

縣之北部，因山嶺高峻，氣候較寒，南部近西江，山嶺較少，氣候畧溫和，冷熱時期，及寒熱狀況，除北部大山之下，畧有差異外，餘則與廣州大畧相同也。

## (四) 耕地狀況

土質 南部近江一帶，多運積之灰黑色砂質壤土，中北二部多腐植質壤土，二三區之中部，多沖積黃紅色之幼砂土，凌水馬水兩傍之田，多灰白色之砂土。

水利 邑內田地高低不一，第一四七八區之南，雖無旱災，而屢有西水之患，其餘二三五六區，皆山谷之地，如無旱災，必有蓄水難泄之虞，故非雨水調勻之年，難望十足收成。而亢旱之年，則農田皆賴溪水灌溉，惟森林稀少，溪水無多，蒙其利者，實寥寥無幾，五六七區雖有凌水貫其中，而水源非大，能裝水車之地甚少，農田得其水利亦有限也。

交通 邑內河流稀少，交通甚覺不便，可行駛二三千斤之船者，惟七區悅城至五區播植之凌水約六十餘里，與及二區馬墟之水三十餘里而已，其餘各區貨物往來，皆用肩挑。一四七八區之南，雖近西江，而商場衰落，輪船多不埋埽，故運輸亦不能謂為便利也。

耕作情形 縣屬山多田少，故低下有水之地，概種水稻，一四七八區之南，常患西水，故農民多種桑及柚樹洋額等，而洋額以一區為最多，農民因田少之故，乃多耕山地，木薯（即薄楓）一物，各區均有種植，二三五七八區並種薯莖，而桂皮則以五六七八區為多。

### （五）農民經濟狀況

田地租價 水田每畝價上等者百三四十元，租穀四五担；中等者七八十元，租穀二三担；下等者十數元至二三十元，租穀一担左右；上等旱地，每畝約六十元，租銀五六元，而近江邊之桑地，每畝價銀有值百元以上者，租有十元至二十餘元者；中下等地，價則三四十元，租則三四元耳。

長短工價 長工每年約五十元，少者二三十元，短工忙時男四毫，女二毫或三毫，平時男二三毫，女一角八分。普通耕田者，（以土人計）甲乙互相為助，茶飯供足，少有言及工金者，有工金者，則以外縣人為多也。而取桂採桑鋤山等事，即土人亦有工金也。

大宗產品列如下

品名	產地	價格
松柴	全縣	近海八毫 內地五毫
桂皮	五六區 七八區	上八元 下四元
薯莨	二三五六七八區	五元
木薯	全縣	五六元
洋額	一區	四五元
蠶桑	一四七八區	無定
首烏	一區	城內每斤四元 城外六七毫
巴戟	三六區	十元
菠蘿	五六七區	六七元
枝子	五六七八區	十五六元
豬	全縣	三十五元
雞	全縣	四十元
鴨	全縣	三十五元



稿木粉

二三五七八區

四元

上所列者，均有出口者也。而薯芋瓜菜等物，各區雖有，而無出口，故畧之。

大小農及經濟情形 全邑人民，約二十餘萬，出外經商營業者，百無一二，而以業農爲多，耕田最多者，不過三十畝，普通則以十畝數畝爲多也。至經濟情形，則各區不同，一區之民，耕田種桑養蠶而外，多種洋柚子，經濟頗爲充裕，二三四區之民，禾稻固少，且無別項種植，經濟頗困，四區雖有蠶桑，但祇得一部分，五六七八區除耕田外，兼種桂皮薯萇等物，年中出產以百萬計，故經濟亦稱充裕。

### (六)作物

(1)水稻 縣屬水稻，原不足食，惟木薯蕃薯芋等物頗多，足以補糧食之不足，甚有農民年食木薯多於食米者。米之品種，早造有白穀，齊頭黃，紅米，花壳，小糯，花粘等，清明左右插秧，大暑前後收割；晚造品種有油粘，白壳，芽粘，大粘，霜降白(因霜降則熟而名)等。早造播種在清明前，晚造播種在小暑前，過此則收成必減云。肥料則以豬牛糞乾蠶屎草木灰等混和，在插秧時，用盤載糞，粘以少許，連秧插之，以後不再施肥，祇除草一次或二次而已。

(2)薯萇 薯萇者，取根用之植物也。其形如大薯及山薯，本地人以爲染布之用，而輸出外洋者亦甚多。種植法，將種子播於山間鋤鬆之地，每個距離約二寸，上蓋以樹葉，間施淡肥，約一年之久，苗長尺許，則可移植於鋤鬆之地，每株距離二三尺，年中除草一二次，少有施肥者，如是約三年之久，則可鋤薯。上等收成每畝可得薯數担至十餘担不等，以近二三年價值計，每担在四元以上，全縣每年出口，約在數千担以上云。

(3)木薯 木薯亦取根用之植物也，德慶田少山多，土人故多種以代穀米。種法將薯莖切斷，每條長尺許，插於

已鋤鬆之山，或將薯莖縛爲一束，置於暗濕之地，先養出根，然後插植，則生長較易云。每株距離約二尺，年除草一二次，有施淡肥一二次，有全年不施肥者，種在春月，冬月則收，上等收穫每畝地四五担或一二担，價值則與穀價相等。食法將薯洗淨，切片曬乾，搗成粉末如食米粉然。

(4) 桂皮 是爲桂樹之皮以作藥用，卽藥舖中所售之玉桂也。種法將桂子點播，約二年餘苗，高尺許，則移植於鋤鬆之山地，每株距離二三尺，中間種木薯薯莖等物，年除草一二次，約五年之久，則可斬伐而取其皮，取皮時間，在春分以後，至立夏以前，過此則皮不脫云。取法將木斬落，剖取其皮，每皮長約 尺二寸，曬乾縛成束，則可出市，每担價值四元至八元之間。每畝地出皮之多少。則視桂樹生長之大小，五年生者，多則可取皮七八担，少則二三担，斬伐之後，其桂頭自然出芽，每年可擇其高大者取皮，約可取至數十年云。出產以五六七八區爲多，每年約在數十萬或百餘萬元，銷流於外洋。

桂油製法 桂油乃桂樹之枝葉所蒸得之油也。製法先將桂枝葉斬下，晒一日，至葉變白色爲止，乃挑回屋內，置一月以後，始可蒸製，未蒸之前一日，先用熱水淋濕，使其軟熟，然後放入大鑊中，加以水與蒸酒法畧同，每生葉四十担，在剖桂皮時之枝葉，可得油七斤至十斤，名曰剖油。在夏月所斬之葉，其油多於剖油者二三斤，名曰夏油，質較剖油畧遜，但亦與剖油同功同價，近二三年剖油每斤可值銀五元至十元之間，夏油則畧低於剖油一二元云。

(5) 黃果卽卮子 黃果作藥用及染色之需。種植法，將果枝切成條。每條長約尺餘，插植於旱地或肥厚之山崗，每株距離四五尺，年除草一二次，施淡肥一二次，二年以後則結果，計春月開花，秋冬收果，上等收成，每畝四五担或二三担，每担十元至二十元，以五六七八區爲多，每年出口約二三百担云。

(6) 巴戟(土名鷄腸薯) 巴戟根爲藥用植物，乃補腎聖藥也。其籐與薯均與蕃薯大畧相似，惟籐葉薯俱較蕃薯爲

細小耳。其種植法亦與番薯同，或以籐爲種，或以薯爲種均可，種後三年，始有收穫。種之愈久，其薯愈多，其功用亦愈大，故有種三年卽鋤薯者，有十數年始取薯者，德慶以三六兩區種者最多，皆種於表土深厚之山崗地，年中除草一二次，不施肥，上等收穫每畝可得乾薯一担至三担之間，每担在香港可售銀七十元至百餘元，年中出口全縣在百數十担以上。

(7)首烏 首烏亦藥用植物，補血之妙品也。以一區地方種之最多，而以縣城監倉左右地方所產者爲最良。查首烏原是野生植物，因清季時有姓何監犯，鬻髮已白，旋在監倉間掘採此野生之薯食之，不久其髮變黑，後人因名之曰何首烏，現在縣城內所產者，每斤值銀四元，但所產無多，每年僅二三百斤耳，城外所產者，則有數千斤，但每斤僅值數毫耳。種植法用分根法種之，二年以後，則有收穫，城外種者每除草施肥各一二次，城內種者，則少施肥，祇除草而已。

### (七)果樹

(1)楊額又名降柚，形狀畧圓，立冬前後可食，每担值銀四元左右。(2)沙田柚蒂部畧尖，下部較大，立冬前後採摘，每担六七元。(3)桑麻柚秋分左右可收採，形與楊額相似，味則不如楊額之清甜，每担可值銀二三元。(4)絲線脚柚形圓，其肉無多，味亦不良，每担約值一二元而已。柚類以一區爲多，大約在五六萬株以上，大樹每年可得三担左右，小樹則約一担至數十斤耳。

繁殖法 各種柚俱在雨水前後選擇其枝之在二三年內生長者，剖去表皮長約寸許，後三五日用腐爛之禾草和塘泥縛於剖皮之部，若久無雨，則用人工淋濕之，約七十日，則可剪下假植於地矣。至冬月或來年春月，卽行移植，每株距離普通約一丈，肥料則以蠶糞人糞尿堆肥爲多。每年共施二三次，至樹已生長五六年，則少有施肥者，惟間有施塘

坭等物耳。

### (八)蠶桑

蠶桑以一四七八區近江邊一帶爲多，其桑地之廣狹，葉量之多少，無法調查其確數，據土人謂大約在二百頃左右。種植法與南海順德同，惟行間則二尺餘，種番薯於其中者，十居七八。全縣無繭市，農民之繭，以發售於南海九江順德容奇爲多。

### (九)畜牧

(1)牛 牛分爲水牛，黃牛二種，近江各區多養水牛，內部多山嶺之區則養黃牛，全縣統計大約在五六千頭以上。

(2)羊 在第三六區間有養三四十頭草羊者，專爲肉用，羊舍則以間屋架以竹木爲之。舍內掛二三竹筒，筒內則放以食鹽及蜈蚣等物，羊吮食其汁，則少生病云。

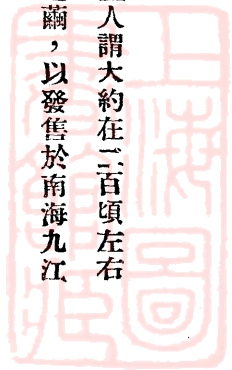
(3)豬 各戶均有養之，多者三四頭，少者一二頭，酒米店則有養三四頭者。飼料管理豬舍等，與各縣同，全縣統計，約在萬頭以上。

### (十)輸出品

輸出品以桂皮薯蓣松杉蠶繭沙田柚洋額爲大宗，巴戟木薯首烏鷄鴨等次之，豬亦間有出口，惟少數耳。

### (十一)荒山

邑內山嶺約占全面積十分之七八，荒廢者約三分之一，而以二三四五區爲多，其地多屬表土深厚，巖石稀少，凡松杉茶葉等，皆適於種植。





## (十二) 農林前途之觀察

(1) 宜多植森林 德慶山多田少，向來不敷耕種，加以近年山嶺崩頽，堆積田畝，以致廢而不耕者，又不下數十頃，倘不設法補救，遍植森林，則數十年後，恐現在可耕之田，又變為山地矣。且屬內交通困難，五六七等區，皆賴凌水以輸運貨物，現該水亦多為山嶺崩頽之坭土所淤塞，水量無多，冬月幾有不能行駛帆船之勢。補救之法，亦必在該水兩旁多植樹木，庶可望永亨其利，而不至蒙其害也。

(2) 宜開公路 交通不便，則貨物不易流通，而農民經濟必因之而困難。查德慶雖多屬山地，而道途尚屬平坦，如稍擴闊之闢為公路，則可行車以資轉運，如此則貨物易於流通，而經濟自充裕矣。

# 恩平縣農業調查報告 民國十六年

馮英材調查

## (一) 區域位置

恩平縣地廣一百五十里，袤一百七十里。東界開平，東南界台山，西南界陽江，西界陽春，西北界新興。縣治現分十二區：

- 第一區 東安堡，河南堡，大廟堡，觀音堡，附城堡，區署設在恩平城。
- 第二區 東成堡，平塘堡，區署停辦。
- 第三區 聖堂堡，安和堡，大江堡，區村堡，灣溪堡，大良堡，區署設聖堂墟。
- 第四區 均和堡，君堂堡，平安堡，沙岡堡，南塘堡，文瀾堡，新塘堡，區署設船角墟。
- 第五區 沙湖堡，蓮岡堡，那西堡，金汛堡，楊橋堡，鶴洲堡，區署設沙湖墟。
- 第六區 尖石堡，北安堡，齊洞堡，區署設尖石墟。
- 第七區 夾水堡，西水堡，岡平堡，區署設夾水墟。
- 第八區 葫底堡，大田堡，西安堡，龍山堡，區署設葫底墟。
- 第九區 清灣堡，岑洞堡，黃欖角堡，沙岡堡，區署設清灣墟。
- 第十區 那吉堡，大槐堡，黃坪堡。
- 第十一區 橫陂堡，大亨堡，銀水堡，區署設橫陂墟。
- 第十二區 金鷄堡，鯪魚堡，石巡堡，區署設金鷄水墟。

## (一)地勢

東西較狹，南北延長，西南北三面，皆環大山，地勢頗高，中央及東部，則多平原。以全縣面積約畧計之，高山地約占十分四，如第七八九等區之全部，及五六區之大部分是也；丘陵地約占十分之三，如十一十二等區是也；其餘平原地方，約占十分之三耳。

## (二)氣候

年中雨量最多時為四五月，最少時為十一月。溫度最高時為六七月，最低時為十二月及正月。夏秋間，常有颶風，害及農作物。

## (四)水旱情形

第四區之南塘堡，平安堡，沙岡堡，及第三區，第五區等處，土人均貯陂水以資灌溉，全無旱患；至第六七八九等之近山耕地又常有山坑水，灌溉亦便；其餘各處，則皆靠天雨，雖有錦水，但不能利用以為灌溉，兼之沿錦水地方，年中常有潦患，惟近年來，淹浸時間恆不過一二日，尙不致大害云。

## (五)交通

水路交通，有錦水發源於八九兩區，經縣城南部，由東北走而出開平縣赤磡，轉達新昌荻海公益等埠，且枝河縱橫，惜河底為沙石淤塞，運輸皆用細小帆船而已。（冬季每船載貨約可三四十担，然縣城以上者，則幾不能行舟。）陸路交通，則以縣之東部為最便，由縣城有車路直達開平縣赤磡，且第三區另有車路至第五區，然西南北三面，大山重重疊疊，交通極覺困難，輸運貨物，多用牛車人力車及挑担而已。

## (六)耕地狀況

中部東部之第一二三四五等區，地多平原，土色灰黃，質頗肥美。西南部之第十區第十一區第十二區則岡陵起伏，旱地頗多，土色灰白，質頗礮瘠，旱患尤甚。至西北部之第六七八等區，多大山嶺，土質亦覺礮瘠也。

### (七) 耕作情形

該縣水田以水稻爲主，旱地則多植薯，芋，鷄爪芋，竹蔗，薑，韭，旱禾等。縣之南部，每當晚稻收穫後，有種植麥豆者，中部及東部多產水稻，薯，鷄爪芋，韭，薑，旱禾等。西北部近大山，山柴頗多，而竹蔗則第一四六八等區畧有種植，杉則第九區間有種之者。

### (八) 農民經濟狀況

田地租價 上等水田每畝價銀約二百元，年租三担；中等水田每畝價銀一百元，年租一担五斗；下等水田每畝價銀四五十元，每租一担。旱地上者每畝價一百二十元，年租約十元；中者每畝價銀六七十元，年租五六元；下者每畝價銀十餘元，年租約一元。

長短工價 長工皆是男人，大工每年九十元，中工每年五六十元，小工約二十元；短工忙時男工每日一元，女工每日四五角；閒時男工每日四角，女工每日三角。以上均供膳食，惟女工則只供午餐。

### 農產品價目表

品名	價格
白谷	每石六元四角
豬肉	每斤五角五
雞	每斤七角

鴨 每斤五角五

糖 每斤一角六

薯 每担一元六角

芋 每担二元

薯蕷 每斤一角

藍 每担十二元

菲頭 每担三元

薑 每担十元

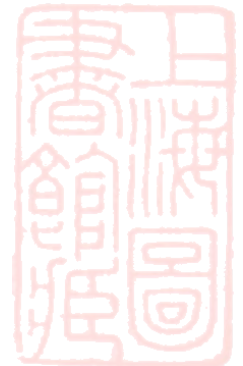
杉 (三寸尾者約六角)  
(二寸尾者約四角)  
(一寸尾者約二角)

牛水牛 大者一百三十元，中者九十元，小者六十元。  
黃牛 大者九十元，中者六十元，小者四十元。

花生油 每斤六毫

豆麵 每担九元

大小農及經濟情形 該縣人民以業農者為最多，然每農家耕五畝至二十畝者約占十分之三，耕二十畝至五十畝者約占十分之五，耕五十畝至百畝者或耕五畝以下者約占十分之二，而耕百畝以上者則極少。至經濟情形，則一二三四五等區近日人多出外謀生，且交通便利，土質較肥，故農民經濟多豐裕，至六七八九十十一十二等區則困乏較多。全



縣有當舖四間，按五間，押一間，然皆設在一二三四五等區，近日農民多無物可當，只有將耕牛及屋作抵押品，用重利以借債耳。

### (九)農村教育狀況

該縣農村學校極不發達，近數年來，對於學校畧有增設，全縣計中學校一間，初級小學校三十一間，高級小學校兩間，國民學校二十間，私塾約百餘所，失學兒童甚衆。

### (十)作物

(1) 水稻 各區栽培稻作最盛，然最多者則以一二三四五等區，而米質之佳良，則以第五區沙湖屬及第十區那吉屬為最著名。品種旱稻有蜜葉，烏督仔，掛犁望，赤米仔，紅頭遲等，晚稻有油粘，板粘，廣兩黃，大赤，大糯，細糯，黑米糯等。其栽培法，與陽江縣皆同，惟恩邑晚稻有用剗秧法者。其銷路多用帆船由錦水運出三埠，而台山縣糧食，多仰給恩邑。

(2) 旱稻 栽培頗盛，蓋前時種植花生之地，近因花生不佳，皆改植旱稻。春分間用灰糞和谷種點播，自後除草中耕二三次，六月間即可收穫，每畝約產谷二石。

(3) 花生 前時栽培最盛，近數年幾乎絕跡，有謂自有火油出後，則花生收量漸少。聞前二十年間，每畝能產花生六七担，近則至多者亦不過三担，且多病害，其花生仁往往腐壞而不實者。計全縣榨油所，不過數間，然所用之花生，皆非土產，完全由香港運入者，栽培花生業之衰落，可想見矣。

(4) 竹蔗 前時栽培最盛，近則衰落不堪，現只第一四六八等區，畧有種植。據第四區屬文瀾堡老農言：二十年前就第四區文瀾堡一堡而言，已有糖寮約十所，今則全第四區屬，只文瀾堡設有糖寮一所，一地如此，他處亦然，觀

此可知竹蔗之栽培大大減少。查其原因，係以蔗地易藏土匪，及無肥料所致，（現時種植花生日少，而豆麵因而日減。）其種植法與陽江縣無異，至所製之糖，多輸出三埠，蓋本地之糖，雖不足用，但糖質頗佳，常得高價，故多運往別處以求售，而土人則多用外來之南糖。

(5) 鷄爪芋 其形狀與普通之芋不同，其莖直生，頂端發葉，葉有缺刻。

土質 以堅硬之粘質壤土為最宜，據土人言，在硬地植者味最佳，在鬆地植者味常劣云。縣之各處皆有種之。前後作物不能連栽，須二三年後，始可再植，然多與早稻、薯等輪栽。

種植管理 種植期在雨水，栽培法與普通之芋無異，惟種植時須將芋種倒轉，使芋芽向泥下，則將來其芋頭能生長極大，植後施肥培土除草各二次。

收穫 八九月，苗已殘謝，便可收穫，每畝約植千餘株，每株收芋約半斤。

銷路及用途 本地及三埠，農人多用以充飢，並可入藥用。

(6) 薯 農人多將谷米運諸外埠以求高價，自己則多用薯以作正餐，故對於薯作，隨處皆盛栽之，其栽培法與陽江縣同。

(7) 薯蕷 第六區及第九區間有種植。

(8) 藍 八九等區畧有種之，惟極少數。

### (十一) 園藝

(1) 蔬菜 該縣蔬菜事業，極覺幼稚，普通栽培者，有芥菜，白菜，芥藍，芥蓮，蘿蔔，韭，蒜，葱，香芹，芫茜，金瓜，節瓜，冬瓜，苦瓜，絲瓜，茄子，豇角，芋蘭豇等，然皆植於村邊，以供自己食用，極少專業之者。其管

理等皆由農婦任之，惟木槿，薑，及麥豆等，則不限於村邊，而多植於田野。計木槿全縣約產三萬担，多運銷於陽江及三埠等處，皆係醃製罐頭之用，薑亦銷流各埠以製薑糖者。

(2) 果樹 該縣果樹無大宗出產，普通者為荔枝，龍眼，菠蘿，番石榴，桃，黃皮，橘，桔柑等，然多零星種植於村旁或屋旁等處，其種植管理等法皆極覺粗放，茲不述。

### (十一) 畜牧

該縣對於畜牧事業，素不發達，故各種牲畜類，多仰給於陽江縣，然其對於鷄鴨鵝豬牛等，亦皆有飼養，惟不甚盛，且縣中飼養鴨鵝，鵝鵝者絕少。至其飼養管理等法皆與陽江縣大畧相同。

### (十二) 森林

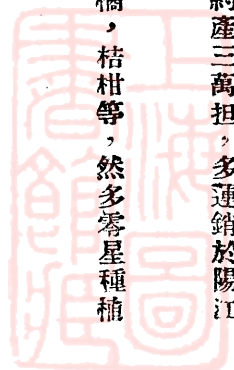
該縣山地極多，森林極少，第八區葫底屬有少數天然林，產柴頗多，第九區山間，則畧有種植杉者，其餘各區則於近村者多植松，然為數極少，距村稍遠者則盡皆童山，如西南方面有多數岡陵，亦皆荒廢，其林業不振，可概見矣。

### (十四) 輸出品

輸出品以谷米為最大宗，次為木槿頭及杉，次為薑及黃糖等，其輸出額素無統計，茲不述。

### (十五) 農林前途之觀察

該縣地瘠民貧，教育不振，農人固陋，而於種植管理極形粗放，是宜多設農人補習學校，將各種種植新法，廣為勸導。至於童山遍野，尤宜趕速植林，並於近山多草之區，提倡畜牧事業，則農林業前途，方有希望也！





# 高明縣農業調查報告

民國十六年

卓正豐調查

## (一) 位置

高明縣居省會西南二百餘里，位於北緯二十三度十分三十六秒，經線距京師偏西四度十二分三十五秒。縣廣一百三十餘里，橫四十餘里，東界南海，南界鶴山，西南界新興，北界高要。全縣分爲六區：一區即附城，二區在城西三十里梗樓地方，三區在城西五十里合水地方，四區在城南二十餘里楊梅地方，五區在城東北范州地方離城五十里，六區在城東三洲地方，離城三十里。

## (二) 地勢

縣屬山嶺多而平原少，山嶺約全面積十分之七，除第六區畧爲平原有小水貫其間可行駛三二千斤之帆船外，縣之東江口雖可行駛輪船，但不過二十餘里而已。

## (三) 氣候

縣之東部地勢畧平坦，山嶺不甚高，比之西部近高山之地，氣候較爲溫和，然比之廣州則均較寒冷，至結霜期間，則與廣州無大異。

## (四) 耕地狀況

土質 縣之東部地勢畧平坦，多砂質壤土，其餘各部，皆沖積土。表土深厚，肥質豐富，故無西水淹浸之田，年種水稻，不施肥料，而生長收成亦極佳云。

水利 農田灌溉以山坑水及江河水爲多，旱災極少，但有西水之患，城東北第五六區較低之田，旱造罕能耕種，

即晚造亦往往有不能耕種者。

交通 邑內交通極為困難，除東部第六區二三十里可通輪船外，其餘各區貨物往來，皆用肩挑。縣之中部雖有河流，由西貫東，而祇可以駛二三千斤之帆船，在夏季雨水多時可通。冬季雨少則又不能行也。

耕作情形 縣屬以耕田為主，芫草（即蓆草）次之，稻種於淺水田，芫草則種於深水田。沿江邊一帶，亦有業蠶桑者，以一區及五六區之農民為多，二三四區農民除種水稻芫草外，兼耕山種茶，冬造水田則種烟及蔬菜薯豆等植物。

（五）農民經濟狀況

田地租價 水田上等者每畝價百元至百五十元，租銀約十元；中等田百元左右，租約七元；下等田十餘元至五十元，租穀銀一元至三元。

長短工價 長工年約五十元至百元不等，短工忙時男六毫，女四毫，閒時男二三毫，女一二毫，茶飯供自僱主。

大宗產品價如下表

品名	產地	價格(每担價)	產量
烟	二四區	十元至五十元	約十萬元左右
茶	二三四區均有	約四十至六十元	約二三萬元
蠶桑	一二三四區	乾繭百五六元	
蓮藕	各區均有	七元左右	約萬元
芫草(即蓆草)	各區均有	十元左右	約十餘萬元
豬	各區	三十元至四十元	

牛	全	三十元
鷄	全	五十元左右
鴨	全	三十元左右
穀	全	五元左右
松柴	全	七八角
炭	全	二元左右

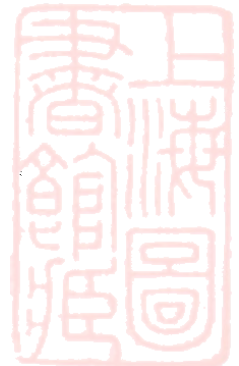
上所列者，均有出口，惟產量之多少，向無統計，故不能悉也。

大小農及經濟情形 高明人民共約九萬餘，年中穀米可以自給，耕田至多不過三十畝，仍以耕數畝至十餘畝者為多。至經濟情形，則各區大畧相同，一區之民多以織綢織席為業，二區之民以織席耕山種茶為多，三區之民，以經商及種田為盛，四區之民以種茶種烟為業，五六區之民雖少工作，而出外經商者不少，且蓆草蔬菜之收入亦頗多，故高明農民經濟亦可稱充裕也。

### (六)作物

(1) 水稻 穀種早造有白壳，鼠芽，大慈穀，紅米早，小糯，花壳等；晚造則有黃壳，黃穀，黑尾，鼠芽，霜降白等。種植施肥管理法與鶴山同，但每於晚造禾穀微黃將及收割之際，忽發生一種青白色之害虫，專食稻葉與稻稈節上稍嫩之部，農人名之曰落極虫，因其食害稈節最嫩之部，禾穗即行落地，故名之。虫身大小不一，大者如四眠起之蠶，小者如二三眠之蠶，頭黃黑，與蠶無大異。農人無法治之，祇趁早割禾，不待十分成熟，以減輕損害而已。

(2) 芒草 芒草用分根法種植，在春季將舊草頭分插於深水田中，每科距離約十六七寸，年除草一二次，施肥一



二次，肥以花生麵或糞溺爲多，隔年收穫一次，最佳者每畝收草可值銀百五十元至二百元之間，少者數十元而已。

收穫整理 在秋冬月割草（如割禾一樣），即用坭漿水浸過草身，然後晒之，否則草身必至爆裂，價值低下，此晒草最宜注意之事云。至晒乾後則分爲上中下三等，最長者爲上等，紮爲一把重約十斤左右，其餘短者與最短者一分清，即可出市矣。

用途及價格 最長者爲織蓆之用，次長者爲織袋之用，最短者爲織銀袋及小袋之用。最長草每百斤約值銀十二三元，中者每担約六七元，下者每担約四五元，至織成器皿之價，則比草價多一倍以上云。故高明大小男婦稍暇則織蓆以博取工金。

製草法 欲織各種蓆袋等物，則先將草浸濕，待至軟熟（約一點鐘之久），即用重十餘斤之木椎以椎扁其草，遂可織各物矣。

(3) 蓮藕 將水田犁耙至成糊狀，每隔六七尺開一淺窩，窩闊約二尺左右，擇老藕平置於窩中，每窩二三條，每畝窩約五十左右，約用藕種百餘斤。窩中先落以糞尿草木灰等，經三五日，然後插藕則更佳云。

管理及收穫量 藕種出芽後，隔月施肥一次，或二次，肥以羊糞爲最佳，次之爲蠶糞，至人糞尿草木灰又次之。施肥之法，不過播落田中而已，若在未插藕種之前，先落一二担羊糞或蠶糞，用耙耙勻，然後開窩插種，則尤佳妙云。若肥料足且不欠水，每畝多者可穫二十餘担，至少亦有數担。藕田以砂質壤土而非冷底者爲最佳，種藕在春分前後，收穫在秋分後，而以大寒後收穫者尤佳云。

貯藏法 收得之藕，若市價低下，則用糊狀之坭污於藕身，疊置於濕潤之地上；或用大木桶載糊狀之坭，插藕於桶中，即可收藏數月云。

(4) 茶菸 茶菸之種植管理製造法，與鶴山縣同，故畧之。

### (七) 畜牧

(1) 牛 農家養牛多者三四頭，少者一二頭，而以養水牛爲多，全縣合計約二千頭左右。牛皆放牧，有人專司承牧者，每日村中農戶，至一定時間，則牽牛至一定地點，其承牧者即驅往山坡放牧，及至傍晚則驅回原地（時間亦有定），各農戶則各牽牛回家。其辦法或輪月分牧，或承牧有定則各村不同。承牧有定者，由村中公款，每月給與三元看工，輪月分牧者，則否。此種放牧法，最爲美善，乃高明農戶牧牛之特點也。

(2) 家禽 鷄鴨鵝之飼養管理大概與各縣同，不贅述。

### (八) 輸出品

輸出品以苧草（即蔴草）爲最大宗，柴炭次之，穀米茶烟蠶繭又次之，其他鷄鴨豬等均有輸出，惟不能知其輸出之數目多少耳。

### (九) 荒山

縣中山嶺占全面積十分之七，荒廢者約居其半數，近鄉村之山，則有種松樹或種茶者，離鄉稍遠之山則盡行荒廢，間有少許松樹，亦天然生長者而已。

### (十) 農林前途之觀察

高明水田患潦者多，非統籌全局疏濬西江不可。惟山嶺土質膏腴，雜草叢生，用以畜牧最爲適宜，即墾以造林或種雜糧，亦無不適宜者也。

# 鶴山縣農業調查報告

民國十六年

卓正豐調查

## (一) 位置

鶴山縣居省會西南二百餘里，位於北緯二十三度十分三十八秒，經線距北平偏西四度十二分三十五秒。全屬廣一百二十餘里，縱五十餘里。東南界新會，西南界開平，西北界高明，東北界南海。全縣分爲五都：(一)附城都(分爲內附外附)；(二)古勞都，在城之東北六十里；(三)新化都，在城東南三十里；(四)遵明都，在城之南四十里；(五)雙橋都，在城西北七十里。縣城原在縣之中部，有清末年某邑宰以縣城不利，呈准上峯遷縣治於縣之東北部沙坪墟，今已十餘年矣。

## (二) 地勢

東北古勞都地方，平原較多，其餘各都，大抵山嶺重疊，形勢崎嶇。全縣平均計算，山嶺約占十分之七，但巖石極少，尙可利用以種植也。

## (三) 氣候

縣屬氣候和煦，無急激之變化，但年中多高山之地方，暑較寒冷耳。雨水則以夏季爲多，霜則大寒前後，間或有之，此外與省城氣候無大異也。

## (四) 耕地狀況

土質 縣之東北部，地勢平坦，多灰黑色之砂質壤土，其餘各部皆沖積壤土，表土深厚，肥質頗富。故高低適中之田，多可以種三造也。

水利 屬內河流，可通小輪者，獨縣之東北部有二十餘里。其餘雖有小河，而河底巖石嶙峋，不能行船。至於農田灌溉皆賴山坑之水，及井水。歷來不慮旱災，祇有積水不去之患耳。

交通 邑內交通除古勞都有二三十里水路外，其他各都貨物往來，皆用肩挑，交通極為困難。

耕作情形 縣屬之東北部沿江一帶，縱橫十餘里，皆以蠶桑為業。離江稍遠之田地，則早晚造種禾，冬期種烟，亦有種早造及晚造，而不種冬造者。近山之民，稍暇則耕山，經營茶業，是以鶴山全縣出產，以烟茶為大宗也。

### (五) 農民經濟狀況

田地租價 水田上等者，每畝值百五十元至二百元，租銀約十元，若古勞都之雲蓼古蠶地產烟最有名者，每畝值四百元，年租二十元以上；中等田每畝約百元，年租銀六七元；下等田約值五六十元，年租銀二三元而已。

長短工價 長工每年五十元至百二十元，然以業商及製茶者僱長工為多，農戶少數也。短工忙時男五毫至八毫，女四毫至六毫，茶飯供足，每日三餐；平常男工三四毫，女工一二毫。

#### 大宗產品表列於左

品名	產地	價格(担計)	產量(約數)
生切烟	古勞都至多其餘各都均有	數元至四十餘元	年約千萬元左右
茶葉	以外附都為多餘各都均有	五十元至八十元	年約百萬元
蠶桑	古勞都	乾繭百五六元	年約百餘萬元
沙梨	外附都白水帶地	十餘元至三十元	百餘二百担左右
龍眼	各都均有	五六元至十餘元	數百担

芒果

雙橋都

無定

牛

各都

每斤三毫

豬

各都

每斤三毫五

雞

各都

古勞都斤六毫雙橋外附都五毫

鴨

各都

斤三毫至三毫五

柴

各都

古勞都一元雙橋外附都五角

炭

各都

二元左右

上所列者，皆土產出口者也，其餘薯芋瓜菜等物均有種植，惟價格無定，且無出口，故畧之。

大小農及經濟情形 全邑人民，約三十餘萬，業農者至多，但耕田多不及四十畝，通常僅十數畝者，大約占十分之八。至經濟情形，則各都不同，古勞都經商者多，並有蠶桑烟茶之利，故經濟最爲充裕，新化都遵明都雖無蠶桑而有大宗烟茶出產，內附都與外附都及雙橋都，烟葉雖少，而產茶最多，故經濟亦非困難也。

### (六) 作物

(1) 水稻 品種，早造有黃穀，花壳，小糯，穀仔，齊眉，鴨母磨，長尾穀等；晚造有絲苗，銀粘，白壳，大糯，霜降白，油粘，大黃穀等。選種育苗法與中山等縣無異，惟施肥則畧有不同。在插後秧苗漸長，即行除草施肥，若施猪糞草木灰等粉碎肥料，則用草袋一個，或竹器等載肥，掛於身中，用手指三個約拈二三錢，插於秧苗根部。若以花生麵爲肥，則碎成細粒，每粒約一二錢，如前插於秧苗根部，與各縣施肥法不同。此是鶴山農民施肥之特點也。

(2) 煙 煙苗養成法，在霜降前後，將地犁耙鬆碎，乃用草木灰和煙籽撒於田上，蓋以禾草，以防鳥獸食啄，

約百餘株樹





並淋少許水，使煙籽與土接近，至煙秧生長四五寸，則移植於尺四五濶高數寸之畦上，種成之字形，每株距離約尺六七寸。當未種之前，先落豬糞等於穴中，種後又淋以糞水或清水等，使烟苗之根與土接近。

**管理法** 在煙苗生葉六七片之時，施水肥或花生麵豬糞等於苗與苗之中部，繼培以土，並摘去葉下之芽，每隔六七日，又復摘芽，否則芽能分薄肥料，而煙葉不大不厚，故摘芽乃種煙必需之手續也。又有在六七片葉之時，摘去其尾，使其生為二枝成一叉形者，如是至生長尺餘至二尺之時，再施花生麵一次，平均計算，每株煙苗前後，約共施花生麵三兩左右。

**收穫及整理** 煙葉之變黃，必由下而上，故收煙業者，必分為三期，見下部之葉已黃，即收其黃葉，「名曰葉沙」次收中葉，「名曰二熟」，又名托葉，「後收尾葉，「名曰頂霧」。收穫之後，則以疏竹筴夾而晒之。夾之之法，必葉背歸一，如蓋瓦形，使葉骨露出，俾易乾燥，至晒一日之久，收回疊置之，經一二日後，隨後晒乾，始現黃色，否則葉必白色而不實，此最宜注意之點云。如是至乾燥後則疊成一束，以稻草束之（約二十葉為一束），置於竹筴內，或以疏竹筴夾之，約一百數十斤為一夾，則可出市矣。

**收穫期收穫量及價格** 雨水後隨時有收穫，早者春分前後收完，每畝收量一擔至三担之間。頂霧與二熟每担值三十元至五六十元，托葉每担十數元至三四十元，若雲蓼及古蠶正地之煙，則每担可賣五十元至八十元之間。查該二地之土，表土與各地無異，惟深土則是粘質土而已，但其出產之煙，氣味香醇，故價值比他處多一倍以上云。

**總產價** 鶴邑產烟之多寡，原無法調查其確數。據鶴山烟葉出產稅處謂，烟稅約稅百分之一，每年除走私者有多少外，約得十萬元左右。若此則鶴產烟價值當在千萬元以上。

(3) 茶 鶴邑之茶，歷年種下，年年斬枝採葉，故無種子者，若欲留種子，必須一年不斷茶枝，至次年即可開花

結實，在霜降節後收其種子，晒一、二日，去其壳即可種植。若茶地未便，亦宜以砂藏之。否則生長不良，而發芽亦少云。是以茶子去壳後，即宜種植也。

種植 茶種於山嶺，欲種茶者，先將山嶺之雜木斬清，鋤鬆其土，椎至細碎，每距離尺五至二尺之間，開一小穴，下種子四五粒，覆以薄土，蓋以一二寸厚之禾草或雜草等，使茶地不易生草。如草腐爛，又須復蓋，如是約三年後，則有收穫云。

管理及收穫期 茶性宜於高山瘦土，其生長雖不及種於肥土之秀茂，而高山瘦土所出之茶味則遠勝於肥土之茶百倍，故茶山愈高，經風霜雨雪愈多者，則茶味愈佳云。茶之管理甚易，祇除雜草，蓋禾草足矣。每年收穫四五次，在春分清前前後收者，名為春分茶，或清明茶（全年之茶以春分清明茶為最佳），以後隔月收一次，見有嫩葉即摘。若茶樹已老，嫩葉甚少，則在收採春分清明葉後，剪去其老枝，則必生嫩葉矣。每種茶一次，可收穫十餘年，至三十年不等。

製茶 在種茶家採收茶葉回家後，即用鏟炒至軟熟，轉入竹篩，以手搓之去其苦味，捲成條狀，至冷再炒再搓。如是數次，至乾為止，即可賣於製茶家矣。製茶家之製法，先清潔茶骨與茶葉，再用竹篩篩出茶碎，名曰茶尾，乃入焙籠，籠之形如日字，大約一尺二寸，高約二尺，在中部以竹篩間之，篩孔之徑，大約五釐，上放茶約二斤，下為炭爐（爐闊細於籠寸許，深約六七寸，爐底載炭，上蓋以薄灰，不可見火。）約焙二十分鐘，即將茶翻轉籠上，仍蓋以竹篋留寸許闊之孔，使水氣升出，約焙一點鐘之久，則可包裝市矣。又查製茶家至少用十爐，多則二三十爐不等，用師傅一人或二人，專司輾轉調理焙茶之事。

茶之收穫量 每畝茶地，上等收成每年可得生茶四担左右，中等者二三担，下等者一担數十斤，每生茶四担約可

得乾茶一担。

總產額 鶴山茶有一種所謂清心茶者，即擇至嫩之葉，加工炒製，捲成條狀，無茶骨茶碎者也。又有一種所謂古勞茶者，因古勞鄉產茶最早，因地而得名也。至全邑產茶之多少，實無確數，大約以全縣製茶庄十二間計之，每間每年約製茶二千担，合共即有二萬餘担，每担出口價約四十元，二萬餘担則約百萬元以上。

### (七) 果樹

鶴邑菓樹寥寥無幾，間有龍眼，亦種於屋邊基墜等處之老年樹也。外附都白水帶鄉有沙梨一二百株，亦生於山坑屋邊等處，並非新種者，雙橋都宅梧地有芒果百餘株，亦老樹也。

### (八) 畜牧

牛與豬 縣屬畜牛養豬與各縣情形無異。水牛黃牛各居一半，全縣約四五千頭，豬則約在萬頭以上。

雞 農戶皆養數隻或數十隻，以供家用，有餘然後出售。無以養雞為業者，飼料以殘羹米糠為主，每日早晚各飼一次，日間則任其自由覓食，夜則棲於雞舍。最優之種重四五斤，年產卵百個左右。

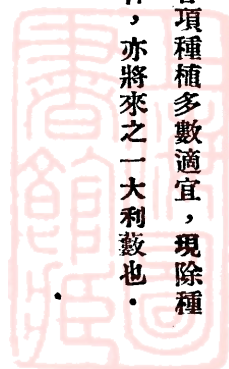
鴨 有專業經營者，每群至多者三四百隻，管理飼料鴨舍與普通同。最優之種重二斤許，年產蛋二百餘隻。

### (九) 特產品

刀石 刀石有數種，而鶴山附都三寶坑所產者，為黃色之石，祇可磨粗重之刀而已。該產地在兩山之間，鄉民往取者，日以百計，銷路以南洋各埠為多，厚一寸長大數寸者，可值銀二三十分，每年出口價值在三萬元左右云。

### (十) 農林前途之觀察

鶴邑地廣民稀，荒山不知凡幾。查外附都之崑崙山與茶亭山縱橫數十里，土質肥美，各項種植多數適宜，現除種有茶樹少許及生有少數天然松外，餘盡荒廢，倘能開築公路，利便交通，盡數開以種茶造林，亦將來之一大利藪也。



# 雲浮縣農業調查報告

民國十七年

卓正豐調查

## (一) 位置

雲浮縣舊名東安，位於北緯二十三度十分三十六秒，經線距北京偏西四度五十五分三十六秒，東界高明新興，南界恩平，西南界陽春，西界羅定鬱南，西北界德慶，北界高要。縣城在縣之中部，距省城西四百餘里，縣屬縱一百二十餘里，橫一百四十餘里。全縣分爲東南西北中五區，另西山特別區位於縣之西南角。該區長約一百五十里，橫約四十里，東界陽春，西界信宜，南界陽江電白，北界本縣之富霖堡。

(1) 中區 中區分爲四堡五甲，卽富祿堡、鵬石堡、茶洞堡、岑岡堡；岔路甲、阜甯甲、建村甲、羅餘甲、南崎甲。

(2) 東區 分爲十堡，卽洞心堡、初盛堡、夏洞堡、澤源堡、思勞堡、思辦堡、安塘堡、小河堡、腰古堡、瀟坑堡。

(3) 南區 分爲七堡三甲，卽料垌堡、福龍堡、礮石堡、河邁堡、鐵場堡、富霖堡、橫江堡；西明瑤甲、竹洞甲、漆洞甲。

(4) 西區 分爲七堡三甲，卽紅豆堡、上馬堡、三嶺堡、大齊堡、粗石堡、高村堡、寧波堡；雲青甲、白梅甲、石麟甲。

(5) 北區 分爲四堡二沙七甲，卽石龍堡、王瓊堡、都騎堡、楊柳堡；黃灣沙、辣頭沙；六都甲、大河甲、丹竹甲、太安四甲。

## (一)地勢

縣屬地勢，崎嶇不一，西南一角萬山重疊，蜿蜒而東。平原之地，祇中東二部有少許而已，大約山嶺約占全面積十分之八以上，江河絕少，縣城之東有一河，向東流直達西江高要境。其水亦祇可行駛二三千斤之船耳。縣之西部小水雖多，惟不能行駛船艇，祇可流行松杉等木排而已。

## (二)氣候

本縣氣候與廣州無甚差異，惟在高山之地雖夏天亦不甚熱，而入夜則更覺涼快，惟在冬天則寒氣比較中東兩部之平坦地，寒暑表約差二三度云。

## (四)耕地狀況

土質 大概分爲三種：縣屬之西近羅定江一帶多砂質壤土，土色淡白，含肥中等；中部東部多沖積土，土色黃褐，含肥較富；其餘近大山之處，土色灰黑，最爲肥沃。

水利 縣中無大川巨河可以行駛汽船者，惟縣之西羅定江及縣之東水口墟至德慶悅城約三十里之水，則約可行二三千斤之船耳。其餘則概不能作爲運輸貨物之用，祇可裝水車車水以資灌溉，及輸流松杉之用。

交通 江河既少，山嶺又多，交通極爲困難，縣之北區，現雖開有公路，不過六十餘里，其他各處往來貨物皆用肩挑。查縣境內，多屬山嶺阻隔，即開公路其工程亦非易也。

耕作情形 縣屬低下之田多種兩造水稻，冬季則種小麥烟薯等，而麥約佔十分之七八，猶以縣城左右二三十里爲最多。高涸之地，則各地所種不同，縣之西區大小寨高村堡，粗石堡，三嶺堡等處，則多種竹蔗，紅豆堡則多種煙，縣之北六都甲黃灣沙等處則多種桑，其餘各堡所種無特別之處。而花生薯豆薄豐等，則均有種植。

### (五) 農民經濟狀況

田地租價 不旱不浸而又肥沃之田，每畝價二百餘元，租穀每畝約三担左右。其旱而不浸或浸而不旱之地，近山間離人烟稍遠而又瘦瘠者，每畝價約數十元，租穀則一担左右而已。其旱地近村而便於耕者，價銀畧高，每畝約百元左右。租銀則七八元。

長短工價 長工以年計，上等者約四十元，中等者約二十餘元；短工忙時男每日四毫，女約二毫，閒時比忙時畧低，均另供膳食。

大小農及經濟情形 農民耕種田地面積，除山嶺不計外，多者三十餘畝，此等農戶，約占百分之五；其耕二十畝左右者約占百分之三十；耕十畝左右者，約占百分之五十；耕一畝幾分者約占百分之十五。至於經濟情形，則各區畧相同，中東北三區，地勢平坦，足耕足食，惟山林之出產較少。西南及西山特別區則山嶺多，耕地少，農田之出產，稍感不足，惟松杉等出產頗富，可以小補也。

### (六) 作物

(1) 水稻 該縣水田僅占耕地十分之六，山多田少，水稻產額，僅足半年糧食，故多以薄豐薯麥紅根芋等作代用品。水田分早晚二造，其品種屬於早造者有小糯，烏壳，黃穀，穀仔等；屬於晚造者，有大糯，黑糯，黃壳，白壳，芒尾，銀粘，矮仔禾等。其中品種最佳而收量又多者，以矮仔禾為最。故種之者約占十分之八，惟禾苗矮小，宜於淺水田，不適於深水田。其播種移植之期，普通早造兩水播種，春分移植，晚造小暑播種，立秋移植。管理法與各縣同，惟肥料則用糞尿外，多用石灰，每畝田一造至少施石灰二担以上，少有用麵類及化學肥料者。

(2) 麥 麥為冬耕主要作物，播種期則在晚造禾收穫後，犁耙鬆碎，起濶約四尺高約二三寸之畦，用條播之。播

法行間距離約六七寸，播種之後，施以灰糞，若土過乾燥，則先施水糞，後播種籽，再蓋薄土於其上。每畝約用麥種十斤，灰糞二三担，至生長二三寸高時，則行中耕除草，並施水肥一次，其人工資本足用之家，則以後再除草施肥各二次，收穫每畝約一百斤至三百斤云。該縣種麥除東區畧少外，其餘各區則遍地皆是，猶以中區爲多。銷路則專爲糧食之用，少有輸出別縣。查該縣農民以麥作糧食者，約占米額三分之一云。

(3) 竹蔗 竹蔗以產於西區大寶堡爲多，粗石堡次之，高村堡又次之。產地面積，雖未能統計其多少，而三堡之地，糖寮三十餘間，每間平均約榨糖三十日，每日約出糖二百斤，則每寮每年可出糖六千斤，以三十間糖寮計，則每年共產糖十八萬斤，即一千八百担。查每畝蔗地普通可出糖二担，則一千八百担之糖，應有蔗地面積九百畝。其種蔗地以山間畧平坦之早地爲多，故常有欠水之患，此外種植及製糖法與別縣同。

(4) 藍靛 藍靛以西山特別區爲多，每年出產約在千担以上，每担值銀七元至十四五元，南北二區亦有少許出產。其藍靛有山藍火藍二種，山藍葉大約一寸左右，葉邊畧似鋸齒形，其幹高約尺餘至二尺，種植地以山間植杉之空地爲多，間亦有種於田間者。惟多數皆在種杉之山，於初二三年時均種山藍。火藍則葉小，幹高約五六尺，多種於田地，亦有種於山間者，種植期在春分前後，行條播法，種於山間者，或以草木灰爲基肥，以後則除草一二次而已。種於田地者，則施水肥三四次，直至生長已茂葉變黑色之時，然後刈之，每年刈四五次不等。刈法當於太陽未出以前，在藍頭上寸許之處刈之，若刈在太陽已出之後，則其靛極少云。製靛之法，先將所刈藍放於缸或池內，加水浸之，以浸過藍面爲度，即用石或木板以壓之，使其下沈，約浸一對時之久，觀其葉已腐爛，水已變藍，則取出其藍之枝葉，以手絞出其水，或以石壓出其水，然後落以石灰粉，即以竹笠形之器猛攪之，名曰打靛，如是攪至其水泡高有數層（即所謂波）即行停止，任其靜置一晝夜之久，乃去其上面之水，取其下沈之靛，即可沽之於市。每藍葉一担，約用石



灰十斤至十五斤，灰少則澆少，灰多則澆多，惟價值則畧減云。

(5) 烟葉 烟葉以出產於西區紅豆堡爲多，其餘各區亦間有種植，惟產量不多耳。種植管理製造法，與各處同。

(6) 薯蕷 爲染料之一種工藝植物，葉大寸許，形類大薯，不知者必以爲大薯也。其莖亦與大薯同樣，種植地點以山間植杉樹之空地爲之，凡種杉山初二三年，皆可種植。種法在冬月收其種實，點播於犁耙細碎之山地，每粒種距離二三寸，上蓋以草，隔數日淋水一次，約十餘日始出芽，至其生長高已尺許，即行移植於杉樹空地，每科距離約三四尺，或剪其上年所生之苗藤插植之亦可。種植之時，有以草木灰爲基肥者，以後則祇除草而已。三年始有收穫，土肥者每畝地可掘十担至二十担，少者亦數担云。每担價平常可值三元至四元之間，用途則爲染料之用。全縣出產量每年約在數千担以上云。

(7) 砂仁 爲藥用植物，銷流頗廣，以出產於陽春者爲最有名，故有春砂仁之稱，而縣屬西山特別區與陽春毗連，故所產砂仁與陽春無異。其葉形大概與羌葉相同，其果實則畧似草蓼。種植之地，亦以植有杉樹之空地爲宜，因其性喜陰故也。種法先將地耕鋤細碎，乃將舊頭分根植之，每科距離二三尺，不施肥，年中祇除草一二次耳。種植後第二年即有收穫，春分前後開花，立秋後成熟，當其開花之時，香氣甚盛，故稱砂仁地最多蛇鼠云。製造法，收其已成熟之果實，以火焙熟晒乾，即可上市，上等價每担值銀百元以上，至少亦四五十元，產額向無統計，大約在數百担以上云。

### (七) 果樹

縣屬果樹如桃，李，梅，梨，白欖，烏欖，荔枝，龍眼等，各區各堡均有種植，惟皆植村邊屋隅，未見有成園者。柑橙柚等西北二區雖有十餘園，而一園之中，多則五六十株，少則二三十株耳。種植及繁殖管理各法，無特異處，

故不詳述。

### (八) 畜牧

縣屬畜牧除鵝鴨二者，有專業經營養有一千數百頭者外，餘則酒米店養豬數十頭耳，殊無足述。茲但述其預防鵝仔病之土法如下：

查鵝病多在出卵後二十日內，大多數，係患腳腫或毛濕水不乾而死。據該縣老於養鵝者，謂鵝祇有腳腫病及不乾毛之病，如欲免其病，則將牛屎和少許石灰壓薄晒乾（石灰約用十分之一，即不用石灰亦可。）放於鵝舍內為鵝之氈蓆，每日或隔一二日晝間取出晒乾，夜間則放回鵝舍，如此則可免腳腫之病。二十日後，則可以不用云。至毛濕病，則用砂糖和酒噴洒其周身羽毛以後，則必乾燥云。

### (九) 森林

縣屬森林以松為多，杉次之，竹又次之。杉與竹則為人工林，松則以天然林為多，而東北二區，亦間有人工林者。竹杉以西山特別區為多。西區之高村堡三嶺堡則有杉而無竹，桂樹亦有多少。以上四種為主要林，其餘椎木秋楓樟樹賀木等亦有少許天然林，絕無人工林也。

(1) 杉樹 杉樹之種植法，以分根為多，插枝次之，實生者又次之。種法在春分後先將山地耕鋤，後取杉樹頭之芽植之，每株距離約三尺至四尺之間。插枝法在冬至前後切杉尾長約尺許，密插於陰潤之山間。至第二年立前夏，後見其已生有新芽新根，即行移植，亦間有用直插法無須假植者，但發生成數較低耳。實生法則先播種於圃地，約三年之久，始行移植，杉之最良者，以山崗杉為佳，惟生長不易，種後須十四五年始可伐作桁桷之用，深山杉則後種十年便可作桁桷，兼之伐後其樹頭所出之芽，再經六七年之久，又可伐作各種用材矣。

(2) 竹 該縣之竹，出於西山特別區者，以曬竹爲多，水竹丹竹次之。種植地點以山間之深厚而肥潤之土爲宜。種法與普通法無異，所宜注意者，種時竹秧之根株與其竹母分離之部分（即切口之處），務須向地，則吸水易而生長速云。竹之用途，以製粗紙爲多。

製紙法將竹打爛，放於石灰池內，約浸四五日之久，視其已腐爛即行起出，再放於淡水中，浸十餘日，又行取起，以碓臼碎，放於水池中，加以膠水，乃用竹織最幼細之簾，沈於池中，取起晒乾，則成紙矣。製紙家至少備有二簾百以上，其簾大約長八寸，闊二尺，市上之粗紙，多數西山所出產也。桂木出產亦多，其種植等法同德慶縣。故不贅述。

### (十) 特產

該縣特產，有花石一種，雖不入農林範圍，然出產頗大宗，故畧及之。其石出產於中區縣城左右一二十里，紋幼質佳，與雲南之大里石無異，現市上之茶居酒店所有石檯石椅，實多數爲該縣之花石所製也。現有工廠二間，每間工人二三百名，周年取製此石，年中收入在數十萬元云。

### (十一) 農林前途之觀察

雲浮山邑也，但土質尙屬肥美，農業宜向森林畜牧兩途發展。惟河流淺少，交通不便，運輸尤極困難，欲謀農林之發展，必以開闢公路爲先也。

# 鬱南縣農業調查報告

民國十七年

卓正豐調查

## (一) 位置

鬱南舊名西寧，位於北緯二十三度十分三十八秒，經線距北京偏西四度五十五分三十六秒，東至西江，與德慶爲界，南界雲浮羅定，西界廣西岑溪蒼梧，北界封川，縣治距省西五百八十里，東西廣一百二十里，南北長一百七十里，東北至西南二百五十里，西北至東南，一百四十里，全縣分爲十二區：

一區即附城一帶，二區在城之東北羅旁，離城二十里；三區在城之西通門，離城四十五里；四區在城之北桂墟，離城六十里；五區在城之西平台里，離城六十餘里；六區在城之西北練社堡，離城七十里；七區在城之東北連城洞，離城七十里；八區在城東連灘，離城八十里；九區在城之西南新樂街，離城七十里；十區在城之南大方，離城五十里；十一區在城之南大灣，離城七十里；十二區在城之西南加益，離城八十里。

## (二) 地勢

縣屬山嶺約占十分之八，西北部較高，形勢崎嶇，東南畧低地勢較平，但望平原之地，則全屬殆少見之。江河絕少，查可以行駛船艇者，獨第一區至二區之小水而已。

## (三) 氣候

氣候與羊城無大異，但西北部多高山，比之東南部畧似較寒，大小畧之間最熱約攝氏三十六七度，大小寒之間最寒，約攝氏八九度云。

## (四) 耕地狀況

土質 全縣土質以壤土爲多，腐植質土次之，但第八區江邊一帶則以砂質壤土爲多，其餘各區非壤土則腐植質土，而表土又極深厚也。

水利 農田灌溉全賴山溪之水，多數田地有旱災之虞，第二第八區之地，以有江水引灌，雖無旱災，而地勢低下，却有洪水之患也。

交通 縣屬交通，除二八區有江水可行船艇，運輸頗稱利便外，其餘皆高山峻嶺，運輸極爲不便，故各區農產品價值，比之二八兩區相差甚遠也。

耕作情形 農民以種水稻爲主，竹蔗蠶桑薯芋等物副之，然亦視地勢之高下，水源之充足與否而不同如低而取水利便者，必種水稻，高而灌溉難者，多種蠶桑及竹蔗。

### (五) 農民經濟狀況

田地租價 上等水田每畝價銀二百餘元，租穀三百餘斤；中等水田每畝價百元至百五十元，租穀二百餘斤；下等水田每畝二三十元至百元，租穀一百數十斤，旱地上等者，百元至百五十元，租銀七八元至十二三元，中下等旱地每畝二十元至七八十元，租銀二三元至六七元。

長短工價 長工均用男人，每年工金三十元至五十元，短工忙時男每日三毫，女工每日二毫，閒時男工每日二毫，女工每日一毫，膳食皆僱主供給。

大宗產品價格如下

品名	產地	每担價值
竹蔗糖	二區	十元

白粟	二區	三十元
蠶桑	二八區	三元至五元
竹笋	三五區	五元
茶	一十二區	六角
粟子	二三區及五九區	十二三元
薄豐(又名木薯)	三四區	三元
桂皮	四九區	三至五元
杉	五六九區	因大小不同價值無定
松	各區	四角至一元
蔴草	七八區	七元至十三元
黃蔴	七八區	十七八元

大小農及經濟情形 全縣以小農為多，約占十分之七八，耕田五畝以上至十畝者，已甚少見。大約以耕四五畝為多，經濟之不充裕，可以概見矣。

(六)作物

(1)水稻 品種屬早造者，有黃穀，白穀，早粘，矮脚早，黑督等，屬晚造者則有矮仔禾，苗矮而細，穀粒亦小，米白而香，種之者最多，且適宜於淺水田，其餘則有銀粘，忙尾粘，大糯，黑糯，齊眉糯等。各種植法，與德慶等處無異，惟肥料除豬牛人糞而外，則以石灰為多。



(2) 竹蔗 營此業者，以第二區近江邊一帶之山坡旱地爲多，查自羅旁至古勞六十餘里，約有糖寮二十所，每所每年約出糖一萬斤，全區統計年約出糖二十萬斤。其種植法，非常粗放，立春前後插植後每於畦間植以白豆等物，至立夏前後即收穫白豆等物，旋施花生麵及糞尿等一次，並行培土，以後則置之不理，逮十一月間收穫。上等收成每畝可得六七百斤，次則三四百斤或一百斤左右云。

(3) 竹 竹笋出產以第三區爲最多，其餘各區亦有多少出產。種植法，則在春月雨水最多之際，行分根法。擇其二年內所生之竹，連根鋤起，去其尾，約留四五尺高，即植于山坑或屋邊等處，以足踏實其坭，洒以清水，再竹苗木等物護之，約二年之久，則有笋收穫矣。其最宜注意者，在種時不可用鋤頭推實其竹頭之坭，宜以足踏實爲貴云，至採笋及製笋之法，凡笋之生長，以春夏月爲多，當其高一尺左右之時，以鐵劍割斷其頭，即去其壳，乃以刀切開其笋，再用鹽醃之，每百斤約用鹽三斤，置於木桶內，則可出市，銷路以南洋各埠爲多云。

(4) 蔴草 種植蔴草之地，以七八區爲多，因其性適宜表土深厚之砂質壤土，及久旱不潤之田故也。種植法在立夏前後行分根法，每科距離約一尺，每年除草一二次，每畝施人糞花生麵等各百斤，二年收穫一次，每次收成可得六七担，每担平均約十三四元。

(5) 茶 茶出產於縣屬一區之大社山，數量雖不多，而頗有名，每担普通價在百元左右，其種植法則與鶴山等處同，惟製造則畧有異耳。鶴山之茶，先炒後焙，鬱南則炒而不焙，炒一次，搓一次，以多炒多搓爲好。

(6) 薄豐 薄豐爲該縣人民糧食之一種，該縣米食不足，專賴薄豐以補之，故各區之山嶺表土深厚者，皆有種植。其種法及食法與德慶等處同。

(7) 黃麻 黃麻之用途，以蔴網及繩纜爲多，第七八區多人織蔴，故該區種植最多也。種植期在春分後行撒播或

條播，條播行間距離四五寸，除草二三次，施淡肥一二担。立秋前後收穫，上等收成每畝可得麻五担，次之則二三担耳，每担普通值銀十五六元云。

(8) 大小麥 縣屬各區均有種麥，而以四五六區為多。種植期在霜降前後，行條播法行間距離五六寸，播種時以草木灰混勻種子，然後播之，亦有播種子後蓋以草木灰者，種後除草二次，施人糞尿或花生麵水一二次共約百餘斤。春分前後收穫，上等收成每畝可得二三担，次之則一担左右，每担值銀六元云。用途則磨粉煮粥以補糧食之不足，或製蛋麵，或製為鹹麵線以充食品，該縣產麵，雖未能知其產額，而補助糧食之不足，則總占米糧額十分之一二云。

### (七) 果樹

(1) 白棗 產地於第二區近江邊一帶為多，其樹約千餘株，產量年約六七十担至二百餘担，每担普通價約三十餘元。蕃植法則在立冬後行駁枝法，至秋分前後，觀其根已露出，則剪下假植，再後一年，始可移植云。肥料則初植時施以木草灰，以後則置之不理，聽其自然生長。

(2) 栗子 鬱南栗子，極為著名，產地以二區之山嶺中為多，三五九區亦有少數。性喜表土深厚而濕潤之腐植質土，故其樹多生於矮林葱鬱之中，否則結實必減云。蕃植法將其自然生長之秧苗，移植於適宜之地，少有以人工育苗者，數十年之大樹，年產亦約担許，統計全縣年在三四百担左右，銷路則以省佛為多，每担普價在十元左右。

### (八) 蠶桑

養蠶之家，以七區為最多，二區次之，一四區又次之，一二四區出繭之數，雖無統計，大約乾繭總在千担以上。至七區出繭數，據振華繭市之人所言，年約千二三百担，其豐收之年，或至一千八百餘担云。種桑期及管理之法，與順德等縣無異，惟桑之行間畧闊，常間植白豆及甘薯等物，縣屬桑市有四所，繭市則獨七區一間耳。



## (九) 森林

該縣森林，松樹各區均有種植，杉則以五六九區爲多，而桂皮則尤以九區出產爲最富，種植及管理法與德慶無異。產量無從調查，銷路則松杉木材多數輸出省佛，桂皮則盡數輸出外洋，但每年出產價值，亦不過數萬元耳。

## (十) 畜牧

(1) 水黃牛 縣屬黃牛多於水牛，每農戶多者養三四頭，少者一二頭，專爲耕作之用，衰老者，則屠之爲肉用，至乳用者則全縣均無。

(2) 羊 各區均有畜養，多者四五十頭，少者一二十頭，管理羊舍與各縣無異。

(3) 豬 各家均有畜養，多者三四頭，少者一二頭，飼料則用殘羹薯葉等物，每日分早午晚三餐，豬仔則有飼四五次者，間日飼以豆漿等物。

(4) 家禽 該縣養鷄情形大概與各處同，無足紀述，而鴨則有專營此業者，多者養數百隻，少者養數十隻，而養數十隻者則以養鴨母爲多，所產之卵，則售於孵卵之家，大約春夏所產之卵多作孵化鴨仔之用，秋冬所產之卵多作食用，其孵卵之法，先炒熟穀粒與蛋混置於大木桶內，五日之後，又將穀取出復炒，安置如前，約十八九日至二十一二日則鴨仔出矣。在第二次復炒穀之時，必行煎蛋，法即用明燈一盞，在暗室內照之，其不透明者，定爲有種，留之再孵，透明者即取出作食用。炒穀之熱度，全靠孵蛋者之手術以定之。至於用穀之量，大約穀一担每次可孵卵二千，但此穀可以連孵四五次，即一担之穀可以孵卵一萬也。至於養鵝最大群者亦僅六七十隻，毛色灰黑，專爲肉用，約養一年之久，重有六斤或三四斤，即可出賣，其鵝仔係在各墟市收買而來，幼時飼以米碎，及以野生之草切碎飼之，亦有用蘿葡葉及米碎者，俟長大至斤許，則晝間放牧，晚間驅入鵝舍(舍以竹木圍之或房間爲之)，再飼以穀或米糠等

物。

### (十一) 輸出品

縣屬輸出品之最大宗者，以松柴桂皮爲多，蔗糖次之，竹筴蠶繭白棗栗子茶等又次之，草蓆一項，年中出口雖達一百數十萬元，但草以由外處買入者多，本地出產者，不過占十分之一二耳。

### (十二) 農林前途之觀察

鬱南農林產品尙稱豐富，農產製造之業，如織蓆製糖製筍等，亦多可以擴充，以致富裕者，但民智閉塞，缺乏教育，且交通不便，運輸困難，欲謀農林之發展，則宜以振興教育及開闢公路爲先也。



# 始興縣農業調查報告

民國十七年

何慶功調查

## (一) 位置

始興居粵省之北部，屬北江上流，位於北緯二十五度二分三十秒，經度距京師中線偏西二度四十九分四十秒，東界江西省屬之龍南虔南，南界翁源，西界曲江，北界南雄，全縣分爲九區十六約，茲將其各行政區域列出如下：

區分	位置	所在地	所轄地方
第一區	附城	在縣署內	第一約第三約
第二區	東	頓岡墟	第四約第七約
第三區	西南	沈所墟	第二約第八約
第四區	西	江口	第六約約聯鄉約
第五區	東南	周所墟	第五約守望約安良約
第六區	東	羅琪墟	湖源約都亭約
第七區	東	澄江墟	躍溪約
第八區	東北	馬市	普雙約
第九區	南	司前街	清化約

## (二) 地勢

全邑地形稍近方形，全縣面積約三百四十八萬九千一百六十八畝，惟山脉蔓延，四面環繞，其尤高者，爲東南北

三面，巍然聳立，高入雲霄，但西部則畧少傾斜急劇之高山，而以中部為最平坦，一望平原，有數萬畝，此始興地勢之大概也。

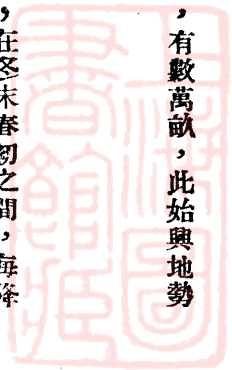
(三) 氣候

氣候與南雄，無大差異，年中氣溫最高時，在秋初，約華氏表九十五六度，氣溫最低時，在冬末春初之間，每降至冰點，常有霜雪遍地，池水凝結為冰之現象。

(四) 農村教育狀況

始興教育，殊不普及，雖有學校，而限於經費，不大完備，就全縣教育而論，私塾佔四分之一，而受私塾教育之兒童，亦僅得半數，而失學者，大概尚佔有百分之三十五左右，其教育之不振，可想而知矣。茲將調查所得，列表如下：

第三區	第二區	第一區	區名	
			初中及 校數	初中 人數
		1		
		106		
		2	高級小學 校數	
1		209	高級小學 人數	
85		6	初級小學 校數	
3	1	276	初級小學 人數	
110	40	1	平民義校 校數	
		40	平民義校 人數	
18	17	16	私塾 校數	
420	410	340	私塾 人數	
40%	40%	35%	失學兒童 佔幾%	



第九區	第八區	第七區	第六區	第五區	第四區
1	1		2		
20	70		112		
7	1	1	7	3	2
162	36	31	252	93	54
19	10	8	11	16	15
420	240	200	270	400	340
30%	30%	35%	25%	30%	35%

(五)農民經濟狀況

(1) 田地價： 田地價格，每因地位不同，而有貴賤，附城及人烟稠密之村落為最貴，近山谷之水田，則較低廉，平均每畝上等水田百四十元，中等水田一百元，下等水田七十元，上等旱田六十元，中等旱田四十元，下等旱田二十元，所有水田旱田，概納租谷，如不豐收時，地主與佃人將收穫所得之谷均分，至租谷大約上等水田，每畝納租谷四石五斗，中等水田，每畝納租谷三石，下等水田，每畝納租谷二石，上等旱田，每畝納租谷二石五斗，中等旱田，每畝納租谷一石五斗，下等旱田，每畝納租谷一石云。

(2) 工價： 人工有長工短工之分，長工概用男人，每年工價約三四十元，均供膳，短工忙時，男工三毫，女工

二毫，供膳四餐。閒時男工一毫半，女工一毫，供膳三餐。

(3) 借貸情形：借貸以錢款爲多，當地農民借貸，佔十之四五，小商家佔十之一二，但借款之比較，商家佔十分之七八，農民佔十之二三，農民借貸，因於糧食不敷，在青黃不接時借之，商人借貸，多在正二兩月，即於杉木砍伐之時借之，借款手續，要不動產業之契據爲抵押，及要介紹人，(中人)介紹人並須給以謝金百分之二，但借貸十元以下者，不用抵押及介紹人，祇要承借者相信便得，普通息率，每元二分四厘。

(4) 普通物價：

A 肥料 人糞每担二毫，人尿每担一毫，豬糞每担一毫半，牛糞每担一毫，花生麵每百斤十三元，油菜麵每百斤五元，桐油麵每百斤六元，茶油麵每百斤四元，石灰每百斤一元。

B 農具 犁每張二元，鐵耙每把八元，木耙每把二元，鋤每把一元，鏟甲每把一元，輪子耙每把一元五角，草鏟每張五角，禾鏟每張一角，中耕具每把四角。

C 農產 家畜——水牛每頭七十元，黃牛每頭五十元，豬每百斤三十五元，羊每斤六角。

家禽——雞每斤五角，鴨每斤三角。

魚類——魚每斤三角。

作物——谷每石五元，芋每角五斤，薯每角十斤，花生每斗三角，油每斤三角，蔗每根半角，眉豆每元八斤，黃豆每元十三斤。

D 蔬菜 冬瓜每角十斤，漚蒲(南瓜)每角十斤，苦瓜每角二斤，黃瓜每角五斤，莧菜每角二斤，通菜每角三斤，茄每角一斤，豆角每角二斤，蘿蔔每角六斤，蒜每角二斤，芹菜每角二斤，芥菜每角六斤，雪裏蕻每

角一斤，白菜每角四斤，蔴菜每角二斤，潮菜每角一斤，芥藍每角二斤，荷蘭豆每角二斤，辣椒每角二斤，冬筍每角三斤，苗筍每角六斤。

E 特產 黃麻每百斤十元，黃烟葉每百斤二十五元，黑烟葉每百斤三十五元，茶葉每斤五角，柴每元三百斤，木炭每元六十斤，煤炭每百斤二元，苗竹每根二元，坭竹每根半角，簧竹每角三根，權竹每角一根，冬菰每斤二元。

F 果類 枇杷每角二斤，黃皮果每角一斤，桃每角二斤，李每角四斤，沙梨每角二斤，風栗每角一斤半，柑每個半角，梨每斤一角，芒果每角二斤，荔枝每角三斤，西瓜每個一角。

## (六) 交通

始興交通，以水道言之，在縣之東南，有墨江，發源于清化都亨兩地，東北有洪江，上通南雄，下注始興江口，與墨江相會，直達韶州，粵贛貨物之往來，均由洪江，而運輸則以沿江一帶之一二三四五八區頗稱便利，第六九兩區，為墨江發源之地，可通小帆船，較為次之，惟第七區之地，四面環山，水路缺乏，往來貨物，均由陸路肩挑，其交通不便可知矣。

## (七) 水利

始邑四境皆山，中央平原，巨川細流，灌溉全境，沿江之田，起陂灌溉，近山之地，小溪迂曲，灌溉亦稱利便，惟縣之東北一隅，地勢稍傾斜，在秋季之時，河塘乾涸，時有旱魃之患，故多改種甘薯，至其餘各地，一年均可植兩造水稻也。

### (八) 耕地狀況

始興耕地，土質大概分爲三種。在第一區之縣城附近大井頭新村楊公嶺，第二區之頓岡瑤村簞村千家營大夫村，第三區之黃所沈所羅所石下，第四區東湖坪獅石下，第五區之週所竇直嵩等之田，質多壤土，表土深而肥沃，在第五區良源坪田，第六區羅填都亭，第七區大水堡，第八區陸源黃塘柴塘，第九區千家鎮溫屋近山谷及岡陵等處之田，質多粘土，表土稍淺而礫瘠，其餘各區近河之田，土質多沙，表土亦淺而且瘦，以全縣計之，大概平原地佔百分之四十，山谷地佔百分之十五，岡陵地佔百分之二十，山嶺佔百分之十，傾斜地佔百分之十五。

### (九) 作物

(1) 稻：始興爲產米有餘之地，計每年輸出韶州發售之穀，有十數萬担，大抵有七八成豐收，可足本縣之食矣。其種法及品種，茲述如下：

早稻有廣西粘，紅米糯，烏壳粘，紅糯，早禾粳，夏至白，百日早，早禾等谷種，於春分後播種，用點播法，直接播於稻田，後二三日將田中水排去，名曰露禾，約一晝夜，施以糞坑坭或塘坭，卽行灌溉，約一星期，用車輪形有齒中耕器具整鬆田土，再三四日，又排去水，施石灰和人牛豬糞或花生麵，用中耕器具或脚耕耘，翌日復灌水于田中，待十日後，再用石灰和人牛豬糞，施肥一次，並用中耕器具耕耘之，嗣後須時時灌溉，至大暑前收穫，每畝收穫量約四五石。

晚稻有粘禾，糯禾，粳禾，油粘，紅頭粘，烏尾粘，紅米粘，三粳粘等稻種，在小滿節後，取穀種浸於水中，約二日穀種萌芽，于日落時撒種秧田，過二三日排去水，名曰露秧，二三日後，復行灌溉，嗣後不許水涸，至早稻登場時，約爲大暑左右，則分秧于田，其在大暑節前時秧者，必施烟骨肥一次，否則禾葉多枯，收成大減，其在大暑節後



時秧者，即不施烟骨，無甚大害，而施則尤妙云。故通常晚造分秧一二日，即施烟骨肥於禾之根部，再過一星期，用中耕具耕耘之。並施人糞或牛豬糞和石灰等肥料，再過十餘日，亦用中耕具耕之，有肥則施之，無肥祇中耕除草而已，寒露節後三日，排去田水，至霜降後收穫，每畝收穫量約二三石。

陸稻名羣禾，有粳糯之分，播于山嶺傾斜之地，在谷雨前用點播法，播于土中，嗣後中耕除草一次，不用施肥，及至立秋後收穫，每畝收穫量一二石。

(2) 甘薯：甘薯有紅皮白肉，白皮紅肉，及貴陽薯數種，在清明節時下種於芋田之畦間，至大暑後移植于不能再行蒔禾之旱田及花生黃麻收穫之跡地，植法起土為長畦而植之，以鷄鴨糞為基肥，植後淋水三數日，再過二十餘日，除草捲苗，並施草灰肥，嗣後如有草，再除草捲苗。如土乾燥，須施灌溉。至十一月收穫，每畝收量十餘担。

(3) 芋：芋有大芋芋，烏脚芋兩種，在正月時起土為畦，至春分節植芋於畦傍，每距二尺許，植芋一株，用鷄鴨糞或草灰為基肥。植後三四日淋人尿一次，過二十餘日培土除草，施人糞肥，再過二十餘日施人糞尿或花生麵，並行培土，至大暑節後，以生禾稈蓋之，如畦土乾燥，並要灌溉，有草時則要除草，至九月收穫，每畝收量約五十担。

(4) 花生：花生有大粒，細花，兩種。在春分前播種，用條播法播于平畦之上，每距離五六寸許播種一二粒，蓋土七八分，用鷄鴨糞或草灰為基肥，至立夏時剷草，並施人豬糞，嗣後有草再行除草，如土乾燥，須加灌溉，七八月間收穫，每畝收量五担至九担。

(5) 甘蔗：甘蔗祇臘蔗一種，第二區東流垌地方經營之。在清明節前栽植于畦之傍，每株距離二尺許，用穀壳為基肥，植後連淋數日，以人尿和稀水施之，過廿日餘施花生麵及培土，嗣後施花生麵或人豬糞時，並培土除草，旱時灌溉，至九月收穫，每畝收量約三千根，為生食用。

(6) 黃麻：黃麻有青皮紅皮兩種，二者比較，青皮麻纖維質嫩幼，收量較少，紅麻纖維質粗，收量較多。播種在春分前，用草灰和種子混合播之，播用撒播法，十餘日後除草，並去其較密者，次施老壁坭肥料，再過廿餘日培土，並施花生麵肥，嗣後施老壁坭或麵類並培土，旱時灌溉，至六七月收穫，用刀去其表皮，曬燥後則可售于市，每畝收量約六七百斤。

(7) 菸：有黃沙煙，赤沙菸，黑菸三種，十一月播種于田之平畦上，用撒播法，蓋土少許，並蓋稻稿于上面，淋以清水，待萌芽之後，淋人尿肥，至正月間，移植于畦之兩傍，用人牛豬糞為基肥，株之距離約一尺五寸許，植後淋人尿或清水，越廿餘日施花生麵肥，並行剷草，嗣後施麵類或人牛豬糞肥數次，如發生虫害時，則於早晨捕之，土燥時須淋水，至五六月間收穫，用針扎成把形，以分裂菸葉之幹脈，使晒時水分易於發散，菸葉易乾，品質良好，菸葉每捆百斤，黑菸價三十餘元，黃菸價二十餘元，多數銷售於香港等處。

(8) 紅瓜子：紅瓜子植于沿河之沙土，在驚蟄節時栽植，株距二尺許，起穴直播瓜子七八粒，施草灰為基肥，萌芽時，有虫(俗名土狗)食嫩芽，此時須早晚視察一週，如每穴生長有數莖者，宜間拔減少之，約以每六祇留二三枝為度，其全缺者，宜補植之，至谷雨節施麵類一次，並除草，此時有食葉虫發生，須察看葉之裏面，如發見時，購菸骨浸於水中而施治之，可以減少虫害，收穫在七八月間。

### (十) 蔬菜

在縣城附近之村落，有專栽培蔬菜以謀利者，其餘各村村落所栽培者，為利便食用計耳，其栽培及管理方法，與廣州相似，惟因氣候關係，其種植時間有差，茲將各種蔬菜種植時間及收穫時間分述如次：

(名稱)

種植時間

收穫時間

冬瓜

二月

六月

蕃瓠

二月

六月

苦瓜

二月

五月

黃瓜

二月

五月

莧菜

正月

二月

通菜

正月

三月

茄

二月

五月

豆角

二月

四月

蘿蔔

七月

十月

蒜

八月

十月

芥菜

九月

十一月

白菜

七月

九月

芥蘭

九月

十一月

藤

九月

十二月

潮菜

八月

十一月

芥菜

七月

十月



芥菜

六月

十一月

荷蘭豆

十月

正月

辣椒

二月

五月

又查有雪裏蕻，為該縣特產，在六月間播種，七月間移植，葉形似芥菜，惟對生葉，管理與各蔬菜同，不贅述，至八月間收穫時，全株拔起，畧為晒乾，加食鹽少許，以手擦之，封貯甕內，後數日取出，拌肉類煮食，爽滑適口，味香而清，實為蔬菜中之上品。

### (十一) 果樹

該縣果樹有柑橘枇杷桃李梨等出產，惟成園栽培者，祇雪梨風栗三種，茲將栽培情形分述如下：

(1) 梨：梨有香梨青梨秋梨之分，斜潭車頭坪天子地江口大井頭有成園栽培者，用接木法，在十月間採山中之野生梨（俗名山梨）為砧木，取梨枝約二年生者接木，接好後植于果園，初時須淋水，至生有新根時止，每年冬須鋤鬆泥土，並施牛豬糞或塘泥等肥，收穫在七八月間，全縣收量約三四萬斤。

(2) 李：李有紅李竹絲李兩種，週所車頭坪天子地三處地方，栽植用實生法，在春間移植，株間距離六七尺，初植時須淋水，嗣後甚少管理，每年五月收穫，全縣收量約萬斤。

(3) 風栗：風栗栽植，祇羅堪象山下及河渡兩處有之，栽植用實生法，在春間播種，於生長地，植穴距離約丈五尺，初時須淋水，至萌芽後止，並須預防人畜踐踏，損害嫩苗，十年後開始結實，收穫期在八九月，



## (十二) 畜牧

(1) 牛：有水牛黃牛，農家均飼養以爲耕田之用，其飼養法，役用時以甘薯酒糟粥等爲飼料，閒時放於山谷間或青草地上，以童子，或老者看管，以免損害作物，晚間則飼乾禾稿或青草而已。

(2) 猪：有白花色及全身黑色兩種，農家以爲副業，通常飼養者一二頭，飼料用米米糠甘薯酒糟青菜類及廚屑等物爲主，城市不放假，村鄉間任其行動，不加管理，猪舍多用閒屋或與牛舍共之，總計全縣所產，可供本縣食用，稍有餘剩，運往韶州出售。

(3) 鷄：每家均飼養十數翼，以供年節及款待賓朋之用，而專營此業者則無之，米穀飯及米糠爲主要飼料。

(4) 鴨：有肉用卵用之分，肉用者養至十一月爲臘鴨之用，卵用者爲產卵孵鴨之用，縣人有專營此業者，每群二三百隻，其飼料幼時煮粥日夜飼養五六餐，約十日之後，加坭蛇煮粥，並放於田圳間，嗣後煮飯或浸穀于水約一晝夜以飼養之，約百日後，即可出售于市，而就其中選最好之雌者，留爲母鴨之用。

孵鴨法：製木桶高約三尺，口徑約尺八寸，桶之內底及傍，墊以禾稈，彷彿與茶壺之窠相似，於三月間開始孵鴨，未孵之前，囑養鴨之妻，限日送卵到處，嗣後每五日來鴨卵一次，初孵時，取殼炒熱，用白布一幅，橫直約尺七八寸，放于木桶內，爲墊殼之用，置放熱谷于桶內之後，即于面上置卵，其卵以網袋裝之，每袋之數約三十至五十不等，嗣後每逢早晚，炒殼一次，如前法置放，至十五日之後，毋庸炒殼，祇保存桶內之溫度足矣，初次之卵置在桶底，二次之卵置左面上，三次之蛋，置在二次之面上，孵十五日後，即移置于溫床，以棉被等保溫物，蓋其上面，每日夜要以手翻卵四五次，三五日可以孵化矣，全縣鴨苗出產有十數萬個，出售於翁源曲江仁化三縣。

## (十三) 森林

(1) 杉樹：杉植于山嶺，其繁殖法係用樹枝(盜民多用此法)或樹筍，用樹筍繁殖者，係伐採杉樹之殘株，所生之幼筍約一年生者充之，在二月間移植於林場，用樹枝繁殖者，選二十餘年生之杉樹，欲其二三年生之樹枝，札成一捆，將伐口一部浸於山坑水中，待有白色根莖生出，移植林場，時在二三月間也，至五年之後，除去林場之雜木，免妨杉樹之生長，再六七年又施行除拔一次，約二十餘年至四十年，可以砍伐，每年出售在八十萬元以上，為始興第一大宗出產物也。

(2) 松樹：松樹以天然生產為多，本地人甚少種植，雖聞有栽植于岡陵荒地者，則於正月採集天然生長約二年之樹苗，移植林場，五年後整枝一次，再過二三年，又行整枝，共約整枝五六次，至廿餘年，可以採伐為薪炭之用。

(3) 竹：小茅竹在正二月栽植，選二年生之茅竹，掘起根部有橫根二條者，一留長尺餘，一留長七八寸許，幹留丈許，並於掘起時認識其根之向於山上及向山下之部分，移植時照其方向栽植之，若反其根之上下方向則不能生筍發育云，植後三四年，生筍發育，繁殖滿山，有取幼竹而製紙者，有取竹札成排而運於三水蘆苞等處出售者，其製紙之法，在立夏節砍伐幼竹，削去表皮，斷成三尺六寸或三尺四長之竹筒，再破成三四分厚，札成一捆，每捆約五十斤，放於紙湖中，湖之長約丈五尺許，寬約八尺，面上寬而底稍狹，放竹把時，須放石灰，每百斤幼竹，要石灰八斤，放幼竹一層，須放石灰一層，待放湖之後，灌水入湖，浸過竹面，如是約四十日左右，排去湖中之水，竹之有石灰沉澱者，用水洗淨，並將湖底洗淨，放木為枕，枕木之上，橫排數行竹竿，再放幼竹於其上，又灌水於湖，以浸過竹面為止，翌日搖動湖中之竹，以試其竹之洗淨否，如未洗淨則水為之變濁，即行放去，再灌清水，如此者約七八次，至湖水清為止，至三十日後，要造紙時，可放去其水，取竹把擦爛使形如綿狀，放入水房，水房長約丈許，寬約六尺

，深約四尺，房內放一竹搭壓成竹渣，製紙時須放冬青，或細青膠水，將竹搭攪拌水膠，使與竹渣和勻成稀糊狀。隨用紙廉置於輕便之架上，浸入水中，左右撥動，即行提起，成爲紙張，覆於木板之上。如是，重疊數千張時，即在紙面上，蓋以木板，用壓力器下壓之，減少其水份，乃各張分開，貼於火焙爐上烘乾，成爲紙張，焙爐之構造，爲斜方形，上小而下大，長約三丈，高的七尺，上厚一尺，下厚二尺五寸，用火磚砌成，底面中空爲燒火之用，外面用石灰和砂混合塗之，使極平滑，俾易於粘貼紙張。紙之種類有京文紙，桶紙，加重紙三種，京文紙每四十斤，要幼竹四百斤，桶紙加重紙每百斤，要幼竹千斤，京文紙每担價七八元，桶紙加重紙每担價銀十七八元，全縣每年出產有二三萬担，價銀二十餘萬元。

(2) 淡竹，麻竹，篁竹，櫛竹，其栽植法，取竹之根株，約長五六尺，連根掘起，在春分前移植，二年後有筍，長成爲竹，砍伐之竹爲器之用。

#### (十四) 特產品

(1) 香菇 香菇有冬菇春菇之分，在冬季生長者曰冬菇，其味佳，在春季生長者曰春菇，其味次之；栽植法在深山林中選擇數百年生之黃檀樹椽樹等，於十一月砍伐之，次將木之幹部用利斧削之，約削至形成層爲止，用枝葉稍掩覆之，經過天然風雪變化後，至翌年冬，有菇生長，入山採摘，即行用火焙乾，以售於市，每斤價值約一元五角，每年約有萬餘元出產。

#### (十五) 農林前途之觀察

始興爲粵贛之通津，交通頗稱便利，全邑人民，業農者十居八九，查其全縣地勢，低原之地，饒於水利，自應勵

行改良稻作，毫無疑義。至於荒廢山嶺，亟應造林。查近年來，如羅塘象山公司，興仁里陳氏公司，流田水群興公司，成城鄉聯興公司，楊公嶺茂興公司，新村維新公司，或種杉，或栽松，頗著成效，倘全邑各地人民，皆能組織公司，以種植林木，林業庶有振興之望也。





# 曲江縣農業調查報告

民國十七年

林純熙  
功調查

## (一) 位置

曲江縣位居北江上游，經度距離京師中線偏西三度二十四分，緯度在北緯二十四度五十四分，東界始興，東南界翁源，南界英德，西界乳源，西北界樂昌，北界仁化，全縣原分八個行政警區，六個學區，但行政警區，常有廢置，故習慣上仍多以學區為標準也，其學區之劃分如下：

第一區……………附城

第二區……………下東水

第三區……………上東水

第四區……………河西

第五區……………下南水

第六區……………上南水

## (二) 地勢

曲江地形北部較廣，南部稍狹，其地勢則東西北三部皆高，尤以東北部為最，中部及南部則較低，全縣面積約六百五萬零二千七百四十五畝，境內山嶺甚多，殆佔百分之九十有奇。

## (三) 氣候

曲江氣候，於夏至立秋間，氣溫最高，小雪後立春前，氣溫最低，每年冷熱時期，各約二個多月，下霜季節，每霜降復起，至小寒或大寒而始收，年中雨量，以冬末至夏初間為多，秋深後至冬期，雨量常少。

## (四) 農村教育狀況

曲江教育，甚不普及，尤以鄉村為甚，失學兒童，竟佔學齡兒童之大半，茲將其各區教育情形，紀列於下：

第一區有省立第三師一範所，現年人數一百零四人，縣立初中一所，四十九人，高級小學五間，共三百九十三人，初級小學十間，共七百七十四人，私塾二十六間，共八百三十七人，平均全區失學兒童約佔百分之十五。

第二區有初級小學九間，計二百七十八，私塾不明，平均全區失學兒童約佔百分之五十。

第三區有高級小學一間，計四十人，初級小學一間，三十四人，私塾未計，平均全區失學兒童約佔百分之五十有奇。

第四區有高初級小學二所，共四十五人，私塾未計，平均該區失學兒童約佔百分之五十。

第五區有初級小學二所，計二十五人，私塾未計，平均該區失學兒童約佔百分之六十。

第六區有初級小學二間，共六七十人，私塾十三間，共二百三十餘人，平均全區失學兒童約佔百分之五十，

### (五)農民經濟狀況

1. 農戶 農民中田主約佔百分之二十，田主兼佃戶約佔百分之五十，純佃戶約佔百分之三十。農家每戶平均農業勞働者約三四人，每農戶之耕地面積約十五六畝。

2. 田地價 每畝水田上等者約值七八十元，中等者約值五六十元，下等者二三十元。每畝旱地上等約值三四十元，中等約十餘元，下等約六七元。

3. 田地租 每畝水田年納租穀上等約二百斤，中等約百五十斤，下等約六十斤。每畝旱地年納租銀上等約二元，中等約一元二毫，下等約五六毫。

4. 人工價 長工每年約六十元，短工忙時每日男女工各約四五毫，閒時每工二毫，均供膳食三餐。

5. 肥料價 花生麵每百斤約四五元，石灰每百斤約五毫，人糞尿每担三四毫。

6. 農具價 犁每張約二三元，耙每張約五六元，鋤每把約一元二毫，禾鏟每把約一毫半，草鏟每把約四毫，中耕器每件約七八毫，柴刀每張約一元左右。

7. 農產價 水牛每頭六七十元，黃牛每頭三四十元，豬肉每百斤三十餘元至四十元，鷄每斤四毫至五毫，鴨每斤約三毫半，魚類每斤約三毫，芋頭每百斤約一元半，花生每百斤約五元半，穀每百斤四五元，黃豆每百斤七八元，麥每百斤約四元，花生油每百斤約三十元，菜油每百斤約二十五元，臘蔗每担(十根)約三毫，黃片糖每元六七斤至十一斤

#### 蔬菜類

豆角每毫五六斤，茄子芥菜每毫七八斤，潮菜莧菜每毫約五斤，冬瓜南瓜每毫約六斤，蒜每毫約二斤

#### 果類

南華李每担十五元至二十餘元，連州蜜桃每担三元半至四五元。

其他 南華草菇每斤約三元，羅坑茶葉每斤約八毛，柴每担約五毫，炭每担約一元二毫，草每担約二三毫，苗竹每報約一毫。

#### 8. 借貸情形

當地農民有常借錢款及糧食者，約佔百分之六十，通常月息二分，低者一分六釐，高者至三分，借貸者多屬小農佃農，放債者皆地主及商人，一般借債原因，多係糧食不足或因婚喪疾病者間亦有之，一年中農民經濟最難時期為三四月間值青黃不接之時，此時借債須高利與否常不一定，就高利貸中，亦有百分之八十屬行爲不正者，至農民通常借款多在二三十元左右，借期長短則不能概論，還債之法，或錢或糧或產業均先事言定，至其借債手續普通須覓殷富担保，否則須用不動產業作爲抵押，到還債時期如不清償，則追問担保人或扣算其抵押品以了結之，故極少錢債案發生，此外尚有標會組織，不特爲金融周轉之一法，抑亦儲蓄之一道也，其組織法與各縣相同，該縣現有當店一間，押店四間，月息三分，當絕期三年，押絕期一年，所當押之物件，以衣服首飾農具爲多，

### (六)交通

該縣水陸交通均稱便利，南有粵漢鐵路南段直達廣州，北有韶平公路直達樂昌平石，其餘南雄始興仁化樂昌乳源等縣，則由民船可通，行李運輸俱利賴之。

### (七)水利

該縣境內有北江縱貫其間，所有南雄始興仁化樂昌乳源等縣之水，皆滙歸該縣，復有支流四達，所有田疇皆作陂圳，或設水車以資灌溉，故水利無缺。

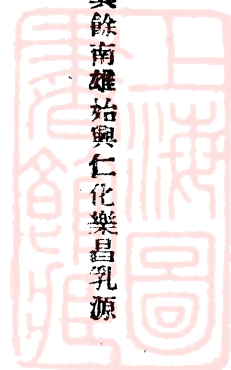
### (八)耕地狀況

該縣農地，約畧言之，平原較多，次為傾斜地，又次為岡陵起伏之山嶺山谷，一般土色以黃赤為多，灰色次之，其土質亦大半輕鬆，惟多數水田因施用石灰過量，致表土淺薄，及粘重硬化，其土壤除南水白土一帶稍有夾礫土外，多屬定積土，其平原及山谷水田多植水稻，傾斜地多植甘蔗蔗礫紅瓜子之屬。岡陵起伏地及山嶺則種植桃李外，並間種紅瓜子蔗糧或油茶樹等。

### (九)作物

1. 水稻 曲江水稻出產，除供本縣糧食外，尚有餘裕輸出廣州各處，就中以馬埧之油粘為多，該縣水稻栽培殊覺粗放，且每施過量石灰，致水田表土淺薄，日就瘦瘠，故水稻每畝收量平均較他縣為少，茲述其品種及栽培法如下：

早稻 品種有點子禾，江粘穀，百日早，長身，細早，絲苗早，九工子等，各區皆種之。就中以點子禾為最普遍，收量亦較多，品質以細早絲苗為佳。一般播種時期，皆在春分前後。有先行育苗者有直接點播者，其播法皆與和平



始興等縣大畧相同，普通浸種三天，屯芽二天，然後播種，其直接點播者，播後約三、四天左右，即行排水露芽，并用草灰或燒土培於根部，其育苗者，則播於秧田，約十二日至半月許，用剗秧法剗起分植于稻田，其稻田多先施以厩肥為基肥，至半月後，則施以人糞或花生麵為補肥。在未施補肥之先，用中耕器中耕一次，施肥後復用脚耘一次，再越十餘天又中耕一次，并施以石灰，至大暑節前收穫，計每畝收量約可二石餘至三石左右。

中稻 品種有大禾粘，有八月粘，此種每年祇能栽植一次，多植於山谷之陰冷水田，普通在立夏時播種，芒種時分秧，分秧後約二十天耕耘一次，並施以糞肥，再後十餘日又行中耕，施石灰一次，至陰歷八月間收穫，平均每畝收量約可三石至四石左右。

晚稻 品種有油粘，冬白，紅糯，赤穀等，各區皆種之，就中以種油粘為多，尤以馬埧所產者其品質最良，收量則以赤穀為多，米質深紅粗糙，多為釀酒之用，一般播種時期多在夏至節前，於大暑後分秧，分秧後半月許即行耕耘一次，同時施糞肥一次再越十餘日復行中耕及施以石灰一次，至霜降節後收穫，計每畝收量約二石餘云。

2. 陸稻 惟東水之靈溪楓灣一帶孫氏多種植之於山坡旱地，通常於五月間播種，用直接點播，或條播法，播後淋入糞尿水一次，俟苗高數寸許，着手中耕除草，計共行二三次，每次即順便培土，至八月間收穫，每畝收量可七八斗至石許云。

3. 甘蔗 該縣所種以竹蔗為多，西水沿河一帶及東水由大橋至週田以上，統計數十里地方多種之，皆種於砂質之旱地，普通新種之蔗，可留宿根二年至三年後，始改種豆類甘薯等作物，其新種方法，於十一月間所刈收之蔗，截取其梢，長約尺許，埋於砂土中，殆即儲種育芽之意，至翌年正月間取出，剝去其葉鞘，然後種於蔗地，其種法先整土為條畦，每距離尺餘，用鋤作穴，將蔗梢斜插於穴中，以腳踏實之，但其方向如此畦一律向東，則隔畦須一律向西

種時多不施基肥，至苗高尺許，則培以燒土或淋人糞尿水一次，間有埋以大菜苗（野蘿蔔或稱肥田子）用作綠肥者，至五月再施花生麵一次，其施法將麵餅打碎約二寸許之角塊，埋於株間，又普通在生長期間，中耕除草共約五六次至八九次，其法用中耕器或以牛曳犁翻起畦旁之土，覆於畦上株間，此外管理於苗高二尺許時，須着手剝葉，如有蚜虫發生，須用竹片撥落殺死之，此為該縣西水一帶之栽培法也，至東水一帶者，則於種後苗高四五寸時，每畝下花生麵三十斤至五十斤，或不用花生麵而用菜油麵亦可，同時施以石灰和糞水，因加以石灰則虫害較少云。至清明時，中耕除草一次，再隔二十天左右，復行中耕一次，同時或過三數日又埋花生麵碎塊於株間，每畝分量亦以三十斤至五十斤為度，其餘管理各法則大抵相同，其收穫時期在十月十一月間，每畝收量可二千斤至二千五六百斤，概用為榨糖之用。

**製糖法** 榨糖所，統稱糖寮，所用石磨，與各處相同，係以雄水牛旋轉其磨每班須牛二頭，故每糖寮至少須牛六頭，方足輪班，每日於夜間二更時開工，至日間下午三時許停工休息，計每日可搾糖汁十四桶，每二桶汁可煮糖一鍋，製成片糖二三十斤至四十餘斤，當視其原料之優劣而定，大抵曾受霜害之蔗，糖分必減云。至其煮糖之法，係用一灶座鍋三口，其一口名曰水鍋，其二口名曰熟鍋，先將搾得之汁，傾二桶入水鍋中，傾人時用疏竹篩隔去其渣滓，並放入純石灰若干於汁中煮之，同時用木棒頻攪拌之，則有汚泡沫浮上，須盡行撥去，俟煮至汁呈紅色時，則為汁熟之象，然後分入二熟鍋中煮之，至適當程度時，傾入凝糖器（木床）中，其器底舖以細砂，砂面蓋以草蓆，將煮好之汁，傾入撥平之，俟凝結後用直木尺和刀切為小片，遂成黃片糖，每斤值約一毫至毫半，除供本地用外，多運銷於南雄始興等縣。

4. 花生 該縣各區皆有種之，惟西水一帶稍多，種於平坦或傾斜之旱地，每與甘藷輪栽，係屬大莢種，於清明時

播種，每穴播種籽三粒至四粒，用草灰牛糞爲基肥。播後苗長二三寸，行中耕除草一次，同時有施以石灰者。過後有草生時，又行中耕除草一次，至立秋前後收穫，每畝可三四石。多製爲鹹乾，鹹脆，或榨油用，產額不鉅，無出口。

5. 油菜 該縣之油菜栽培，頗屬普遍，因晚稻收穫後，土地空閒，農家利用晚稻跡田栽種，不須多大勞力，又不用納田租，實農家最好之副產，其栽培法極簡易，祇將晚稻或甘薯跡田犁鬆整好後，用牛糞草灰與種籽和混點播或條播之，不用管理，普通於立冬前後播種，至翌年春分時節收穫。其籽可榨油，其糠可作肥料。聞該縣菜油每年畧有出口，但數量不詳。

6. 紅瓜子 該縣栽培紅瓜子，年來有逐漸推廣之勢，現各區皆有種之，惟以西水及上南水一帶爲較多，其種地多係山坡或埧地，而以輕鬆之砂質旱地爲宜，通常於夏至節播種，先整地作畦，與甘薯相同，畦上開溝，每畝先下花生糠約三百五十斤，或施用燒土爲基肥，施後覆以土，然後每距離尺許播種籽三粒至四粒，再薄覆以土，自後則多不灌溉施肥，通常播後五日發芽，發芽後一星期內，最忌瓜蠶虫爲害，因此時芽苗幼嫩，被害即死。故平時應注意防除之，以捕虫網捕殺之，此類瓜之生長率甚速，播後三星期即能開花結果，至白露節前後，見苗枯蔕稿時，即可收摘計每畝收量約可四百斤左右云。

7. 草菇 草菇爲馬嶼南華地方栽培較多，亦以南華產者爲最有名，因其較通常爲肥壯而有肉，香味亦特別濃厚。雖經久煮，仍極爽脆嫩滑，此其特色也，其栽培法與通常無大異，每於七月間早稻收穫後，將其禾稈曬乾之，以爲栽培草菇之用，間有用花生苗者，聞與稻草效用相同，栽培時先整土起畦，闊約二尺五寸，高約一尺，灌水入畦間，以備濕浸稻草之用，照其普通習慣，先起菇種一二畦，約二十天左右可得，然後將菇種分植於種地，其法先將稻草屈

摺成把，放入畦間浸之用脚踏過，草即濕透，遂將其浸過之稈把，排列堆置於畦上，其草之頭尾二端，須向內折入，俾得整齊，至其排列堆置之各層，則須順次倒換其頭尾，方得平勻，至於菇種則放入稻草之中間，如是堆置好後，晴天則於日間午時淋水一次，陰雨之天則不用淋水，大概堆至半月後，即有菇收摘，直至十月始無，其菇多乾製而後發售，南華草菇每斤生菇可製乾菇二兩，而馬旗靈或他處者，則每斤祇能製得乾菇兩半左右，此其優異之點也。製乾後以錫器貯之，則久不變味云。

8. 其他 甘藷芋頭等雜糧，該縣各區皆有種之，棉麻黃豆之類，亦有少數栽培，惟俱無出口，在靈溪楓灣之獐民，多種玉蜀黍以充糧食，但其所有栽培方法，與各處相同，故不詳記。

(十) 蔬菜

該縣蔬菜出產，各區鄉草不有之，然皆供給本地之食用，無輸出也，一般栽培方法，並無特異之處，可不紀載，茲僅列其普通品種播種收穫時期如下。

品種	播種時期	收穫時期
蘿蔔	六月九月	九月十二月
芥菜	八月九月	十一月十二月
潮菜	八月九月	十一月十二月
莧菜	二月	三月
豆角	二月	五月
節瓜	正月二月	四月五月



苦瓜	三月	六月
南瓜	二月	五月
冬瓜	二月	五月
蒜	七八月	九十月
茄	二月	五月

### (十一) 果樹

該縣果品出產，除桃李較大宗外，尚有黃皮柑柚梨等，但產量品質，均不足稱，即桃李而言，其品種各有數種，而最有名者，則為連州蜜桃與南華李耳，茲分述于下。

1 連州蜜桃 其種出自連州，大如普通之桃惟形稍扁而有尖嘴，味極香甜，產於南水附城等地，多種於山坡或溪邊屋角，概用實生繁殖隨時可以播種，惟春季為最適期，育苗一年以至二三年均可移植，多於春季行之，每年春間中耕除草一次，冬間施牛糞，或燒土肥一次，植後四五年結實，果熟時期在小暑前後。除就地發賣外，常有運銷廣州者。

2 南華李 品種出自該縣南華，聞昔時南華地方，有李數株，品質極佳，後經年代久遠，原株已無果實，土人遂將其原株分蘖之苗，繁殖之，於是輾轉傳播於各地，仍存其名曰南華李，其實則非原種也。現在於南水之南華落村坪墟頭等地，種植較多，悉用分根繁殖法，於冬春之交，挖取李根之分蘖苗移植於山坡溪邊之地，株間距離多無規則，每家種十株八株或三數十株，惟有一集股經營之公司，年產百餘担，價值二三千元，是為最多云。

### (十二) 畜牧



畜牧以牛豬鷄鴨爲主，但皆屬家庭副業，絕無專業經營者，所有出產多祇供就地銷用，無有出口，查其飼養管理以及禽舍畜舍構造，亦與各縣相同，茲不詳記。

### (十二)森林

曲江山嶺面積雖廣，然多屬童山荒嶺，比較有叢密森林之處，惟東水方面如靈溪楓灣大橋等處耳，一般森林以松林爲多，在靈溪之貉洞方面，楓樞樗等之雜木林，亦屬不少，次爲杉林。此外楓灣苦竹及南水之沙溪方面，畧有竹林，故該縣木材柴炭之出產甚少，除供本地銷用外，實無大宗之輸出。

### (十四)特產品

竹紙 該縣楓灣苦竹沙溪等處，皆有以造紙爲業者，在楓灣苦竹所造之紙，質較優良，惟出產不多，沙溪之紙，則極粗糙在五六年前出產頗多，聞有日本商人到該處收買以爲原料之用，至近年以來因地方多故，遂日見減少云。

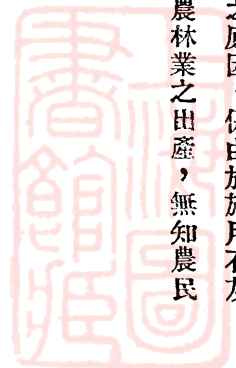
冬菇 出自靈溪楓灣，爲貉民所栽培，砍伐五六十一年生之楓樹或樞樹爲培養材料，在立冬後，即將木伐下，斷其表皮成鱗花狀，以樹葉覆之，至翌年七八月間，除去樹葉，卽有少量之菇，再越一年至冬至時爲最多，至第三年遂稍減少，迨三年後，則停止發生云。

茶葉 羅坑出產頗多，除銷售縣境外，常有出口，此外南華之茶，黃坑之白毛茶，亦頗有名，惟年中產量不過百數十斤耳。

油茶 於西水桂頭一帶及東水楓灣一帶，稍有出產，惟產量無多，供給本地之用常多不足云。

### (十五)農林前途之觀察

曲江農林出產，近年頗有退化之象，農地則地力日減，山林則荒蕪日增，考其所以致此之原因，係由於施用石灰過量，以致土壤緩性的劣變，燒山習慣不良，以致森林日漸的減少，因之直接間接均影響於農林業之出產，無知農民安能察及，此乃農業教育與農業推廣之職務，政府不能不任其責也。



# 樂昌縣農業調查報告

民國十七年

林純煦  
何慶功 調查

## (一) 位置

樂昌縣位居北江上游，東界仁化，南界曲江，西界亂源，北接湖南之宜章，在北緯二十五度一十分，經度距京師中線偏西三度三十五分。全縣劃分為八區，其各區之位置，及所轄範圍如下：

### 區列 位置

### 所轄範圍

- 第一區 附城 練塘，批把嶺，西門口，河南水，老虎頭，留村埧，三灣，田洞，桂子眼，大吼坪，等段。
- 第二區 東鄉 正東鄉(廊田)，上東鄉(長逕)，下東鄉(樓下)五山。
- 第三區 南鄉 長埧，羅村，楊溪等鄉。
- 第四區 西鄉 上西鄉(大小洞，菖蒲塘)，下西鄉(洪蓮洞，山岐洞，王坪)，良坑鄉。
- 第五區 北鄉 不分鄉段共有十八坊。
- 第六區 九峯 九峯，茶料，鳳落，普落，三郎等甲。
- 第七區 黃圃 不分鄉段
- 第八區 坪石 不分鄉段

## (二) 地勢

樂昌地形如菱角，其近北部之東西兩端，皆延長突出，一若菱之兩角然，境內山嶺縱旋且多高峻，尤以西北部為最，其東南之部，則依水流趨向，畧較低平，全縣面積，約一百九十八萬六千零四十八畝，就中山嶺岡陵，殆佔其百分



之九十一二云。

### (三) 耕地狀況

(1) 地勢 第一區附城各段之耕地，約畧言之，其平原可有百分之五十五，山谷山嶺各有百分之五，崗陵起伏地有百分之十五，傾斜地有百分之二十五，就中旱地約佔百分之三十，皆栽種雜糧花生甘蔗等作物；其餘，水田則植早晚水稻二造。

第二區廊田長遙樓下五山等鄉之耕地，平均平原約佔百分之六十，山谷山嶺亦各約百分之五，崗陵起伏地約百分之十，傾斜地約百分之二十，就中旱地約佔百分之二十，多種雜糧，其餘水田則皆植早晚水稻二造。

第三區長珍羅村楊溪等鄉之耕地，平均平原約有百分之五十五，山谷地約百分之五，崗陵起伏地約百分之八，山嶺地約百分之四，傾斜地約百分之二十八，就中旱地約佔百分之三十，多栽植甘蔗花生雜糧及少數紅瓜子等，其餘水田皆植早晚水稻二造。

第四區大小洞，菖蒲塘，洪蓮洞，山岐洞，王坪良坑等處之耕地，平均平原約佔百分之四十五，山谷地約佔百分之二十，崗陵起伏地約百分之十，山嶺地約百分之十五，傾斜地約百分之十，就中旱地約佔百分之三十五，皆種雜糧花生之屬，其餘水田亦多種早晚水稻二造。

第五區北鄉爲坊之耕地，平均平原約佔百分之八十，山谷地約百分之五，崗陵起伏地約百分之三，山嶺地約百分之二，傾斜地約百分之十，皆屬水田，甚少旱地，年中多祇植中稻一造。

第六區九峯茶料鳳落普落三郎等甲之耕地，平均平原約佔百分之三十，山谷地約佔百分之十五，崗陵起伏與山嶺地各約百分之五，傾斜地約百分之四十五，就中旱地約佔百分之四十，係以栽種雜糧爲多，其餘水田多祇植中稻一造。

第七區黃圃所屬各村之耕地，平均平原約百分之二十八，山谷與岡陵起伏地各約百分之十，山嶺地約百分之二十二，傾斜地約百分之三十。就中旱地水田各約參半，其旱地多係栽種苧麻及雜糧，其水田年植中稻一造。

第八區坪石所屬各處耕地平均平原約百分之四十，山谷地約百分之十五，岡陵起伏地約百分之十，山嶺地約百分之八，傾斜地約百分之七。就中水田旱地亦各約參半，其旱地多栽雜糧，其水田年植中稻一造。

(2) 土壤 一般土質多屬半輕鬆者，顏色以黃色爲多，灰赤次之，土粒皆細。就中壤土約佔百分之七十，概爲定積之土。

(3) 水利 平原山谷之耕地，多有河流或山溪，以資灌溉。其灌溉之方法，多係作坡截圳，或設自動水車，至於高原旱地，則全賴天然雨水矣。

(4) 氣溫 氣溫於小暑大暑之間爲最高，而於小寒大寒之間爲最低。年中冷熱期間各約三個月。

(5) 雨量 年中雨量多少未嘗測驗，殊難臆說，惟於春末夏初之間雨水最多，秋深後至冬爲最少云。

(6) 風霜 年中鮮有風害，至下霜時期多起自立冬，而收於春初，但鄉村與山間常有不同；大概鄉村之下霜稍遲，而收霜亦較早，而氣溫亦有同樣之軒輊云。

#### (四) 荒山狀況

該縣荒山各區皆有，但全屬童山者，則惟第三區南鄉畧見之。所有荒山皆有草生或散生之樹木，其地多在山頂與突兀部分，土質乾燥，風雨剝削特多，表土淺薄，色多黃赤，因之天然成林，自是不易；其餘土人樵採之處，亦多不成林，統計全縣荒山面積約有二千餘方里之多。其荒廢年期，當亦甚久，但難以考查也。

#### (五) 交通

該縣交通多循陸道，現韶坪公路已達該縣之北鄉，汽車往來極稱便利。此外境內各區及與隣縣交通，皆有公路，闊約三尺至四尺，多不平坦，祇可步行。或乘輿馬。至於水道有樂昌河，為縣之巨津，由湖南宜章經坪石沿西鄉入城南，由南鄉而達韶州，可駛尼船；及東鄉之長埗水，由廊田至南鄉，會樂昌河，亦可容小艇；其餘各鄉之溪流，則祇能放散木排出口而已。

### (六) 耕作情形

(1) 冬耕 一般排水良好之水田人工較足者，多行冬耕，於秋收之後，犁起土壤，俗曰轉霜田。其作用所以使土壤翻轉，俾蟄伏土中之害虫得受霜雪而冷死，或為鳥雀所啄食，并能使土因冰結而輕鬆也。至行燒土者則甚少。其東南西各鄉及黃圃坪石等處，於冬耕之際，間有栽種油菜或麥者，但為數極少。至於排水不良之水田及高亢旱地，則概不冬耕。

(2) 春耕 無論曾否行冬耕之農田，其於春耕之際，均施以廐肥，然後犁之。犁後則灌以水，至泥土浸透後，用牛耙耙之。普通先橫耙後直耙，計共二次，乃分秧。

(3) 秋耕 於早稻收穫後，其田土膨軟，故祇用牛耙先行撕碎其早稻根株。計橫直各耙一次，灌水浸之，約數日後，人力足者又再橫直耙過，並用轆軸輾之，使其根株埋沒。土壤壓平，間有輾至數次然後插植晚稻者也。

### (七) 農民經濟狀況

(1) 農戶 農民中田主約佔百分之五，田主兼佃戶約佔百分之三十，佃戶約佔百分之六十五，其農家每戶平均有農業勞動者約二人至三人。每農戶耕地面積約十三四畝至二十餘畝云。

(2) 田地價 上等水田每畝約值七八十元，中等約值三四十元，下等約值二三十元；上等旱地每畝約值三十元，

中等約二十元，下等約十元。

(3) 肥料價 花生麵每百斤約七元，人糞尿每百斤約三毫至四毫，雞肥每元約十担，石灰每元約二担。

(4) 農產價 耕牛大者每頭約值百元，中等者約值六七十元，小者約值三四十元，豬肉每百斤約四十元，羊生者每斤三毫，馬每匹約值六十餘元，鷄每斤四五毫，鵝鴨每斤約三毫，魚類每斤二毫餘至三毫，薯每担約一元六毫，芋每担約一元五毫，葛每斤約二毫半，濕花生每担約四元，穀每百斤約四元五毫，豆每元約十二斤，麥每百斤約六元五毫，油每百斤約三十餘元，黃糖每百斤約十二元，普通蔬菜每斤約五仙，果類每百斤十餘至二十元，苧麻每百斤約十五元，上等白毛茶葉每斤約一元二毫，普通黃茶每斤約二毫餘，柴每百斤約四毫，炭每百斤約一元五毫，苗竹每百斤約六毫。

(5) 人工價 長工每月工資約五元，短工忙時男工每日四五毫以至八九毫，女工二三毫，閒時男二每日二三毫，女工毫半至二毫，每日供膳三餐，約值二毫半至三毫，每日工作約十一小時，閒有收穫時之短工，依其收穫之穀量多少而給工值者，其長工每月須給草鞋二三對，約值銀二三毫及兩笠手巾用品，一般雇主與雇工之情感尙屬融洽。該縣農工之供給，不甚充足，每於農忙之際，多由湘南雇用。

(6) 田地租 多依批約規定，大約每畝水田上等者年約二百斤，中等者年約一百五十斤，下等者年約一百斤；旱地每畝上等者年約一百斤，中等者年約八十斤，下等者年約五十斤。納租穀者佔百分之九十五，間有納租金者，亦多依穀價爲準。遇荒歉之年，則多作五六成收，或將收穫所得主佃平分。其租穀多由佃戶送至田主家中，再行風選及秤量，田主對於佃戶則留膳一餐，或給以少數茶資。

(7) 租田制度 田主立批發字據與佃戶，佃戶立承批字據與田主，其承批字之程式如下：「立承批字人某某今因



田耕種，特來承批得某某水田或旱地若干丘，計共若干畝，其田地係在某處（并說明田址），言定遞年供納乾穀若干斤，分早冬二季量清（或早六冬四量清），豐歉皆無加減，二比甘願，立承批字為據，其批發字之程式，亦彷彿照此。普通承批田地，無須押租預租，祇於承批之初，佃戶須送給豬肉一塊，約一斤半，餅食二包與田主而已。租田年限多無一定，倘能年年清租，則可永遠耕種。田主對於佃戶除供給土地之外，別無他物，即可坐收租穀。間有借給糧食及耕牛者，但其糧食至收穫後償還，每百斤須加息四五十斤。

(8) 農產貿易情形 非大宗之農產貿易，多於各鄉墟市行之。縣中最大之市場為縣城，次為坪石，至對外省外縣貿易，則以韶州及湘南各縣為最大之市場。其農產品之運搬，各依地方情勢，用肩挑或船載。查該縣輸入之品為茶油、食鹽及雜貨等，而該縣輸出產品，則如下列：

農產品名

輸出數量(年平均約數)

木料(杉木)

年約五六十萬元

柴炭

五百餘萬斤

蔗糖(黃糖)

四十餘萬斤

苧麻

七八萬元

紙

四萬元左右

竹器

萬餘元

穀米

三十萬斤左右

花生油

七十餘萬斤

紅瓜子

三數千斤

冬菇

萬餘元

牛

三數百頭

豬

二千餘頭

鴨

萬餘只

(9) 借貸情形 當地農民常年借貸錢款者，約有百分之三十，借貸糧食者有百分之五十。一般借貸者，皆屬佃農小農，放債者多屬田主或資本商人。其借債原因，多因糧食不足或特別需用，故農民經濟最困難之時期為三四月間及臘月時節，即青黃不接之際，與年度需用之時。通常月利三分，低者二分，其特別重利，貸者不甚多，約佔百分之五左右，且多係有烟賭嗜好之徒。通常小農借貸，如糧食則三四担，如錢款則一二十元。至借期久暫，有數月者，有半年或年者。其還債之法，通常借錢還錢，借穀還穀，間中亦有變賣產業以抵債者，如借貸錢款，須用自產已業抵押，及至親在場作證，以便到期追取或變賣產業。該縣現無當店，村中常有標會，年開二次或三次，皆按票納息，此種標會每於農民有特別需用時邀集之，其組織法與他縣同。

(10) 農具 該縣農具之種類，構造，價格，用途等紀之如次：

犁 身用天然彎曲之杉木為之，犁頭用生鐵鑄成。每張值約二三元，以犁翻土壤之用。

耙 闊約三尺，齒長約一尺五寸，用熟鐵製，每張值約八九元，為耙鬆土壤之用。

轆軸 闊約三尺，長約五尺，其中軸如楊桃形，用木彫製。每件值約四五元，為壓平表土及輾沒禾頭之用。

鋤頭 方約四寸至五六寸，長約尺許，用熟鐵製造，每把值約一元五角，凡鋤土作穴皆用之。



齒鋤 大者濶約六寸，齒長約尺許，小者僅及其半，俱用鐵製成，中耕鋤土皆用之。大者值約一元八毫，小者值約八九毫。

鐮刀 有禾鐮草鐮，皆用鐵製造。草鐮稍大而多鋼，每把值約四五毫；禾鐮則二毫左右。一用於割草，一用於割禾。

### (八) 畜牧

家畜以養豬為主，大約小農平均每家年中可養小肉豬一只至二只；中農每家可養大肥豬一只至二只；大農每家可養大肥豬二、三只。至於養牛則以耕田役用為多，中大農每家可二、三頭，小農養牛者，多不過十之六七。其放牧場所，多在荒野草地，由老人或小童司之，亦有集合十數家雇一人放牧者，每半年中供穀五十斤，以作工值。其牛豬除供本地應用宰食外，年中出口牛約三、四百頭，豬約二千餘頭。

家禽以養鴨為多，但養鷄亦極普遍，惟極少大群，係作家庭副產，以供自己祭祀用者為多。至於養鴨則頗多專業經營，每群之數，常有百數十以至三、四百只，多放牧於水田地澤間，大約於四、五月間始養，六、七月間即賣之，除本地銷用外，年中出口約萬餘只云。

### (九) 作物

(一) 水稻 該縣農地約有十七萬餘畝，而其水田殆不過十萬餘畝而已。其中以水土之關係，有可植早晚水稻二造者，有祇植中稻一造者，分紀如後：

早稻 附城及東西南各鄉皆種之，其品種有湖廣早，乳源早（或稱百日早），長身早，八十日早，紅壳糯等，就中以湖廣早為最多，八十日早為最少。一般播種時期，於清明節後行浸種二日，起水後屯芽一日，即直接點播於稻田，

不用育苗。播後一星期許，即施人糞灰於其上，迨至一月許除草一次，除草後施以石灰，并用脚耘之。耘後十日許，又撒施各種糞肥，此時已屆小滿時節，即行止肥，以後管理祇留意灌溉而已。至大暑節前後，可有收穫，其湖廣早長身早為遲熟種，須一百二十日方能成熟，每畝收量約三百斤左右，乳源早百日可熟，每畝收量約二百斤左右，八十日早則八十日可熟，每畝收量約可百餘斤，紅壳糯每畝收量約二百餘斤，亦遲熟種也。

中稻 通稱大禾，皆種於北鄉九峯黃圃坪石等區，其品種有七月粘，馬尾粘，白壳粘，紅米粘，大糯等，通常於清明谷雨間播種。行浸種二日，起水後，屯芽二日，即撒播於秧田。其秧田先施以廐肥及石灰等為基肥，播後十日許，施以篩過之家畜糞粉，約廿日許，又施一次糞粉，至播後有一月之久，即可分秧，其稻田亦須先施以廐肥及石灰，然後整土插秧，插秧時有將秧根用牛骨灰水浸過者，但普通無之，至插秧後一月許，除草一次，除草後施以石灰，用脚耘之，以後則不復管理施肥矣。其在黃圃坪石所栽種者，多為七月粘，於立秋後十天左右可有收穫，其餘各處則多於寒露霜降間收，平均每畝收量約三百餘斤。

晚稻 統稱為番禾，於附城及東南西各鄉多種之。其品種有冬白粘，硬梗粘，雪糯等，普通於夏至時節播種，行浸種屯芽一如早稻。播時其秧田先施以糞水，然後播下，至苗長二寸許，撒施乾糞粉，至大暑前後分秧，分秧後半月許，施以石灰，脚耘一次，至處暑後，又撒施各種糞肥，并用脚耘之。從此事工告竣，於立冬前後，即可收穫，平均每畝收量約二百斤左右。

(2) 蔗 該縣南鄉種蔗最多，次為附城及西鄉之塔頭，俱屬竹蔗種。以其能抗乾旱，多植於沙質旱地，連栽二三年後，與花生雜糧等輪栽。其種法普通於十月後所刈收之蔗，截取其梢，約長尺許，掘穴將蔗梢埋其中，以土薄蓋之如遇乾旱過甚，即淋以水，至翌年正月下旬，即將蔗梢取起，剝去其葉鞘，遂分植於蔗地。其植法與他處相同，植後

至三月間，每株施以乾糞約一碗，施後覆以土，至四月間，每株又插施花生糞一小塊，重約數錢或至兩許。迨五月間，將畦間之土鋤起，培於畦上，名曰上大行。以後每早晚間用草刷及母指套一竹筒，將葉上之蚜虫夾殺之，其留頭更新者，曰老蔗，多於十月起收；用蔗稍新種者，曰新蔗，多於十一月起收，每畝收量約可廿餘担。收後即運至糖寮，榨製黃糖，運銷於湘南各縣，年產糖額約四十萬斤云。

(3) 苧麻 苧麻惟黃圃屬地多種之，種於高原旱地或岡陵山麓，可連栽至四五年。新種時用分根繁殖，於清明時節，挖取其根，分植於種地。植後以堆雜廐肥覆之如天候過旱，亦須淋水，植後每年四月六月八月間各收一次，計每年收穫共有三次，每次收後亦必覆以堆雜廐肥，及用新黃泥培土一次。年產總額約五六十萬斤，多運至韶州發售。

(4) 花生 該縣花生皆屬大萊種，各區皆有種之，惟附城最多，次則東西二鄉，概種於沙質旱地，每年春分清明間播種，多行點播。其種地先施以廐肥及石灰為一次基肥，種後二十餘日，中耕除草一次，又再二十餘日，中耕除草一次，不施補肥，不行灌溉，至立秋後，可有收穫，每畝平均收量約四百斤左右。大宗為榨油之用，年產油額約七十餘萬斤，除本縣銷用外，多運往韶州出售。

(5) 馬蹄 馬蹄土稱馬薺，附城多種之，種於表土較為深肥之水田。普通於夏至前後播種育苗，其法多於栽種芋作之畦間為育苗場，所以藉芋葉為庇蔭故也。先於畦間填以中幼之沙，厚約五六寸，即將馬蹄種密插沙上，插後再覆以沙，見沙稍乾，即須淋水，自後約一個月之久，時方大暑前後，即行分植於水田。其植法與水稻相同，以每根為一株。植後十日許，施糞肥一次，再十日許，施以花生糞肥，每畝百二十三十斤。施後以脚耘之，又再過二十日施石灰一次，亦用脚耘之。至立冬後，可有收穫，每畝收量約二十餘担至三十担。年產總額約六七百担，出售於曲江縣屬者為多。

(6) 其他 該縣各區對於甘薯之栽種亦極普遍，實為農家之重要副糧。油菜亦不少，除北鄉九峯外，各區皆畧有種之，年產額約三數千元。紅瓜子以西鄉之塔頭為多，南鄉次之，年產額亦約三數千元。冬菇以東鄉之五山為多其餘九峯之西坑亦畧產之，年產總額約二千斤左右。其餘黃豆雖各區稍有種者，而產額甚少，麥則惟黃圃塘村有極少數種之者。

### (十) 園藝

(1) 果樹 果樹栽植面積年來稍有增進，而於附城為多，其東南西北各鄉則畧有之耳，果樹中以沙梨為最多，年產總額約五六百担，其次為南華李，以附城西門口所產之品質為良，年產總額約百餘担。黃皮於城內產者為佳，年產總額亦約百餘担。又次為桃，以附城留村琪產者為優，係屬櫻桃種，年產總額約三數十担。杷枇則北鄉霞塘村產量多而質佳，年產總額約二十担左右。此外番石榴紅棗柑柚等亦有植之者，但為量不多，難於統計。查一般果樹之管理，均極粗放，有祇於年中除草一次，而不施肥者，間有施肥一次，於小寒時節，收樹根之部作穴，灌以人糞水，俟其溼透乾後，培之以土者。又其沙梨多患隔年結果，無知農民亦無法補救也。

(2) 蔬菜 如種瓜蔬類農家皆種之，以為自己食用，多餘者則販賣於市，惟附城區域間有專業經營之者。查其蔬菜中以辣椒為土人最嗜食之品，殆為家常菜食也。其較大宗之出產而畧有出口者，則惟生薑，於西鄉上河一帶，產之最多，次為九峯，年產總額約千餘担云。其較特別而不普遍者，則為慈菇與蓮藕，惟附城多種之。茲將其栽培方法紀之於下：

慈菇 於十一月間收取老熟者，堆置於陰涼之處，留為種用，至翌年清明前後，收之蜜插於水田中，任其發芽育苗，不事管理與施肥，至大暑前後，遂分植於表土較深而且肥沃之水田中，每株距離約一尺五寸。植後見其新葉萌

發，即施以糞肥，并以脚耘之，以後每隔二十日許依前法施肥耘土，又共二次。至立冬後，遂可漸次收穫，每畝平均收量約三四百斤。

蓮藕 屬白花種，種於表土深而肥沃之水田中，通常於二月十九前後土人所謂觀音誕之時，將去年留於田中之藕種挖起，每截留二三芽，將其埋植於田中，每株距離約五尺。埋植後至苗高尺許時，將田水排去，淋以濃厚糞水，至小滿立夏間，每畝又施以花生麵五十斤至七八十斤。至大暑後，可陸續挖收，每畝平均收量約四五百斤云。

### (十一) 森林

該縣山嶺岡陵面積殆近一萬方里，而森林之分佈面積約有六十餘方里，其中天然林約佔百分之六十，人工林約佔百分之四十，在九峯一帶，多屬杉木單純林，附城北鄉南鄉及正東鄉下東鄉等處，則多為松木單純林；其餘則多屬混成林，其森林樹種以松杉為主，次為苗竹及檫櫨楓樟等雜木，就中尤以杉木苗竹為其重要之經濟林。茲將其杉木苗竹之種植土法，紀之于次：

杉木 於九峯為最多，次為上東鄉五山及上西鄉一帶，當民十以前，每年出口總額約可五六十萬元，至近年因土匪猖獗，河道難行，出口數量，因之減少。至其播種方法，普通於十月間採取其老熟之種籽，用竹筴晒之，敲出其仁，即撒播於苗場，其苗場務須整土至極鬆碎，然後播下，播後篩以幼土覆之，至翌年春萌發，不用管理，惟土質過乾則淋以水，播後五年苗長始有尺許，乃定植於山上，概用穴植。植後穴之上部插一數寸方之木板，以防止上部水土之沖壓，致傷幼苗。當定值之初五年內，每年九十月間須行割草一次，并於林之四圍劃開丈餘闊之避火路，以免野火焚林木。聞所植杉木成數甚高，惟有山牛山羊等野獸嚼食其莖葉，為害不小云。普通砍伐年齡多在二十年後。

苗竹 多產於西鄉之大小洞，東鄉之五山九峯之西坑籐洞坑等地，在五山產者，泰平用竹器(竹筴為多)，年約一

二萬元，餘皆用於製紙，年產紙額約四萬元左右，其種植方法，於正二月間揀選二年生之竹母（雙枝者為竹母）連根挖起，於有枝處數起，至第四節截去之，即可定植於山上，植時須依照其原來生長之方向植之，不然則不能生長云，植後當年生新筍者有之，但通常則以翌年為多，至其造紙之法，查無特異之處，茲不紀述。

### (十二)農村教育狀況

該縣教育極不普及，以萬餘方里之土地，近十萬之人口，當無一中等學校，即高級小學亦惟縣城有二間耳。查其辦學困難之原因，固由於風氣未開，而經費師資缺乏，亦大有關係也。鄉村教育經費之來源，多由庵廟寺觀之產業撥充，平均每校初小之常年經費約有三百餘元，每校教員多係二名，皆舊制高小畢業者充之。至於高級小學之教員，則多由他縣中學畢業或從前該縣所辦之師範班畢業者充之，合格師範實鳳毛麟角也。茲將其各區鄉之學校人數舉列如下：

第一區 有高級小學二所，一為縣立，一為區立，計共學生一百名；初級小學二所，約共學生一百四十名；私塾九間，約共一百八十餘名，計全區失學兒童約佔百分之六十。

第二區 有初級小學三所，共一百一十人，計全區失學兒童約有百分之四十左右。

第三區 有初級小學六所，共一百六十五人，計全區失學兒童約有百分之六十。

第四區 有初級小學二所，共七十人，計全區失學兒童約有百分之六十。

第五區 有初級小學三所，共一百零五人，私塾五間，共約五十人，計全區失學兒童約有百分之五十。

第六區 有初級小學一十三所，共約四百人，計全區失學兒童約有百分之三十。

第七區 有初級小學一所，約三十人，計全區失學兒童約有百分之六十。



第八區 有初級小學三所，共一百零三人，計全區失學兒童約有百分之五十。  
以上全縣高初小學共三十五所，私塾一十四間，總共學生一千四百五十三人。

### (十三) 農林前途之觀察

查該縣農地廣闊，農工缺乏，以故農業粗放，乃理勢使然，尙無足怪，惟水田大半祇栽種水稻一造。據土人謂，其水土過冷，然在北緯廿五度許之地方，當不至此，苟能選擇品種，伸縮種期，調節肥料，以善因應，當無不可種植兩造之理，此農業試驗場之所以不可不設也。



# 仁化縣農業調查報告

民國十七年

林純熙  
何慶功 調查

## (一) 位置

仁化縣位居北江上游，東界南雄，南界始興曲江，西界樂昌，東北接江西大庾，西北與湖南桂陽毗連。在北緯二十五度十五分，經度距京師中線偏西三度十四分五十八秒，劃分全縣為五區。茲將其各區位置及所分地名紀之如下：

第一區署設在縣城內，計轄附城水南，大渡嶺，麻塘村，腊胡坑等六段。

第二區署設在城口墟，屬縣之北部，轄城口，羅崗，恩村，厚坑，白石洞，上寨，東塘等七段。

第三區署設在扶溪墟，屬縣之東部，轄扶溪，古夏，茅盆，黃斜甲等四段。

第四區署設長江墟，屬縣之東北部，轄長江，劉屋，鄒屋，週週，陳奢，橫山，沙溪，木溪等九甲。

第五區署設在董塘墟，屬縣之西部，轄石塘，歷林，江頭，董塘，新村，大井，夏審，安崗，煙竹等九段。

## (二) 地勢

仁化地形，東西較長，南北稍狹，境內山脉多向南奔，東北地勢多崎嶇，西南之部較低平，全縣面積約一百七十三萬八千一百六十三畝。就中山嶺岡陵，可佔百分之九十有奇。

## (三) 氣候

仁化氣溫，於小暑後立秋時為最高，於小雪後大寒時為最低，但年中冷熱時期，各約二個月餘。下霜時期，每於霜降後始而於大寒後收，其下霜多少，則年不一定，至年中雨量，則於孟春仲夏間為最多，中秋後為最少云。

#### (四) 農村教育狀況

仁化教育甚不普及，以九千餘方里之土地，五六萬之人口數，祇有初級中學一間，不過廿餘人，完全小學二校，統約七十餘人；私塾三十六間，合計四百七十餘人。由此推之，其失學兒童之多，概可知矣。

#### (五) 農民經濟狀況

(1) 農戶 農民中田主約佔百分之五，田主兼佃戶約佔百分之二十，佃戶約佔百分之七十五。農家每戶平均農業勞働者約得二三人，而每農戶之耕地面積約有十一二畝。

(2) 田地價 該縣以地廣人稀之故，所有旱地多任其荒蕪，故無價值之可言。其水田每畝上等者約值六十元，中等者約值四十元，下等者約值二十五元。

(3) 田地租 每畝上等水田年納租穀約二担，中等者約一担半，下等者乃一担左右，每担重量祇八十斤耳。

(4) 人工價 長工每年約六十元，短工忙時多雇男工，皆湖南桂陽之人，每工四五毫以至七八毫；閒時短工則多在就地雇用，通常男工每日三毫，女工每日二毫，皆供膳食三餐至四餐云。

(5) 肥料價 該縣通常購用肥料祇以人糞為多，每担約三四毫，石灰每百斤約一元左右，至用麩類者甚少，惟栽種紅瓜子者畧有用之，每担約五六元左右。

(6) 農具價 耙每張約五六元，犁每張約三元，鋤一把約一元二毫，中耕器每件約七八毫，禾鏟每把二毫，草鏟每把三毫。

(7) 農產價 黃牛每頭三四十元，水牛每頭約五六十元，豬肉每百斤約三十五元，鷄每斤五毫，鴨每斤四毫，鵝每斤三毫，魚類每斤約三毫餘，菜薯每毫三四斤，芋頭每毫七八斤，乾花生每毫約一斤，穀每百斤約四五元，豆每百

斤十四五元，蔗每元約二十餘斤。

蔬菜——苦瓜每毫約二斤，茄豆角芥菜等每毫約五六斤，白蘿蔔每毫約十斤，紅蘿蔔每毫約三四斤，白菜每毫八九斤。

果類——楊桃每斤二毫，柚每毫二只，柑類每斤約二毫，李每毫約一斤半。

特產——菜條（蘿蔔乾絲）每毫約一斤，黃麻每元八九斤，煙草每斤約三毫餘，茶葉每斤三四毫，柴每百斤四毫，炭每百斤一元，草每担約三毫，苗竹每根約一毫，草菇每斤二元餘以至三元餘，冬菇每斤一元以上至三四元，紙每担平均八九元。

（8）借貸情形 該縣農民，雖經濟困難，但甚少借貸，蓋不能得田主之相信，實難借貸也。即就農民中有借貸者，至多不過百分之十，係屬田主相信直接願借者，並無保證物，通常利息三分，借款數量在二三十元內外，借期久暫概由面訂，不能一定。該縣原無當店，向來多有組織標會，藉資周轉及儲蓄者。近年以一般會首多不能維持終始，撻欠時間，故視為畏途云。

### （六）交通

仁化乃山邑也，公路未闢，陸道交通，祇賴肩輿代步，惟幸有河流數條，東至扶溪，北至城口，東北至長江，西至新村，俱可行駛厄船。由縣赴韶州，船行一日可達，貨物輸運往來多利賴之。

### （七）水利

該縣水利，未甚講求，雖有川流四達，源流長逝，不虞有涸，然河床每較田疇為低，設置水坡不易。故稍高亢之田，祇賴天然雨量灌溉，在早造春夏雨多之時，水可無虞，惟晚造之季，則十之三四，難免旱患矣。



## (八) 耕地狀況

該縣耕地多屬平坦之山谷，或畧傾斜之半旱地，其稍高亢之崗陵起伏地及山嶺，則絕少有人耕種，蓋地廣人稀，勞力缺少之故耳。一般農地皆屬定積土，多半輕鬆，顏色以灰黃為多，砂性中等，壤土約佔百分之七十，粘土約佔百分之三十。其農作物以水稻為主要，在平原之雨水充足者，多栽植水稻兩造，其水利不足者，則晚造常缺，至山谷及斜傾處之水田，亦多祇植中稻一造而已。

## (九) 作物

(1) 水稻 分早中晚三種，畧述如下：

早稻 品種有早白米，或稱九工子，紅頭早，觀音早，絲苗早，赤絲苗，紅頭早，白絲苗，紅頭早等。皆於春分時播種，先將種籽用池塘之水浸過二日，取起後，傾入籬筐中。其籬筐內圍襯以稻草，屯置二日，即可萌芽，遂撒播於秧田。播後三數日，排去其水，使秧芽曝露，至轉呈青色後，復畧灌以水，至十日後，又將水盡行排去，使表土晒白，然後復灌以水，計育苗約一月。在谷雨時節，即連土剷起，分植於稻田。其稻田多先施以廐肥或人糞為基肥，分秧後一月許施以乾糞灰肥，並行耕耘一次，再過二十天許，又施糞灰肥一次，第一五區者則多施以石灰，施後祇行中耕一次，又有直接點播於田者，播後十二日每株點施牛糞一撮，越二十餘日除草一次。田土鬆爛者多用脚耘，並點施牛糞灰肥，再半月以至二十日許，中耕一次，中耕後施以石灰，再用脚耘之。皆於大暑節前後收穫，每畝收量不等，由三石餘以至四五石許，就中以白米早為最早熟，約九十天便熟。次為觀音早絲苗早約一百天可熟，至紅頭早及赤白絲苗，紅頭早則為最遲，須一百二十日始可成熟。其早者品質優良，遲者收量較多，各有優劣，亦各有可取處。但就地農家謂其各有並重價值之原因，則又不在此。蓋該縣水田至晚造之季每有缺水之虞，故在水利甚足之田，則必栽植早

白米種，因該種早熟，且其稈苗矮細而較柔，故殘留之禾頭，容易腐化，便於趕緊接種晚稻也。至晚造有水缺之田，則常不能接種晚稻，縱便能之，亦恐失收。故農家在此情形之下，遂多取種其收量較多之遲熟種，當得一造豐收，即雖無晚稻，亦損失無幾也。

中稻 品種有馬尾粘，黃粘，搖粘等，統稱之曰大禾，其糯穀祇有遲糯一種，所有冷水山田或勞力缺少者皆種之，每年祇有一造。普通於谷雨時節浸種之法與早稻相同，惟播種多於傍晚時行之。播後一星期於晚間將水排去，至翌晨復灌以水，約一分高左右。迨至晚間又將水盡行排去，翌晨又復同樣灌水，約一分高，嗣後秧苗漸高，灌水亦漸加多，大概苗育一月左右，即可分秧，是時即在小滿節時期矣。分秧後二十天許，剷去四周田基之草，再過十天，中耕一次，并施以廐肥，施肥後復用腳耘之。又半月後，復施以牛糞和石灰之肥，施肥後祇行中耕，不用耘矣，從此亦停止施肥。惟注意灌溉，至寒露節後十天左右，即可收穫，每畝收量約可五六石云。

晚稻 品種惟有荔枝粘，凡足水之稻田多種之，於夏至前數日浸種二日，取起屯置之，約經三十餘小時，於傍晚時散播於秧田。播後三日，排水露秧，于後亦不須多水灌溉，如天候過旱，土質乾燥，方行灌水少許。至入暑前後分秧，植于早稻跡田。分秧後數日，如人工有暇，即用腳耘一次，將早稻禾頭踏沒土中，并施以廐肥，再越十餘日中耕一次，施以石灰；如土質鬆爛，則不用中耕，祇用腳耘。至霜降後，可有收穫，每畝收量約二三石云。

(2) 菸草 該縣栽種菸草者，於長江為最多，扶溪次之其品質則以長江之週邊產為最有名。其栽植時期，普通於寒露節後播種育苗。其法先整土為畦，淋以人糞尿水作基肥，然後將種籽畧和以草灰撒播之，并用杉木葉搭矮蓬蓋之，以避霜害。播後半月許始發芽，在未發芽之前，多不淋水，迨發芽後，每十日至半月之久，淋以稀薄尿水，至苗高寸許後行間拔一次，至清明前即可移植。其植法先整土作三尺闊之畦，用穴植法，每株距離約二尺，在未植之先，每穴淋水

尿各一杓，植後晴天每日淋水一次，約七八日，苗呈牛機，再一星期許，每穴株放人糞灰一碗，其糞灰不可接觸苗莖，致有損害，施後畧以畦旁之土覆之，俗曰點脚。再後每五六日淋尿水一次，至半月後每株穴又施以糞灰二碗。法與前次相同，惟施後將畦頂之土覆之，俗曰平行。再後每五六日亦淋尿水一次，半月後又依前法每株穴施人糞灰四碗，施後將畦間之土用牛犁起覆之，故俗曰上行。再經十一日許淋尿水一次，此時已屆四月間矣，遂行摘心一次，再過十餘日復淋尿水一次，即行止肥。又越十日許可收脚葉數片，再經十餘日見葉有黃斑，卽是老熟之態，遂將全株收穫。收穫後每葉連莖折斷，疊入竹筐內，畧晒片刻，收起堆置之，至翌日察其葉色有無萎黃現象，如無則須用草蓆或他簍衣被類覆之，使之發酵，俟其葉色變黃，然後晒之。晒時須先面而後背，其色方美觀云。如日光強烈，晒約二三日，可完全乾燥，遂將其頂葉中葉脚葉分別揀開，每十數片束爲一疊，發賣於長江墟爲創製生煙之用。計每斤頂葉約值六毫，中葉值約四毫，脚葉值約二毫，每畝收量約可八九十斤，全年總額約三萬餘斤。

(3) 黃麻 黃麻多產於第四區，種於平坦旱地，或排水良好之稻田，每與甘薯或稻作輪栽。通常於谷雨前後播種，皆直接散播或條播。播時先施以牛糞爲基肥，播後二十日許，淋尿水一次，約一月許，行除草及間拔一次，四十日後施以糞肥或老壁坭一次，再過一月後，又施糞肥或老壁坭一次，施後如仍有缺肥現象，則淋以尿水一二次。至立秋處暑間，可有收穫，每畝收量約可四百餘斤至五百斤許。

(4) 甘蔗 甘蔗於第四區長江一帶有一種之者。其種法截取蔗梢，留爲種用，於小雪後將梢用土覆之，蓋以稻草，至春分時節，則埋入土中，爲土質過乾，須時淋水，使其常保濕潤，在谷雨前一星期左右，施以糞肥，使其發芽易，而且苗壯，此卽育苗時之管理也。至谷雨時取出，剝去其葉鞘，移植於種地。其法先整土起，闊約三尺六寸闊之畦，將蔗梢斜植於畦上；通常每畦多分爲一列植之，其株間距離約二尺餘，種時每株施人糞灰半斤，植後苟飛土極濕潤，

則必淋水三天，至一星期後，施以稀薄尿水，又以後三星期間，每星期淋尿水一次，淋後每株再施糞灰肥半斤，施後覆以土，俗曰頭次點腳。又以後三星，期間每星期施以較濃之尿水一次，施完後每株又施糞灰肥一斤半，亦覆之以土，俗曰二次點腳。再越一星期後，復施濃厚尿水一次，此時苗之分蘗殆已定竣，遂收其幼弱者除去，每叢約留七八根爲度，以後一個月內，又平均施以尿水三四次，施後每株施糞灰肥三斤半，以畦頂之土覆之，俗曰平行，以後又一月內亦如前次施濃尿厚水三四次，施後每株又施糞灰肥二斤，花生麵十二兩，覆土至三四寸厚，自此以後，每隔十天，施尿肥一次，計施三次，即行止肥，遂將山下及上之破葉，隨時摘去。至霜降節後，即可刈收，每畝收量約二千餘至三千斤許除本地銷食外，多運往江西之大庾、湖南之桂陽境內發賣，每元約二十餘斤，年產總額約數百担云。

### (十)特產

一(1)草菇 草菇之栽培，於第五區董塘爲最多，次爲附城，概用稻草栽培者，其栽培草菇之地勢，以背陰向陽之南面爲佳。因草菇性好溫濕而忌北風雨也。該縣栽培草菇，年可二次，一在三四月開始，一在六七月開始。其在三四月間栽培者，概用晚稻稈；六七月間栽培者，概用早稻稈。其栽草菇用之稻稈，務須新鮮晒乾，方能耐久發菇云。至栽培之法，與各處大畧相同，先整起闊約三尺高約三數寸之畦，畦傍開溝貯水，栽培時將溝中之水和泥攪成稀糊狀，收栽培用之草把，放入溝中，以腳踏濕之，然後收踏濕之稈把，每二把之尾端，互相紐住，通疊於畦上，疊好一屋後，其中間即二稈把互紐之處，蓋以散草稈一列，是謂蓋龍骨，於是疊蓋第二層，亦如法行之。至第三層則不用再蓋龍骨，惟上面以散草覆之而已。遂告完竣。過後七天始淋水一次，淋水後其周圍又以散稈襯覆之，謂之蓋龍被。以後須時時考察稈之乾濕，如抽出中間之稈少許，用手擦之，倘微有水分溢出，是即濕度適中；不然，過於乾燥，必致蒸熱酸酵相俗謂火燒心，須淋之以水。每次淋水之際，須先行除去所蓋之龍被，淋後又復蓋面之培通常有菇種者，堆草半



月後，即有蕪發生；如無蕪種者，則須二十餘日至一月左右，方能出菇，每日早晨與午間收菇一次，其菇多行乾製發賣。其乾製之法，先將生菇剖開晒之，約乾至七成上下，用炭火焙之，其焙法係用一方灶，灶底填置炭火，炭火之上，棚一稀孔竹筴，將菇放於筴上，菇上又以竹筴壓之，使所焙之菇形扁平，又其焙菇時之炭火，須用草木灰覆之，使作陰熱之勢，則所焙之菇，方能潔白；不然，炭火直昇，則菇變黃色，甚不美觀。通常草菇每斤可焙得乾菇一兩八錢左右；如壯大者，或在氣溫較低時所出之菇，則每斤可焙二兩以至三兩餘云。每斤乾菇值約二元餘以至三元餘，常不一定，該縣年產總額約四千餘斤。

(2) 冬菇 冬菇於第四區出產較多，第五區亦有少數。其栽培冬菇概用五六尺周莖之楓櫃等雜木，於立冬後將樹伐下，削去枝葉，然後將樹之表皮用斧斲花，斲好後仍將原樹枝葉覆之，至翌年八九月間，將所覆之枝葉除去，使受霜雪。如其天候值霜雪下降之後，即天氣晴朗，繼之有大霧，大霧之後，又值晴朗，更有北風吹掃，則必多生花菰，質良量多，最有益益云。通常栽培冬菇者，於伐木後之第二年，即有少數菇收，此年謂之初花，至第三年謂之頭欄，第四年謂之二欄，第五年謂之三欄。就中以頭欄二欄之收量最多，迨三欄以後，則收量甚少，或竟至於無。其收量之統計，以伐木斲花時所費之人工多少為憑，大概言之，如當時費人工一日，則每年平均可收乾菇一斤左右云。其菇皆乾製後發賣，焙法與草菇相同，每斤乾冬菇普通稱為香信者即下等菇，每斤約值一元左右；通稱冬菇者即中等菇，每斤約值二元餘；花菇即上等者每斤約值四元云。

(3) 茶葉 該縣第五區之雌鷄山產茶頗多，黃嶺產者品質較佳，但產額極少，皆於山地種之，樹勢頗壯，高約四五尺，統計年產總額約萬餘斤，供本縣之用並無出口。

(4) 蘭花 該縣所產之蘭花，頗有名於時，從來作官該邑者，莫不視為奇珍異寶，購以贈諸朋友，咸謂為雅舉，因

之該邑人士專事栽培者，亦頗不乏人。查其蘭之品種，有大瓜子玉，細瓜子玉，賀春蘭，山白蘭，麻姑爪，麒麟尾，四季蘭等，就中以瓜子玉爲最佳，每盆可值十餘元；其次爲賀春蘭，每盆可值五六元；其餘皆屬通常價值不過二三元耳，茲將其各品種之性狀及一般栽培方法紀述于下：

性狀 瓜子玉，葉色深綠，厚而光滑，生勢稍弧曲，不甚灣垂，其花形如瓜子，其色潔如白玉，惟下部之花，有時微帶青色，及凋殘時，畧呈黃色，每年花發二次，第一次常在五六月間，第二次常在八九月間，每枝花朵必爲奇數，以五七九十一等爲常，而有大細之分者，因大瓜子玉之葉腹稍大，其花當出葉面；細瓜子玉則花與葉常並高故也，其花清而能沁人心脾。

賀春蘭 亦曰墨蘭，每年開花一次，逢春而發，故有賀春之名，其葉長尺餘，闊及七八分，色濃綠有硬性，其花每枝有十餘二十朵，高出葉面，花片赭黑而有黃脈紋，香氣亦濃。

麻姑爪 葉色深綠，厚而畧粗，帶硬性，花色亦白，瓣較長，每年花發二次，時與瓜子玉同，其花亦極清香。  
麒麟尾 又名鳳尾蘭，葉色淺綠，薄而柔軟，皆灣曲下垂，花白色，瓣長而薄，每年亦開花二次，氣亦清香。

山白蘭 多生于山谷之石上，葉色淺綠，薄而粗澀，不柔軟，花色極白，惟中有紅點，每年開花二次，時與瓜子玉等相同，亦甚清香。

四季蘭 葉色濃綠，其葉片大於瓜子玉等，而小於賀春蘭，但其粗硬則如之。花白色，似帶隱黃，氣亦清香。

栽培法 於立春前一星期，行將分蘖之時，即可分植，倘在立春以後，則蘭已分蘖，此時分植，每致幼芽損弱，是當留意也。分植時將母盆之蘭，先撥鬆其周圍，然後將全盆取出，於地上拍擊數次，則附根之土鬆散，遂順其生勢，將之分開，繁殖各盆。其栽蘭之土，須用燒過之塘泥，燒泥之法，頗有講究，將濕潤塘泥做成餅塊，或直取塘中之表泥乾已

成塊者，先於地上放乾草一層，後鋪穀壳一層，再疊塘泥其上。如是依法層疊，不拘多少，至疊畢之後，將最底層之乾草燃着，遂再將穀壳滿覆於堆面之上，使絕不透露爲宜。若透露通風，則坭色變紅或至於白，便不佳矣。通常乾坭燒一日夜即可取出，將其敲開，見土塊呈烏黑色者爲良。若將燒好之塘坭用茶麩水浸過數小時，則不生蛆虫云。浸後堆置地上，任其陰乾，以愈久而愈妙云。栽培時將燒製過之塘坭碎成礫塊，其花盆之底，先墊置瓦片數塊於底孔之上，俾能參透過量之水。然後放入塘坭，先以半盆爲度，於是將分植之蘭剪去其老弱之根，每盆放入三本四本或五本，植成三角四角或梅花點形，可悉由人意，放置好後，過滿填以土，并彈實之。植好後土面可被以棕絮，放小石壓之，使其表土生青苔後，遂將棕絮小石除去，既屬美觀，復能含蓄水分，被護表土。法洵盡善。又蘭性喜通涼，故宜置於陰涼通風之處，詠蘭詩云：「空谷產幽蘭」，其意可深長思矣。灌溉蘭花，須用清淨之水，間有浸製鴨毛水爲肥料者，聞可使生勢壯旺，但施用不宜過多，如十兩之水，祇可沖二兩之鴨毛水云。

### (十一) 蔬菜

(1) 白蘿蔔 各區皆有栽種蘿蔔者，惟於第二區爲最多，次爲三區，皆本地種，形長圓不甚大，以種於稻田或菸草跡地爲多。寒露時播種：先將種地耙鬆，不必起畦，施人糞或畜糞爲基肥，將種籽直接散播其上，播後用牛耙之，卽使之薄覆以土也。於是栽培之能事遂畢，不復管理矣。至大雪後，卽行收穫，去其苗，洗淨之，用鐵劍削成厚約一分餘之長條絲狀，晒至六成乾燥上下，卽置於竹筴上，用腳擦出其水分，再晒乾之。名曰菜條普通每百斤生蘿蔔可製菜條七八斤，惟第二區之恩溪產則可製十斤左右云。年產總額約數萬餘斤，多運銷於廣州各地，每百斤約值十二元至十七八元云。

(2) 油菜 油菜乃冬耕作物，各區皆畧有種之，惟於第五區爲多。其栽植時期，於晚稻收穫後，將其跡田犁起耙

鬆整平之，再用犁分開淺溝，然後將種籽混以牛糞灰，散播於溝內，復用牛耙過，使其薄覆以土，遂任其自然生長。至翌年清明前即收穫，每畝收量約可十餘斤云。

(3) 其他 葱，韭，蒜，茄瓜，蔬豆角以至芥菜，白菜，莧菜，通菜，椒薑之類，莫不有之，然皆普通品種，產額無多，栽培方法，亦無異處，故不詳述。

#### (十一) 果樹

該縣各地畧有散生之桃，李，梨，柿，柑，柚，黃皮，紅棗等果，但品種多非優良，產額極少，無栽培方法可述者。

#### (十二) 畜牧

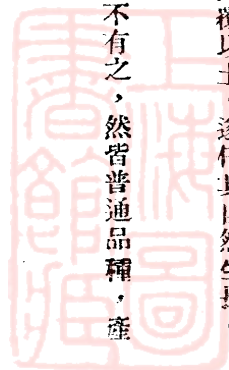
家禽以雞鴨爲主要，祇供本地之用，極少出口。家畜以養豬爲多，然年中出口祇有三數百頭而已。至養牛者多爲耕田役用，而一般佃農自養有牛者，殆不過三分二之譜，耕田時租借田主者，數殊不少，故該縣牛之出口更屬無幾。各種飼養方法，查無異處足供紀述。

#### (十四) 森林

該縣山嶺約有四百餘萬畝，而有森林之面積，不過約佔五分之一。蓋其縣之中部以南，東由扶溪，西達董塘，雖有樹木散生，實無面積可計，自中以北至長江城口一帶以至湘贛之交，頗多稠密之混成之森林。其樹種以松爲多，次爲竹杉，又次爲柯楓槲等雜木，其他散生於村落及河邊者，則以樟木爲多。該縣木材柴炭之出產，年中不過二萬元左右云。

#### (十五) 輸出品

米——每年輸出約六七百萬斤



紙——每年輸出約二萬餘担

菸——每年輸出產約三萬餘斤

草菇——每年輸出約四千餘斤

冬菇——每年輸出約千餘斤

紅瓜子——每年輸出約六千餘斤

菜條——每年輸出約萬餘斤

苗竹——每年輸出約十餘萬根

木材柴炭——每年輸出約二萬元左右

豬——每年輸出約三數百頭

### (十六) 農林前途之觀察

查仁化地廣人稀，計每農戶平均耕地面積統在十畝以上，故農業粗放。其水田多數祇種一造，雖與土質及早惠不無關係，然由於地廣人稀，勞力不足者實多。且全縣曠野岡陵以至山嶺，莫不草長如茵。畜牧種植，隨處皆宜，乃以地多人少之故，而任令地力未盡，正所謂滿地黃金，無人拾取，殊可惜也！



# 翁源縣農業調查報告

林純熙 調查  
何慶功

## (一) 位置及區域

翁源縣屬北江流域，東界連平，東南界新豐，西南界英德，東北界江西省虔南縣，西北界曲江，北界始興。縣治在北緯二十四度二十八分三十秒，經度距京師中線偏西三度八分四十秒。全縣地形為橢圓狀，面積約一千八百二十方里，合約五百四十八萬二千八百畝，人口約一十五萬，境內多山。全縣劃分為七區，每區設立民團局，辦理 方自事宜，另設聯團總局，以總管全縣團務。查第一區在附城西墟，轄在城、縣前、巖前等三舖；第二區在周陂墟，轄陳礫、九牛、周陂、藤山、崑山、標頭等六舖；第三區在坭子墟，轄芙蓉、茶園、巖頭 上庄 貴塘等五舖；第四區在新江墟，轄新塘、江鎮、太平、鐵場等四舖；第五區在龍仙墟，轄英村、李村、龍仙、藍青、鍾南等五舖；第六區在南塘墟，轄茶潭、牛崗、南塘等三舖；第七區在六里墟，轄九龍、利陂、龍頭等三舖。

## (二) 氣候

該縣氣候，溫度於小暑後至立秋間為最高，而於小雪後至翌年雨水間為最低，年中冷熱時期，各約四個月左右。其雨量於清明谷雨間為最多，寒露後至冬末為最少。至於下霜時期，常於冬至前後起，每於春分時節方收。又年中十二月至翌年二月，常有雪降云。

## (三) 耕地狀況

(1) 地勢 全縣農地面積共約三十餘萬畝，其地勢大概平原可佔百分之五十六，山谷可佔百分之十，崗陵起伏地可佔百分之五，山嶺可佔百分之四，斜傾地約佔百分之二十。就中有可種早稻之水田約二十五萬畝左右，可種晚稻者

約一十五萬畝左右，其餘高亢旱地及不能栽種水稻之田地，皆栽種花生甘薯及其他雜糧。在第二七五等區之旱地，栽種糖蔗頗多，第二區三華鎮一帶，則多植李果。各區農地，皆於冬間栽種大小麥及油菜，大概此等作物約各佔農地面積百分之二十左右。

(2) 土壤 該縣土壤大概可分為三種。一為農村中之耕地，多為墾熟之土，含腐植質稍多，顏色屬灰，肥度較好。土質亦鬆，為砂壤土也；一為距離農村較遠之耕地及山谷間之田地，腐植質缺少，顏色多黃，表土淺薄，質稍堅韌而瘠瘦，殆屬粘壤土也；一為高亢之旱地及沿河之埧地，色多赤黃，或黃白，質雖輕鬆而不肥沃，屬砂質土也。一般土壤之由來，概屬定積而成者，在農村中之耕地，多能栽種早晚水稻二造，距農村較遠或山谷間之耕地，則有能栽種早晚水稻者，有祇能栽種早稻而不能栽種晚稻者，其不能栽種晚稻者則多種以甘薯或少數之蕎麥，其餘旱地埧地，則悉種花生甘薯糖蔗之屬。

(3) 水利情形 關於水利上之設備，祇有水陂及高車二種，前者始有百分五十之農地藉以灌溉者，後者則不及百分之五，除此之外賴山間小水及山塘灌溉者，可佔百分之二十。全縣賴天然雨水灌溉者，亦可佔百分之二十五左右。

#### (四) 荒山情形

該縣山嶺面積殆有一千五六百方里之多，而荒廢山嶺則佔百分之四十左右。查其荒山皆有草生，其位置多不在農村附近，或極偏僻之區域，而在距離農村稍遠而與陸道交通相毗連之地方。故知此等荒山實非因樵採濫伐之所致，乃由無人保護，易引野火焚山而成也。至其荒廢年齡殆不可考，亦無崩毀現象，而質性並佳。

#### (五) 運輸交通

境內交通多循陸道，其道路多半崎嶇，故肩挑步履，亦感奇困。現該縣商正着手進行籌辦開闢公路，以達韶州，

預定翌年竣工，以後陸道交通運輸或較便利。至於水道方面，惟有羅水江，自該縣第五區之南鋪起經龍仙，從第二區之三角渡入三華鎮，與周陂河相會，再西流入第七區，經利龍，出官渡，而入英德與大北江會合。其所經過各地，悉可行駛帆船，惟河床多石，水流湍急，每每發生危險，人民交通，多不由此，惟物產運輸則賴之耳。

### (六) 耕作情形

(1) 冬耕 該縣冬耕栽種大小麥及油菜者，各約佔耕地面積百分之二十左右。通常於小雪前後，收晚稻或甘薯花生等跡地犁轉耙鬆後，播種大小麥及油菜；其餘則祇將其土犁轉，使其越冬，謂之轉霜田。但因農工缺少，不能轉霜者，亦屬頗多。

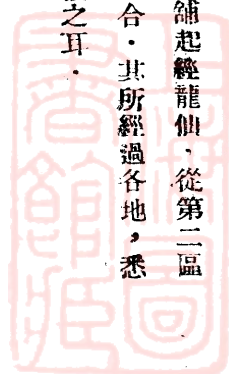
(2) 春耕 普通於清明前後將種大小麥及油菜等之跡田，及所有未行冬耕之田地，將其犁轉，如栽種水稻者，則灌水浸之，俟谷雨前後再行犁過耙鬆，以便栽種早稻；其不能者，則不須灌水，於清明前後將其犁轉耙鬆，直行播種花生或其他豆類雜糧等作物。

(3) 秋耕 於早稻收穫後，將其跡田用牛耙，橫直耙過至田土爛後，用轆軸輾平，插植晚稻。至其空閒旱地，或水利不足之水田，則多種以甘薯。

### (七) 農民經濟狀況

(1) 農戶 農民中田主約佔百分之二十，佃農約佔百分之五十，純佃農約佔百分之三十。其耕地面積以田主之田場為最小，平均約二三畝左右，半佃農及純佃農，則可在十畝內外。但混合的平均在十畝以下者，可佔百分之八十，在十一畝至二十畝者，可佔百分之十五，而二十畝以上者，則不過百分之五左右。

(2) 田地價 上等水田每畝約值一百六十元，中等水田約值一百元，下等者約值四十元。旱地每畝上等等者約值四





十元，中等約值三數元，下等者值約二三元云。

(3) 肥料價 普通所用而有買賣者爲石灰，每元約二百斤，菜糞每百斤約三元半，花生糞每百斤約值六元餘。

(4) 農產價 能供役用之水牛每頭約值八十元，黃牛每頭約值三十元，豬肉每百斤約三十六元，羊肉每斤約四毫，馬每匹約四十元，鷄每斤約四毫半，鵝鴨每斤約三毫，魚類每斤約二毫，薯芋每毫約五斤，葛每斤約半毫，泥濕花生每百斤約五元，乾淨花生每百斤約八九元，穀每百斤四五元，黃豆每百斤十二三元，麥每百斤約五元，花生油每百斤約三十四五元，甘蔗每毫二三根，黃糖每百斤約九元三，華李每百斤約四五元，三合渡桃每百斤約三元，沙田柚麻油柚每顆一毫半，黃麻每百斤約十元，烟草每百斤約二十四元，茶葉每斤約四毫，乾柴每担約五毫，木炭每百斤約一元二，草每担約三毫，苗竹每根約二三毫，木菇(冬菇香信)每斤一元餘至三元，草菇每斤一元餘至二元左右。

(5) 人工價 長工每年約三十元，另須全年膳食及供給草鞋雨笠剃頭等費，共約五十元；短工農忙時每工男約六毫，女約三毫；尋常時每工男約二毫，女約一毫，均供膳食三餐。大概忙時每天膳食費約二毫，尋常時約一毫半。該縣在農忙時之農工不足敷用，須由連平新豐等縣雇用。

(6) 田地租 不論水田與旱地悉用納租穀法，通常田租多以該田生產之總額作四六分租爲原則，例如有一畝之田可生產五百斤穀，則佃戶可得三百斤，田主可得二百斤，但不過畧本此種原則爲標準，並非行實地之分租也。查該縣每畝水田上等者年約租穀約三石，中等約二石，下等約一石，旱地每畝上等約一石，中等約三斗，下等約斗半，如遇荒歉之年，則酌量減少，或主佃平分。其收租方法，在近處者多由佃戶送到，在遠處者多由田主往收，收租時期爲七月及十月二次。

(7) 租田制 一般租田制度多由主佃自行商洽，以口說爲憑，並無預租押租或介紹等手續，至於須立租約者，

間亦有之，其程式，亦與各地相同。其租期限多無規定，倘能年年清租，又非田主欲自耕種，則可繼續永遠佃耕云。  
 (8) 農產貿易 農民出售農產，多挑至附近市場，其米穀一宗，於第五區南舖米商收買出口為多，蔗糖則於五區之龍仙商人收買為多，境內出售農產品多由肩挑輸送，惟輸出外境，則多用帆船。至外處與本地貿易之大市場，有英德，新豐，連平，及始興之清化等處。茲將其大宗農產之種類及其數量臚列于下：

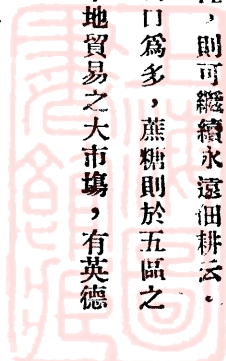
種類

總產額

出口數

附紀

米	一百萬担	五十萬担約值三百五十萬元	每担一百斤值銀七元計
花生油	一萬零五百担	五千担約值十七萬五千元	每担百斤值三十五元計
花生麵	一萬二千担	八千担約值五萬元	每担百斤值六元零計
蔗糖	二千担	畧有出口亦畧有輸入	
麥	三萬餘担	畧有出口	
油菜子	二萬担	無出口	
草菇	百餘担	百餘担約值二萬元	
竹紙	千數百担	數百担約值千餘元	
三華李	三千餘担	二千餘担約值萬餘元	每担五元計
牛	三萬餘頭	七千頭約值二十餘萬元	
豬	六萬頭	萬餘二萬頭值約二十餘萬元	
雞		千餘元	



(9) 借貸情形 農民中借貸者可有百分之八十，普通小農借款多係十元八元，通常月息爲三分，低者二分，高至五分；借穀以一二百斤爲常。借期半年每百斤加息五十斤，借錢還錢，借穀還穀，爲一般通例。大宗借款則須以自己田地屋宇等不動產業抵押，亦須借款人之親屬在場簽押，始得成交，借款時並多有中証人，須抽借款數百分之三至百分之四爲酬金。農村中有標會組織，爲經濟上互助儲蓄之良好方法。全縣有當押舖十四間，春夏間月息三分，秋冬季月息二分，農民周轉利賴頗多。

### (八) 畜牧

家畜以養豬爲最多，年來尤盛，因從前該縣農民習慣糶穀，年來則多糶米以故米糠甚多，可爲養豬飼料，且各地有水田裝設，尤不多費人力，是以養豬之業，比較從前年有增加矣，現計全縣每年出口豬額約二萬頭左右。養牛亦屬普遍，就中以黃牛爲多，除農家養爲耕田役用外，間有養畜大群者，計年中出牛數約有七千頭左右。惟自去年冬以來發生牛瘟，至今未已，計全縣斃牛不下萬餘頭，故今年牛之出口，殆無幾許矣。

家禽以養鷄爲多，養鴨次之，皆屬農家之副業，年中亦有出口，值約千餘元云。其飼養法與各處相同。現在亦發生鷄瘟，無法消弭，茲並述其家畜病害之情形如下：

牛瘟 自去年冬起發生牛瘟，遍及全縣至今仍然，計斃牛不下萬餘頭。所斃之牛多在各區市鄉場宰賣，農民亦喜其便宜而嗜食之。因而轉相傳染，無法防弭。查其牛瘟發病之初，不反芻，不食草，鼻唇乾枯，無汗，兩耳冰冷，繼之排洩稀糞，筋脈頻頻縮動，且大便洩血，及至牛尾骨骼有七八寸鬆軟時，卽爲將死之徵。症重者經過四五日而斃，輕者可達十餘日云。

鷄瘟 最近數月來始發生鷄瘟。現各處或有或無尙未普遍，亦不甚劇烈。該縣往年亦常發生鷄瘟，但多屬急性症。

，每不見鷄之病徵突然張翅震動而斃，斃後尸肉立呈紫黑色。至於現在所發生者，則多屬緩性，初見其食慾減少，繼之不食，終至羽毛鬆落，頭頸收縮，作聲一若有鯁在喉病者，經過三數日，以至六七日而斃，斃後尸內多不變色云。

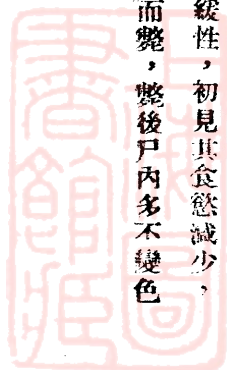
### (九)作物

(一)水稻 該縣栽種水稻年可二造，其可栽種早稻之水田面積，約有二十五萬畝之多，可栽晚稻者約十五萬畝左右。全年出產穀額約有一百七十萬担，足供本縣二年之食用。故該縣水稻為其主要之作物，其所佔農地面積亦有百分之七十左右。茲將其水稻品種及栽種土法畧紀于次：

早稻 其普通品種有嘉慶早，黃穀子(八十日有收)，百日早，川禾，早赤，兩季禾，早糯等，就中以嘉慶早為最多。普通皆於清明前後浸種，三日起水後屯芽二三日，乃撒播於秧田。播後十日許淋以人糞尿水一次，再一星期左右用剷秧法分植於稻田。分植後半月許，每畝施石灰百餘斤，施後用脚耘一次，以後除注意灌溉外，不須他項管理，至大暑前後收穫，每畝收量約可五百斤許，全總產額，約一百二十五萬担左右。

晚稻 普通品種有油粘，白冬，赤冬，下季糯，香粳等，就中以白冬及油粘為最多。通常皆於夏至前後浸種二三日稍見甲拆時起水，不用屯芽，即行播種。其秧田先施以人糞肥，然後播種。播後一日行排水，以後不須水浸迨極乾旱時灌水蔭之。至立秋前後行拔秧法分植於稻田間，有於小暑前後播種者，則行剷秧分植。植後十日許，施人糞一次，施後即用脚耘之。至立冬前後收穫，每畝收量約可三百斤許，全縣總產額約有四十五萬担左右。

(二)麥 該縣所種小麥居多，統計大小麥栽種面積約有五六萬畝，皆為排水良好之水稻跡田，或附近農村之上等旱地。通常於小雪前後將種地犁轉耙鬆後，復用淺犁由外而內為螺旋進行，開為淺溝，其麥之種籽與人糞尿灰和



好，另由一人跟後用手點播於溝中，俟淺溝○好後種籽亦可同時點播完竣。播後用牛耙薄覆以土，有肥料者撒施厩肥其上，或淋以糞水；但不施肥者，亦屬不少。至翌年清明節時收穫，每畝收量約可七十斤，全縣產額約三萬餘担，

(3) 糖蔗 該縣第七區六里之南，門坪一帶第二區三華鎮對河沿岸，及第五區三合渡附近南舖等旱地，多種之，普通留頭連栽二年至三年後，用花生甘薯等作物輪栽二三年，始再新種糖蔗。其新種方法，概用蔗梢於二月間種植，其法與各處無異。種後中耕除草培土，及夾殺蚜虫等，亦與各處相同，惟其施肥多行二次，第一次於苗高六七寸時施以人糞水，第二次於苗高尺餘二尺時，施以菜糞，每畝百五六十斤。通常於十月間收穫，至十二月完收，每畝收量約可五十担，全縣產額約二萬担左右，由十餘處之糖寮榨製黃糖出品約二千担許。該縣之糖實際不敷本縣之用，但亦有出口運平新豐等縣者，而一面復由英德輸入不少云。

(4) 花生 亦為該縣出產之大宗，各區旱地莫不種之，年產總額約可三萬餘担。通為榨油之用，計年中榨油有一萬坊左右。每坊須乾淨花生三百四十斤，得花生米二百四十斤，可榨油一百零五斤許，生麵一百二十餘斤云。

(5) 甘薯 為該縣之主要雜糧，每個農家莫不栽種。其法與各地無異。茲不備紀。

(6) 油菜 為各區之冬間作物，其栽種面積與播種時期及方法，畧如麥作相同。全年產額約二萬餘担，皆榨油為點火之用，其麵為肥料悉無出口。

### (十) 特產

(1) 草菇冬菇 草菇各區皆畧有栽培，而於三四區為多。冬菇則惟第三四區有之耳，年產總額共約百餘担。多運銷於廣州，其栽培法則與各地相同。

(2) 茶葉 於第五區李村爲大宗，年約三萬斤左右，品質畧佳，除本縣銷用外，畧有出口英德及連平境者。

(3) 竹紙 於第三區魯溪一帶爲多，次爲第四區之金竹坑，又次爲第五區之李村，皆有製造，惟出品粗糙，祇供包裹及奉神之用，年中出口約千數百担云。

### (十一) 園藝

該縣蔬菜無特別品種，亦無大宗產量，惟農家栽種爲自己佐餐之用，及供給區鄉市場少數之需而已，故無足述，第查果樹方面，有畧成園藝規模者，如第二區三華鎮之三華李頗有聞名。該處旱地頗多，除栽種糖蔗欖旱作物外，多栽植李果，連綿六七十畝，皆爲李樹，據云。皆爲百數十年前所植，現在確有少數增植，但老種因年代久遠，仍不足補其枯死之數，且結果量與數十年前相比較，則已減少太半云。推原其故，實因連栽太久，不能維持其肥力之所致也。其李之品種，傳自何方，現不能攷，其果形比曲江之南華李爲大，皮肉皆紅，成熟果皮着帶霜白質，甜酸而畧爽，結果年齡，約須十年左右。概用株根分蘖之幼苗繁殖。先移植於圃地二三年後，再行定植，俱於春季行之。每株距離約丈餘，植後甚少中耕，間有於落葉後剷草一次，并有畧施以菜蕘者。但普通多不施肥。至剪枝及其整理方法，均不甚講究，雖寄生極多亦不剪除。果熟期，在芒種夏至間，多由船運至廣州發售，年約二千餘担，每担值三四元以至六七元云。其餘第七區六里之麻油柚，及第二區三華劉家園之沙田柚，品質亦佳，惟栽植不多，統共不過數十株耳。其麻油柚果形渾圓，皮較粗糙，味清甜多汁，不如沙田之清爽甜爲可口也。年中產量統計不過千數百顆，無出口，祇在就地零沽，每顆一毫半。又三合渡之桃第四區和坪之枇杷，均爲該縣有名之果品，但出產量不多，祇供本地銷售而已。其他各處散生之龍眼，枇杷，柑柚等雖有，亦不足述矣。

### (十二) 森林

該縣森林面積約有八九百方里，殆可佔山嶺面積百分之六十，就中以人工林及天然生長加以人工保護成林者爲多。此種森林位置多在鄉村附近，其成林之相，則以純粹松林爲多。其性質則保安經濟兼而有之。此外在偏僻之區，人跡罕至之處，如縣境邊陲之山嶺，則多雜木林，或竹林，尤於第三四六等區爲多。其雜木林，除供少數薪炭用外，畧有栽培冬菇者，竹林則供造紙及竹器之用，至於杉木林，殊不多見。查該縣森林材木鮮有出口，究其原因，實由於運輸不便，所有河道均屬水流湍急，且多亂石不能放行木排故也。

### (十三) 農村教育狀況

#### (1) 學校數

中學 全縣有縣立初中一所，設在第二區三華鎮內。

高小 第一區有縣立高級小學一間，第二，三，五，六區各有區立高級小學一間，計全縣共有高級小學五間。

初小 第一區有初小七間，第二，四，七區各有二間，第三，五，六，區各有一間，計全縣共有初級小學一十六間。

#### (2) 學生數

初中 縣立初中學生一百一十名。

高小 第一區八十名，第二區三十名，第三區四十八名，第五區四十名，第六區四十名，計全縣共有高級小學生二百三十八名。

初小 第一區二百七十名，第二區五十六名，第四區四十二名，第五區四十八名，第六區四十八名，第七區一百一十四名，計全縣共有初級小學五百七十名。

#### (3) 教育經費

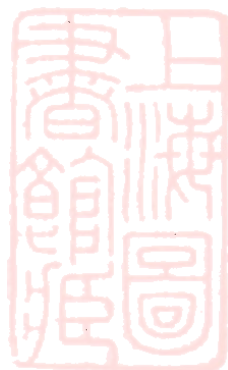
初中 一所，經費約六千元。

高小 五間，共經費約五千八百元。

初小 十六間，共經費約二千餘元。

#### (十四) 農林前途之觀察

查該縣農業之主要生產，厥惟水稻，一年之產，足供二年之食。蓋因其年可栽種二造水稻之外，復能於冬間種麥，所謂旱地亦莫不栽種雜糧等物，在農工不足之縣，而尙能地盡其利，亦可謂難能者矣。但土地多而勞力少，經營方法自不免流於粗放，故該縣農業欲圖改進，似宜減少此項須勞力資本較多之農作物，而增進其他畧能粗放之經營。查該縣之旱地及半旱地所佔面積不少，此等土地以之經營農藝作物，則所費勞力與資本多，而所得利益則少，若能改植果樹如桃李柑桔楓栗烏欖或油桐等，則勞力資本自能減少，雖收穫之期，稍爲延長，而經營果樹之利益，則必倍蓰於栽種普通作物，此爲最適合於該縣糧食有餘，農工缺少之情境，願翁邑人民起而圖之可也！





# 乳源縣農業調查報告

林純熙  
何慶功 調查

## (一) 位置及區域

乳源爲北江流域，舊屬韶州府轄治。東北界樂昌，東南界曲江，西北界湖南邊境，西南界連縣及陽山，南界英德。縣治在北緯二十四度五十二分，經度距京師中線偏西三十度五十分。劃分全縣爲五區：第一區爲附城及東南一帶，轄打鼓鑿洞，九仙洞，大塘洞，雲門地，大溪洞，小溪洞，大布洞等處；第二區爲縣之西南一帶。轄南水洞，深洞，坪溪洞，黃洛洞等處；第三區在縣之北，接連第一二區，轄龍溪地，均勻地，武豐地，清源地，西山地等處；第四區亦屬縣之北，在第三區之上，轄梅花地，雙橋地，雲巖地，遼水地等處；第五區爲縣之極北，在第四區之上，轄共八甲。查全縣地形，東西狹窄，南北延長，腹地山脈錯綜，四境尤有高山圍繞，地勢西北高而東南低。計全縣面積約三百七十四萬七千一百四十九畝，但平疇之地，至多不過百分之八九而已。

## (二) 氣候

該縣氣溫，以小雪大寒間爲最低，夏至立秋間爲最高，而年中冷熱時期，則各約有三個月，其雨量於仲春，至孟夏間爲最多，秋深後及冬則最少。每年下霜時，常在小雪以後至翌年春初雨水時節，方見收霜云。

## (三) 耕地狀況

(1) 地勢 查第一區之耕地，平均平原約佔百分之五十五，山嶺及傾斜各約佔百分之十五，岡陵起伏約佔百分之八，山嶺約佔百分之七，就中旱地約佔百分之三十五，多種以雜糧作物，其水田皆種早晚水稻二造，冬耕時其排水良好之水田及旱地，栽種油菜或小麥等。

第二區之耕地平均平原約佔百分之五十，山谷及斜傾地各約佔百分之二十，崗陵起伏與山嶺各約佔百分之五。其中旱地亦約佔百分之四十五，多栽種雜糧等作物，其水田則植早晚水稻二造，其排水良好之稻田及旱地，則種油菜或小麥。

第三區之耕地，平均平原約佔百分之三十，山嶺約佔百分之四十，山谷約佔百分之十，崗陵起伏約佔百分之五，傾斜約佔百分之十五，就中旱地約佔百分之六十五，水田祇佔百分之三十五。其旱地栽種雜糧，以甘薯包粟黃粟為最多，其水田每年祇植中稻一造，冬耕時多種油菜或小麥。

第四區之耕地，平均平原約佔百分之四十，山谷約佔百分之十，崗陵起伏約佔百分之五，山嶺約佔百分之二十五，傾斜約百分之二十。其中旱地約佔百分之五十五，皆栽種各種雜糧。其水田年植中稻一造，冬耕田地皆種油菜或小麥。

第五區耕地，平均平原約佔百分之五十，山谷約佔百分之十，崗陵起伏約百分之五，山嶺約百分之十五，傾斜約百分之二十。其中旱地有百分之四十五，皆係栽種各種雜糧，其水田年植中稻一造，冬耕田地多種油菜或麥。

(2) 土壤 一般土質皆屬半輕鬆，顏色以黃灰為多，之，砂性皆中幼，以壤土為多。粘土約佔百分之二十五左右，概定積之土也。

(3) 水利 各區鄉皆有山溪或河流 其在平原或山谷之耕地常能作坡，灌溉。高於河床者則設自動小車，法極妥善，惟工事頗巨耳。查第一區之耕地灌溉多賴此法。至高亢之旱地，則全賴天然雨水矣。

#### (四) 荒山情形

該縣荒山各區皆有，就中以第一區為較多。但查其荒山非絕對全無樹木生長，不過稀少而散生，或僅密生於一小

部，而大部無林木耳。一般荒廢之原因，多由於樵採任意，無定時之砍伐，或由於地勢有河流等障礙之斷絕，天然傳播種子不易，兼之土質乾旱，表土瘠薄，遂不易成林也。所有荒山以民有居多，惟從少買賣無價值之可言，荒廢年期，亦難考述，統共全縣荒山約有一百萬畝左右。

### (五) 運輸交通

該縣交通極不方便，行李往來多係循陸步行，除城東至曲江之龍歸四五十里路，可由乳源河行駛民船，及第五區接近樂昌坪石亦有河流直達韶州，俱能用民船輸運貨物外，餘則悉用肩挑。且境內交通道路，惟縣城沿乳源河東至曲江稍為平坦，其餘西南至二區北至三四五區，皆須越山逾嶺，崎嶇難行，恐有甚於蜀道矣。

### (六) 耕作情形

- (1) 冬耕 於秋收後十月間，其排水良好之稻田多行冬耕(乾耕)，將土犁轉耙鬆，播種以油菜或小麥。
- (2) 春耕 一般旱地於清明谷雨間行春耕，將土犁起耙鬆後，播植黃粟，玉蜀黍，芋頭，花生，青豆等雜糧。其水田在第一二區者，亦於谷雨前後春耕(水耕)，插植早稻；第三四五區者，則多於立夏前後始行春耕(亦水耕) 因其插植中稻，(俗稱大禾每年祇一造者)故也。
- (3) 秋耕 水田行秋耕者祇在一二兩區地方，普通不用犁轉，用耙將早稻跡田橫直耙爛後，插植晚稻，其餘一部旱地，有栽種甘薯等者。

### (七) 農民經濟狀況

(1) 農戶 農民中田主約佔百分之十，半佃農約佔百分之三十，佃戶約佔百分之六十。每農家之田場面積，平均田主者由二十畝至三十畝，半佃農者，由十五畝至二十畝，佃農者由十畝至十五畝左右，是為通常。

(2) 田地價 該縣自民國以來，地方治安無日寧靖，因之田地價格較之十年以前，每畝水田低減約十元左右，旱地每畝減低至約五元左右。現在水田每畝上等等者約六十元，中等者約四十元，下等等者約二十元；旱地每畝上等等者約二十元，中等者約十五元，下等等者約七八元。

(3) 肥料價 有買賣之肥料惟石灰與豬糞二種。其石灰每元約三百斤，豬糞每担約二毫四分云。

(4) 農產價 黃牛每頭約三十元，水牛約五六十元，豬生每元約三斤，鷄每斤約四毫，鴨每斤約二毫半，魚類每斤約三毫，薯芋每毫各約五斤，黃豆每百斤約十元，麥每百斤約六元，菜油茶油每百斤約三十餘元，蔬菜類普通每毫約三四斤，果類每毫梨約一斤，桃李各約一斤半，柑半斤，麻每斤約四毫，淫山茶葉每斤約二毫，柴每百斤約四毫，木炭每百斤約一元餘。

(5) 人工價 長工每年約四十元，短工閒時每日男工約二毫，女工約毫半；忙時男約二毫半，女約二毫，每日供膳食三餐，約需費毫半至二毫，每日工作約十小時左右。其長工須供給簔笠草鞋汗巾等物，每年約需五六元。一般雇主雇工間之情感頗好。該縣農工不甚充足，雇工者不多，雇外工者尤少。蓋經濟困難實為該縣普遍之情形，故惟有農業行租放經營而已。

(6) 田地租 無各種分租之制，惟有納租之法，就中以納租穀者為最普通，納租金者惟少數之旱地有之耳。通常水田每畝年納租穀上等約一百五十斤，中等約一百二十斤，下等約八十斤；少數旱地有納租金者，每畝由一元二元以至三元為多，即依上中下等不同之旱地而有別也。

(7) 租田制 租田祇由佃戶立批田帖於田主，其批田帖之程式如下：「立批田帖人某某，今因無田耕種，特來問到某某先生承應批出田種若干壩（按一壩即約當一畝）。坐落土名某處，計田大小若干丘，係某坡之水灌溉，當日言明

，遞年納租穀若干百斤正，六月一半，十月清完，不致少欠，今欲有憑立批帖為據。承批之時間，有先納押租者。或曰批頭，每畝約三元或五元，至脫佃時始如數發回。田主對佃戶除供納土地之外，別無他物，即間有給耕牛與佃戶養者，每年亦須按牛納穀，通常黃牛一百八十斤，大黃牛或水牛二百斤大水牛三百斤。

(8) 農產貿易 該縣無大宗農產品，亦無所謂貿易中心地，其一二三區附近縣城之處，在縣城買賣，下山一帶，則有赴陽山縣者，其四五區或接近樂昌之坪石，或接近曲江之桂頭，則多就其地貿易，因縣內各區鄉之市場無一繁盛者，即就縣城街而言，其正式商店亦不滿十間。該縣商務之衰落，概可知矣！年中輸入貨物以油鹽雜貨布匹等為主要，約值三數十萬元，其輸出之產物，當民元以前亦頗豐富，迨民國以後，則日就衰落，及至今日已達極點矣。茲將其民元以前，與現在之輸出情形，大畧比較如下：

民元以前輸出數

現在輸出數

附註

木材柴炭年約三數十萬元

約三數萬元

獠民產佔大半

花生年約百餘萬斤

約十餘萬斤

乳豬 未詳

約萬餘頭

肉豬 未詳

約六七千頭

棕繩 未詳

約五六萬元

皆獠民產

竹器(糞箕籬笠等)未詳

約三數千元

同上

冬菇年約三數千元

無

籬竹葉約萬餘元

約三數千元

鼓筒槳板篙桿等山貨約數萬元。

約數千元

(9) 借貸情形 該縣甚貧瘠，經濟極困難，無繁榮商場，無大宗出產，人民亦少有搖會標會等組織。全縣無一當舖，金融枯竭，周轉無由，農民中須借貸者，在百分之八十以上，但其月利率通常每月每元，亦在五分以上，高至十分，低者一分半。其高利貸之原因，金融短絀有以致之，通常小農借款少者三數元，多至數十元，其少數借款多不用抵押品物，大宗借款則須以自己不動產業為之抵押，並要親屬在場見証以便追取，而免瓜葛。年中農民經濟最困難之時期為四五月與十二月間，因其時青黃不接及度年關故也。

(10) 農具 犁 形如也字，犁弓用木製，犁頭以鐵鑄成，係本地製造。全副犁值一元三毫，為犁起土塊之用。耙 形如而字，重約十四五斤，用鐵打成，共十六齒，多由湖南人製造，每張約值三元左右，為耙碎土塊及覆土之用。

鐵札 卽齒耙，通常為五齒，用鐵打成，每張值約六毫，多由湖南人製，土人亦能之，為鋤碎土塊及中耕之用。鋤頭 用熟鐵和鋼製成，每張值約五毫，湖南人及本地人皆有製者，凡鋤土作穴等用之。

脚踏杆 形畧如丁，用鐵製成，為杆崩土壤之用，杆時除用手壓插外，仍以脚踏助之故名。湖南人及本地人皆有製者，每張值約七毫。

鐵鈎 用鐵製成，每件值約一元五毫。湖南人本地人皆可製之，為培土整畦之用。  
鏟 用熟鐵和鋼製成，每件約值二三毫，割草割禾割麥等皆用之。

### (八) 畜牧

家畜以養豬為多，第三區養母猪者最多，出產乳猪合全縣計，每年出口約萬餘頭，肉猪則各區皆有養之，平均每

家年中可養大小豬二只左右，該縣肉豬出口，年約六七千頭云。養牛者概多為耕田役用，農家養牛者約可百分之七十，其中黃牛約佔十分之七，水牛約佔十分之三，其牛豬之飼養管理與他縣相同。

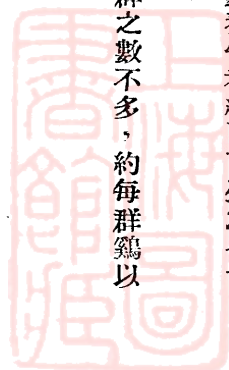
家禽以養鷄為主要，農家養者，可佔百分之九十以上，養鴨者祇佔其大半耳。但每家禽群之數不多，約每群鷄以四五羽，鴨以一二羽為通常也。除農家養為卵肉用外，出售甚少，故該鷄鴨出口殆無幾也。

### (九)作物

(1) 水稻 該縣栽種水稻祇有三分之一，其山居之人概以至蜀黍黃粟甘薯芋頭小麥等為糧食，故常有十年八年而未嘗一餐飯食者云。茲將其水稻栽種情形紀之于下：

早稻 有馬坭粘，絲苗粘，赤壳白粘，白壳赤粘，紅頭糯，紅壳糯，白壳糯等，該縣第一二區水田多種之。通常於春分時浸種二日，起水屯芽二日，即撒播於秧田，其秧田先施以石灰及人糞畜糞等為基肥，播後三數日，排去其水，撒施以篩過之畜糞粉肥，施後不須多灌浸，惟能保持其土之濕爛已足，至谷雨前後，收秧剷起，分插於稻田。其稻田多先施以廐肥為基肥，至插秧後廿餘日，施石灰一次，施後用中耕器或腳耘之，耘後復撒施家畜糞為補肥。其肥料足而有人工者，則再後一星期許，又依前法施肥耕耘一次，至大暑前後可有收穫，每畝收量約三百斤左右。

中稻 通稱大禾，其品種有白壳粘，赤壳粘重陽禾，花壳糯等，該縣第三四五等區水田皆種之，每年祇植一造，聞因水土較冷故也，通常於清明後浸種二日，起水屯芽二日，即撒播於秧田，其秧田多施以畜糞石灰等為基肥，播後半月許，又施碎糞一次，以後有淋以人糞尿水一次者，至立夏前後拔秧，分植於稻田，其稻田亦多先施以廐肥石灰等為基肥，至分秧後一月許，又施以石灰，施後用中耕器或腳耘之，耘後復施以家畜糞肥一次。至寒露時節收穫，每畝收量約可三百餘斤云。



晚稻 其品種有矮脚油粘，高脚油粘，細米粘，重陽大糯，石子糯，雪糯，紅糯等，該縣第一二區皆種之。於芒種後浸種約二日，起水屯芽一日，即撒播於秧田。其秧田及播後之施肥管理，一如早稻，惟其秧田土質可畧使晒硬，非至爆拆不須灌溉。至大暑後拔秧分植，分植後二十餘日施石灰，或石灰和糞肥一次，施後即用中耕器或用脚耘之，至寒露時見稻近青熟遂行排水，至霜降前後，即可收穫，每畝約二百餘斤。

(2) 小麥 該縣各區鄉冬耕種麥者，約有三分之一，種於排水良好之稻田，或甘薯蕪糧等之跡地。普通於立冬前後將田地犁轉耙鬆後，麥種用水浸過，和以碎糞，用散播或條播之。播後用耙輕覆以土，即事工完畢，至翌年春清明節後一星期許即可收穫，每畝收量平均約可一百五六十斤，為農家糧食用，無出口。

(3) 油菜 各區鄉皆有栽種油菜者，其種地與小麥同，普通於小雪前後將晚稻跡地，或其他蕪糧跡地犁起耙鬆，用犁開淺溝，每畝用種籽二斤，先以水浸濕，并注以菜油少許，擦拌勻之，再和豬糞粉肥條播於淺溝中，播後用耙輕覆以土，以後則不須管理施肥，倘播後半月間天候晴朗，則生長必良云。至翌年清明節時可有收穫，每畝約二百斤許，概為榨油食用。

(4) 雜糧 該縣雜糧可佔農作物之大半，其山居者長年皆食雜糧，食米飯者為稀罕。其雜糧以甘薯，芋頭，玉蜀黍（土稱番粟），黃粟等為主要，各區皆有種之，尤於三四區為最多，此外各山徭民亦純以此為糧食，其次花生青豆各區皆有栽種，惟現在出口甚微矣。

### (十) 園藝

該縣園藝殆無足述，在果樹方面桃李柑柚枇杷等，皆稍有出產，但皆非關園種植，或着意經營者，皆屬隨意拾取天然實生苗木，散植於家屋前後，或園圃之旁，以三五株者為普通，就中惟桃李稍多。在大塘官溪南廠嶺頭等處，每年



產桃約有百數十担，嶺頭一帶產李約數十担，皆分銷於縣之境內各地，毫無出口。品種亦窳劣，誠無足取。此外柑柚枇杷雖各區皆有，但爲數更少。至於蔬菜方面，祇有農家栽種些少以爲自己食用而已。蓋境內無一繁盛市場可以銷賣，是以專業經營者，亦絕無其人。

### (十一) 森林

全嶺山嶺面積約可六百餘萬畝，森林佔有之面積殆近五百餘萬畝。其中人工林約可佔百分之三十左右，而於一四五區爲多，此外獠民居住之山嶺，亦屬不少，多屬杉木之林。至天然林則首推第二區下山一帶之雜木林綿延數百里，皆稠密蔭蔽，道路經其間，行人不見天日。其樹種以檀，栗，櫟，樟，楠，竹等爲多，且多老年之拱木云。其次第三區亦屬不少，在民元以前，該縣木材柴炭之出口，年可三數十萬元，且第二區之苗竹亦多造紙，洎乎民國以來，地方多故，賊匪如毛，對於山林之利，多不敢告問矣。查現在年中杉木板料及雜木圓器鼓筒槳桿等出產，尙有三數萬元，但屬獠民產者，殆居其過半。

### (十二) 農村教育狀況

該縣教育極不振興，查民國初年曾辦高小一間，嗣以地方多故，賊匪如毛，各區鄉來學者，常被中途擄掠，因之遂停辦多年矣，現正籌辦恢復，然亦當在土匪肅清之後也。現查該縣學校祇縣城有初級小學四所，學生人數共約一百四十人；其餘則概爲私塾，或已改良，或仍舊「子曰學而」，不一而足。計全縣私塾第一區約二十間，第二區約五間，第三區約四十間，第四區約六十間，第五區約四十間，統共學童二千餘名，平均失學兒童約佔百分之八十以上。其初小教員每校有二人，多係從前之高小畢業者，私塾每間有塾師一名，多係八股先生或高小畢業者充任。小學之經費年約二百元，私塾之經費則全賴學童所奉之束修。該縣曾設一教育局，亦虛有其名，從未負視察指導與設法振興之責，然查

其教育進行上之困難亦多，其主要原因，則經費師資缺乏，及治安不良是也。

### (十三) 農林前途之觀察

該縣耕地價格較之十年以前爲低廉，農產數量較之前清之末爲減少，可知其農業之日就衰落。查其原因由於地方多故，兵燹時遭，農村經濟之基礎破壞，居民遂挺而走險，流爲匪類。而該縣人民，性本頑悍，聞家庭父母妻子之間，常有以其子其夫不能作匪爲懦怯者，因之匪風日熾，盜賊如毛，以致農業日益粗放。其稍偏僻及遠涉之農地，且任其荒廢焉。故欲該縣農業，恢復舊觀，首宜肅清盜賊，深願政府注意及之！

### (十四) 附該縣獠民生活概況

#### (1) 獠山及人數

該縣獠山有齋公田，黃坑坎，烏坑，樟木坑，茶地脚，上散坑，下散坑，坪坑，蛇坑，上老屋場，下老屋場，楠木坪，計竹園，坭尾，丹板坑，溪頭，中心坑，賴大石，圳頭，射水坑，茅坪，磜下，柑子坪，公坑，南坑，黃斜，青石等坑，計男獠約七千餘人，女獠約五六千口。另特別區域大東山，坳頭，東山下等處，約有男獠三十餘人，女獠二十餘口。

#### (2) 獠民之農工業出產品

獠民耕種，皆在山嶺旱地，其農產有甘薯番粟(玉蜀黍)黃粟芋頭陸稻等雜糧，皆爲其主要食糧，養豬亦頗多，養牛則甚少。其猪多爲自己宰食，或婚喪應用，極少出賣。其林產則有木板(棺木)，棕繩竹器(鬚箕籬等)及茶葉等，皆其自己所種，兼行製造者。每年出產計棕繩約值五六萬元，木板約值萬餘二萬元，竹器茶葉各約五六千元云。

#### (3) 獠民之交通運輸及其貿易

獠民居住之地，皆深山峻嶺，所有道路皆狹隘崎嶇，普通人殊不容易登越，惟獠民輕捷如猿，日行百數十里亦自

如也。其運輸，女孺用布袋盛物以背負爲多，男孺則用肩挑爲常。其貿易與漢人相通，有赴樂昌，坪石，或曲江桂頭等處者，有來乳源縣街者，各因所居地之相近爲依歸也。而漢人亦多入孺山貿易焉。

(4) 孺民之衣服裝飾

皆質樸而簡陋，男女衣服概用粗布，衣衫背面皆以絨線綉一四方花紋。普通之女孺皆不穿褲，祇圍以節裙；但特別區域者，則穿長褲，且女孺頭妝亦微有不同。在普通各山者，年稍老大之婦，皆梳二角髻，年輕者則多束髻，戴以尖帽，其帽用竹匡做成以頭巾圍之，并綉以花紋；在特別區者，則頭頂一疊花布，再覆以頭巾，與漢人束束比較近似。其男女皆戴耳環，每重約三四錢以上，間有一耳繫二三環者。男孺普通皆留半頭髮束爲髻，未留之部，則剃去之，在特別區者，則多不留髮矣。又鞋襪永不穿着，衣服亦不替換，由新穿至舊破，雖污垢亦不洗濯，冷天亦無棉襖以禦寒，惟着二三件單衣即可越冬。

(5) 孺民之飲食嗜好

孺民不喜煙賭，惟嗜燒酒及食豆腐。普通膳食皆係雜糧，卽番粟，甘薯，黃粟，芋頭等類，無米飯食，間喝稀粥，菜蔬亦極罕用。

(6) 孺民之居住設構

孺民房屋多在山腰背風之處，地勢多峻狹而不廣平，坭牆瓦屋居多，間有用樹皮茅草搭蓋者。其寢室類多無床，但有矮小之几桌陳置而已。

(7) 孺民之婚喪儀式

孺民與漢族尙無通婚者，其與同族中異姓或同姓五代以外相結婚，或憑媒介紹，或自由結合，頗合現代潮流。其娶

親亦需身價禮物，聞其所費少者十餘元，多至百餘元，一隨貧富而別，但訂婚之後，可先行擇日于歸，身價不足可容俟後續交。其于歸之日，由女家男婦數人或十數人送之，並有少數妝奩箱櫃之屬着三數人抬之，而新婦則手擎一油紙雨傘，其傘之邊沿貼以五色紙樣，步行歸室以當花轎；間有用鑼鼓樂器及請親朋宴飲，惟酒席則用豆腐及猪肉云。至獠民身故，富者擇日入棺，開吊還山安葬，並請本坑道士禮懺，親友皆携香燭致奠，一如漢人，惟無軸聯軸帳之屬，至于貧者，死後則即日入棺收殮，家人畧致哀悼而已。

(8) 獠民之歲時祭祀

每年以元旦端陽中秋等節爲重要，每家必整齊椒磨豆腐，並用香燭紙爆等拜奉天神云。

(9) 獠民之疾病醫藥

獠民疾病鮮有延醫者，惟用自採之山藥服之，不愈則延請道士用香燭紙錢驅邪送鬼而已。

(10) 獠民之教育及娛樂

獠民多不受教育，在北山一帶獠民中，間有一二稍識之無者，曾倡辦私塾三四間，請漢人爲教師，但風氣閉塞，未嘗習慣，求知向上之心甚薄。故其教讀亦多無定時，三月五月讀輟靡常，即在教讀之時，亦祇於早晨讀書一次，飯後又往山嶺工作矣。又獠民實無娛樂可言，惟閒暇之時，夥同三五獠民手持鳥槍，往深山打獵，以爲消遣，或唱山歌互相答和而已。

(11) 化獠之政制

該縣獠民，早已歸於政化，雖無特設之獠官，而縣長亦得統治獠民。查獠民於數家之中，第一獠甲，於數十家中，又舉一獠總甲，此外立一撫獠目，選漢人而熟悉獠情并得獠民信仰者任之，月支薪水九元云。當獠民內部發生爭

爭執時，初由甲處辦，不服時，再由總甲處辦，又不服時，則由撫犛目處辦，如尊不安，遂由撫犛目呈報縣長，或犛民自行控告，但聞其內部爭執則極易調解，倘與漢人爭執，則每多失勸云。現犛民尚有與漢人涉訟懸案二宗。前據撫犛目丘璧聯所述者附紀於下：

一爲墳山涉訟事。係漢人某見犛山風水甚佳，頗爲垂涎，遂故與犛民交結，及至相熟，懇得犛民允許葬墳一穴於犛山，此乃數年前事也。及至今年該漢人又葬一墳於其下，於是犛民謂其履霜堅冰，恐從事日益霸佔，遂不許其再葬，乃投報縣中縉紳。聞當時曾限該漢人將墳遷葬，而漢人不允，又令漢人補回多少山價與犛民，准其安葬，而犛民不允。於是犛民控諸分庭，待傳訊後，雙方扣押，嗣經撫犛目保准釋放後，該犛民與該漢人私自和解，彼此無事已有數月。但因未呈請撤銷存案，又被分庭傳之拘押在獄，至今仍未釋放云。

又一宗爲殺斃人命案。緣因有一漢人木商常與一犛民貿易，詎該犛存貯現金頗多，遂起不良之心；一面約犛飲酒，一面串通匪類，俟飲酒時賊匪將犛擄去。行至中途，該犛老以爲擄去亦死，不如死在犛山，則其子孫仍得將其尸身收殮之爲愈，遂於懸崖之處，翻身墜落，因此不特未死，且已脫險，遂歸報其犛衆，謂該漢人木商引誘謀害，於是群犛憤激，將木商漢人打死，并匿不報官。後由木商家屬報案，遂傳訊兩方，該犛則絕不認有打死木商情事，而木商家屬方面，亦否認有引誘謀害之舉，故懸案不決，該犛仍拘押在獄。聞該犛現年已八十四歲矣，其犛子犛女每來探看，必作楚囚對泣，狀甚可憫云。

### (12) 犛民習俗雜誌

在數十年前犛民甚兇悍，隣居之漢人多畏之，後一面籠絡與之交結，一面犛民自身受天然淘汰，無法以制勝漢人故現在對於漢人頗覺馴服矣，但其對待外族仍極團結一致云。犛性忠實，在犛山有遺失物件，或放置於路旁壓以一石

，則永無人拾取，殆有路不拾遺之風。其與漢人交，多稱呼爲同年，長者稱同年哥，同年嫂，幼者稱同年弟，同年妹；漢人稱彼亦如之。此外男女之間，極尙解放與自由，孳婦在孳山中常不穿衣，雖袒胸露乳，亦習以爲常，夫婦同浴於一盆，絕不遮護，雖任人觀看，亦不知羞，惟訕笑則愠然不悅。其男女交際，多尙公開，當夜晚時候，各孳婦可持一松脂火把走往別處孳山尋其所歡，彼此皆然，不甚爲怪；但有時被其丈夫捉獲姦情，則罰以燒酒豆腐了事云。

# 連山縣農業概況報告書

何慶功 調查  
林純煦

## (一) 位置及區域

連山縣位居粵省西北邊隅，東界陽山連縣兩縣，西南界桂邊，北界湘邊。經度距京師中線偏西四度三十分，緯度在北緯二十四度四十三分。行政區域分六區：第一區爲附城，所轄有茅舖，禾洞，兩鄉；第二區所轄有上吉，沙田，兩鄉；第三區所轄有和睦，大富，上草，三鄉；第四區所轄祇沙坊一鄉；第五區所轄有楓，良，肖，鏞，四鄉；第六區所轄有省鄉，小三江，石田，高帥，上帥，五鄉。全縣地形如長方形，北部畧高，境內山脈綿延，岡陵起伏。平原之地甚少，就其城市村落多居山脚，田地梯級爲多。全縣面積約二百八十四萬八千零二十畝云。

## (二) 氣候

氣溫於夏至後至處暑爲最高，小雪至雨水爲最低。年中天冷時期約四個月，天熱時期約兩個月。每年霜降節後有霜，十一月下雪，翌年春分節左右收霜。其雨量最多在春夏之間，最少在秋冬之間云。

## (三) 耕地狀況

(1) 地勢 全縣耕地面積約二十餘萬畝，其地勢平均第一區平原佔百分之二十，山谷佔百分之二十五，岡陵起伏佔百分之五，山嶺佔百分之二十，傾斜地佔百分之三十；第二區平原佔百分之二十，山谷佔百分之二十五，岡陵起伏佔百分之五，山嶺佔百分之二十，傾斜地佔百分之二十五；第三區平原佔百分之二十五，山谷佔百分之二十，岡陵起伏佔百分之五，山嶺佔百分之十五，傾斜地佔百分之三十五；第四區平原佔百分之二十，山谷佔百分之三十，岡陵起伏佔百分之五，山嶺佔百分之二十，傾斜地佔百分之二十五；第五六兩區平原佔百分之十五，山谷佔百分之三十五，岡陵起

佔占百分之五，山嶺占百分之二十，傾斜地占百分之二十五。全縣植稻祇種一造，其他甘薯芋花生麥等雜糧，均有栽植云。

(2) 土壤 該縣水田土壤色澤，有灰粉，灰黃，灰黑，灰白等色。土質較肥者，為第三區，較瘠者第五六區，不肥不瘠者第一二四區，其土質皆屬定積土也。

(3) 水利 該縣山山相連，農田多在山脚之處，如地勢較高者，則起坡引水而灌溉，較低者則引山谷之水而灌溉。旱災之患甚少，但其中水利最不便者，則祇栽植包麥陸稻花生等，能抗旱之作物而已。

#### (四) 荒山情形

全縣山地約八百餘萬畝，而荒山面積約占百分之六十。查其所以致荒之原因，據該處土人稱，年中自八月至十二月，時有放火燒山之事發現，所燒時間恆有一二日至七八日不等，故其山雖有樹木亦被燒去無餘云。但查荒山中崩壞現象甚少，而其土質亦非瘠劣也。

#### (五) 運輸交通

該縣交通不便，因重山峻嶺，道路彎曲，河道又不能行舟，運輸一事，均由陸路肩挑。其運出境外之孔道，第一二三四區則至連縣三江，第二三區間有出廣西賀縣或湖南者，第五區則出賀縣，第六區則出懷集，至於杉木一項，非人力可能運輸，乃由溪水運出境外，其交通之困難，可想見也。

#### (六) 耕作情形

該縣耕地以水田居多，其水田不行冬耕，每於九十月間收穫後，至翌年正二月間，將稻田之殘餘禾頭，及收穫後之稻稈用火燒之，至清明節前後，始行着手春耕，計先犁耙一次然後灌水浸之，至屆分秧之前數日，再行犁耙一次，



即行插秧，並不施基肥。至其秋耕惟有多少，在早粘穀（即七月粘）收穫之後，將土耙鬆，整地為畦，而植甘薯者。

### (七) 農民經濟狀況

(1) 農戶 農民中田主約佔百分之十，半佃戶約佔百分之四十，半佃農約佔百分之五十。農家每戶平均農業勞動者三三人，每農戶耕地面積，約十畝至二十餘畝左右。

(2) 田地價 上等水田，每畝約百元；中等水田，每畝約六十元；下等水田，每畝約四十元，其旱地則甚少買賣云。

(3) 肥料價 其耕作常用之肥料，人糞每担一角五分，柴草灰每担約一角。

(4) 該縣供役用之水牛，每頭約六十元，至百元，黃牛每頭三十元至七十元，豬肉每斤四角，雞每斤四角，鴨每斤二角五，鵝與鴨同價，薯每角四斤，香芋每角二斤，葛每角一斤半，乾花生每元十一二斤，穀每百斤四元五角，豆每百斤十二元，茶油每元二斤半至三斤，沙梨每斤半角至一角，桃李每角二斤，棗每角二斤，烟葉每斤四角，茶葉每角六兩，棉花每斤八角，柴每元三四百斤，木炭每角四五斤，草每角一担，苗竹每條五角，草菇每斤一元六角。

(5) 人工價 長工年約三四十元，另供膳食及草鞋手巾笠帽等，約銀四五十元；短工忙時男工二角半至三角，閒時男工二角，均供膳三餐，女工無論忙閒之時，無人僱用，所僱之工人，均須土人。

(6) 田地租 上等水田，每畝納租穀二百五十斤；中等水田，每畝納租穀二百斤；下等水田，每畝納租穀一百斤，如遇荒年，則由田主酌量減少，或平均照分，其旱地則甚少出租云。

(7) 農具價 犁約一元二角，耙約五元，整約一元，草鎌約三角，轆軸約一元五角。

(8) 借貸情形 該縣農民耕種，祇收一造，至青黃不接之時，糧食不敷者，借貸困難。如能借得者，其利率亦頗

高·最高者每元每月一角·最低者二分，通常者三分；且有不以月計，而限於清明節清償，加本銀十分之三作為利息者；縣中有百分之五十·如借款額在十元以下可不用抵押，其大宗款項，則須不動產為抵押品，並須担保人，方能借得，但担保人須百分之三謝金云·

(9) 農產貿易 農民出售農產品多在本縣就近墟場販賣，年中由境外輸入之貨物，以食鹽布匹等雜貨為多·由境內輸出之大宗農產種類及數量，茲約畧述之如下：

農產種類

年產約數

米

約百餘萬斤

杉木

約十餘萬元

草菇

約萬餘二萬元

桐油子

約十餘萬斤

茶葉

約十餘萬斤

龍鬚草

約二三萬元

藥材

約三數千元

菸葉

約萬餘斤

雞

約萬餘隻

鴨

約二萬餘隻

茉莉竹

約三數千元

## (八) 畜牧

該縣人民純粹業農，畜牧以牧牛役用爲主要。年中於春耕時，且有宰牛之禁。縣中畜牛之戶，占有百之九九，所牧之牛，以黃牛爲多，水牛次之。農戶年中所販賣之牛，除本地秋冬之時，在墟場宰賣外。運出境外者，三數百頭而已。肉豬農家均有畜養，其銷路除在本縣各墟場販賣外，年中稍有出口云。

家禽 以雞鴨爲多，農家均有飼養三數十隻爲卵用或肉用，以備不時之需。惟鴨有專業經營者，就中一三兩區爲最多，年中五六月時買鴨子百數十隻以至數百隻飼養。其禽舍多在河溪，或山塘附近，田竹籬圍之，上面蓋以禾草或樹皮枝葉等，日間放其在河溪塘池及稻中覓食，專須一人看管。至十月後其鴨羽毛豐鮮，即行陸續運至連縣銷售，計年中約可二萬餘隻云。

## (九) 作物

(1) 水稻 該縣稻作，每年祇種一造。稻種有大粘穀，黃亮粘，花壳粘，金包銀，湖廣粘，早粘穀（分七月八月二種），大禾粳，香粳，大禾糯等。普通於清明節前後浸種三日，起水後屯芽三日，遂行撒播於秧田，不施肥料，至芒種節分秧於稻田。其稻田在清明前後犁耙一次，以水浸之，至分秧之前一二日，再犁耙一次，亦不施基肥。既分秧之後，約一日許，施人畜糞或草灰一次，施後用有齒中耕器具除草耕耘，越二十日左右，再行中耕一次，不再施肥，至處暑節時，早粘穀一種可以收穫，其餘各稻種，要至寒露節前後方能收穫，每畝收量，在第三區之田可收五百斤左右，第一二四區之田約收四百餘斤，第五六區之田則收二三百斤，每百斤值價約四元五角云。

(2) 籼稻 查籼民所種之稻，有水稻陸稻兩種，茲將品種及其栽植方法，分別記之如次。

水稻 有大禾糯及大禾粘二種，并有有芒無芒之別，均於谷雨時播種，不用浸種及屯芽方法，其秧田之整理，通

常於清明後數日，即行犁耙一次，犁耙之後，揀取草木之柔枝嫩葉，踏入秧田土中，以爲綠肥之用，於是過後數十日，又行犁耙一次，此時已屆谷雨，即行播種，播後不須管理，至四十日左右，拔秧時田，其稻田則不用冬耕，祇將其殘留禾頭及穫後稻草放火燒去，至翌年清明節前後，始將其犁起耙過，至芒種前後，再犁耙一次然後分秧。迨分秧後四十日許，用山齒形小耙，中耕一次，再二十餘日，又中耕一次。普通多不施用肥料，但人工周到而有肥者，亦間有於分秧時，施以草木灰等糞肥一次，至寒露霜降間收穫。

陸稻 有地禾粘，地禾糯，及黑米糯，就中以黑米糯爲最佳，但收量較少，皆種山嶺旱地。將地鋤鬆之後，於芒種節時，直接點播之，同時間有施以灰糞者，至播後則絕不施肥，惟行一二次除草而已。通常比水稻較早成熟，於寒露時收穫爲多。

(3) 搖棉 概屬草棉種，各地搖排，皆有種之，亦頗馳名。查其種法，極爲簡單，亦與普通法無大差異，於谷雨時點播於旱地，播時將種籽和以糞灰擦勻，每頭點播七八粒，至十粒左右，播後畧覆以土，並不再施肥料，惟行除草一二次而已。通常於白露時有收穫，年產總額無統計，多販於連縣之三江城市場商店，該商脫籽後發售。其脫籽法，悉用新式絞棉機。

(4) 菸葉 該縣農民多有種之，惟所種面積多不廣大，惟就中以第三區地方爲較多，除零沽於各城市，供本地生切食用外，年中稍有出口多由連縣三江商人收買之。

(5) 草蓆 在第三區出產，悉用稻草栽培，年產總額值約萬餘二萬元。

(6) 甘薯包麥大薯芋頭等，該縣各地亦多種之，惟祇供就地之食用。其種法亦與連陽屬地無殊。

(1) 果樹 該縣果樹無成園栽植者，不過三數株在居屋附近而已。如桃李枇杷柑柚棗梨等果，均有販賣於本縣各墟場，但品質不佳，殊無足取。其運出境外則絕無也。

(2) 蔬菜 蔬菜農家均有種植，所種者為自己需用。就墟場中稍有販賣者，則農家之有餘而賣於城市，若專營此業者則無矣。

### (十一) 森林

全縣山嶺面積約有八百餘萬畝，而有林木者約佔百分之四十。但其森林之分佈情形，約畧言之，在第一二三四等區可佔森林面積百分之二十，第五六區可佔百分之四十，餘各地嶺山可佔百分之九十，其中以杉木林佔百分之七八十。杉木林純粹以人工栽植，其種植方法：先將山土燒去茅草，於雨水節至春分節之間種植，採伐杉筍，將幹斷為斜面，插於山中，距離約六七尺至丈許，越三四年剷土一次，以防野火。其砍伐時期，在第五六區者約十五六年，其他各區非二十餘年至三十年則不可砍伐。蓋因第五六區之山嶺土質較肥，其他各區之土則較瘠也。至於松檉等樹絕無栽植，任其自然生長，蓋本地以此種樹祇為燃燒料而已。

### (十二) 農村教育狀況

該縣教育，極為不振。查全縣有高級小學三間，學生共約一百七十三人，教職員十人；初級小學十二間，學生共約三百五十八人，教職員十九人；私塾有八十七間，學童二千一百一十人，職員八十七人，其中失學兒童，占有百分之八十。其教育落後之原因，以交通不便，籌款困難故也。

### (十三) 農林前途之觀察

查該縣萬山重疊，交通阻塞，人民墨守古法，以為種植豐歉均委於天命，絕不改良。如所植稻作，年僅一造，若

能將其稻田多施肥料，使其土質肥美，則未常不可種植二造，以增加收入，又如各山嶺，能禁絕野火，實行植樹，亦為大宗之富源，此即深望有教養之責者，急起而圖之也。

#### (十四)附連陽獠民生活狀況

小北江屬連縣，陽山，連山三縣獠民不下十萬之多，而連山居其大半，即在農業上之地位，亦極為重要，如獠山杉木及其稻作棉花等，均頗有名，經在上面作物欄中畧為述及，茲復將連陽化獠局李成希局長報告之獠民生活狀況，及編者調查所得附紀於下，以備將來實施農政上之參攷焉。

編者附識

(1) 獠山及人數 連陽三屬獠山大排，共八小排共二十一小冲，約二百餘；屬於連縣者，三大排：曰油嶺，曰行祥，曰橫坑，曰小排，曰頭塘，曰橫山頭，曰增板田，曰浪家坪；屬於連山縣者五大排：曰軍寮，曰大掌嶺，曰火燒坪，曰馬箭，曰五更八洞，四小排，曰蒂源，曰盤血大坪，曰中爐坑，曰犁頭嶺；屬於陽山縣者三小排，曰大禾根，曰下坪寨，曰六暗冲，各排之下均有小冲，地名太多不備載。獠民之人數，三屬中男獠女獠共有十萬左右丁口云。

(2) 農業及工業 獠民勤力耐勞，耕種可能自給，所種植者，山嶺旱地為多，水田則須在居屋附近者始有之，其旱地所種者，陸稻米麥草棉等雜糧；水田所植者，乃水稻年中祇植一造，其種植各作物，以草棉為最佳，林產以杉木為大宗，其餘担杆及農具之輓軸等，均有製造，販賣於連縣三江等墟場云。

(3) 交通運輸及貿易 獠民住所均有山嶺，道路極隘，獠民不畏難苦，來往運輸，能負物以登，可見獠民之忍耐性也。貿易多在連山保安及連縣之三江墟等處，與漢人交易。

(4) 衣服裝飾 獠民男女皆束髮梳鬆，頸帶銀圈，耳穿大環，露胸赤足，男則頭裹紅巾，插雉鷄尾；女則戴三角白布帽，以示分別，衣服皆用粗布。

(5) 飲食嗜好 現在獠民貧富不等，富者日食米飯三餐，貧者兩餐粥，一餐飯，其極貧窮者，食包麥甘薯芋頭等雜糧充饑。惟性嗜酒，無論貧富日不可少，而所飲者多是水酒，在獠山附近墟場之商店，有專釀此種酒，以供獠民購買者，其他不良嗜好則無之。

(6) 居住結構 房屋多在山腰，用杉木或呢磚爲牆，上蓋以杉樹皮者爲多，間中有用大磚爲牆，上蓋以瓦者，惟屋宇極低隘，又污穢不堪，其廚房臥室均在一處云。

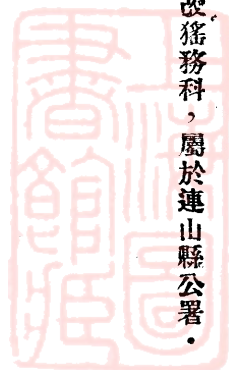
(7) 婚喪儀式 獠民結婚，不用媒妁有絕對自由之風，每年三月三日，爲賽飲節，六月六日爲賽土神節，十月十六日爲賽耍歌堂節。屆時男女同飲共食，擊鼓鳴鑼，齊集荒郊，唱歌跳舞，與高彩烈，苟能同腔合調，感情濃厚之時，女獠以手巾一條，掛在男獠之臂上爲訂婚之憑証，隔日男女成婚，親友往賀者，有紅對聯及雞酒肉等禮物，主人則以雞鴨猪肉豆腐酒等食品，大嚼一餐而散。獠民身故，富者亦有開喪之舉，親族往吊者，則持米肉香燭等祭品，貧者則草草棺斂而已。

(8) 歲時祭祀 獠民年節，與漢人無異，所食者酒肉豆腐云。

(9) 疾病醫藥 獠民有疾時，延醫診治者甚少，所療治者，採山中樹葉燒水洗浴，倘不見效，則請獠民中之道士，燒香燃燭，迎神驅鬼而已。

(10) 教育及娛樂 獠民讀書識字者甚少，就其中有讀書者，讀獠民之書籍，其字母與漢書相同，其讀音解法則異也。娛樂於每年歲首，則唱歌跳舞，遊行各處，元宵則男女往附近城市，向各機關歌舞，有吹簫者，有手持竹筒者，有持竹籤者，有負鼓者，跳舞時一齊吹打，有一種興趣，舞畢賞以酒及油豆腐，聚食而去。農閒之時，持鳥鎗往深山打獵云。

(11) 治化制度 治理獠民，前清時設有理獠同知，自民國之後，改爲獠務處，後又改獠務科，屬於連山縣公署。現改爲連陽化獠局，每排設有耆長一人，獠練數人，處理獠民糾紛。





# 陽山縣農業概況調查報告書

## (一) 位置區域及形勢

陽山縣地居小北江上游，舊爲連州屬，東界英德，東南界清遠，東北界乳源，西界連山，南與廣西懷集接壤，北與連縣相毗。縣治在北緯二十四度二十七分，經度距京師中線偏西四度六分。分全縣爲六區，統屬二十鄉：其第一區轄地爲附城大貴，高峯，水口，菁蓮，江口等鄉；第二區轄地爲小江，朝天橋，西江，嶺背，黃盆，黎頭，秤架等鄉；第三區轄地爲七鞏，太平，杜步，白蓮，東山等鄉；第四區轄地爲黎埠，寨崗二鄉，但其警察區署之位置，則在第一區之城南，及菁蓮、第三區之七拱，第四區之黎埠，寨崗，共設五區。而第二區則缺如。計全縣面積約五百四十六萬九千六百六十七畝左右。境內山巒層疊，且多突兀巉巖之山峯。

## (二) 氣候

該縣氣溫於小雪後至翌年春初爲最低溫時期，而於小暑後至秋初爲最高溫時期。年中天冷時期約有四個多月，天熱時期則約三個月左右。至雨量於春初至中夏間爲最多，秋後及冬皆少。每年下霜常於十月中起至春初始收，但二三月間仍常有冰雪下降，且厚及尺許云。

## (三) 耕地狀況

(1) 地勢 全縣耕地約二十餘萬畝，至三十萬畝左右，其地勢平均平原約佔百分之四十，山嶺約佔百分之二十五，傾斜者約佔百分之二十三，山谷約佔百分之七，崗陵起伏約百分之五。所有耕地以旱地爲多，水田極少，查各鄉水田所佔耕地面積在第一區之高峯，江口，則全無水田。菁蓮，水口約佔百分之二十，附城，大貴約佔百分之三十；第二區

之嶺背，黃盆，秤架約佔百分之三十五，西江約佔百分之五十小江，朝天橋，黎頭約佔百分之三十；第三區之東山約佔百分之五，杜步，白蓮約佔百分之三十，大坪，七拱約佔百分之六十；第四區黎埠，寨崗約佔百分之七十。但以全縣平均計之，則水田可居其二三旱地實居其七。所有水田，多係栽種早晚水稻二造，惟晚造每有缺水之患；其旱地除第二區秤架一帶及第四區黎埠沿同冠水一帶頗多。種糖蔗外，餘則以玉蜀黍爲主要作物，其次爲花生黃豆紅豆芋頭甘薯等。

(2) 土壤 一般旱地土質皆屬輕鬆之中幼砂土，顏色多黃赤而瘠瘦；水田多爲半輕鬆之壤土，顏色多黃灰肥度中等；山嶺以半輕鬆之紅赤土爲多，新墾時肥度稍好，種植——三年輪栽，第一年第二年爲薯芋，第三年爲花生——三數年後必行休耕七八年。因耕種時多不施肥，致不能維持其肥力故也。

(3) 水利 各區鄉之水利皆不充足，其高亢旱地固無論焉。卽就佔耕地面積約百分之三十之水田，亦祇黎埠，寨崗，七拱，大坪，黃盆，秤架等鄉，多能設陂灌溉，比較旱患稍少，然其水尾之田，及其他各區鄉者，則於秋冬之季雨量稀少，水源短乏，鮮有不患旱者。蓋該縣山嶺雖多，而森林甚少，水源雖長，而流則不能持久也。

#### (四) 荒山情形

全縣山嶺面積約有六百餘萬畝，而荒山殆佔有十分之七，就中又以第一區屬各鄉爲多，所有荒山多有茅草叢生，或有灌木小林，其荒廢之原因，約有二端：第一該縣農民耕種山地頗多，每於冬間習慣放火焚山，謂山不燒地不肥，因之焚林易而成林難矣；第二該縣山嶺殆有三分之一爲顯現之石山，至其隱含石底而被以淺薄之表土者，諒亦不少，則此種山嶺當然不易長林，尤其是深根之喬木林更爲不易。但關於前者，尙可加以禁令杜絕燒山焚林之弊，惟關於後者則屬天然障礙，非人事所易爲力也。

#### (五) 運輸交通

該縣河流四達，水運原屬便利。查第一區之湟水，又名陽溪者，為該縣巨津，第二區之菁蓮水，第三區之通儒水，第四區之同冠水，皆可通帆船，所有輸運出口貨物，莫不賴此水。惟秋冬之季，常致淺澗難行耳。各區鄉墟皆五日一期，境內交通多趁坐墟船來往，或循陸步行，但其道路則多狹隘不平耳。

### (六) 耕作情形

(1) 冬耕 排水良好之水田，於秋收之後，用犁犁翻其土塊，使曝露於霜雪，是謂轉霜田，間或砌窖燒土，但冬耕多種肥田子(野蘿蔔)，則其田地皆須犁耙整鬆其泥土後，方能播種。

(2) 春耕 於清明前後將去年冬耕所種之肥田子拔起斬碎，撒回田中，或直接將之犁反埋入土中；如水田栽種水稻者，則用水耕，其旱地栽種各種雜糧者，則用乾耕，其耕具不外犁耙而已。

(3) 秋耕 水田多不用犁，祇以鋤耙撕碎其早稻禾根及整爛其土壤後，畧灌以水，使強烈之日光薰蒸以促其腐熟，至插秧晚稻時，以輓軸輾平之。至於旱地則須犁起耙鬆，然後栽種玉蜀黍或甘薯等雜糧。

### (七) 農民經濟狀況

(1) 農戶 農民中田主約佔百分之十，半佃農約佔百分之五十，佃農約佔百分之四十，每農家耕地面積約畧平均田主由三十畝至四十畝左右，半佃農由二十畝至二十五畝，佃農由十五畝以至廿畝是為通常。

(2) 田地價 該縣田地面積不稱若干畝，係稱若干担租穀出，其每担租穀田，以畝計算，約合六分左右。據此併合畝計，其田地價格則每畝水田上等約值八十餘元，中等約六十餘元，下等約五十元。每畝旱地上等約值二十餘元，中等約值二十元，下等約值十五六元云。

(3) 肥料價 花生麵每百斤約七元，石灰每元約二百五十斤，人糞每担四毫，豬糞每担二毫半。

(4) 農產價 大黃牛每頭三十元至六十元，大水牛每頭六十元至百元，豬肉每斤三毫半，羊生每斤二毫，雞每斤五毫，鴨每斤三毫，魚類每斤三毫。芋頭每毫二斤半，花生每百斤約五元左右，穀每百斤約五元，生油每斤約三毫。豆每百斤約十二元，玉蜀黍每百斤約五元，砂糖每百斤約十一元，蔬菜類每毫約三四斤，柴每百斤約四毫餘至五毫，木炭每百斤約一元二毫。

(5) 人工價 長工每年工值約三十元，短工忙時每工男二毫半，女工二毫，閒時每工男一毫半，女一毫，每日供膳三餐，值約二毫至二毫半，長工年中並須供給雨笠草鞋手巾等物，共值約三數元，每日工作十小時至十一小時，本地農工畧可敷用。

(6) 田地租 水田多納租穀，旱地多納租金，無帶工分租糧食分租等法，計每畝水田年納租穀上等約二百斤，中等約百五十斤，下等約一百斤；每畝旱地年納租金上等約四元五毫，中等約三元五毫，下等約二元五毫。

(7) 租田制 租田祇由佃戶立一承批字於田主收執，其程式與樂昌乳源等縣，大畧相同。承批時佃戶除立承批字之外，每担租田須送四毫，租禮於田主，閒或租田少者，則送豬肉一塊亦可。按此種租禮不同租押租賃質，蓋其將來脫佃時亦無扣算抵還也。

(8) 農產貿易 該縣之城南，菁蓮，小江，秤架，七拱，黎埠等墟，皆屬境內繁榮之商場，各區鄉之農產多由該等處之行商覺買轉運出口。至外境與本地貿易之大市場，則為連縣及英德。茲將該縣輸出農產品之種類及其數量臚列于下。

農產種類

每年出口約數

花生油

七十萬斤左右

桐油	二十餘萬斤
茶油	一十餘萬斤
各種油麵	百數十萬斤
黃片糖(砂糖)	一百萬斤左右
豆豉及醬油	百餘萬斤
刨花本料	二十餘萬斤
香粉(白膠粉)	一百五六十萬斤
柴炭	三十餘萬斤
木材	三數萬元
草紙	千餘担
棕皮	三數百担
肉豬	三數千頭
牛	二三百頭

藥材——黃精厚朴紫背天葵……………

(9)借貸情形 當地之小農佃農因衣食不給，須行借貸者，約有白分之八十，通常月息三分，高至三分六厘，低者二分。其借貸之一切情形，與各縣無異，惟村中有銀會穀會之組織。銀者多屬標會，穀者多屬搖會，其組織法亦與各縣相同。縣中有按押舖四間，皆月息三分，一年當絕。就農民而言，其所按押之物，多係農具衣服等類。



(01)農具 查該縣普通所用之農具有犁，耙，轆軸，鐵札，鋤頭，中耕器，鐵鋤，鐮刀等件，其構造用途及其價值，與各縣大同而小異耳，茲不詳紀。

### (八)畜牧

家畜以養豬為主要，農家養豬者可佔百分之八十以上，年中每家可養大小肉豬一頭以至二三頭，除本地宰賣外，每年出口約有三數千頭，其次養牛則多係耕田役用，養牛之農家約有百分之六七十，就中以黃牛佔十分之七，水牛佔十分之三。其牛除耕田及攪糖役用之外，供本地各墟宰賣，年中出口，則不過二三百頭而已。此外間有養羊者但極少數，亦無出口，至其所有家畜之飼養管理方法，均屬普通。

家禽以養鷄為最普通，其鷄種較通常畧大，惟其雞之羽毛極難豐滿，常有斤餘二斤重之雞，其羽翼尚不生者。風聞此種之雞，於寒天飼養，則不如普通之容易云。其次養鴨雖稍有大群者，但無如養雞之普遍，蓋養鴨之地須有河流池澤及水田等，方較適合。該縣多山嶺旱地，是亦養鴨不能普遍之一因也。該縣雞鴨除農家自己食用及就地銷售外，鮮有出口。

### (九)作物

(1)水稻 全縣栽植水稻面積約佔農作物百分之三十，所產米穀不敷民食甚多，全賴玉蜀黍（土稱包麥），甘薯，芋頭等以維持其糧食，故該縣糧食，完全以雜糧為其主要，如高峯東山江口等鄉，則全無水稻栽種，故有數十年而未常食米飯者亦甚多云，至該縣栽種水稻區域已在耕地狀況中紀及，茲僅將其品種及栽培方法畧述如次：

早稻 品種有早白，早赤，遲白，嘉慶早，六月白，六月黃，湖廣白粘，湖廣赤粘，矮脚油粘，早糯，紅糯等，就中以早白，湖廣白，遲白為最普遍。一般播種時期，多在清明前後三日內外，先行浸種二三日，起水，屯芽二三日，

然後播於秧田，其秧田多先施人糞廐肥或草灰為基肥。播後三日許排水，露芽三數日後，畧灌以水。再後一星期左右，苗高寸許，即淋以人糞尿水，或撒施以家畜糞灰一次，施後又一星期許，復施以燒過之花生麵粉，至谷剛後一星期左右，即可分秧。在未分秧之前，排乾其水，撒施生麵和草灰肥，然後用秧剷剷起。分插於稻田，分插後約半月施石灰一次，施後即行中耕或用腳耘，再過數日，有再行點施以人糞尿灰，或淋人糞尿水者，但無肥料者，則於施肥之後，遂行止肥矣。普通至大暑前後成熟，每畝平均收量，約可三百餘斤云。

晚稻 品種有白米油粘，赤米油粘，糞粘，扇尾早，冬白糯，冬赤糯等，通常於夏至前後播種，其法先將種籽畧為浸濕，不用屯芽，即行撒播於秧田，播後三日排水，以後非有太旱不須灌溉，除在未播種前施一次畜肥為基肥外，多不施補肥，至立秋後可拔秧蒔田，蒔後二十天左右，施石灰一次，施後即行中耕，再後一星期許，點施糞灰，或撒施廐肥一次，遂從此止肥，迨霜降後可旺熟，每畝收量平均約可二百斤許，惟晚造患旱者，有十之三四云。

(2) 玉蜀黍 玉蜀黍土稱包麥，多係黃粒種，皆種於高原旱地，佔該縣糧食之重要位置。每年栽植二造，或連栽，或與甘薯豆類輪栽及混栽，其播種時期，早造於春分前後，晚造於大暑前後皆用直接點播。其法先將種地犁起，耙之整為高約七八寸濶尺餘之條畦，畦上用鋤開一淺溝，每距離尺許，點播種籽五六粒。播後施畜糞，或畜糞灰於種子鬆上，然後覆土。至苗高尺許，即播後二十日左右，用犁犁開畦側之土，同時施糞灰於株間。施後將犁開之土培上畦上，此時并行間拔一次，每叢祇留強壯者二三株，再過月餘又行中耕除草一次，并施以花生麵和石灰肥，每叢約施一大匙羹許，但亦有祇施以石灰者，因限於經濟故也。至山嶺種者，則施肥更少。通常早造於大暑前熟，晚造於霜降後熟，每畝平均收量約得黍米一百五六十斤云。

(3) 糖蔗 糖蔗多產於第二區之秤架一帶，及第四區之黎埠一帶，就中以黎埠產為最多，皆種於沿河埧地。其種

法普通留頭者，可連栽二年至三年，其新種法多用十月或十一月間所刈收之蔗，截取其梢長約五六寸許，然後掘一地窖深約尺許，將所有蔗梢直堆窖中，并灌滿窖水浸之，任其滲透自乾，窖之上面覆以蔗葉，并整實之，以免霜雪侵害，至翌年驚蟄起至清明時，皆可種植，種須剝去葉鞘。其種地整理，則須起條畦，畦上用繩印一中心線，然後循線每距一尺五寸許，用鋤作穴，每穴斜插蔗梢一根，插後以腳踏實之，俟苗高五六寸時，每株之斜向內邊，穴施以生麩和石灰粉，（須和石灰者所以防蚯蚓食麩也），約一大匙羹，同時將畦旁之土犁起，覆於畦上，并用小齒耙（中耕器）疏解平之，過後二十日許，則於每株之斜面背邊，施與前次同量之生麩石灰及依法培土，再二十餘日至一月左右，每株間又插施生麩角塊，重約七八錢至一兩許，同時將下部殘老之葉摘去，及將弱苗除去，每叢祇留七八根為度，然後又將畦間之土犁起，厚培於畦上，是謂上大行也。此後又經月許遂於每日上午九時以前，或下午二時以後（因中午蚜虫不聚集），用松葉箒，或草根箒，與母指套一竹筒夾殺其葉上之蚜虫，每日如是以至於無。普通早者九月半後可以刈收，至十二月間收完，皆為榨糖之用，其品名曰砂糖，即黃片糖，計該縣第二區年產糖額約十餘萬斤，第四區約八九十萬斤，總共產額年約一百萬斤左右，多運至連縣轉銷於湘南一帶云。

(4) 花生 各區皆產之，惟於第四區為最多，次為一區，又次為三區，再次為二區，皆種於高亢旱地或山嶺，每畝與玉蜀黍甘薯芋頭等輪栽，間或與紅豆黃豆混栽，每百斤值五元內外，多為榨油之用。計全縣所榨生油總額，年約七十餘萬斤云。

(5) 甘薯芋頭 亦為該縣主要雜糧之一，各鄉之旱地及山嶺皆有種之，多與花生黃豆紅豆等輪栽，其甘薯且常與玉蜀黍混栽，在平原地種，多起條畦，施肥中耕除草捲苗培土等，工事稍為周到；在山嶺種者，則簡單粗放，並不起條畦，除插苗種植時畧施草灰或廐肥外，即不行諸種管理矣。



(6) 紅豆黃豆 其栽種地勢與甘薯芋頭等相同，查第一三區種紅豆爲多，第二四區種黃豆爲多，全縣年產總額約百餘萬斤。除各區鄉就地銷用外，供給善蓮墟及七拱墟三數家製造豆豉醬油之用，並無出口。查該等豆豉醬油舖，每年所需材料約七八十萬斤。其製造品，多運銷於連州屬地及湘南云。

其餘黃麻芝麻苧麻等皆有栽種，惟產量無多，尙不敷本地之用。

### (十) 園藝

(1) 果樹 桃李 各區皆有種植，而於小江合頭黎埠等處爲多，但非園圃種植及專業經營，殆皆散植於山嶺，並用實生繁殖。品質亦不優良。計該縣年產桃李總額各約五六百担，除就地出售外，間有運銷英德屬地大灣滄洗等處。

沙梨 其品種大別之可分爲青皮，赤皮二種，青皮種質多嫩脆味淡，又不甚甜，果亦不大，每斤約值一毫零；赤皮種其果大有如雞卵者，有如茶杯者，質多粗而味澀，每斤值約半毫。此外尙有同冠梨，則品質優良，頗有馳名，因產於同冠地方故名也。皮色青黃，果肉雪白，雖剖開數日而亦不變，其質味脆嫩香甜，入口無渣滓一經墜地，則破碎無遺。每果重在一斤以上，常至二三斤。故其果必須用竹籠套住，以防其蒂落，同冠梨每斤值七八毫以至一元餘，在市上不易購買，必須預定。蓋此種沙梨本來原種祇有三數株，亦不知補於何時，傳自何方，但今已枯死，現有所謂同冠梨者，即由原株繁殖者，亦不過數株而已，且其質味重量均已稍遜，惟譚家一株，聞與原株當相彷彿，在稔熟之年可有二三百斤云。

楓栗 多產於第二區之嶺背黃盆秤架等地，悉用實生繁殖，種於山嶺，年產總額不過數十百担云。

此外黃皮柑桔杷枇等果，各區鄉亦有散生，但產額甚少，即本地市場亦無大宗發賣。

(2) 蔬菜 近緊盛墟市之地，栽種蔬菜較多，四時品種無論根莖葉果等菜用諸類，莫不有之，惟未嘗有特別者，

且限銷於本地無有出口。

### (十一) 森林

該縣森林面積約可二百餘萬畝，殆祇佔全縣山嶺百分之三十左右，因該縣山嶺石質居多，深根喬木不易着生，故大半石質山嶺多祇着生多少之灌木雜林，在西南之部，由第三區之白蓮，第四區之寨崗蜿蜒，與廣西懷集縣交界之處比較土質山嶺稍多，以故松杉之林，亦在該處始有稠密廣大之面積，惜交通不便，致材木之價值稍減。至于雜木之林，則於第二區之黃盆秤架一帶為多。統計全縣近年出口柴灰，總額佔約三十餘萬斤左右，較之十數年前祇得十分之一云。聞因境內連年治安不好，省佛韶路亦滯，兼之河道梗阻，匪徒勒抽，柴商屢致虧本，是以出口日減至於木材板料則在第三四區為多，年出口數約有三數萬元云。此外第二區之秤架及四區之寨崗出產之苗竹每年製造草紙約千餘担；二四區之油桐，年產油額約二十餘萬斤，及油茶年產油額約十餘萬斤；又第四區黎埠寨崗之刨花木料，每年出口約二十餘萬斤，又香粉（白膠粉）約一萬五六千担，此種刨花木多由人工種植，利益甚大，茲特將其種植方法特記于次：

刨花木別名黃沙，又曰梭柴，皆土稱也。為高大之木本植物，其葉有類似玉桂葉之形態，樹幹多直，皮層亦不厚。通常於五月間開花，十月果熟，即可收其實，播種於苗場。其苗場不拘肥瘠，播時稍和以草灰，播後薄覆以茅草，二年生之苗木，高可三數尺即能移植，通常於正二月間，擇山嶺或麓土較陰潤之處植之，每株距離約丈餘，同時其株間點播以三年油桐，其餘空地，則栽種各種作物，大抵初年多種薑，第二三年則種大薯甘薯或玉蜀黍等雜糧，至第三年後則刨花木與油桐之桐葉已多，遂不能栽種農作物矣。而三年油桐，相繼結實，此時每年之霜降前後，行剷草一次，收將剷之草皮，培於油桐之根部，而刨花木則須將根際之表土，年年剷去，使其根基浮起，否則刨花木不易長大，且葉呈黃色云。其三年油桐結實三數年後，果已漸少，即將其折去，祇留植刨花木，任其狹自發育，其刨花木植後

十年，遂能砍伐，聞以十年之木，即可獲十元之利云。一般刨花木商人，皆講採，山價，每百斤（單取無枝之幹部）由一元左右以至二元，每因時價不一，砍伐後將其幹部裁約二尺餘三尺許爲一截，運銷廣州，製造刨花爲婦女擦髮之用其樹枝及根，則用水確臼椿爲香粉（又名白膠粉）之用，亦多運往廣州及隣縣銷售，又刨花木間有雌雄之別，其雄者表皮較粗糙，而葉亦較細尖，并無主幹，直梢分枝甚多，含膠質甚少，祇適於製造香粉之用云，按？花木年中出口約二十餘萬斤，香粉出口年約一萬五六千担云。其香粉每担值約一元二毫左右。

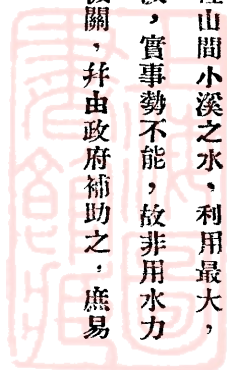
#### （十一）農村教育狀況

該縣教育與其謂不發達，不若謂爲無基礎。查全縣尙無中等學校，即初級小學雖第一四區屬各有二所，第二三區屬如有一所，亦僅具雛形而已。無充裕之經費，不能廣續的招生，平均每校教員約可二名，多係該縣從前所辦之六月師範畢業者充任，每校學生約三十餘人，多由私塾之學童進昇者。因無一照章辦理完善之初級小學，即無教育基礎之謂也。現該縣民政長官正着手提倡及行強迫教育，經將全縣私塾取締，欲改爲新制之初小，但經費師資均屬困難，雖一時欲達到吾人理想中之教育，恐非易事；第望其從此得一循序漸近之機耳！

#### （十四）農林前途之觀察

該縣農業尙留古代農業經營之痕跡，尤於山居者爲然，所種多雜糧，且極粗放，每行燒山以作耕地，亦不用人工維持其肥力，祇行休耕之法，因其習慣燒山，遂影響於森林之存廢極大查其所以行粗放的經營之原因，乃續屬旱患使然，蓋有旱患則不能不利用玉蜀黍甘著芋頭……等抗旱性强之雜糧以爲補救，而此種雜糧，質劣而價賤，欲行精密之經營法，則與經濟原理相悖，因之愈粗放，愈燒山，而森林遂歸烏有，而旱患亦愈甚，循環因果，益感其困而不知，故該縣農業之改良與振興，首在水利問題之研究。竊意一面當積極造林，禁止焚山，其山嶺較多石質者造以灌木林，

其土層較厚之山嶺則造喬木林，如是水源可以蘊蓄，山間小溪遂得源源長逝而不涸。此種山間小溪之水，利用最大，因所有高亢旱地，亦可得資爲灌溉也。此外經過各區之大河，因低於田疇，欲行截河設陂，實事勢不能，故非用水力火力電力等水車不可，然工程浩大，農民個人，當然難以興辦，似應聯合農民組織合作機關，并由政府補助之，庶易有成功之希望也！



# 連縣農業概況調查報告

林純熙  
何慶功

調查

## (一) 位置區域及形勢

連縣地居小北江上游爲粵省之西北邊界，東界乳源，西界連山，南界陽山，北接湖南邊界。縣治在北緯二十四度四十七分十秒，經度距京師中線偏西四度十三分。全縣劃行政區域，爲四大區：曰河東區，共轄保安，梅田，松柏，六廟，流沙，水口，洲水等堡，及良江，惠安二甲；曰河西區，統轄高良上，高良下，河西，上山，九陂上水，九陂中水，九陂下水等堡；曰附城區，即在城廂內外統轄興賢，餘慶，聯璧，德政，昇政等坊；曰星子區，統轄州前，觀前，后塘，滂塘，上庄，潭源洞，浦上，十字舖，山洲，東岑塘，唐家，安田，滑塘，黃村等堡；曰東陂區，統轄東陂，西岸，沖口，朱岡，洛陽，石馬，東村，豐陽，夏埕等堡及江塘一甲。至其教育學區，則分全縣爲十，其第一八九十等區，乃屬於行政區河東區之範圍，其四五六七等區，則屬於河西區之範圍，第二區則屬於星子區之範圍，第三區屬於東陂區之範圍。全縣面積約三百一十萬零九千四百三十六畝。地形東西畧窄，南北稍長。地勢則以北部爲高，境內多山嶺，且每成秀麗之峯巒，居民村落則在沿河處爲多，其耕地亦以沿河爲夥也。

## (二) 氣候

該縣氣溫於小暑至處暑間爲最高，而於小雪至立春間爲最低。年中冷天時期，約有四個月左右，熱天則約三個多月，每年下霜多在立冬後起，下雪則常在十二月間，至收霜時期須在春分之後。其年中雨量最多之季節，係在孟春與仲夏之間，其最少時期，則在寒露以後至季冬之間云。

## (二) 耕地狀況

(1) 地勢 全縣農地面積，約有二十五六萬畝，其地勢平均平原，約佔百分之六十五，山嶺約佔百分之六，岡陵起伏約佔百分之五，山嶺約佔百分之十，傾斜約佔百分之十四。就中以水田爲多，在東波河東，河西等區者，殆可佔百分之八十，惟星子區屬，則水田旱地各約參半。所有水田除星子區屬，年中多祇種中稻一造，及馬蹄外，其餘皆種早晚二造。至其旱地，則以栽種花生甘薯或其他種雜糧爲多，在星子區屬，則植草棉者亦不少也。

(2) 土壤 所有水田殆以灰黑色之壤土爲多，亦屬肥沃；旱地則爲黃色，或黃褐色之沙土，雖不甚肥，亦不極瘠。一般土質多屬輕鬆，並皆爲定積之土也。

(3) 水利情形 在河東，河西，東陂等處之農田，多能在河床築陂灌溉，水利頗方便而充足，惟邊沿之處，地勢較高者，陂水不能灌達。以故在水田方面，於晚造之際，亦每有乾旱之患，然至多不過佔水田面積中百分之二十左右而已。至於星子區屬之農地，高亢者爲多，灌溉設備自較爲難，故除沿河或山谷得有水利者外，餘皆栽種花生，草棉，甘薯，及其他雜糧等旱地作物爲多。

## (四) 荒山情形

全縣山嶺面積，約五百餘以至六百萬畝左右，而荒山面積，則可佔百分之三十五左右。此等荒山非絕無林木，亦非從來荒廢。查該縣年中自八九月，直至十一月，每月必發見有野火焚山之事，一處以至數處，雖其所燒之面積，有大有小，所燒之時間，有久有暫，然年中統計，則爲害不鮮。在經燒過之山嶺，其森林或完全燒枯，或未全枯而生機已窒，迨至翌年春間仍能萌蘖茁茁更新，然完全燒枯之森林，則更新爲難矣。至其荒山皆無崩壞現象，土性亦屬鬆軟，而不甚瘠劣也。

### (五) 運輸交通

連州江爲該縣巨津，係由東北部之星子埠水與保安水，在塘村會流入城西北角，及西北部之東陂水流入城西與之會合而成。此江又名小北江，向南流入陽山境，達英德屬與大北江水相合，經清遠三水流入廣州，可通民船。在春夏水漲時，常能駛小電船直達縣城。此外由縣城以達保安墟，星子埠，及東陂埠，則祇容小艇或細小之帆船，而行駛亦多不便，惟木材柴炭等，則多賴以輸送無碍。至於境內之陸道交通，則多由官路（即大路闊約三尺至四尺泥質或石砌），其官路多與各大鄉墟相通，路頗平坦，行李往來或用肩輿，或用步行，均不困難；此外星子埠，東陂埠，與縣城均設有半官用之電話，傳達消息頗爲便捷，此洵爲北江各屬特別優異之點也。

### (六) 耕作情形

(1) 冬耕 該縣耕地，以水田爲多，其水田大半不行冬耕，因其多已播種紅花子（係綠肥用之豇類植物），蓋於晚稻抽穗之後，排去田水，將紅花子種撒播於晚稻行間，至晚稻收穫後，則已萌發。故在冬季春初之間，平疇皆綠，一望如茵，亦農村之一美景也。

(2) 春耕 春分或清明時節，着手春耕。所種之紅花子亦正在花實未熟之際，遂將之犁轉，至早稻分秧時，再用鐵耙耙之，使其田土鬆爛，同時施以厩肥人糞等爲早稻基肥之用。

(3) 秋耕 於大暑後，其早稻跡田爲土質堅實者，先行犁過，土質輕軟者，則直行犁爛，以軛軸輾平之。普通不施基肥，即行種植晚稻或甘薯。

### (七) 農民經濟狀況

(1) 農戶 農民中田主約佔百分之五，半佃農約佔百分之三十，佃戶約佔百分之六十五。其耕地面積平均計之，

其田主多由二十五畝以至四十畝，此種約可佔百分之十五至二十；半佃農多由二十畝以至三十畝，約可佔百分之二十至二十五；佃農多由十畝以至十五畝，約可佔百分之五六。

(2) 田地價 該縣田地通稱之爲若干工，(每一工半等於一畝)其每工水田七等者約五六十元，中等約三四十元，下等約十五元以至二十元；每工旱地上等約八元，中等約六元，下等約四元云。

(3) 肥料價 其通用之肥料，如花生麵每百斤值約六元，石灰每元約二百斤，人糞每元約二百五十斤。

(4) 農產價 可供役用之水牛，每頭約六十元以至一百元，黃牛每頭三十元以至五十元，豬肉每斤三，雞毫生每斤四毫至四毫半，鴨鵝每斤二毫半至三毫，魚類每斤約三毫，香芋每毫約三斤，乾花生每百斤約七八元，穀每百斤約四元五六毫，豆類每百斤約十元以至十一二元，油每元約三斤，烟草每百斤二毫半以至四五毫，嫩茶葉每斤約五毫，去籽棉花每斤約六毫，乾柴每元約二百斤，木炭每元約一百斤。

(5) 人工價 長工每年約四五十元，另全年膳食及供給草鞋，手巾，帽笠，並衣服一套，共須五十餘元。短工在尋常時每工男約二毫，女約一毫半，每日供膳三餐，值約二毫；在農忙時每工男約四五毫，女約三四毫，每日供膳三餐及點心，約值三毫。每日工作十小時左右，農忙時之農工多由就地僱用。

(6) 田地租 所有水田皆用納租穀法，旱地則甚少出租，間有則納租金爲多，每畝約數毫以至一元內外；其水田每工每年納穀，上等田約二百斤，中等約一百五十斤，下等約六十斤以至一百斤，如遇荒歉之年，則酌量減少，或對半均分。其收租法，遠者由田主到收，近者多由佃戶送來。

(7) 租田制 祇由佃戶立一承批字約于田主，其程式與樂昌乳源等縣大致相同，惟租田每工須交押租一元以至二元，至脫佃時始償還之。其租賃年限，多無限定，除田主將田另賣於人，須在憑別主脫佃或續批外，如能年清年租



，則可永遠耕種，田主除供給田地之外，即可坐收租潤矣。

(8) 農產貿易 農氏出售農產品，多就近鄉墟販賣，由商人收買，運至縣城或再由大商賈策買後，分別轉運出口。故該縣貿易之中心地點，似屬於縣城，其餘外地少有與農民直接貿易之市場。年中由外境輸入之貨物，以食鹽及雜貨布疋為多。其本縣之大宗出產，及有出口之種類，約畧紀之如下：

農產種類

本地賣銷或出口約數

備巧

米

百餘萬斤

完全出口

包麥(玉蜀黍)

三數十萬斤

同

木料(杉木為多)

三四十萬元

同

柴炭

百餘萬斤

同

花生油

三數十萬

同

茶油

三數萬斤

同

桐油

萬餘斤

同

菸葉

十餘萬斤

完全本地銷售

棉花

三數萬元

稍有出口

葱頭

十萬斤

同

蒜頭

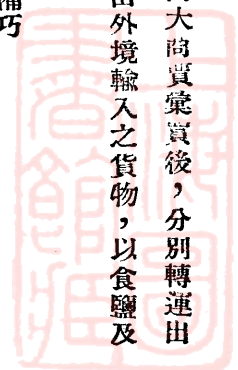
萬餘斤

同

生薑

萬餘元

同



香芋

三數萬斤

完全出口數

肉豬

六千餘頭

同

(9) 借貸情形 農民中約有百分之六十，須行借貸錢款或糧食，以維持生活者。通常月息三分，高至三分六，低者一分半。放債者多係田主，或殷富商人等。借債手續大致與各處相同。惟大宗借款，其所請之介紹人，每百元須酬謝金四元云。通常小農之借數以一二十元或二三担穀為多，借銀還銀，借穀還穀，大概借期以三四個月至半年為度。年中農民經濟，最難之時期，農民之借債亦愈多。即在臘月底及三四五月間，一為年關需用，一在青黃不接之時也。但農民素有信用者，或有殷實担保，亦可按通常利率借得之。村中亦有標會搖會等組織，惟不甚普遍耳。

(10) 農具 該縣通用之農具有犁，多自湖南運來，每張價約二元六毫，為犁起土塊之用。耙每張約六元，為耙鬆田土及覆土之用。鋤每把五毫，為鋤土整畦等用。鏟每把一元，為鏟土及作基之用。草鏟每柄四毫，割草用之。禾鎌每柄銅元十枝，割草用之，皆由本地製造。輾軸每方約一元五毫，為輾平水田表土之用，多出自連山。

### (八) 畜牧

家畜以養豬為主要，平均每家年中可養肉豬一頭至二三頭，除供本地宰賣外，每年出口者約有六千餘頭。其次養牛，則多係耕田役用，居山者養黃牛為多，村居者養水牛為多，除本地宰賣外，少有出口，所謂連州江每年輸出牛隻甚多者，皆湖南產也。至於養羊雖有，而極少數，因其除供祭祀用外，為用甚少故也。至其畜舍構造，多用住家房屋用木棚製之，一般放牧管理飼料等，多與他處相同。

家禽 以養雞為普通，養鴨次之，俱為本地卵肉食用。聞年中亦有少數出口，但無統計。其飼養上之諸種方法，亦無有異處，茲不詳紀。

## (九)作物

(1) 水稻 該縣水田甚多。栽種水稻亦極普遍，故該縣亦為餘米之地也。查該縣之河東，河西，東陂各區屬地，皆栽種早晚水稻二造，在壘子區屬，則年中多祇種中稻一造而已。茲將其各造水稻之品種及栽種方法，畧紀如次：

早稻 普通品種有六月黃，紅皮穀，紅梗糯等，其六月黃苗較軟弱，宜於瘠田。紅皮穀苗較壯，極能受肥，種於愈肥沃之田而愈佳。通常於春分前後浸種三日，起水後屯芽二日至三日，撒播於秧田。其秧田多先種有綠肥植物，土稱紅花子，乃豆類植物也。至播種整地時，復施以人畜糞等為基肥，播後三數日排水露芽，迨苗長寸餘至二寸時，施以花生麵與草灰和混之粉肥一次，至苗育一月左右，在谷雨前後，即可拔苗（水拔）分秧，其稻田亦先施以厩肥人糞等為基肥，分秧後二十日許，用手耕除草一次，再五六日施以石灰，施後又用小齒耙中耕之，此後亦不再施補肥，惟將四圍田基之草割去，以免野鼠窩藏為害。通常早稻在大暑時可旺熟，每畝收量約可三百餘斤云。

中稻 即每年栽種一造者也。其普通品種有觀音粘，鐵管粘，湖廣粘，香禾糯，大糯等，多於清明時浸種三日，起水後屯芽二日至三日，遂撒播於秧田，播後約十二三日施尿肥一次，至立夏前後即行拔苗（水拔）分秧，分秧後約三星期許，畧排去田水，行中耕除草一次，並施以石灰直至苗葉轉呈濃綠色，然後復灌以水，再過二十日左右，又行中耕除草一次。查其栽種此種水稻，除在未分秧前施以厩肥，或人畜糞一次基肥後，多不施用補肥。普通於處暑時節旺熟，每畝收量約可四百斤以至四百餘斤云。

晚稻 其普通之品種，有油粘，冬白，二造紅皮穀及冬糯等，就中以油粘之品質為佳，分蘗力亦大，冬白則抵抗風旱性強，二造紅皮穀亦然，惟分蘗絕少。蓋二造紅皮穀種乃由早造紅皮穀刈收後所抽出之穗實，留為二造種用者也。通常皆於夏至後播種，其法將種籽稍為浸濕，不用屯芽，即行撒播之，播後三左右出芽，遂將水排去，任其生長。

，不施肥亦不必灌溉，迨立秋時節乃拔苗(乾拔)分秧。其種出即為早稻之跡田，如土質堅韌者，則須先犁而後耙，如土質輕軟者，則直行耙爛可矣。至分秧後二十日許，亦用手中耕除草一次，過後一星期施以石灰，施後用小齒耙中耕之，與早稻相同，中耕後如有肥料者，則再施以畜糞或花生麩等肥，但無者亦實不少，普通於霜降後五六日可有收穫，而旺熟時期，則多在立冬時節也。每畝收量約二百餘斤至三百斤左右。

(2) 蕎麥 蕎麥亦稱三角麥，該縣各區畧有栽種，惟於星子區屬為多，皆種於旱地，在星子區屬者，則每種於排水良好之水稻跡田。通常於白露時節播種，行直接點播之法，先將種地整鬆後，用鋤開淺溝，於溝中每距離六寸許，點播種籽七八粒，於至十餘粒，同時施人糞尿灰一勺於其上，然後用牛耙薄覆以土。如播後三日內無雨水下降，必能生長良好，不然則不能萌發云。又萌發後如天然雨水均勻，則定有豐收之望，如天候過旱，用人工灌溉，則多腐根之病云。在生長期間，絕不施肥，至立冬後可有收穫，每畝約一百斤至百餘斤云。

(3) 馬蹄 星字保安一帶稍多種之，每種於表土深厚而肥沃之水田，普通於十一月間所收取之馬蹄，用泥蓋住，至翌年正月間取出換用細砂藏之。栽種馬蹄有遲早二者，其早者於三月間播種育苗，遲者則於夏至前後，將種用之馬蹄平密插播於苗場(其苗場不用水浸)，播後不須管理，其早者在芒種夏至間，遲者則於大暑之後，將苗挖起分植於田；早者種田不能栽種早稻，遲者則可種於早稻，收穫後之跡田，其田皆用牛糞人糞及草灰為基肥，絕對不可施用豬糞，因其施以豬糞者，必發腐莖之病云。其分植方法，有如水稻，每株距離尺許，及分植後不用中耕，亦不再施肥，惟須注意灌溉，不使乾旱為要。通常在大雪冬至之間，可以挖收，惟土質乾後，收者則多，不耐久藏云。平均每畝收量，早者約可三千餘斤，遲者約千餘至二千斤。

(4) 香芋 香芋或曰檳榔芋，因其肉色類似檳榔紋也，該縣附城及河西區產為佳，亦於該等地方栽種為多，皆種

於排水良好之肥沃水田。通常於二月間種，將種地整起條畦，棟取大小適中而無病害之芋仔，切去下截，以草灰塗其切口。種時於條畦上每距離一尺至尺餘，用水錐作穴，施腐鷄之糞尿其中，然後將芋種穴植其中，再施草灰其上，并覆之以土，至發葉後，淋以污水或人糞尿水等，以後每隔二十餘日淋以糞尿污水等肥，計共四五次。又於四五六日間須中耕培土。間或覆以堆肥及青草等。在天候過旱時，并須灌水蔭之。通常於八月間可小收，九月可旺收，每畝收量約十二三担，多為熟食之用。每年出賣於鄰縣及連江一帶船戶者，亦有三數萬斤云。

(5) 草棉 該縣星子區屬及各排徭民多種之，普通種高亢旱地，徭民則植於山嶺。在星子區屬種者多在二月二日播種，蓋依其農諺也。播時先將種籽用人糞尿灰及泥沙和混擦勻，然後撒播於種地平畦之上。播後十日萌發，迨葉生數片時，中耕除草，同時行間拔一次，以後有草生時，再行除草二三次，多不再施肥料及淋水矣。在徭民種者，間亦同此粗放，惟其地土多先燒過耳。通常於六月至九月均有收穫，每畝地之產量，可約五六元。其品質則以徭民產量為佳云。

(6) 花生 各區皆有栽種，而於星子區及河西區為多，其次徭民出產亦屬不少，除製熟食用外，皆為榨油。計年量油額約三十萬斤左右。

(7) 甘薯 各區旱地莫不種之，作雜糧食外，無特別用途。

(8) 生薑 於東陵及徭排產最多，年產總額值約二萬元左右，稍有出口云。

(9) 玉蜀黍 土稱包麥，與陽山接近地帶多種之。其餘各處山地，亦畧有種者。惟該縣為餘米之區，對於此種雜糧不甚慣食，故多出賣於陽山境地及船戶。計年約三數十萬斤云。

## (十) 園藝

(1) 果樹 該縣果樹種類，有：桃，李，沙梨，楓栗，紅棗，柑，柚之屬，但無專事闢園種植，亦無廣大面積。除沙梨用接木繁殖外，其餘則概用實生。其果類中，以桃之品種為最佳，所謂連州蜜桃者，殆可與曲江之南華李相媲美也。其果形似櫻桃而畧扁，味甜而有蜜香，在河西區之小水南坪一帶，及星子埠等處皆有出產，但產額不多，祇供就地銷售而已。其柑柚等皆產於河西區屬地，紅棗產於星子，楓栗沙梨多產於猺山。所有品種皆無特色，產量亦無大宗，故不能輸出於外境也。

(2) 蔬菜 普通之各種蔬菜，各區屬地皆有栽種。其黃芽白，芥菜，蘿蔔等類種籽，多由潮州購入，餘皆本地所產。一般蔬菜園藝之經營，多專為縣城及各區鄉繁盛市場之銷用，惟生薑及葱頭蒜子較為大宗，年中可畧有出口。其生薑多產於猺山與各區山地，及東陵之清水楊屋觀等一帶；其葱蒜，則各區皆有出產。

### (十一) 森林

該縣森林面積約有四百萬畝左右，殆可佔山嶺面積百分之六十五。就中以天然林為最多，約森林面積三分之二。至其森林樹種人工林以杉木為最多，松木次之，楓樟木又次之，此種則植於家屋附近，屬保安林也。至天然林，則以松為最多，其次為雜木杉木等。查其杉木出產最多之區域，以西南部之猺山及西北大隆山一帶為最多，其次則為星子保安等處至東南之部，是為最少，統計年中輸出杉木材不下三四十萬元云。至於柴炭之出產雖多，但因連年之治安不良，水道交通梗阻，故出口之數年，不過百餘萬斤耳。

### (十二) 農村教育狀況

該縣教育雖因時局多故，屢遭影響，但近年以來，地方不乏熱心之士，銳意整頓，故該縣教育在北江各屬中，實可居其第一位也。茲將該縣十個學區之教育情況，分別紀之如下：

(1) 學校數

中學 全縣有縣立初級中學一間。

高小 查第一區有男女校各一間，第二區有二間，第三四五區各有一間，計全縣共有男女高級小學七間。

初小 第一區十五間，第二區三十九間，第三區三十四間，第四區五間，第五區十一間，第六區五間，第七區十四間，第八區二間，第九區六間，第十區三間，計全縣共有初級小學一百三十四間。

私塾 第一區九間，第二區二十間，第三區五十五間，第四區五間，第五區四間，第六區三間，第七區九間，第八區四間，第九區七間，第十區二間，計全縣共有私塾一百一十八間。

平民夜學 第九區有一間。

(2) 學生數

初中學生 縣立初級中學學生一百七十六名。

高小學生 第一區一百九十一名，第二區一百〇三名，第三區九十九名，第四區五十二名，第五區三十二名，計全縣共有高級小學學生四百七十七名。

初小學生 第一區八百六十八名，第二區一千二百四十九名，第三區一千二百〇二名，第四區一百九十六名，第五區六百三十五名，第六區一百三十八名，第七區四百二十五名，第八區八十八名，第九區二百四十名，第十區一百三十六名，計全縣共有初級小學學生五千〇七十七名。

私塾學童 第一區二百五十名，第二區三百五十六名，第三區八百四十四名，第四區七十二名，第五區五十八名，第六區三十三名，第七區一百二十五名，第八區五十六名，第九區一百二十六名，第十區三十名，計全縣共

有私塾學童二千〇五十名。

(3) 教員數

中學 縣立初級中學，共有教員十一名。

高小 第一區十一人，第二區十人，第三區七人，第四區六人，第五區五人，計全縣高級小學校教員共三十九人。

初小 第一區四十五人，第二區一百〇六人，第三區一百〇四人，第四區二十一人，第五區三十二人，第六區十五人。

，第七區四十二人，第八區六人，第九區十八人，第十區九人，計全縣初級小學校教員共三百九十六人。

私塾 第一區九人，第二區二十人，第三區五十五人，第四區五人，第五區四人，第六區三人，第七區九人，第八區

四人，第九區七人，第十區二人，計全縣私塾師共一百一十八人。

平民夜學 義務教員二人。

(4) 其他

失學兒童 統計全縣平均約佔百分之五十。

教育經費 第一區一萬九千一百八十元，(內縣立中學佔八千四百元，縣立女高小佔三千二百元。)第二區九千六百九十

十元，第三區一萬三千二百六十一元，(內學校私塾所收學費六千〇二十一元。)第四區三千八百四十六元

，(內學校私塾所收學費二千〇〇六元。)第五區三千五百六十八元，(內學校私塾所收學費九百六十八元)

。第六區九百二十五元，(內學校私塾所收學費一百三十二元。)第七區二千七百二十元，(內學校私塾所

收學費七百七十元。)第八區九百五十二元，(內學校私塾所收學費二百二十四元)第九區一千六百七十元

，(內學校私塾所收學費五百〇四元。)第十區六百八十元，(內學校私塾所收學費一百四十元)統計全縣教





育經費共五萬五千四百九十二元。(內所收學費一萬〇七百六十五元，常年費四萬四千七百二十七元。)  
經費之來源 係由書膳廟會等產租提撥，暨屠牛生豬竹木等捐及收學費。

私塾存在原因 係因科舉時代積習，相沿日久，陳舊思想尙未改變，故猶昧乎今日之學校爲無用也。

教育進行上之困難 其最困難者，厥惟經費問題，其次則因風氣尙未十分開通，不免少數頑固者流，從中破壞耳。  
指導教育辦法 由縣教育局每年上下學期派出督學巡視考察，並加派巡迴教員爲之指導。

小學教員之資格 多係師範及中學畢業，或曾在中學修業若干年者，但前清員生間亦有之。

### (十二)農林前途之觀察

該縣農業以水稻爲其主要生產，而一般水田地勢土質以及耕作灌溉情形，並能於冬間栽種綠肥等等，均尙能適合農法。惟林業方面，因焚山之積習未除，復受時局之影響，治安不良，以致近年林產出口額數，較爲銳減。此卽希望賢有司之有以整頓之也！

廣東農業概況調查報告書續編

連縣

三五〇



# 廣東農業概況調查報告書續編

## 第三部 高雷各屬

### 陽江縣農業調查報告 民國十六年

馮英材調查

#### (一) 區域位置

陽江縣居粵省之南部，東西廣一百五十里，南北袤九十里，東界恩平，台山，西界電白，南濱南海，而海陵一島，兀立海中，北界陽春。全縣共分九區，另開坡一區，是新闢之區，左海陵之西北。

#### 區署所在

#### 位置

第一區

城內

中部

第二區

舊設大溝墟(今廢)

東南

第三區

舊設北慣墟(今廢)

東北

第四區

舊設平岡墟(今廢)

西

第五區

白蒲墟

南 (海陵島)

第六區

織篔墟

較西

第七區

沙扒

極西

第八區

塘園墟

北



第九區 大八墟

極北

開坡區 開坡

海陵島之西北

### (二)地勢

全邑南北較狹，東西較長，北枕雨霖烏石諸山，西南有郎官山，西有羅琴望夫等山，皆綿延數十里，邑中之高峯也。地勢東北西三而畧高，中央及南位多屬平原。以全縣面積約畧計之，傾斜急劇之高山極少，而傾斜畧緩之丘陵，則約佔十分之三四，如三區四區七區九區之大部分是也；其餘平原耕地極多，約佔全縣十分之六七。

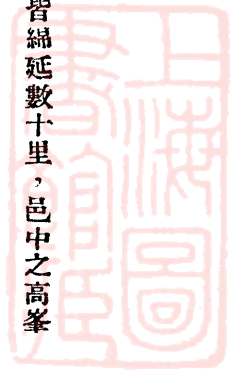
### (一)氣候

陽江瀕海，氣候溫和，冬時無雪，一歲之中，炎暑過半。冬煖或至搖扇，臘殘每有凱風和煦，俗人謂之送年。晨早多霧，春夏霖雨，或風氣凄清，夏秋間每有颶風，甚至拔木摧屋，海舶尤憚之。

### (四)水旱情形

地極低窪，一四六七八等區，皆有水患，且夏秋之間，恒多霖雨，每致潦水爲災，如適值隣邑陽春亦大雨，則陽春之水由漠陽江而下，以本邑爲尾閭，水勢更大。漠陽江水驟漲，一時不能盡流入海，沿河之地，其高漲有陡至丈餘者，一望汪洋，變成澤國，蓋因河流淺，海口隘狹也。故多雨之年，潦水恆多，惟淹浸不久，尙無大害，倘浸至一旬以外，則低田之禾，多被淹斃。至近海之田，又患鹹水，農家多築堤以防之，但遇颶風時，堤多崩決，鹹水乘機侵入，此水居人呼爲番水。被害之田，如無天雨大降，則禾盡枯槁，爲害甚烈。近河之田，天旱之時，雖可利用以取水灌田，但離河較遠者，則多俟天雨，故七八月之間旱，則垌田多無收成之望，是全縣對於水旱問題，實首宜注重者也。

### (五)交通



本邑海線，東由東平大澳而通省港，西由崗坡沙扒而達高雷瓊崖。至縣內河流縱橫，東部有三丫河，西部有坡尾河及織篋河，會由豐頭港而入海，極西有儒垌河，由北額港而入海，中部之漠陽江，自陽春南來，中途容納大八河那龍河，經北津港而入海，交通尤便，惟河底爲沙，隨處淤塞，運輸多用帆船而已。至陸路交通，則東北沿那龍河而達恩平，北沿漠陽江而達陽春，西南經平崗織篋而至電白，惟多用人力担運，及用牛車運輸。現擬興築公路四條，一至恩平，一至台山，一至電白，一至陽春，而江電及江恩路，已在興築中，不日可望次第築成，交通當較便也。

### (六) 耕地狀況

漠陽江及織篋河下游沿岸，平疇廣衍，多沖積土，土質屬粘質壤土及沙質壤土。土色灰黃。其近河灘田，則畧見黧黑，表土既厚，土質亦美，惟水旱不常，至海濱沿岸，則有鹹水，土人多築堤以禦之。一區四潮潮田，前十年常有鹹水爲患，禾稻一經鹹水淹浸，立即焦斃，故常有全無收成者。近數年間，鹹水極少浸上，頗慶豐收。又九區多屬山谷間田，沙質壤土較多，是爲定積土，色灰黃或紅黃，表土淺薄，最深不過一尺左右，淺者只三四寸而已。但近山坑，有坑水灌溉，水利則頗足也。

### (七) 耕作情形

全縣水田極多，皆以植水稻爲主，近水者多用大穀及長毛種，但只年植一次（即只植晚稻），如一區四鄉及河邊低窪之田或近海濱者皆是，其畧高水田，則每年可植稻二次，（即早稻及晚稻），且間有冬季於晚稻收穫後植薯或蔬菜者。至旱地及崗頭地，則多植甘蔗，竹蔗，薯，旱禾，花生及荳等。然就其出產大宗者言之，如一區屬之白沙塘尾崗背瀝坑報村等鄉多植瓜菓蔬菜，五七八等區之薯出產最多，一區馬曹及三江等鄉多植蒜，六七等區之花生及竹蔗，八九區之花生葛薯，八區屬塘園附近之果樹，如菠蘿蕉子等，皆爲大宗出產。

### (八) 農民經濟狀況

耕地價值及租價 該縣耕地，概以播種子若干計數，如伸以畝數計之，大約可播種子一斗四升之耕地，即等於一畝。上等水田，如七升種之耕地「半畝」，價值八十元，租價每年收穀一石；中等水田如一斗四升種之耕地「一畝」，價值四五十元，租價每年收穀亦一石；下等水田如一斗七升種之耕地「約一畝又十分畝之三」，價值二三十元。其租價每年收穀仍為一石，惟上等水田，不論豐歉之年，租穀均可收足；中等水田，如遇旱潦或至欠租，但翌年仍須補足；至下等水田，則其租穀以時年為比例，荒年時則全年租穀等於烏有，至下年亦無補穀者。至於旱地亦以播種若干計算，如伸合一畝之旱地，價值一百元年租八九元；中等旱地每畝四五十元，年租五元；下等旱地，則每畝六七八元，年租約數角而已。

長短工價值 長工工價，多給以穀，然亦有給銀者，大約大工每年給穀十七八石，如給銀八九十元；中手工人，每年給谷約十担，給銀則四五十元；至小工（即看牛仔）則每年只給銀七八元，或給谷一二石。以上長工，概供膳食，每日三餐。短工則忙時大工每日價銀五六角，或給谷一斗；閒時工價三四角。婦女忙時每日四角，閒時每日二角，皆供膳食。

附說 該縣工人頗多，每當六月十月農忙時，農人作散工者，多百數成群，集處近城之大王廟，以候僱工，而僱主亦到該處擇請，有專僱作六月田工，或十月田工者。而此兩時期，每時期亦只工作一月至兩個月耳。惟工作特多，故工價亦貴，雖作一二個月，亦須工谷五六石之多，另供膳食。

普通物價列表如下：

品名

價格

（每斤約合碼秤一斤四兩）

白米谷	每担五元八角
赤米谷	每担四元五角
黑豆	每担一十二元
薯	每担一元
芋	每担二元
花生油	每担四十元
黃糖	每担十七元
猪肉	每斤六角
牛肉	每斤四角
雞	每斤八角
鵝	每斤六角
鴨	每斤五角
塘魚	每斤四角
蘿蔔	每斤三十文
白菜	每斤三十文
芥菜	每斤四十文
節瓜	每担二元



蒜頭

每担十五元

柴

每担一元一角

肥料價格

品名

價格

豬糞

每担一元五角

花生麵

每担十二元

牛糞

每担一元二角

草木灰

每担五角

堆肥(攪糞泥)

每車二角

大小農及經濟狀況 該縣垌田及畝田極多，農村係由千百家而成，極少三數家而為一村者。全縣農戶，計耕三十畝以上至六十畝以下者最多。耕十畝以上至三十畝以下者或六十畝以上至一百畝以下者次之。耕十畝以下或耕百畝以上者則最少。又多有農人於本縣種植完畢後，三五成羣，到台山屬蒔禾者，而濱海一帶人民，則多業漁，或到海灣處取蠔，獲利頗富。

全縣人民約四十萬，各區鄉人業農者居大多數。至經濟情形，則三九等區多困乏，一二四五六七八等區較充裕。每農家婦女皆出工作，無分利者。

當舖 往昔全縣當舖約二三十間近日完全倒閉，現只有押一間，設在第四區平岡墟。店名業興押，民國十六年六月開張，資本約六七萬元。惟近以所當貨物太多，對於農人粗笨農具等物，多不肯押，故農人多有用重利以借款



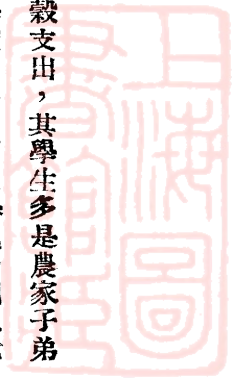


者。

(九)農村教育狀況

江邑農村學校，日漸設立，計鄉村有數百學者，恆設小家一間。其款項多由祖嘗租穀支出，其學生多是農家子弟，但極貧困之農家，其子弟雖極幼，亦為人牧牛，以致失學。就全縣計之，一六四等區學校最多，而失學兒童則以七九兩區為最甚。茲將該縣農村教育調查表列之如次：

區名	初中或高中		高級小學		國民學校		私塾		學校總數		失學兒童估幾%
	校數	人數	校數	人數	校數	人數	間數	人數	校數	人數	
第一區	二	二七〇	三	二三六	二六	七九〇	七〇	二〇〇〇	三一	一二九六	60%
第二區			四	一五〇	一〇	三七二	二〇	七〇〇	一四	五二二	70%
第三區			二	七二	一六	四三三	二〇	八〇〇	一八	五〇五	70%
第四區			三	一三〇	一八	六五〇	十餘	四〇〇	二一	七八〇	65%
第五區			二	七〇	一四	五一〇	十餘	五〇〇	一六	五八〇	70%
第六區	一	三五	七	二二二	一六	四五二	約二十	六〇〇	二四	七〇九	65%
第七區			二	五五	五	一八八	十餘	二〇〇	七	二四三	80%
第八區			一	二五	九	三三三	二十餘	六〇〇	一〇	三三七	75%
第九區			一	三〇	六	二一五	二十	五〇〇	七	二四五	85%



### (十)作物

(1) 水稻 農家皆以種水稻爲主，故隨處皆多栽之，有一望平原，約數萬畝而種稻者，其他作物不過副產耳。近日兵燹頻仍，盜賊猖獗，業農者每有改圖他業，如三九等區，田多荒廢，舉目皆是。

品種 就早稻及晚稻分述之：

(a) 早稻種，普通以六月蜜，掛犁望，歷諾赤，尖鼻亦爲多，米質以六月蜜爲佳。

(b) 晚稻種，普通以高粘，蜜仔，大穀，長毛，田基勃，交趾，黃粘，白花齊爲多最，其中以大穀及長毛種最耐水浸，米質則以高粘及蜜仔爲最佳。糯穀亦是晚稻，有大糯，斑魚糯，麥仔糯。

前後作物 皆係連栽，有於晚稻收穫後，種以薯或菜者。

種植法 於晚稻收穫後將田犁起，土人謂之犁田晒霜。農諺云：「犁田過冬，好過担糞甕。」蓋在冬至前將田犁起使受寒風烈日，雜草不至蔓生，則翌春可得豐收，惟當移植時，須將田水減少，犁耙數次，使成糊狀再盪平之，然後移植。早稻播種期，多在雨水間，先將穀種用籬載之，置於池塘中，其浮水者則去之，約十小時即起上担入屋內，俟後每日早晚各置塘中浸濕一次，復即取起，並屢用人力提籬，掉之使勻，如此經三兩日後，其種芽已有一二分長，即可播於秧地。秧地係濕潤壤土，先犁耙成泥狀，使面上極爲平坦，四周畧起淺溝，俟苗長約七八寸，即可連泥籬起，分運田中，置於秧盆，以便移植。而移植期則在立夏前農諺云：「過了立夏，做無做也罷。」蓋言一過此節氣，所種之禾，結實恆少。其較高垌田，則早稻於雨水時，將穀種直行散播於田者。其法將已犁起之田，用木鏈將泥擊碎後耙平，乃將穀種散播之。至水稻則於小滿後舉行浸種播種，其手續與早稻相同，惟秧地則宜畧爲高旱之沙質壤土，苗約六七寸，則可舉行移植。其移植期必在立秋前，農諺云：「六月秋，緊周周。七月秋，漫漫遊。」亦以在立秋後移植



者則生長不良，故立秋前須趕快種植也。惟晚稻皆用拔秧法，法先將秧地排水，然後拔起，打去其泥，以草束成小束，並割去秧尾，然後移植，此即該縣水稻普通種植法也。惟大穀及長毛種，則播種期及移植期較早，播種期在谷雨間，移植期則在小滿。

**施肥** 多人糞尿火灰，豬糞等之混合肥，亦有用石灰者，而六區織篋屬及七區上洋屬，則多用牛骨灰者。至施肥用量多少無定，惟先施肥，後除草。

**管理法** 早晚水稻，通常各皆除草一次或二次，係用田草穫，以長竹爲柄，用手持之，在水稻之行間往返推進，惟其早稻係直接撒播者，則農人多坐檉以拔除雜草，又有持竹棒行於水稻之行間，用足以踢踏其雜草者。至第二區屬則農人間有用膝跪地，用雙手除草者；有於除草後撒穀仔（不實之穀）於稻田中，任由羣鴨到處覓食，使其在水稻根際，時時移動，使田泥混濁，則生長較佳者，但在大穀及長毛種，施肥除草等全免。

**合撒** 用晚稻穀種三成，早造穀種七成，混勻浸種播之，播後則早稻生長快而苗高，晚稻生長遲而苗矮，收穫早稻，則晚稻繼續生長，而至收穫。用此法，則晚稻可免羣肥播種移植之勞，惟如連年用此法，能使田瘠，且翌年收量亦大減少。

**收穫** 收穫期早稻多在小暑後，晚稻多在霜降後，然亦因各品種之不同，而有遲早之別，不能一例也。收穫量上等水田每畝四石，中等水田每畝二石半，下水田則每畝一石，計全縣每年約產穀一百六十餘萬石，每石約五六元。當刈禾後，其脫穀法，普通用牛牽石軸壓脫其穀，亦有用禾桶脫穀，或用木棒擊之者。

**銷路** 本地及江門，台山等縣爲最多。

(2) **陸稻** 各處旱地多栽之。栽培法，係將穀種和灰糞條播，播種期在春分，收穫期在夏至。條播後中耕除草施

肥各一次，每畝收量約二石，惟品質劣，價亦較廉。

(3) 竹蔗 經營狀況，往昔三區北慣及六區織管種植最多，近則逐漸衰落。查六七區利用竹蔗製糖，前有糖廠四百餘所，今則只二百糖廠左右；三區尤甚，現只存三數糖廠而已。可知種竹蔗者漸減少也。然統全縣計之，約可產糖二萬餘筮，每筮約重五担，則可產糖十餘萬担。而糖質之佳，以三區北慣為最著。

前後作物 連栽二三年後，即須易地，栽以花生，薯，荳等。

栽培法 種植期在清明前，先將地耙平，每距三尺濶為一行，每株相距一尺處，即先掘穴而施以基肥，然後每穴斜種蔗苗兩枝，覆之以泥，惟蔗苗須露四分一於土上，使不覆泥。（惟三區北慣則畧異，其蔗苗直種於穴中，而完全覆之以泥。）而任其生長，至高約二三尺時，施以鹹泥（即舊屋之坭磚），或豆糞，或塘泥，或人糞，並犁鬆蔗畦溝之坭土，用鑿鑿起，覆於蔗腳上，以蓋其肥料，自後仍施肥二次，即每隔一月施一次，此後則無須再施肥，只有草即除，有虫即以手抹拭之而已。

收穫及榨糖法 舊曆十月終至翌年正月皆可收穫，收穫時用鐮刀割斷蔗莖，剝去莖衣，每四五十斤為一束，運回糖廠（即榨糖所）壓榨。其榨法俱用舊式，無化學之智識，無機器之設施，僅以二大石軸，互相銜接，置蔗於兩軸之間，藉二牛或一牛之力，使之回轉，蔗汁壓出，由軸溝流入貯槽，大約每束蔗能榨水一桶，乃傾蔗汁於糖鑊煮之，每六桶蔗水可煮成糖一鑊，惟煮時須下些石灰及油滓方可煮成，此其大畧也。煮成之糖即黃糖，每百斤售銀約十六元。

(4) 花生 栽培狀況。三區北慣，六區織管，七區儒垌上洋，八區雙撻藤汕，及五區九區一帶之旱地，栽之者最多。近因盜賊擾攘，栽培漸少，而第三區則更形衰落，其餘各區，亦畧有經營耳。

品種 有大花生，細粒仔，黃蜂腰等，近日多栽大花生。

土質 沙質旱地。

前後作物 早稻，竹蔗，薯等。

種植管理 於舊歷二月起平闢之畦，每隔八寸開一淺溝，內施以灰糞，每三四寸播花生仁一粒，然後畧覆以土。種後約一月，除草中耕一次，地瘠者可施灰糞肥一次，由此再經一月，又除草中耕一次。

收穫 大暑時其葉焦枯，即可收穫。大花生及黃蜂腰種，則可先割去其蔓，然後犁起，乃以篩篩出其豆。至細粒仔種，則連根及蔓拔起，担回陰處，採取其豆，大約每畝可產花生三四担，每担約四元。

用途及銷路 多用以搾油及製餅餌，銷路為本地各榨油店。

(5) 薯 栽培狀況·五七八九等區之旱地，栽培最盛，近日有增無減。

品種 有大路薯及四月薯兩類。其普通種，有上古紅，鐵皮薯，粉薯，白皮薯等。

前後作物 四月薯以水稻為前後作物，大路薯則為花生豆。

種植管理 大路薯處暑前後種植，四月薯霜降後種植。先將地犁耙細碎，起二尺濶一尺高之平畦，畦頂畧尖，乃施灰糞為基肥，後將長約一尺之薯苗，於每距三四寸處蒔一條。惟栽時須天氣晴和，如遇天雨則不可種植，種後約三個月，須除草中耕施肥培土各一次。

收穫 大路薯於冬至大寒皆可收穫，四月薯則在清明時。至收穫量，每畝多者十担，少者三四担。

用途及銷路 可供食用，及飼料，或磨粉，第五區鄉人且有用薯和米煮飯，以為正餐，習為慣例者。銷路為本地。

(6) 黃藤 三四七八等區栽之最多。

土質 宜沙質壤土，坡地而畧旱者多栽之。

前後作物 旱禾，薯等。

種子 多由潮州購買，本地留種生長不良，每升種子價約三元。

種植管理 清明前後播種，先起平畦，用條播法，各行相距七八寸，每畝用種子一升四合，係將種子以人糞草灰和勻，（平常一升蒜種，須用糞二担和勻）乃行條播。俟苗生長約一二寸時，須汰弱留強，一月後，則中耕除草，苗長約尺餘，即施肥培土一次，至苗長二尺餘時，又須淋尿，以供其生長。

收穫 秋分前後，即可收穫。其法在蒜樹近根處刈斷，乃由兩人互夾去其中心之蒜骨，將其皮曬乾，束之，即可出售。每畝約可產乾蒜四担，每担約值八元。

用途及銷路 多用以製繩及纜，近有用以製草鞋者。銷路本地及江門、台山等處。

(7) 芝蔴 七區一帶產之最多，每當夏日開花，遍野皆白，第五區亦有植者，其餘各區則極少栽種。

品種 有黑白二種。

土質 高燥之沙質壤土。

前後作物 薯荳等。

種植管理 雨水前後播種，先將地犁耙細碎，起平矮之畦，將種子和灰糞條播於其上。苗長三四寸時，即汰弱留強，使其株間距離約三寸，行間相距約五寸，自後除草中耕施肥各一次。

收穫 大暑至立秋皆可收穫，用刀刈取曬乾，用棒擊出其仁。

用途及銷路 製餅，黑芝蔴則可入藥，銷路本地。



## (十一) 園藝

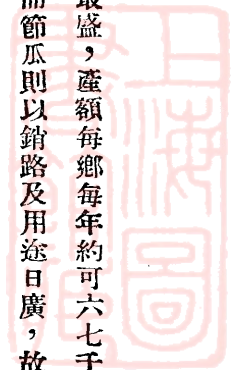
### (A) 蔬菜

(1) 節瓜 第一區屬之岡背，白沙，塘尾，輗村，及第九區屬之北甘等鄉，栽培最盛，產額每鄉每年約可六七千元；其餘各區畧有種植，惟只供自己食用耳。近城鄉人，對於蔬菜事業，素喜經營，而節瓜則以銷路及用途日廣，故植之者日多，是農人副產物之一大宗也。

品種 即冬瓜中之一種，有長苗及短苗之別，長苗種其蔓甚長，只產一瓜，短苗種則蔓甚短，能產瓜三四個，然亦有摘芽以專長一瓜者。

土質 粘質或沙質壤土均宜，農人多利用陂水及河水以灌溉，然畧瘠之地，如施肥得宜，亦可栽培。

種植管理 有早瓜及秋瓜，早瓜在雨水間播種，此時長苗種及短苗種均可種植。至秋瓜則在夏至前後播種，此時則以植短苗種爲多。種法，先將瓜種浸水，約十二小時，乃取起用禾草捲之，每日浸水一次，俟其發芽一寸時，即可移栽。栽時預將地犁耙細碎，起二尺濶一尺高之平畦，就畦之中心，施以基肥，如人糞尿，草木灰，或攪糞泥等，然後將已出之苗移植其上，長苗種每距一尺植一株，短苗種每距三四寸植一株，植後畧施以水，定植其根待苗生長一二尺時，即須設棚(用竹仔搭成)，以引其蔓，每四五日淋稀尿一次，俟其苗將至棚頂時，則可施以濃尿，且此時施肥培土一次，有草即除，不可稍令荒蕪，俟苗已結瓜仔時，又施肥培土一次，至瓜長至畧大時，則不宜施濃尿，只淋稀尿可矣。因淋濃尿，則瓜堅結不能膨發。輗村等處之農婦，勤者多担溝渠水淋之，以代尿用。倘苗長一二尺而見有蚜蟲時，俗謂生蠍可於早晨露水未乾，即撒烟沙於芽上，則芽可向直生長，否則多拳曲，俗謂之生龍船頭，不能結瓜。又當知者，長苗種俟瓜膨大約三四斤時，即用竹仔支持，以防墜落，短苗種則於初長之瓜摘後，即施肥一次，以供其



下次之瓜，如是則每株苗可長瓜三四個之多。至報村屬所栽短苗種，只留一瓜，於結瓜後，即摘去其正芽，使其生長力集中，此外有與芋夾種，「即種於芋畦之中」使盡地力者。他如九區北甘屬則栽種畧早，多在夏歷十月十一月播種，明年一二月收穫，雖瓜不甚大，但市價極貴，故多栽之。土人管理非常集約，恒用籬仔載泥種植，如遇天冷時，移入屋內，必俟苗長一二尺，然後定植，且定植地方之北部，須用禾草遮風，以防過冷，但不搭棚，其餘管理等皆用他區。

**收穫** 早瓜夏至前可收穫，秋瓜則在立秋前收穫，總之長苗種只長一瓜，瓜可二三斤，察其瓜身粉白，皮肉堅實，且瓜蒂及瓜蔓均已乾枯者，則瓜已老，然後採之，可耐貯藏。摘瓜後即拔其苗，短苗種則於初結之瓜約十餘兩時，即摘下應市，此後俟其再結，每瓜約數斤，然後再摘，必摘至三四瓜，苗始乾枯，乃可拔苗。收穫量大約每畝可產瓜十担，貯藏所宜在乾燥冷涼之處。

**用途及銷路** 用以作湯及蔬食，近則用以製瓜條糖。銷路為本邑及陽春，台山等縣。

(2) 蒜 一區屬之三江及馬曹村種之最多，幾乎無家不栽，是亦農家一大宗副產物也。其餘各區亦有栽之，惟極少數，不過供烹調餸菜之用耳。

**品種** 有硬苗及軟苗兩種，該種係由陽春運來，硬苗蒜頭畧大，軟苗則否，且苗亦畧柔。

**土質** 濕潤之粘質壤土。

**前後作物** 水稻。

**種植管理** 種期多在夏歷八九月，先將地犁耙細碎，起二尺餘闊數寸高之平畦，乃將蒜種分開小球種植。每株相距一二寸，而行距五寸。種後覆以禾草，數日即可發芽，肥料只用人尿，植後月餘，即行除草。除草後，淋以稀尿數



次，並早晚淋水，有草即除之。

收穫 翌年雨水驚蟄時即可收穫，每畝收穫蒜頭約六七百斤，蒜尾約三四百斤；蒜頭每斤值錢七八十文，蒜尾則農家多醃以自食，並無出售者。

蒜頭醃製法 將蒜頭和食鹼用手擦之，使畧殘軟，乃入埕中或缸中，醃至一月之久，即可取食。蒜尾則切碎後，亦如法醃之。

銷路及用途 銷路本縣之閩坡及近海之船家，多用以佐膳。

(3) 葛薯 三四十年前無栽之者，其種子近由外縣輸入，栽者日多，八九區之旱地及崗頭地，幾偏地栽之。形狀及品質 薯大如拳，身有溝列三四條，頭端圓大，尾端尖小，味甜而肉嫩，水分又最多。

土質 沙質壤土，喜乾燥，瘠地亦可栽培。

種植管理 種植期驚蟄前後，用點播法，先起一尺闊之畦，乃於畦頂起溝，施以人糞，分兩行種植，行距五六寸，株距五寸。每穴下種子一粒，其不能發芽者，則補種之，約二十日苗即茁出，至苗長五六葉時，即淋稀尿，又約半月再淋一次，如見苗生橫芽，即須注意摘去，待其正苗約有八寸時，則要摘芽，以長其薯，有花亦要剪去。自此以後，每十日淋尿或魚汁（即醃鹹魚水）一次，植後約二月，並施糞培土一次，此外則除草中耕一二次而已。

收穫 小暑至立秋，皆可收穫，每株產薯一個，每畝可產薯約七八担，每担價銀約三元。

用途及銷路 可供蔬菜之用，銷路多在本縣城市。

(4) 慈菇 品種有香菇慈菇兩種，香菇葉幼細，慈菇葉較大。

土質 肥沃粘土且常有水浸者，縣城附近河畔地，及鄉間有水之肥沃地，多種植之。

選種 摘慈菇子下部圓滿，而身有雙(卽者)者(卽有兩圈者)，以爲種秧之用。

種植管理 於雨水前後，將種秧植於慈菇地，株間距離縱橫約八寸，植後至七月初，則生慈菇。其莖極多，可用以爲種而移植之。但由此種而種植者，土人謂之栽蠶，至由蠶所生出之莖而用此莖以栽種者，土人則謂之栽莖。故栽蠶當在立秋間，而栽莖則在霜降前也。栽莖不需管理，惟栽蠶則要打葉三次。卽近霜降時，將莖拔起，賣作種苗，並將尙餘之莖盡行除去，隨以手撥平其泥，謂之封根。此時卽當打葉一次，其後則每隔十餘日打葉一次，但無須施肥，惟其葉易生蚜虫，可引水浸至葉尾，則能將虫洗去，或用手抹之亦可。

收穫 蒔菰蠶在夏歷十一月，蒔菰莖則在翌年雨水驚蟄間，便可收穫。先用手將苗連泥翻轉，乃摘取蒔子置於筐內。收穫量每畝可產五六担，每担價值六元。

用途及銷路 作蔬菜之用，銷路本地城市中。

### (B) 果樹

(I) 荔枝 隨處皆有種植，且有全園專種荔枝者，如一區報村，木寮等處，有荔枝園，又第七區新墟之香荔，及上洋屬之玉荷包，亦最爲有名。近日樹漸衰老，極少新植，出產遠不如前云。

品種 有玉荷包，白臘，香荔，黑葉，火山等，玉荷包及白臘，果大而肉厚，香荔味清而香，黑葉品質最良，火山則味甚酸劣，最下之品也。

種植管理 蕃殖多用駁接法，初植時每樹相距約二丈，並施以塘泥，促其生長，及樹長大，則於春季開花時，卽行除草施肥。其法將距樹腳圓周約數尺之處，鋤成圓溝，形如圓圈，淋以液肥(用溝渠水和廐肥等發臭)，以坭覆之。

收穫 當夏歷五六月間，果已紅熟，便可收穫。惟摘果時，須連些枝梢摘下，否則明年多不結果，大約每樹產果平均約五六担，有完全無結果者，是年謂之陪枝，其果每担十餘元。

銷路及用途 多用作生果，銷路本地。

(2) 桔 甜桔為本縣名產，往昔栽培最盛，近因病蟲害繁生，農人不知治理，致使江邑名產，幾乎絕跡。現只第八區間有種植，其餘各區，則極為罕見，而市上所售之桔果，多由江門運入，其味不及本地桔殊甚。紅桔因病蟲害較少，故栽培尚多，然亦無以為專業者。

品種 有甜桔紅桔二種如下：

(a) 甜桔 皮薄而滑，色淡綠而畧紅，其果肉與果皮極為密接，汁多而食味極甜。

(b) 紅桔 皮厚而粗，色紅如朱砂，故又名朱砂桔，果肉與果皮畧為分離，味酸。

土質 沙壤土而畧肥沃者為最佳。

種植管理及蟲害 蕃殖多用實生，間有用嫁接者，每年中耕除草施肥各二次，肥料多用塘泥，用量無定。補後數年，極易生蛀木虫，將樹心嚙成一孔道，使樹幹空心，排出蛀粉，俟成虫即由枝梢穿出飛去，樹即乾枯。一般農人多無法防除，勤者或以鐵線刺其虫而殺之耳。

收穫 於夏歷十二月即可收穫，每樹結子多者約六十斤，每斤價值約銀二角。

用途及銷路 甜桔用作生果，惟紅桔則邑人俗例多於新年時懸之門上，以表大吉之兆。

(3) 波蘿蜜 第八區塘圍附近及第九區大八栽之頗多，其餘各區亦有種者，惟皆零星種植。

品種及形狀 有乾包及濕包兩種，樹之高度約二丈，葉橢圓而厚，面光滑，背微澀，脈突起，種後十餘年，方能

結果。其結果係在樹枝幹間，近樹頭者則愈大。果形多橢圓。果皮周圍有稜突起如釘狀。據鄉人說。其皮之釘狀突起大蜜者，則內部之果包恆少，否則多云。

種植管理 六七月間，選擇其形圓而多包之果，乃取其內之包核扁圓者以作種，種於盆上，任其發芽生長。至明年春，苗長約尺餘高時，即可移植。植時先將地掘起二三尺深三四尺闊之穴，施以堆肥。再加以細泥，然後將果苗移植其上。初植時施以塘泥，及長則每年除草二次。

收穫 六七月間，見果皮畧黃，便可用刀收落，以為生果之用。每樹大約可產果五六十枚，每枚大者約二十餘斤，然亦有三四斤者，每斤八十文，如果將熟而未熟時，亦可收落，靜置數日使熟，惟不及樹熟者之佳耳。

銷路 多在本地，少運往別縣者。

(4) 烏欖 散見於第九區之山麓，其餘各區極少栽培。

品種 有牛屎欖，香欖，其色烏黑，統稱烏欖，惟牛屎欖大於香欖。就品質言之。則香欖味較佳。

栽培法 皆用實生，六七八月均可播種。與種波羅樹時期畧同，惟極粗放，不加管理，除草之外，只順自然生長而已。

收穫 種後約五六年，即可結果，十年後則逾年結子更多，每年七八月間，果色已黑，即可收採。每株產量約三四担，每百枚約值錢五六十文。

銷路及用途 除鄉人自用外，多運出城市銷售，買之者先將欖子用沸水沖熟，以線割開入以鹽。謂之欖角，用以佐膳。

(5) 柑子 第八區有栽之，年產約百數十担，其銷路恆在本縣城市，其皮可入藥用，運之遠方。功效尤著。

此外如龍眼，黃皮，蕉等，栽培法無甚特別，恕不贅述。

## (十二) 畜牧

該縣對於畜牧，頗爲重視，就中以飼鴨，鴨，雞，豬最多，牛羊次之，馬則極爲少數，只供代步用。

(1) 鴨 近海地方，鮮養鴨者，各區近河鄉村，則皆養之，而以一二八等區飼之最多，且近來業此者比前較盛云。

(a) 鴨 養鴨之家，須先配足雌雄，普通雄鴨占十四%，鴨占八十六%。每年產卵期，有早造二造三造及四造之別，早造則在七月初旬，二造則在九月，三造則在十一月尾，四造則在二月。飼料通常用穀菜等，但早造天氣太熱，不飼飽則鴨常行勸覓食，恐觸熱氣；二造又正當起卵之時，須壯其身，不宜使飢，故每日皆須飼四餐；三造時有田埠可食，每日飼三次；四造時恐鴨產卵過勞，欲抑之使不產卵，則每日飼二餐。又宜注意者，四月初時，須拔翼毛，拔時大約雄鴨在四月初，鴨則在四月中，拔後宜飽餵薯或穀，並接食田埠，約四十日後，即可產卵。在孵卵期，須有熟練之技師，俗名師傅，其法鴨伏卵五日，即須照於日光中一次，(照法先將門掩閉，而留一罅之光，置卵其中照之。)無胚胎者則執出之。蓋照於日光中，有紅筋及如蜘蛛形者，即表示有胚胎之象。如照時其卵如一汪水過並有黑雲者，爲無胚胎之徵。初次照時，能留八成有奇。俟再伏至十五日，又須復照。所以然者，因鴨構精時，或伏卵期，如天氣良好則卵多能出雛，否則雖似有胎，而亦不能孵化也。故其時照見有紅邊者亦宜執出，其青色者乃可留以再伏也。又伏至二十五日後，仍須照之，照時察係斜眉減水，則雛可出，如齊眉減水亦出，惟減水過少，或減水多者則不出。(所謂斜眉減水者，即以鴨卵照日光中，其內之水畧減少而定，但非正減，而爲斜減，如與卵成斜形也。所謂齊眉減水者，即正減之謂，至減水多者，則其卵內之水減少一半之謂。)至此時不必再伏，經三四日後，則孵化矣。

·又須知者，鵝鵝可伏十卵，故鵝之太瘦者可擇出休息，不必盡數使伏卵也。當伏卵時，可隔日始飼一餐，計每餐所食，每鵝鵝五十只，飼浸水谷六升足矣。此經營鵝鵝業之狀況也。

鵝巢 養鵝鵝家，於鵝鵝產卵時，須備鵝巢，大約養三百鵝鵝者，則擇闢十五桁深二丈之普通房屋，安置木架三層，每層相距一尺五寸，各安置以草編徑長一尺二之圓鵝巢。下層近地，使鵝可自由到處產卵，其上層及中層，則俟其生卵後，即拾卵以置於此，或俟鵝產卵完竣時，捉鵝鵝於此以爲伏卵之用。

價格及銷路與運輸法 價格早造鵝苗常貴，每百頭由四十至七十元。銷路爲本縣及江門，台山，恩平，陽春等處，但孵化之後，運輸頗難。江邑有人專經營賣鵝花者，恆購將孵化之卵運之遠方，實與運鵝仔者無異，茲並及之。凡業此者，買伏至二十五日將孵化之卵，運至發售地。其卵即出雛，例如運往江門或別處，在路程上要二三日，則買已伏廿五六日之卵，俾到埠時共經廿八九日，即可孵化矣。故經營是業者，其購買鵝卵之價，與鵝仔之價無異，每卵須五角至七角左右。至其在行程時或在火船時之管理，亦須留心，其法即將已經伏有二十五日而確可出雛之卵，用鵝箱分兩層裝置，大約下層鵝箱，可載鵝卵一百六十個。上層則可置一百二十個，爲其上下層，須有紙被蓋之，紙被之長約五尺，闊約二尺五寸，畧厚於布，係用紙製成，以保護溫度。但溫度須適宜，以手探之，要溫暖乃可。

(b) 鵝仔 最大群數五六百。

飼養及管理普通法 鵝仔孵出後，即可以浸透之米及切細之蘿白菜飼之，惟先餵米，後飼菜，日間須飼四餐，夜間亦須飼一次。每日晚間，須燃燈照光，以防鼠害，並不可使其自由行動，須用禾草墊底之籠，每個載鵝五只，及明早即放出，如此至半月之久，則可餵之以穀，惟飼穀之初，必將穀浸水中約一小時，然後餵之。但夜間仍須以籠載之，待一月後止，於是每鵝一百，可分兩隊，用竹片編成籬圍之。又未滿月以前，懼晒，蓋日晒則毛老紅黃而難大，

故以近日陰處爲宜。至四十日後，則穀可無須浸水，直接飼之可也。此時鵝體稍大，不畏日晒，日間皆放牧於田野，並可雜以穀仔（卽不實之穀）餵之，每日飼三餐，至滿六十日，卽可出售，名曰鵝駁。

工數 飼鵝三四百者，須放牧一人，每年工價六十元，買飼料及掃鵝舍等雜務一人，每年工價四十元，均另供膳。

銷路及價格 多輸運江門台山恩平等，價格每頭約一元五角。

鵝瘟 土人謂鵝遇不潔之穢氣，卽不食生草，亦不行動，精神困倦，有轉瞬間鵝卽死亡大半者，是爲最可怕之病害，鄉人無法治理，惟多於初起時，用桔子葉和薑醋等用鏟煮之，使發蒸氣，乃捉病鵝一一經過其上，則可痊癒云。

(2) 鴨 江邑養鴨之風最盛，各區皆有飼養，而以一四八等區最多。凡業此者，必批田埠。蓋坳田及潮田，當六月十月收穫時，有多少穀粒遺落田間，供鴨覓食，飼料可以減少，食完田埠，鴨已肥大，卽可出售，但有專飼鴨颯及鴨仔者，茲分述之：

(a) 鴨颯 不論雌雄，其頸長，且身如筒形而堅硬，毛如鶴鶉而密實者，乃爲佳種，至雌雄配合，普通每鴨百頭，只須雄鴨五只耳。據鄉人說，雌雄之分別法，亦甚簡易，卽俟鴨仔畧有尾羽時，觀其尾羽有二條向上卷而且聲殘者，則爲雄鴨，否則爲雌鴨也。

最大羣數 約三四百頭。

普通飼養及管理法 飼養六七月後，卽能產卵，其產卵至多者每年可三百個，但飼鴨颯百頭者，如飼養得宜，則日可產卵八九十個。如見其產量減少，每日只產三四十個時，則須制身，（制身者卽使不產卵之謂。）其時可以不實之

穀和些少實穀飼之，約至一月之久，乃將實穀漸加，以至完全飼以實穀；則鴨鵝產卵漸多，每日由三四十個而至八九十個，此時不可使飢，每日放牧田埠，及飼以實穀三餐，又須守時刻，每日上午七時及十時與下午三時各飼一次，計養鴨鵝百頭，每餐需飼穀一斗，每日三餐，要飼穀三斗，此其大畧也。

鴨舍係用普通之屋，建築在河邊或塘邊，大抵養鴨三四百頭者，以十五桁闊，二丈餘深，一丈高之屋爲宜，且須開窗通風。屋內周圍，滿放禾草，以便鴨鵝到處自由產卵。

附人工孵卵法 江邑人工孵卵，每年只二次，早造在清明前後，尾造在小暑前後，先用竹圍（長六尺八寸高二尺二寸）圍於地上，而底填穀壳，四周復用葵尾封固，乃將卵（須不光滑，不皺紋，且以卵互擊而聲不啞者。）用網袋袋之，每袋約載卵六十二只，另以穀炒至大煖，墊入竹圍底，即置有卵之網袋於其上，隨後再以炒熱之穀加入，使其上下左右皆有熱穀圍之。最上一層，須覆以紙被，如此一俟穀溫消失，則次第取出，再將穀炒煖，仍如前法孵之。七日後可將卵取出，照日光中，其一汪水過者，則拾去之，有蜘蛛形紅根者，則復如法孵之。至第十七八日移置鴨床，俗謂上舖，用紙被四圍圍之，但此時卵能發熱，須時時轉移，約每日三次每夜二次，使不至太熱，如是至二十八日，乃辨認近鴨喙處之卵壳，以刀仔刺破，則可孵化。據鄉人說：鴨由卵孵出後，如不飼水，則可數日不用飼料，如已飼水，則即給以飼料，否則不能生長，通常於孵化後二日，然後飼之。

銷路及運輸 銷路爲本地及恩平，赤坳廣海等處。其運輸多用圓簍將孵化之卵分二層安放，每層約載卵百餘，由人工担任各處銷售，惟至中途，仍須將鴨卵翻弄，使其熟度均勻。如中途有孵化時，則須擇去其蛋壳，以輕負担，每隻鴨約值銀二仙至六仙。

(b) 鴨仔 最大羣數六七百頭。



普通飼養及管理法 細時除飼以浸米外，並宜和以研碎之蒼蠅蟹蛤仔等，使易發育，五六日後，飼之以飯，三星期後，則可以糠和飯餵之，一月後則餵以穀，但須煮軟，必四十日左右，方可省煮穀之勞，而餵乾穀。日間驅出田塍，或河池中，使自覓食。並宜注意者，幼時以笠載之，每笠約載十一二頭，十日後每笠約載十頭，十五日後，每笠約載七八頭，以次漸減，至廿七八日後，則不用笠載，但編竹片爲圍，分二隊隔之而已。

銷路 除本地外，皆運往江門，斗山等處。

(3) 雞 各鄉農家均飼之，但每家亦只飼數只至數十只而已，無專營是業者。

種類 黃腳雞及竹絲雞，黃腳雞羽毛色黃，或黃黑相間，而肉白；竹絲雞則羽毛白而肉黑。江邑人所養者多黃腳雞，至竹絲雞則養者較少，其最大者重約三斤。

飼養法 幼時用米粹飼之，及長則飼以穀或殘飯混糠仔，(即穀壳之較幼者)或以豬糠煮熟爲飼料，早晚各飼一次，餘則任其自由覓食昆虫，及草蕓，農家每於早晚稻收穫時，順用籠帶出田垌，任由覓食遺穀，及晚帶返。

普通管理法 幼時由雞纏帶之行動覓食，雄雞飼至六七十日，身體強壯。如非留作種用，可卽行闔勢，而後飼之。雌雞則飼養五六個月，即可殺食。惟用作雞纏者，則再飼一二月後，卽能產卵，每年每雞約產卵二百餘。

雞病 多無法救治，只見雞精神困乏，且不覓食時，用雞腸椒及豆油灌入其口，亦有救活者。

禽舍 極爲簡單，平常家中飼養者，多用雞籠，係用竹做成，晚間使雞自己入內棲止，或用雞棧，係用木製成，上面蓋以木板，四周及底，則削木成條，疏疏圍之，另作棧門，使雞出入，如此則棧內雞屎，可用棧底流下，易於打掃，法較善也。然亦有不設雞籠雞棧，由雞隨處棲止於屋角或床底間者，隨處排泄，極爲不潔，農人不知處理，此乃習慣之最不良者，至雞產卵時，須先備盆墊草爲巢。

(4) 猪 江邑農家，飼養最盛，家家幾皆飼養，惟爲數不多，每家只飼一二隻耳。至各酒米店，則飼之成欄，每欄恒多至十餘頭，專養肉猪，無放牧者。

猪之毛色 背部及頭部與尾部均黑，其餘各處皆白。

銷路及運輸 除銷流本地外，多用火船運往江門，用帆船運往台山發售。故每當各船開行之先，各鄉農人，多抬至城外河堤，以便發賣。

普通飼料及飼法 多利用食餘，殘飯，洗米水，粥，糠，糟，薯，薯葉，豆腐頭等爲飼料，飼法甚簡單，茲畧言之：幼猪飼之以粥，過槽（卽係幼猪畧大，而未成肉之猪，俗名過槽）則飼料無容太厚，可用洗米水畧加以粥，糠，薯葉及食餘等飼之。肉猪則以長肉爲主，宜餵之以糠，糟，粥，薯，薯葉，豆腐頭等，使飼料濃厚，易於長肉。

每猪之飼費 猪仔每日約四十文，過槽一毫，肉猪則二毫。

放牧與管理之普通法 猪仔幼時由猪豕導之出外行動，過槽亦任由出外，均不用雇工，至肉猪則不放牧，食後卽使靜臥，不令越猪欄一步。

猪舍 農人多任意安設，多在廚內以禾草墊之爲寢所而已。至酒米店之猪欄，則在舖內，用木條爲欄，於近牆腳處，開小窻數個，以便通氣。

(5) 牛 各區農家皆飼養之，其耕種多者，飼至七八頭，然普通農家，另養一二頭耳。

品種 有黃牛及水牛兩種，黃牛角短而鈍，皮黃毛幼，體力皆小，水牛則角銳而長，皮黑而堅厚，體力亦較大。管理法 雇牧童放牧於空曠之草地或山地，任其自由食草，惟午刻則不放牧，蓋天氣熱，且須休息，則不病牛也，及晚必使飲水於埕塘，有牛虱時，則以牛剗刮之，乃可牽回牛舍。飼料普通以禾尾，但天雨不能放牧時，或冬季野

無青草，則飼料要加多，亦用禾尾或用薯苗，及以薯煮熟和水，早晚飼之。又宜注意者，如係水牛，炎熱時當使落池塘日浴數次，俾消暑熱。牛仔養至一二年，用銅環穿牛鼻，以繩牽之，使易馴服。如係雄牛，則並要閹勢，現多用夾卵筋之法。

價格 平常每只黃牛大者六七十元，小者三四十元。水牛則大者一百五六十元，小者及衰老者亦要六七十元。

(6) 羊 各區飼養羊者甚少，間有養者，皆係山羊以供肉食。就全屬言之，第一區第三區及第九區所飼養者，每群少者一二十頭，最大群者四五十頭。

銷路及運輸 除本地銷用少數外，多由陸路驅至恩平縣銷售，出口並無特別稅捐。

普通管理法 羊產出後數日，即可放牧於山野間嚼食樹葉及雜草，不須另給飼料。諺云：「養羊栽薑，無本之利。」蓋言獲利之厚也。惟放牧時，須在午後，如在早晨，則植物多露，羊食之能爛其嘴，切勿放牧。又最忌者，當西北雨時，羊遇之極易發瘟，故每當西北雨將至時，須即趕羊回舍，此牧羊者所最宜注意也。不特此也，凡牧羊者，要用筒仔將其底穿一小孔，載以鹽及百足虫用水浸之，懸於羊舍之門口，則筒仔之液，時時由小孔漏出，而羊由門口出入，必以舌舐之，謂可助消化云。

### (十二) 森林

該縣森林極少，然第九區雨霖山一帶，綿亘數十里，有天然林，林木叢生，惜為盜匪藏匿之所，且運輸困難，人鮮注意之。其餘各區，則童山濯濯，惟鄉人迷信風水，村背後山，鬱鬱蒼蒼，任由雜樹生長而已。近數年來，一般人士，知森林之重要，對於濯濯童山，提倡種植松樹，而六區織篋屬有專種松苗，如禾秧一般出賣者，每萬株二元左右，各處多到購買，廣行種植。至各村後山之雜木，皆不知何年生長，雖間有參天老樹，惟為數無多，其餘多屬雜柴。

且以迷信風水故，禁人斬伐，不足述也。

土人種松法，用木削尖，入土起泥，隨放松秧其中，覆泥而踏實之，不用淋水，即能生長，惟種時以陰天爲宜。

#### (十四) 農產製造

(1) 製豆豉法 江邑豆豉，以三德店所製爲最佳，銷流頗廣，其製法，先將黑豆用水甑蒸熟，次置大竹筒上，晒至半乾，乃收回室內，安置架上，以黃茅蓋之，任令發霉，至七八日復取出晒之，而揚去其霉，再用水洗滌，以霉去靜爲止，復以煖水淋之，以奪霉味，瀝乾後，再以些少酒混勻，使其發酵，至二十四小時之久，豆身便軟，乃取出和以食鹽，置入程中焗之(如製薑豉，則加老薑。)

(2) 製福紙法 六七區之塘口，桐油，舊寨，舊倉，陂底，藤歷等處，因近大山，有瀑布泉，土人多利用泉水以發動確舂竹，而製福紙。其法即先將竹置於石灰槽內，瀰之數月，使其質脆，然後將竹取出，到泉水中洗淨，乃投入水確處舂之使碎，竹既碎後，即置於槽內，用水和勻，使成竹漿，乃以竹籬用手持之，投竹漿中，取起後則水溜下，而竹碎凝於籬內，轉置一處，便成紙片，如此繼續爲之，俟紙片約疊至一尺高時，然後壓出其水，乃晒之日光中，既乾，又用竹刀將每張劃開，使不粘着，再晒，是成福紙，用途爲製紙條及拭穢之用，銷路本地及江門各處。

(3) 製皮箱法 皮箱爲縣特產，其所用之漆，係由外處運入，非土產也。據製皮箱者言：皮箱店以在邑中城內西門街者爲良，係因氣候關係，至所搽之漆，非常光滑悅目，別縣不能及也。製法先備箱壳，而裹以皮，(即牛皮有水皮及沙皮兩種，沙皮係黃牛之皮，水皮係水牛之皮。)然後搽漆，漆有漆精二油之別，普通搽二油四層，乃搽漆精一層過面，惟每於搽二油之先，必將皮面以刀刮光，然後再搽，則搽漆精後，光澤悅目。惟搽漆時，須懸燈在密室內搽之；如係水皮，則皮質較軟，於搽二油時，須和荅粉搽之，乃不生皺，惟荅粉用量，由搽漆者酌定。

銷路 本地及省城，香港，斗山三埠等處。

### (十五) 輸出品

輸出品以穀鴨豬雞鴨爲最多，次爲福紙皮箱豆豉等，再次爲蠔油鹹魚等。至其輸出額，則言人人殊，不敢妄錄。

### (十六) 特產品

(1) 大八砂仁 大八砂仁，爲本縣特產，多種於第九區大八附近，故名。然以葛藤坑產者爲最佳。

形狀 莖直立而有節，葉細長而無柄，其花生於根部，果常八稜，較尋常者稍長。胎座下有核，俗謂之封底仁。

種植管理 二三月分根種植，然多在山坑而有樹陰之下植之，每於將結實時，遍設水碓，使山鼠蝙蝠等，聞聲不敢

近，乃能保全其果實。五六月即可收穫，以供藥用，其花又能泡茶，價值極昂，其實每斤約十元，其花則極少出售。

(2) 木棉 城內鬮山上，昔有木棉數株，相傳係南宋時物，邑令莊大中有木棉花賦，今則只存一株，高插雲漢。

當春而花，紅光熊熊，能映照海面，卽所謂鬮江春曉，爲江邑風景之一，解縉詩云：鬮江二月火燒天是也。

(3) 涼粉草 涼粉草，葉頗小，草本，頗堅韌，產九區大八附近，山人多種之。曝乾，每百斤約可售銀四元，邑

人多以其汁和米粉，煮成仙人凍，俗名涼粉，亦有作泡茶用者。

### (十七) 農林前途之觀察

江邑農業，窳敗殊甚，卽就人生日用所必需之蠶桑油糖以至果樹類之桔柑言之，前時出產概多，近則有減無增，漸形衰落，而農民智識，尤爲固陋，只知墨守成法，不知改良，對於各種病虫害等，固無法預防，他如土地利用之法，亦不講求。是速宜恢復原設農事試驗場，俾將來以試驗所得，領導農民，改良農業，庶幾日有進步也。

縣屬童山，舉目皆是，宜由政府獎勵植林，使人民得自由向政府承領種植。近海地方，常有海風，亦宜多種防風林

，他如雨霖山一帶之天然林，更宜設法開採，是則政府所宜注意者也。



# 陽春縣農業概況調查報告 民國十六年

馮英材調查

## (一) 區域位置

陽春縣位陽江縣之北，東界恩平，東南界陽江，西南界信宜茂名電白，西北界羅定雲浮，東北界新興。全縣共分六區：

區署所在

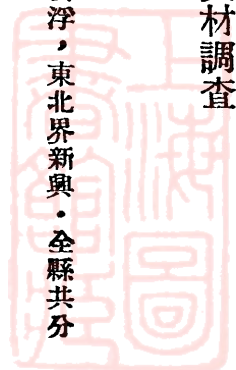
位置

第一區	縣城	中部
第二區	合水	北部
第三區	黃泥灣	較北部
第四區	三甲	較西部
第五區	潭水	西部
第六區	崗尾	東南部

## (二) 地勢

春邑東西北三面環山，中部則頗平坦，地勢西北高而東南低，北部山嶺多而地勢傾斜，漠陽江大水源出於此，西部山嶺亦多，漠陽江小水源出於此，此大小兩水由東南相會而過陽江縣。該邑平原之地，約占十分之五六，其餘山地約佔十分之四五。

## (三) 氣候



陽春氣候溫和，大小暑間溫度最高，大小寒間溫度最低，此時期且間有凝霜者，雨量則春夏之交最多，冬季最少，夏秋間亦常有颶風爲患。

#### (四) 水旱情形

漠陽江在陽春縣境，分大小兩水，各區皆有河流貫注。天旱時沿河地方，農人多用人力車以取水，距河遠者或較高之田，則引水極難。雨水過多時，則沿河低田，常有水患。

#### (五) 交通

縣內河流縱橫，沿漠陽江而下，可直達陽江，其運輸貨物，皆用帆船，惟河底多沙，冬季時，行船者往往中梗。至陸路運輸，多用挑担，或用牛車，現第三區黃泥灣至新興天堂來路，已經築成，春邑北部與新興交通，尙稱便利。

#### (六) 耕地狀況

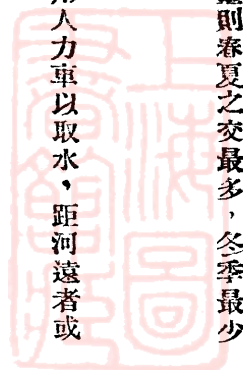
縣之各處土質頗佳，猶以小水流域附近田地爲最肥美，表土厚，而色灰黃，多屬壤土，至大水則由縣城以上，沿河一帶，山石林立，土質輕鬆，多屬沙質壤土。

#### (七) 耕作情形

第三區植稻薯之外，以植烟葉爲多，第四區則多植杉樹及畧植烟葉，第二區植稻薯外，多植竹蔗，香芋，蒜，大薯等，第一六五等區則只植稻，薯等。

#### (八) 農民經濟狀況

田地租價 與陽江縣畧同，大約上等水田，每畝一百五十元，年租二石，中等水田每畝一百元，年租一石五斗；





下等水田每畝三四十元；年租一石。至旱地則每畝由二十元至一百二十元，年租由二元至十元。

長短工價 長工多用男人，工價每年由五十元至八十元；短工男工忙時每日七毫，女工每日四毫。閒時男工每日四毫，女工每日二毫，均供膳食。

大小農之經濟情形 每一農戶，耕五畝至一十畝者，約占二〇%，耕十畝至二十畝者四〇%，耕二十畝至五十畝者約占三〇%，耕五十畝至百畝者約占一〇%，耕百畝以上者最少。該縣並無當舖，只第二區有福來押一間耳。

### (九)農村教育狀況

該縣近日始振興小學。茲將農村教育調查表錄下：

區別	高中或初中		高等小學		國民學校		私塾		總數		失學兒童占幾%
	校數	人數	校數	人數	校數	人數	間數	人數	校數	人數	
第一區	2	122	4	204	5	220	27	460	38	1006	70%
第二區			1	72	1	62	25	475	27	561	80%
第三區			5	250	9	455	18	375	32	1080	70%
第四區			1	96	6	240	29	556	36	890	75%
第五區			5	340	7	420	18	346	30	1106	70%
第六區			2	70	7	240	16	325	25	635	80%

### (十)作物

(a) 水稻 該縣爲餘米之區，植稻最盛，米質最良。其品種極多，普通者早造有蜜仔赤，蜜仔白，掛犂望，田基路等。晚稻有黃粘，黑蓮，三稗，雪粘，竹粘，油粘，香粳糯，大糯等。其栽培法與陽江皆同，無容贅述。

(b) 煙葉 第三區種植最多，品質最良，人稱爲灣煙，蓋該邑第三區黃泥灣所產者也。其總產額未詳，然據第三區區署言，民國四五年時，栽培最盛，年產八九萬担，近因煙稅太重，煙價低跌，且爲奸商操縱，業此者多不能獲利，有改植他種作物者，現年只產煙葉約二萬担云云。觀此，則植煙者日見衰落也，其餘第四區亦有種植，惟品質較劣，且種植不甚盛。

土質 宜深厚之壤土，且無水患者。

前後作物 水稻薯豆等。

留種 先擇生育強壯之株，留爲種用，惟其種子須就其未十分成熟時收採陰乾。

播種期及方法 八九月播種，先將地整至細碎，乃用草灰和種子均勻，然後撒播。播後蓋以松葉，每日淋水一二次，俟發芽後，即可除去松葉，及稍長，淋以稀尿。

移植期及方法 正二月時即可移植，先將地整至細碎，起一尺高三尺餘闊之畦，開品字形穴，每畦種植兩行，每穴相距一尺五寸，深四寸，先施灰糞與土和勻，然後移植，植畢淋以水。

管理法 移植後約生長十五六葉時，即摘去頂芽，使發二橫枝，並隨時摘去各腋芽，又俟其橫枝長至十二葉時，又摘去橫枝頂芽，以長其葉。就其葉之着生部分，可分數種：(一)尿胆，即近地之葉；(二)沙脚，在尿胆之上；(三)下身，在沙脚之上；(四)托葉，在下身之上，至由橫枝所生之葉，謂之葉尾。其中各葉，以托葉價值最昂，且味亦重。施肥則可於植時施灰糞或豬糞一次，植後月餘又施豆麵一次。麵之用量，每株約施三兩。施後即行培土，以後則須

注意除草，旱時淋水。

收穫 四月間，見葉色淡黃，即可收採，係由下部屎胆起，次第收採，以及上部，約需三四十日，方可收穫完竣，每畝收量約乾葉二担餘。

晒煙葉法 先將煙葉摘回，密排竹筴上，(筴闊二尺長四尺係用竹片織成)排完又加竹筴於其上，乃用竹片串好，然後每兩筴相挨，成人字形，向正日光晒之，使兩筴煙葉皆受日光均勻，俟見葉面毛起時，即反轉他面晒之。又見葉面毛起時，即可收回使其發酵，如法晒之至三日，則葉已轉黃，土人謂之過青，此後則可晒之畧久，再數日即可自由晒之，至極乾乃將筴中煙葉層層相疊，約數十斤時，用竹片周圍縛實，即可出售。

銷路 本地及陽江，江門，澳門，等處，每担二十元至三十餘元。

(c) 竹蔗 第二區栽培最盛，搾糖所亦多，其栽培法及搾糖法均與陽江無異，茲不贅。

(d) 芋 普通種為紅芋及香芋，而第二區之香芋為最著，其栽培法與普通無異。

(e) 大薯 第二區栽培最盛，種法係將薯芽倒轉植下使其芽向泥下，則將來生長非常壯大，管理法皆甚普通，茲不述。

(f) 薯 各區皆栽培最多，然皆不施肥料，其餘種植管理與陽江同。

花生 各區皆有種植，近漸衰落，係因收量日減所致。

其餘旱稻，大麥，小麥，花麥等，均有栽培，惟非大宗出產，故不述。

### (十一) 園藝

(1) 蔬菜 該縣普通蔬菜皆有種植，然產額不多，栽培法無足述者。惟蘿白及蒜則畧有輸出，茲述及之：

蘿蔔 第一二五六等區植之最盛，於秋季將種子點播，惟先起平畦，施下堆肥草木灰之類，以作基肥，然後種播，植後月餘，中耕除草及施以灰糞，並行培土。收穫期在大寒冬至，每畝收量約十餘担，每斤約二三十文。土人多將其刨絲曬乾，或用鹽醃之，以爲食用，銷路多運往陽江。

蒜 第二區栽之最盛，種法與陽江縣同，惟該處農人有植以作種用者，卽任其生長至三四月時，乃收之曬乾，懸於廚上，卽可作種，銷路多運往陽江。

(2) 果樹 果樹栽培極少，且形衰落，第一區馬水甜桔，前時最爲有名，今幾絕跡。就龍眼雖有種植，然亦零星於村中前後，此種龍眼果，農人多用以製元肉。其法先將龍眼子焙乾，脫去其壳，而出其肉，再畧晒之，卽成。其他如菠蘿荔枝等，亦有栽培，惟出產極少，其栽培法與陽江同，茲不贊。

### (十一) 畜牧

該縣對於畜牧事業，頗見發達，計每年產鵝、鷄、鴨、豬等，由陽江轉運恩平、江門、台山等處發售者，爲數頗多，但不及陽江之盛，牛則每農家皆有飼養，羊則只第三區屬有百餘頭，其他各區則極少，至管理飼養各法，皆與陽江縣同，茲不述。

### (十二) 森林

該縣以產杉爲最多，竹之種補亦不少，其餘如松及雜柴等皆有，但山嶺荒廢者仍多。

杉 以第四區植者最多，年中出產約十萬元，植法先將杉枝浸水，約八九日，乃行插植，每枝相距六七尺，植時不可過深過淺，約三四寸爲佳。

竹 第五區山嶺最多種之，係用分根法，其竹用以製福紙，製法與陽江製福紙法相同。

#### (十四)特產品

砂仁 砂仁別名春砂，蓋由陽春所產之謂也。最良者為第一區蟠龍山谷所產，昔日皆盛栽之，現時則植者極少。故欲購買真正該處所產者，則覺難乎其難，至第三區山谷間，亦有種植，惟品質不如蟠龍所產之美。

品質 有青苗及黃苗兩種。

土質 以濕潤肥沃之山谷為宜。

種植期及方法 立春至清明之間用分根繁殖，惟每距一丈餘處，須留雜樹一株，或植蕉一株，使蔽日光，乃能生長繁茂。

管理法 於冬季刈去老苗，並於每年除草二次。

收穫 植後三年，即行結實，其果生近根部，二三月開花，立秋前後成熟，但植後約十年，結實漸少，終至不能結實而乾枯，此時須擇別地以種植，不能連栽。

用途價格及銷路 可入藥用，每斤蟠龍所產者，價約十六元，他所產者七八元，銷路本地及陽江，省城等處。

#### (十五)輸出品

輸出品農產最大宗者為烟，穀，鵝，鴨，鷄，豬等，林產品則為杉，福紙等。至其輸出額，除前有述及外，其餘皆無統計。

#### (十六)農林前途之觀察

該縣荒山，宜推廣種植杉林，表土淺薄之荒地，宜種植粟類及薄豐等雜糧作物，以增生產。

廣東農業概況調查報告書續編

陽春縣

三八六







A541 212 0008 6765B

SUN YATSEN UNIVERSITY  
 COLLEGE OF AGRICULTURE  
 VOL. II NO. 1  
 REPORT ON THE GENERAL SURVEY  
 OF  
 AGRICULTURAL CONDITIONS IN  
 KWANG TUNG PROVINCE  
 CANTON, CHINA  
 Aug., 1929

中華民國十八年八月初版

廣東農業概況調查報告書續編上卷

(全一冊)

(每冊定價大洋陸角)

調查者

林純煦 卓正豐 陳幹濟

編輯者

何慶功 馮英才 黃錫疇

校訂者

鍾桃 廖迪雍

印刷者

丁穎 義昌印務局

發行者

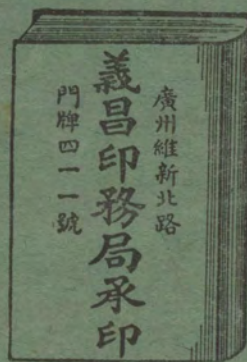
國立中山大學農科學院

發售處

國立中山大學農科學院推廣部



5179



1616541